前田·経塚近世墓群(首里大名地区)

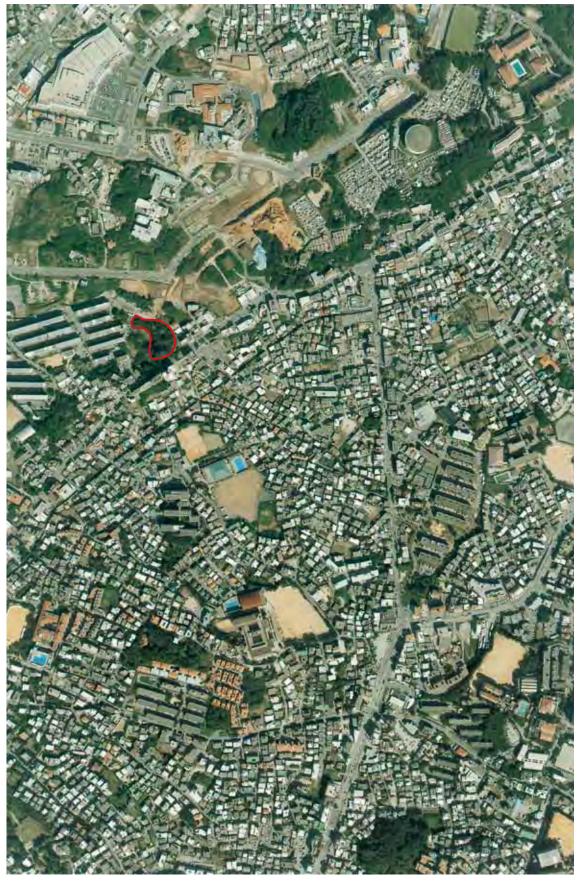
- 那覇広域都市計画道路事業 3・3・16 号国際センター線に伴う緊急発掘調査報告 -

2012年2月 那覇市教育委員会

前田・経塚近世墓群(首里大名地区)

-- 那覇広域都市計画道路事業 3・3・16 号国際センター線に伴う緊急発掘調査報告 --

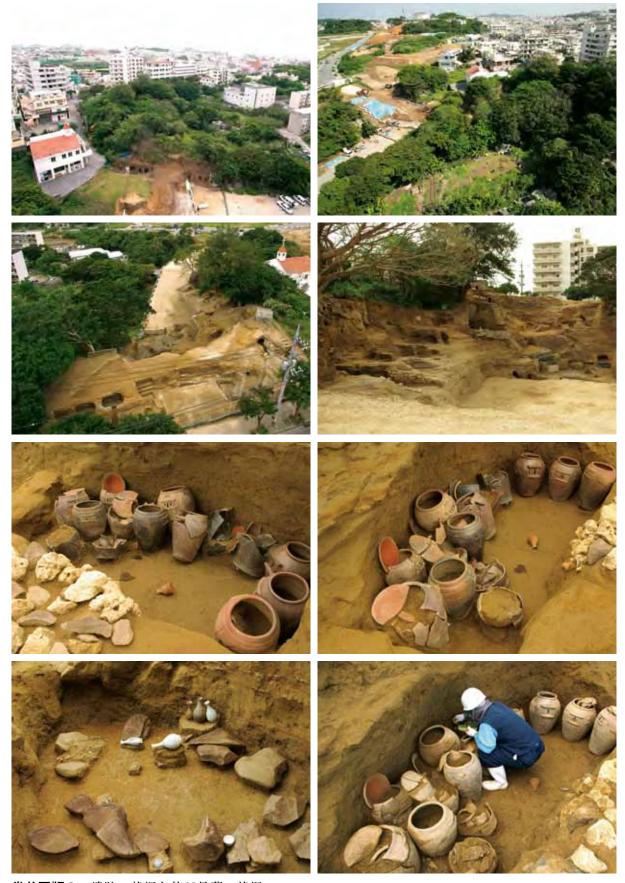
2012年2月 那覇市教育委員会



巻首図版 1 遺跡一帯の空中写真(2009年撮影)



巻首図版2 遺跡一帯の空中写真(平成19年撮影)



巻首図版3 遺跡の状況と第62号墓の状況

2段目左:遺跡の全景(平成22年度調査:南東から) 2段目右:遺跡の近景(平成22年度調査:北から)

3段目左:第62号墓室蔵骨器安置状況

4段目左:第62号墓室副葬品出土状況

1段目左:遺跡の全景(平成21年度調査:北から) 1段目右:遺跡の全景(平成21年度調査:南から)

3段目右:第62号墓室蔵骨器安置状況

4段目右:第62号墓発掘調査の状況





巻首図版4 第62号墓の主な出土遺物

上:副葬品 下:蔵骨器

本報告書は浦添市都市建設部都市計画課による那覇広域都市計画道路事業3·3·16号国際センター線整備に伴って実施された前田・経塚近世墓群(首里大名地区)の発掘調査成果を収めたものです。

那覇市内には、銘苅古墓群や、ナーチュー毛古墓群、安謝 西原古墓群、首里崎山古墓群など多くの遺跡が知られていま す。遺跡からは、蔵骨器をはじめ、副葬品が多数得られてお り、これらの遺跡を調査することによって、市内はもとより 沖縄における葬墓制の在り方や死生観などをうかがい知るこ とができるようになってきました。

本遺跡は那覇市の北東部に位置し、平成20~22年度に調査が行われました。調査は、約80基の古墓が対象となり、その殆どが基盤の細粒砂岩(方言でニービ)を掘り込むだけで、かつ小規模なものでした。その中で、第62号墓と第63号墓では、主に古い形の蔵骨器が安置された状態で検出され、また、第48号墓から得られた資料には年代観を示すものとして康熙53(1714)年の銘書(ミガチ)が得られるなど、墓群の成り立ちを把握する上で貴重な成果も挙がっています。

本墓群の所在する首里大名地区は、発掘調査が比較的希薄な地域でした。しかし近年、近接する浦添市の都市計画に伴って多くの遺跡が調査されるようになってきています。周辺地区の調査成果に留意しながら、比較研究を進めることによって、同地域における詳細な歴史が明らかになるものと期待されます。

本報告書が、市民の皆様はもとより多くの方々に活用されることを希望いたします。

末尾になりましたが、発掘調査作業ならびに、本報告書を 作成するにあたってご協力いただきました関係各位に深く感 謝申し上げます。

平成 24 年 2 月

那覇市教育委員会 教育長 城間 幹子

例 言

- 1. 本書は、那覇市教育委員会が浦添市(都市建設部都市計画課)の委託を受けて、平成21・22年度に実施した「前田・経塚近世墓群(首里大名地区)緊急発掘調査」の成果及び平成20年度に実施した確認調査を併せて収録したものである。
- 2. 平成21・22年度の発掘調査は、有限会社 ティガネーに委託した。
- 3. 出土遺物のうち、人骨の分析については、株式会社 文化財サービス(青山奈緒氏 土肥直美氏 比嘉洋子氏 徳嶺理江氏)に委託した。
- 4. 出土遺物のうち、銅製品及び有機質遺物の保存処理は、株式会社 文化財サービスに委託した。
- 5. 第1・2 図に使用した那覇市全図、巻首図版1および図版1の空中写真(2009 年撮影 S=1:8000)は、国土地理院発行のものを複製した。
- 6. 巻首図版 2 および図版 2 の空中写真は、株式会社 パスコによって撮影 (平成 19 年撮影 S=1: 2500) されたものを使用した。
- 7. 第3図は、浦添市都市建設部都市計画課から提供いただいた図に加筆して作成した。
- 8. 第3~35 図および第1表の作成・編集作業等は、有限会社 ティガネー(吉岡宏氏 友寄英人氏 慶田秀美氏 髙江洲かい氏 譜久里昌代氏 宮城龍一氏)に委託した。
- 9. 第36・37 図は、実測と略測にて作図した。
- 10. 本報告書の執筆は以下の通りである。なお、編集は城間千栄子、真栄城和美、山下真利子の協力を得て、仲宗根が行った。

第 I · Ⅱ章·第 V章 樋口麻子

第Ⅲ・Ⅳ章・第Ⅵ章 仲宗根啓 城間千栄子

第Ⅵ章 第10・11・15~17節 城間千栄子

第Ⅲ章 仲宗根啓 樋口麻子 城間千栄子

附篇1 (株)文化財サービス

附篇2 ㈱文化財サービス

- 11. 発掘調査では下記のメンバーに協力を得た。記して感謝申し上げる。 比嘉君子 請盛智秋 真栄城和美 上江洲由昇 喜瀬彰 浦添市教育委員会文化課
- 12. 資料整理では、下記のメンバーに協力を得た。記して感謝申し上げる。 長堂綾 渡辺幸夫 豊里加奈子 泉谷塁 仲宗根美奈子
- 13. 遺物実測図の番号と写真図版の番号は一致するように配置してある。
- 14. 出土遺物は那覇市教育委員会文化財課で保管している。

『前田·経塚近世墓群(首里大名地区)』報告書目次

巻首図版 1	遺跡-	帯の空中写	写真 ((2009	年捷	最影	5	S =	1	80	000)									
巻首図版 2	遺跡一	帯の空中写	真((平成	19	年揖	影	S	=	1:	250	00)								
巻首図版 3	遺跡の)状況と第 6	52 号县	墓の料	犬況															
巻首図版 4	第 62	号墓の主な	出土泊	貴物																
序																				
例言																				
第Ⅰ章	調査に至	ごる経緯・・										•	 •	•		•			1	
第Ⅱ章	遺跡の位	7置と環境・				•				•				•		•	 •		3	
第Ⅲ章		過と調査組 縮																		
		調査経過· 調査組織·																		
第Ⅳ章	遺構・・											•	 •	•		•	 •	•	17	
第Ⅴ章	蔵骨器・					•		•		•		•	 •	•	•	•	 •		56	
第Ⅵ章		遺物・・・																		
	第1節	第62号墓中国産陶磁																		
	第2節 第3節	中国医陶磁本土産陶磁																		
	第4節	中組産陶器																		
	第5節	硯・・・・																		
	第6節	人形・・・																		
	第7節	円盤状製品																		
		釘・・・・																		
	第0														_	_		_		100

	第 10 節	簪・・・		•		•	•		•	•		•		•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	106
	第11節	鏡・・・		•			•		•	•		•		•	•	•	•		•	•	•	•	•		108
	第 12 節	煙管・・		•		•	•		•			•		•	•	•				•	•	•	•		110
	第 13 節	ガラス製	l品·	•		•	•		•			•		•	•	•				•	•	•	•		114
	第 14 節	プラスチ	ック	製品	п.	•	•		•			•		•	•	•				•	•	•	•		114
	第 15 節	銭貨・・		•		•	•		•			•		•	•	•				•	•	•	•		116
	第 16 節	貝類遺殼	ŧ	•		•	•		•	•		•		•	•	•	•			•	•		•	•	124
	第 17 節	脊椎動物	遺体	: •		•	•		•	•		•		•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	126
第Ⅷ章	総括・・				•		•		•		•					•		•	•	•		•	12	7	
附篇 1	前田・経塚	近世墓群	(首	里大	名却	也▷	₹)	出	土の	の人	骨		•	•		•							13	1	
附篇 2	前田・経塚	近世墓群	(首	里大	名出	也区	₹)	出	土の	り遺	:物化	呆存	処	理									14	1	

報告書抄録

	挿図目次	第 35 図	第71号墓・・・・・・・53
		第 36 図	第76号墓・・・・・・・54
第1図	那覇市の位置と遺跡の位置・・・・ 5	第 37 図	第77・78・79号墓・・・・・・55
第 2 図	那覇市内の主な古墓群・・・・・ 6	第 38 図	第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)
第3図	国際センター線と調査位置・・・・14		
第 4 図	遺構配置・・・・・・・・15	第 39 図	第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)
第 5 図	第1・2号墓・・・・・・・23		
第 6 図	第 3 号墓・・・・・・・・24	第 40 図	第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)・
第7図	第 4 号墓・・・・・・・・・25		(Ⅲ類)・・・・・・・・75
第 8 図	第6号墓・・・・・・・・26	第 41 図	第62号墓出土遺物①・・・・・82
第 9 図	第7号墓・・・・・・・・27	第 42 図	第62号墓出土遺物②・・・・・83
第 10 図	第8号墓・・・・・・・・28	第 43 図	中国産陶磁器・・・・・・87
第 11 図	第11号墓・・・・・・・・29	第 44 図	本土産陶磁器・・・・・・・91
第 12 図	第13号墓・・・・・・・・30	第 45 図	沖縄産陶器①・・・・・・93
第 13 図	第17号墓・・・・・・・・31	第 46 図	沖縄産陶器②・・・・・・・95
第 14 図	第25号墓・・・・・・・・32	第 47 図	沖縄産陶器③・・・・・・97
第 15 図	第26号墓・・・・・・・・33	第 48 図	沖縄産陶器④・・・・・・99
第 16 図	第28号墓・・・・・・・・34	第 49 図	沖縄産陶器⑤・・・・・・ 100
第 17 図	第29号墓・・・・・・・・35	第 50 図	硯・人形・・・・・・・ 102
第 18 図	第30号墓・・・・・・・・36	第 51 図	円盤状製品・釘・指輪・・・・ 105
第 19 図	第31号墓・・・・・・・・37	第 52 図	簪・鏡・・・・・・・・ 109
第 20 図	第32号墓・・・・・・・・38	第 53 図	煙管・・・・・・・・ 113
第 21 図	第34号墓・・・・・・・・39	第 54 図	ガラス製品・プラスチック製品
第 22 図	第35 - 1 号墓・・・・・・・40		115
第 23 図	第36号墓周辺・・・・・・・41	第 55 図	銭貨①・・・・・・・ 121
第 24 図	第39号墓・・・・・・・・・42	第 56 図	銭貨②・・・・・・・ 122
第 25 図	第45号墓・・・・・・・・・43	第 57 図	銭貨③・・・・・・・ 123
第 26 図	第46号墓・・・・・・・・44	第 58 図	Ⅱ A類専用蔵骨器 口径・器高相関
第 27 図	第47号墓・・・・・・・・・45		129
第 28 図	第48号墓・・・・・・・・46	第 59 図	簪の長さと頭部の幅の関係
第 29 図	第49号墓・・・・・・・・47		129
第 30 図	第51号墓・・・・・・・・・48		
第 31 図	第62号墓・・・・・・・・49		
第 32 図	第63号墓・・・・・・・・50		
第 33 図	第69号墓・・・・・・・・51		
第 34 図	第70号墓・・・・・・・・52		

挿表目次

第1表	遺構計測一覧・・・・・・・18
第 2 表	身・蓋相関・・・・・・ 56
第3表	専用蔵骨器観察一覧・・・・・58
第4表	転用蔵骨器観察一覧・・・・・・67
第 5 表	形式分類と洗骨年相関・・・・・70
表 6 表	蔵骨器出土一覧・・・・・・・71
第7表	遺物出土一覧・・・・・・・76
第 8 表	第62号墓出土遺物一覧・・・・・80
第 9 表	第62号墓出土遺物観察一覧①・・・81
第10表	第62号墓出土遺物観察一覧②・・・84
第11表	中国産陶磁器出土一覧・・・・・85
第 12 表	中国産陶磁器観察一覧・・・・・86
第13表	本土産陶磁器出土一覧・・・・・88
第 14 表	本土産陶磁器観察一覧・・・・・90
第 15 表	沖縄産陶器観察一覧①・・・・・92
第16表	沖縄産陶器観察一覧②・・・・・94
第17表	沖縄産陶器観察一覧③・・・・・96
第 18 表	沖縄産陶器観察一覧④・・・・・98
第19表	沖縄産陶器観察一覧⑤・・・・・98
第 20 表	硯・人形観察一覧・・・・・・ 101
第 21 表	釘計測一覧・・・・・・・ 103
第 22 表	指輪計測一覧・・・・・・・ 104
第23表	簪出土一覧・・・・・・・ 106
第 24 表	簪計測一覧・・・・・・・ 107
第 25 表	簪・鏡観察一覧・・・・・・・ 108
第 26 表	煙管出土一覧・・・・・・・ 110
第 27 表	煙管計測一覧・・・・・・・ 111
第 28 表	ガラス製品・プラスチック製品
	観察一覧・・・・・・・ 114
第 29 表	銭貨出土一覧・・・・・・・ 116
第30表	銭貨計測一覧①・・・・・・ 117
第31表	銭貨計測一覧②・・・・・・ 118
第32表	銭貨計測・観察一覧・・・・・ 119
第33表	貝類出土一覧 (巻貝)・・・・・124

第 34 表	貝類出土一覧(二枚貝)・・・・・	125
第 35 表	サカナ出土一覧・・・・・・・	126
第36表	イヌ出土一覧・・・・・・・	126
第 37 表	ブタ出土一覧・・・・・・・	126
第 38 表	ウシ出土一覧・・・・・・・・	126
第 39 表	ウシorウマ出土一覧・・・・・	126

図版目次

図版 32 第 36 号墓・第 37 号墓

図版 33 第 37 - 1 号墓

(及び第42号墓室の確認状況) 図版 34 第 38 号墓・第 38 - 1 号墓 図版 1 遺跡一帯の空中写真 図版 35 平成 22 年度の調査状況 図版 2 遺跡一帯の空中写真 図版 36 平成 22 年度の調査状況 図版 3 遺跡の遠景と近景 図版 37 第 15 号墓 図版 38 第 16 号墓・第 18 号墓 図版 4 平成 21 年度調査状況 図版 5 第1号・第1-1号墓・第2号墓 図版 39 第 17 号墓・第 17 - 1 号墓 図版 6 第3号墓・第4号墓 図版 40 第 39 号墓・第 41 号墓 図版 41 第 42 号墓 図版 7 第6号墓 図版 8 第7号墓・第7-1号墓 図版 42 第 43 号墓・第 44 号墓 図版 9 第8号墓・第8-1号墓 図版 43 第 45 号墓・第 46 号墓 図版 44 第 47 号墓 図版10 第9号墓 図版 45 第 48 号墓 図版 11 第 11 号墓 図版 12 第 12 号墓 図版 46 第 49 号墓・第 64 号墓 図版 13 第 12 - 1 号墓 図版 47 第 51 号墓 図版 14 第 13 号墓・第 13 - 1 号墓 図版 48 第 52 号墓 図版 15 第 13 号墓・第 13 - 1 号墓 図版 49 第 53 号墓 · 第 54 号墓 · 第 55 号墓 図版 16 第 13 号墓・第 13 - 1 号墓 図版 50 第 56 号墓・第 57 号墓 図版 17 第 14 号墓 図版 51 第 58 号墓・第 59 号墓 図版 18 第 20 号墓・第 21 号墓 第60号墓・第61号墓 図版 19 第 22 号墓及び 図版 52 第 62 号墓 近接する踏査時の古墓 図版 53 第 62 号墓 図版 20 第 23 号墓 図版 54 第 63 号墓 図版 21 第 25 号墓 図版 55 第 65 号墓・第 66 号墓 図版 22 第 26 号墓 図版 56 第 69 号墓 図版 23 第 27 号墓 図版 57 第 70 号墓 図版 24 第 28 号墓 図版 58 第 71 号墓 図版 25 第 29 号墓 図版 59 第 72 号墓・第 73 号墓 図版 26 第 30 号墓 図版 60 第 74 号墓・第 75 号墓 図版 27 第 31 号墓 図版 61 第 76 号墓 図版 28 第 32 号墓 図版 62 第 77 号墓 · 第 78 号墓 図版 29 第 34 号墓 図版 63 第 78 号墓・第 79 号墓 図版 30 第 35 号墓 図版 64 第 62 号墓出土専用蔵骨器 図版 31 第 35 - 1 号墓 図版 65 第 62 号墓出土専用蔵骨器

図版 66 第 62 号墓出土専用蔵骨器

図版 67 第 63 号墓出土専用蔵骨器

- 図版 68 第 62 号墓出土転用蔵骨器 第 63 号墓出土転用蔵骨器
- 図版 69 第 21 号墓出土専用蔵骨器
- 図版 70 第 46 · 48 · 17 · 46 号墓出土 専用蔵骨器
- 図版 71 第 21 · 17 · 46 · 69 号墓出土 専用蔵骨器
- 図版 72 第 77 · 78 · 29 · 21 号墓出土 専用蔵骨器
- 図版 73 第 62 号墓出土遺物①
- 図版 74 第 62 号墓出土遺物②
- 図版 75 中国産陶磁器
- 図版 76 本土産陶磁器
- 図版 77 沖縄産陶器①
- 図版 78 沖縄産陶器②
- 図版 79 沖縄産陶器③
- 図版 80 沖縄産陶器④
- 図版 81 沖縄産陶器⑤
- 図版 82 硯・人形
- 図版83 円盤状製品・釘・指輪
- 図版84 簪・鏡
- 図版 85 煙管
- 図版86 ガラス製品・プラスチック製品
- 図版 87 銭貨①
- 図版 88 銭貨②
- 図版 89 銭貨③
- 図版 90 上: 貝類遺殼

下:脊椎動物遺体

前田·経塚近世墓群(首里大名地区)発掘調査報告書

第1章 調査に至る経緯

本遺跡の発掘調査に至る経緯を下記に略記する。

平成17年7月8日

那覇広域都市計画道路事業 3·3·16 号国際センター線の工事に伴い、那覇 市首里大名町3丁目100番・18・99番1・99番3 (約2,600㎡) の土地に ついて、浦都都第114号「埋蔵文化財事前審査願」が浦添市長 儀間光男 より提出される(事前審査番号 17-68)。

平成 20 年 9 月 24 ~ 29 日 現場踏査及び試掘調査を行う。

平成 20 年 10 月 14 日

調査の結果、約60基の古墓が確認され、「埋蔵文化財事前審査報告書」にて、 「保存のための調整が必要」と回答する。

平成 20 年 11 月 20 日

11月19日付浦都都第184号「発掘調査について(依頼)」を受領する。

平成 20 年 12 月 17 日

上記文書を受け、調査が那覇市文化財課の対応能力を超えることから、那 教生文第307号にて、浦添市教育委員会教育長 西原廣美あて「埋蔵文化 財発掘調査に関する協議について」の文書を送付し、調査の分担について 依頼した。

協議内容については、以下の通りである。

- (1) 発掘調査区域を二分割し、北側丘陵部(12基)を浦添市教育委員会 文化課が、南側丘陵部(18基)を那覇市教育委員会文化財課が調査
- (2) 調査費用については、浦添市都市計画課が負担する。調査は、同課 と浦添市文化課・那覇市文化財課が個別に協定書を締結し、実施する。
- (3) 発掘通知(文化財保護法第94条)は、浦添市都市計画課から那覇 市文化財課を経由して、沖縄県教育委員会へ提出する。調査着手通 知・終了報告は、浦添市文化課・那覇市文化財課それぞれが県教育 委員会へ提出する。
- (4) 調査報告書は、浦添市文化課・那覇市文化財課が個別に資料整理を 行い、それぞれで発刊する。

平成 20 年 12 月 22 日

12月19日付浦教文第181号「埋蔵文化財発掘調査に関する協議について(回 答)」にて、上記内容に同意する旨の文書を受領する。

平成 20 年 12 月 24 日

那教生文第342号「発掘調査について(回答)」にて、浦添市教育委員会 との協議結果を、浦添市長 儀間光男あて送付する。

平成 20 年 12 月 26 日

那教生文第345号「埋蔵文化財予備調査報告(埋蔵文化財包蔵地の新規発 見について)」を県教育委員会に提出する。

平成 21 年 1 月 8 日 1月6日付教文第1472号「埋蔵文化財包蔵地の新規発見について(回答)」 にて、県が当該地を埋蔵文化財包蔵地として了承し、遺跡名を「前田・経 塚近世墓群(首里大名地区)」と決定する。 平成 21 年 1 月 14 日 1月14日付浦都都第220号「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際セ ンター線に係わる埋蔵文化財に関する協定書について」を受領する。 平成 21 年 1 月 27 日 那教生文第363号にて、上記協定を締結し、送付する。 平成 21 年 2 月 16 日 浦添市長 儀間光男より、2月16日付浦都都第220号「那覇広域都市計画 道路事業 3・3・16 号国際センター線に伴う埋蔵文化財発掘の通知について」 (文化財保護法第94条第1項)が提出される。この文書を、県教育委員会 へ進達する。 平成 21 年 3 月 5 日 3月3日付教文第1719号「周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事に ついて(回答)」にて、県教育委員会より発掘調査の実施などについて指 示がある。同文書を、3月9日付那教生文第463号として、浦添市に送付 する。 平成 21 年 3 月 26 日 那教生文第494号「承諾書について(依頼)」を送付する。 平成 21 年 4 月 22 日 4月22日付浦都都第31号「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際セ ンター線に係わる埋蔵文化財発掘調査並びに資料整理に要する経費見積等 の提示について(依頼)」を受領する。 平成 21 年 4 月 24 日 那教生文第27号「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際センター線 に係わる埋蔵文化財発掘調査並びに資料整理に要する経費見積等の提示に ついて(回答)」を送付する。 平成 21 年 6 月 22 日 6月22日付浦都都第92号「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際 センター線に係わる埋蔵文化財発掘調査委託契約書について(送付)|を 受領する。 那教生文第107号にて、委託契約書を締結し、送付する 平成 21 年 6 月 25 日

平成 21 年 8 月 6 日 那教生文第 170 号「埋蔵文化財発掘調査について」(発掘調査着手届・文化財保護法第 99 条第 1 項)を提出する。

(当初契約期間は、平成22年2月19日まで)。

線に係わる実施計画書(送付)」を浦添市長あて送付する。

那教生文第115号「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際センター

調査に着手する。なお、調査は、入札の結果「有限会社ティガネー」に委

なお、本調査は、平成22年度まで実施した。

託した。

平成 21 年 6 月 30 日

平成21年8月3日

第Ⅱ章 遺跡の位置と環境

那覇市の地理的環境

那覇市は、沖縄本島南西部に位置し、北は浦添市、東は西原町・南風原町、南は豊見城市と接し、 西は東シナ海に面する。面積は39.23km、人口320,706人(平成24年1月現在)を擁する県都である(第 1・2回)。

市域の東側には、標高約 165 mの弁ヶ嶽を頂点とする首里台地がある。首里台地は、基盤の島尻層の上に形成された石灰岩段丘からなる。市域の北側には、標高約 $30 \sim 50 \text{ m}$ の緩やかな天久台地が、南側には標高約 $30 \sim 60 \text{ m}$ の起伏のある小禄台地がある。これらの台地に囲まれ、中央部は標高約 10 mの低地となっている。

市域北側に安謝川、中央部に安里川、南側に国場川が東から西に流れ、東シナ海へと注いでいる。 国場側下流域は、漫湖と呼ばれ、大きな入江となっていたが、現在では埋め立てられ、川幅も狭くなり、 その景観は大きく変貌している。

那覇市は、第三紀島尻層群を基盤層としており、この層は下位から上位へ豊見城層・与那原層・新 里層に細分される。豊見城層は、砂岩と泥岩の互層からなり、小禄周辺には砂岩が分布している。市 域の大部分は、与那原層下部のシルト岩が分布している。

この島尻層群を不整合に覆っているのが、第四紀更新世琉球石灰岩層であり、首里周辺部・山下町 周辺部に分布している。

市域西側の低地には、第四紀完新世の堆積物である沖積層が広く分布しており、特に安謝川·安里川・ 国場川下流ではよく発達している。

遺跡の地理的環境

前田・経塚近世墓群(首里大名地区)は、那覇市北東部、首里大名町3丁目に位置し、浦添市字経塚と隣接している。近接して大名市営住宅があり、近隣を県道241号(宜野湾南風原)線が通っている。

地勢的には、首里台地の北端、安謝川の上流域であり、土地の起伏に富む丘陵地である。谷底部分は、古くから水田や畑として利用されていた。地質は、第三紀島尻層群の砂岩で構成され、丘陵斜面部にはこれらを堀込んで墓群が形成されている。この一帯は、浦添市字前田と字経塚における浦添南第一土地区画整理事業に伴う発掘調査において、総数1,000基を超える墓群が次々と発見されている。今回報告する首里大名地区も、その墓群の中の南端に位置している。

遺跡の歴史的環境

大名は、方言では「ウフナ」と呼称され、広い野を意味するという。かつてはいたる所に畑地、墓 地があり、中には具志頭親方蔡温、宜湾朝保など著名人の墓もある。

大正末期から昭和初期にかけての民俗地図によると、住戸は、現在の大名1丁目周辺に在り、2丁目ならびに3丁目は、畑と墓の広がる原野であったことがわかる。

この集落は、農業が主な生業であったが、大規模な農家は少なかった。そのような中、養豚、山羊・

牛馬の飼育が盛んだったという。

町内の西側、大名町1丁目に存する平良馬場は、康熙34(1695)年に造られたもので、毎年10月20日に沖縄神社祭の奉祝行事が開催され、馬勝負が行われていた。島尻、中頭から馬が一堂に集まり、県内各地から見物人も訪れるなど沖縄一の馬場として有名であった。

また、町内の中央に南北に貫く小道があり、かつてはこの道が、浦添城と首里城を結ぶ要路であった。 大名市営住宅の西端には、「イチンニー墓地」があり、その名称から「この一帯での古い最初の葬所 地帯を指した地名」との指摘がある。

この地には、明治 12 (1879) 年の廃藩置県によって失職した首里士族が移り住み、屋取集落を形成した。かつては、西原村字末吉(現在の首里末吉町)に含まれる地であったが、大正 9 (1920) 年に末吉が首里区に編入された際、真地原(現在の大名町1丁目)・大名原(大名町2丁目)・後原(大名町3丁目)を合わせて字大名となった。その後、大正末期に大名町となった。
^{註1}

昭和 20 (1945) 年の沖縄戦の際には、首里防衛の為の重要地点として、この地を死守しようとする 日本軍と、奪取しようとする米軍との間で激しい戦闘が繰り広げられた。米軍は、ダイナマイト・火 炎放射器などあらゆる砲火器を投入し、攻撃した。一方の日本軍は、大名集落そのものだけでなく、墓、 岩穴をも陣地化し、対戦車砲・機関銃などを使って防衛に努めた。戦闘は苛烈を極め、住民の犠牲も 多大なるものがあった。この戦闘によって、一帯は廃墟となったが、戦後、再び人々が居住し始めた。

昭和29年に那覇市大名町となり、昭和31年から首里を冠して那覇市首里大名町となっている。 現在は、宅地化ならびに道路拡張工事などの開発が進み、かつての農村地帯の面影はない。

註1 『沖縄県首里市制十周年記念誌』には、「字末吉の内マーヂ原、大名原、イヤナグ原を合して大名字となる。」とある。

参考文献

首里市役所 1931 『沖縄県首里市制十周年記念誌』

沖縄タイムス 1976「思い出のわが町〈35〉大名町」 *新聞記事

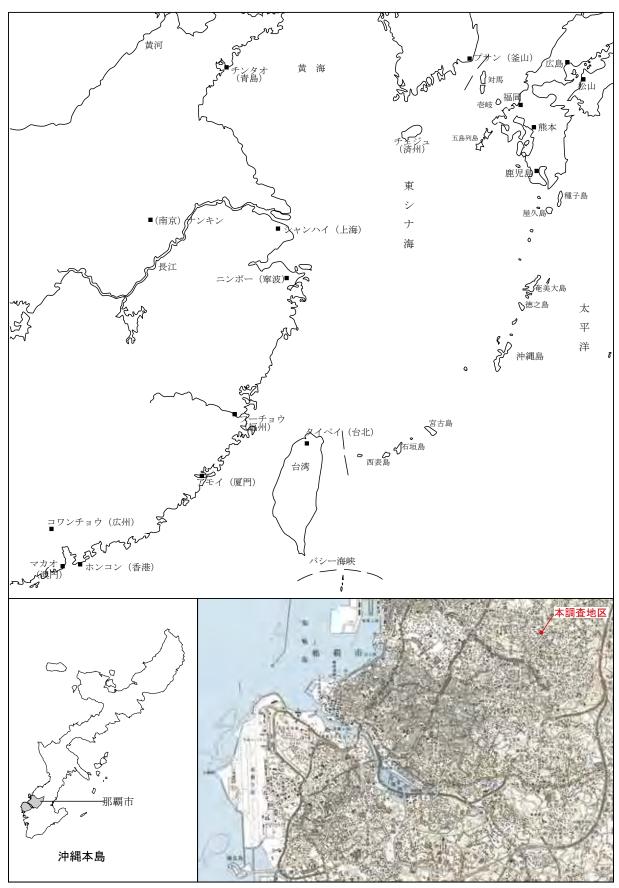
沖縄タイムス 1983「大名」『沖縄大百科事典 上巻』

沖縄タイムス 1985 「Ⅲ B 中琉球 8沖縄島南部」『琉球弧の地質誌』

角川書店 1986「那覇市」「大名」『角川日本地名大辞典 47 沖縄県』

第一書房 2000「18 大名町」『南島文化叢書 22 首里の地名 - その由来と縁起 - 』

浦添市教育委員会 2011「第 2 章 遺跡の位置と環境」『前田経塚近世墓群 2 』



第1図 那覇市の位置と遺跡の位置



第2図 那覇市内の主な古墓群

第Ⅲ章 調査経過と調査組織

第1節 調査経過

本古墓群の発掘調査は、2008(平成 20)年度に確認調査(古墓分布調査及び試掘調査、第 77 ~ 79 号墓発掘調査)を実施し、2009(平成 21)年度と 2010(平成 22)年度で本発掘調査が行われた。 以下、調査経過を略記する。

2008 (平成 20) 年度調査

9月24日 (水) ~ 29日 (月)

平地(駐車場)部分と丘陵斜面部分の試掘調査および墓群の分布調査を実施する。平地部分は、遺跡の存在を確認できず。丘陵斜面部分では、蔵骨器片や人骨片が確認された。墓群の分布調査の結果では、40基の古墓を確認。その後、開発部局との調整等を行いながら、11月までの調査が断続的に実施されることとなった。

10月30日(木)

丘陵斜面部分で確認された蔵骨器片および人骨片について調査を実施する。三箇所にて遺構を確認。墓域の分布調査にて 40 基の古墓が調査対象と判明していたため、同地域で確認された三箇所の遺構は、第 $41-1\cdot2\cdot3$ 号墓として調査を開始した。その後の資料整理の段階で、第 41-1 号墓 \rightarrow 第 77 号墓、第 41-2 号墓 \rightarrow 第 78 号墓、第 42-3 号墓 \rightarrow 第 79 号墓として報告することとした。

第77号墓にて人骨集中部を検出する。第79号墓で人骨片を確認。

11月 5日 (水)

第77号墓で人骨集中部の掘下げ作業を行う。

6日(木)

第77・78・79 号墓の平面実測作業を行う(平板実測)。

12日(水)

調査地での測量作業を実施する。

14 日 (金)

第78号墓の完掘作業を行う。

18 日 (火)

第77・78・79 号墓の断面実測作業を実施する。

19日 (水)

三基(第77~79号墓)すべての調査を終了する。

2009 (平成 21) 年度調査

8月 3日 (月)

調査開始。第1~8・12号墓周辺の草木の伐採作業を行う。

7日(金)

第1・2号墓の手掘り作業を開始する。

11 目 (火)

第7・8号墓の表土掘削作業を開始する。第2号墓東側で確認された窪みは、古墓であることが判明。新規調査対象古墓として扱うこととする。

18 日 (火)

第3号墓の掘下げ作業を実施。墓室内に安置された蔵骨器2基を確認する。

26 日 (水)

蔵骨器の集中していた第5号墓は、掘下げ作業が進行するに従い、第6号墓のサンミデー部分であることが確認された。

9月 7日 (月)

第13号墓の崩落土を取り除き、墓口を確認する。

8日 (火)

第15~19号墓周辺の磁気探査作業を実施。異常なし。

16日(水)

第15~19号墓の調査は、都合により第20~24号墓に振り替えて実施する。

25 日 (金)

調査が進行するに従って、新たな遺構が発見されることが多くなった。このことから、本格的に調査区における新規古墓発見のための掘削作業を開始する。

10月 2日(金)

第7・8・13号墓の写真撮影及び写真測量作業を行う。

14日(水)

雨天のため現地作業を中止。出土遺物洗浄作業を実施。

16 日 (金)

第25号墓室の半裁作業を行う。蔵骨器片、銭貨、陶製人形が出土。

21 日 (水)

第25号墓室の蔵骨器周辺の精査作業を実施した結果、陶製人形、銭貨、数種の貝類が得られた。

22 日 (木) ~ 26 日 (月)

雨天のため室内作業を強いられる。

11月 9日 (月)

第 $11 \sim 13$ 、 $21 \sim 23$ 、26 号墓の調査行う。第 26 号墓左隅から出土した小型の壺は、地山直上に据えられており、内部には骨片が確認できる。

16日(月)

遺跡全体写真撮影のための精査作業を行う。午後からラジコンへリによる空撮を実施。その 後、近景写真を足場上から撮影。

27 日 (金)

第23・24・27 号墓について墓室完掘状況の写真撮影を行う。第13 号墓屋根部のトレンチを 地山面まで掘削。第26 号墓庭より、瓶・猪口・煙管等が出土。

30 日 (月)

第13号墓室の完掘作業を行い、写真撮影及び写真測量作業を実施。同墓室には、一次葬に 関連する施設が確認された。また、墓口からサンミデー部にかけて暗渠を設けるなど、造墓に おける興味深い成果が得られた。

12月 1日 (火) ~2日 (水)

伐採材及び残土などの処理を行う。調査区内より不発弾を発見。関係機関へ連絡し後撤去される。

8日(火)

第28~32 号墓の調査及び残土処理作業を行う。第28 号墓庭にて人骨を確認。ボタン・金属片が一緒に得られた。

14 日 (月)

第29・33・38 号墓の調査を行う。

25 日 (金)

雨天のため現地作業は中止。第28号墓庭出土の人骨について、関係機関への引渡しを行う。 28日(月)

仮設事務所周辺の清掃等を行い、年内の作業を終了する。

2010 (平成 22) 年

1月 5日 (火)

新年の調査を開始する。第28~30・32・35 号墓の調査行う。

11日(月)

第 30 ~ 32·35·37·38 号墓の調査行う。第 30·31 号墓庭の暗渠に使用された琉球石灰岩 礫を取り外す。

13 日 (水)

第 $28 \sim 32 \cdot 35 \cdot 37 \cdot 38$ 号墓の調査を行う。第 28 号墓室のシルハラシドゥクマには、琉球石灰岩礫が 4 個置かれた状態で確認された。一次葬に伴うものと考えられた。

26 日 (火)

新規古墓の増加により、次年度へ調査を持ち越す。そのため、調査中の遺構(第 35-1 号墓 庭暗渠及び第 42 号墓)の養生作業を行う。

29 日 (金)

本日にて現地の調査を終了する。

2010 (平成 22) 年度調査

7月20日(火)

調査開始。調査区内の伐採作業を行う。

26 日 (月)

掘下げ作業に向けて調査区内の磁気探査作業を行う。

8月 5日 (木)

第16~18号墓調査及び周辺の遺構確認作業を行う。正午前より降雨のため、現地作業を中止し、室内作業を行う。雨天は、8月10日まで続き、室内作業を余儀なくされる。

12日(木)

古墓の左右の呼称に関し検討を行う。前年度の調査と同様、墓室から墓庭の方向を見て、遺 構の左右を称することとした。

16日(月)

第15~17号墓の調査を行う。第17号墓内には、蔵骨器が集中して確認されている。

21 日 (土)

第17号墓の調査を行う。墓室の遺物出土状況の写真撮影及び写真測量作業を行う。

26 日 (木)

第17号墓室の遺物(主に蔵骨器)の取り上げ作業を行う。仮設事務所の設置を行う。

9月2日(木)

第 45 ~ 49 号墓の調査を行う。

17日(金)

第46号墓庭では、陶製無頸甕形蔵骨器片の出土が目立つ。

22 日 (水)

第46号墓庭出土遺物の写真撮影及び写真測量を行い、その後、遺物の取り上げ作業を実施。

28 日 (火)

第46号墓の埋土完掘状況の写真撮影及び写真測量作業を行う。

10月19日 (火)

雨天のため、現地作業を中止する。雨天は10月21日(木)まで続く。

26 日 (火)

台風接近のため、調査区の養生作業を行う。その影響は、10月29日(金)まで続く。

11月 8日 (月)

第50~57、62・63 号墓の調査行う。第62・63 号墓は、墓室埋土の除去作業から開始。

10日(水)

第62・63 号墓室の精査作業を行う。同墓とも陶製無頸甕形蔵骨器を主体に蔵骨器が多数確認される。

16 日 (火)

第51・52・58・59・62 号墓の調査を行う。第62 号墓室の蔵骨器主体の遺物について取り上

げ作業を実施。取り上げ作業の過程で、新たな遺物の確認が相次ぐ。

18日(木)

第62号墓室の掘下げ作業を行う。その覆土から瓶、猪口、煙管、簪、刀子などが確認される。 22日(月)

第70号墓室埋土の掘下げ作業を行う。室内から人骨が検出され、その周辺からボタン、ガラス瓶、板材などが伴う。また、隣接する第69号墓室からも鉄兜、ガラス瓶などが確認されている。

23 日 (火)

第63号墓口にて、円形の土坑が確認された。土坑内には獣骨と見られる骨片が検出された。 29日(月)

調査区の清掃を行い、全景撮影を行う。調査終了に伴い、仮設事務所周辺の片付けを行い現 地施設の一部撤去を行う。

30 日 (火)

現地での調査を全て完了する。

12月1日(水)

遺跡の遠景撮影作業を行う。浦添ようどれ、弁ケ岳、虎瀬公園からの撮影作業。

24 日 (金)

工事中に古墓1基が発見される。現地を確認した結果、墓室に8基の蔵骨器が安置。

2011 (平成 23) 年

1月 4日 (火)

発見された古墓の調査準備を行う。

5日(水)

古墓の調査を開始する。墓の前面に堆積する埋土の除去を行う。第76号墓とした。

6日(木)

墓口及び墓室埋土の掘下げ作業を完了する。墓室より煙管が出土。

7日(金)

掘下げ完了後の写真撮影を行う。その後、平板実測等にて、測量作業を開始。

11 日 (火)

蔵骨器の取り上げを行った後、墓室の完掘作業を実施。追加の測量等を行う。本日にて現地 の調査を終了する。

第2節 調査組織

本遺跡の調査組織は次の通りである。

事業主体	那覇市教育委員会	教育長	桃原致上(平成 20・21 年度)
"	"	"	城間幹子(平成 22・23 年度)
事業所管	文化財課	課長	古塚 達朗 (平成 20 ~ 23 年度)
	"	副参事	島 弘 (平成 20 ~ 23 年度)
調査総括	"	副参事	島 弘 (平成 20 ~ 23 年度)
調査事務	"	副参事	島 弘 (平成 20 ~ 23 年度)
	"	主 幹	田端 睦子(平成 20 年度)
	"	主 幹	内間 靖 (平成 21 ~ 23 年度)
	"	主 査	會澤 一大 (平成 23 年度)
	"	主任主事	仲宗根 健 (平成 21 ~ 23 年度)
	"	主 事	新里真知子(平成 20 年度)
	"	主 事	宮城 奈里(平成22年度 臨時職員)
	"	主 事	麻生佐矢香(平成 23 年度 臨時職員)
調査員	"	副参事	島 弘
	"	主幹	内間 靖
	"	専門員主査	玉城 安明
	"	専門員主査	北條 真子
	"	主任専門員	仲宗根 啓
	"	主任専門員	樋口 麻子
	"	主任専門員	當銘 由嗣
	"	専門員	知念 政樹
	"	発掘調査補助	b員 高良 夏枝(平成 21 年度 臨時職員)
	"	発掘調査補助	b員 翁長しのぶ(平成 22 年度 臨時職員)

発掘調査

平成 21 年度 有限会社 ティガネー

吉岡宏 友利盛雄 具志誠 石川毅 尾崎真太郎 友寄英人 糸満盛人 下里卓也 慶田秀美

高江洲かい 大城健榮 大城敏子 金城正克 金城美津子 古波津司 島袋正敏 武島毅 名嘉健 花城可裕 比嘉正洋 比嘉義正 宮城誠 屋我勝彦 与儀清 與那嶺久美子 安座間香代子 廣瀬みどり 福原かおり 山内裕美

平成22年度 有限会社 ティガネー

吉岡宏 友利盛雄 具志誠 石川毅 尾崎真太郎 友寄英人 糸満盛人 下里卓也 慶田秀美 高江洲かい 上地博子 大城健榮 大城敏子 神谷昇 北川正男 金城正克 宜次富紹誠 島袋正敏 謝敷毅 武島毅 仲本聖也 比嘉正洋 比嘉義正 宮城健栄 宮城親正 宮城誠 向出義三郎 屋我勝彦 山口栄子 山城佳代子 与儀清 與那嶺久美子 安座間香代子 廣瀬みどり 福原かおり 山内裕美

資料整理 文化財課非常勤職員

平成 22 年度

調査指導員 城間千栄子

資料整理員 山城千夏 山下美也子 仲西美那子 宮良知子 金城薫 真栄城和美

山下真利子

副資料整理員 泉谷塁 翁長しのぶ

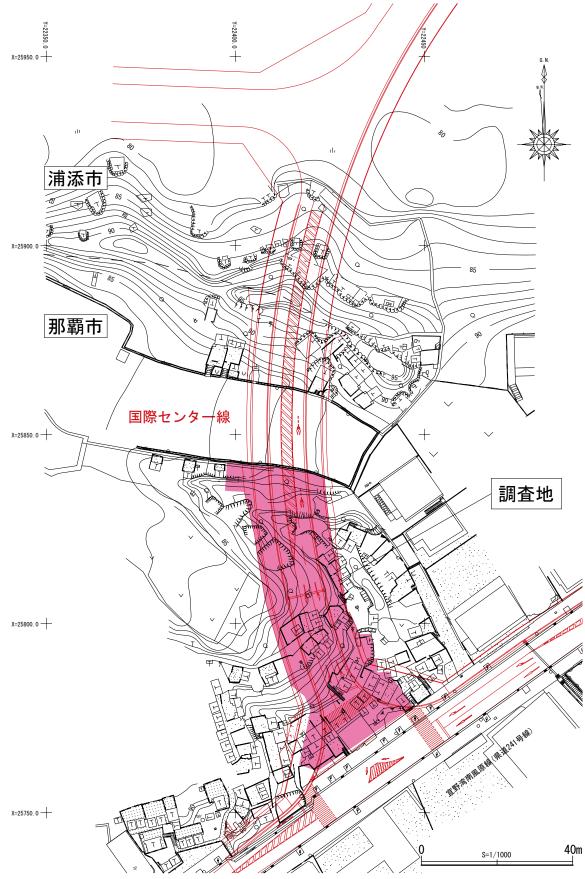
平成23年度

調查指導員 城間千栄子

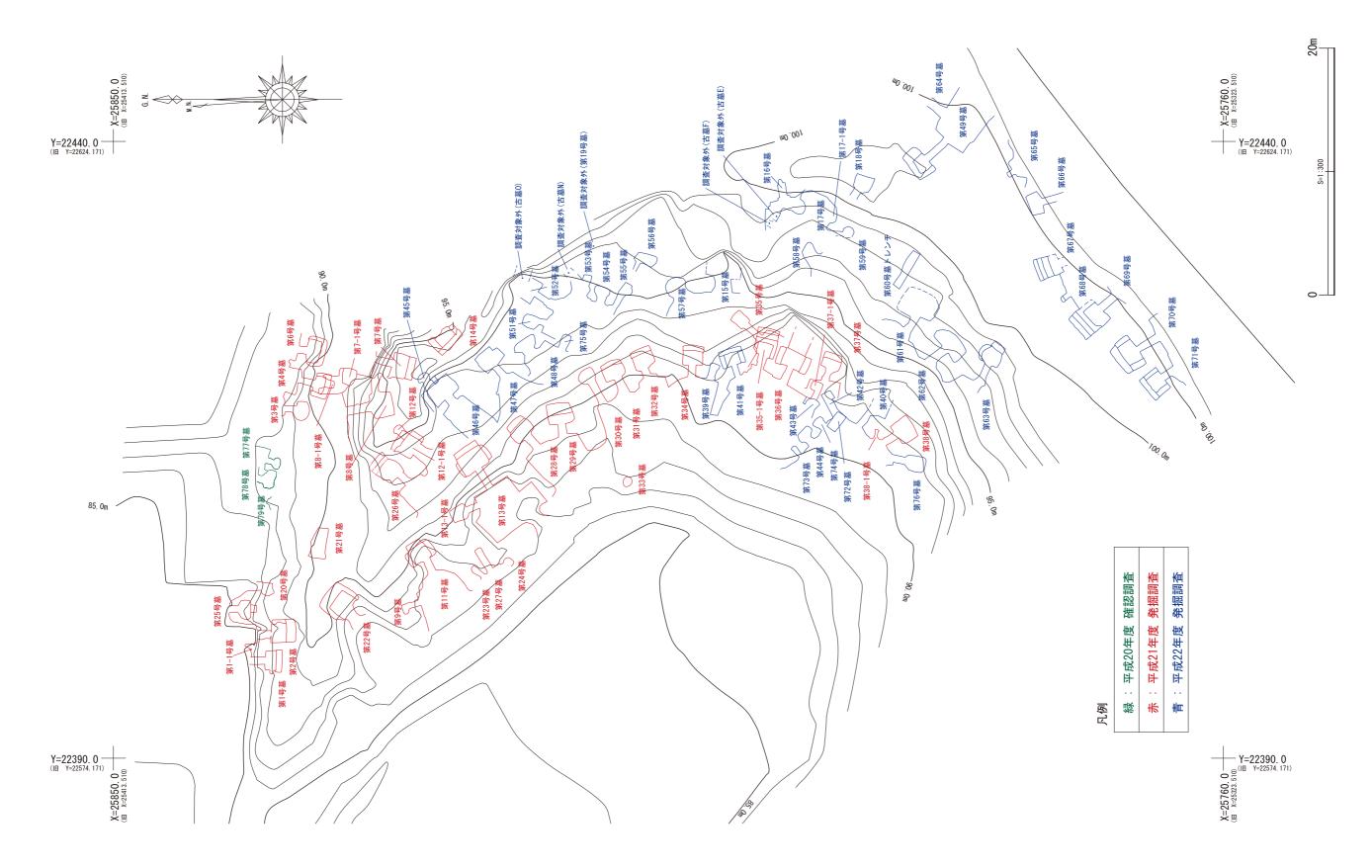
資料整理員 山下美也子 山下真利子 真栄城和美 金城薫 宮良知子 高良夏枝

志良堂恵

副資料整理員 翁長しのぶ



第3図 国際センター線と調査位置



第4図 遺構配置

第Ⅳ章 遺構

本遺跡は、那覇市の北東部、首里大名町三丁目地内に位置する(第2図)。標高約100mを頂点とする丘陵の斜面に構築された墓群である。基盤は、細粒砂岩(方言でニービ)と第三紀泥岩の互層をなす地質に掘り込まれた墓群である(第3図)。そのうち、袖墓と考えられるものや小振りで単室のものも含め84基の遺構を調査した(第4図)。

「前田・経塚近世墓群」は、主に浦添市の区画整理事業地で調査された墓群であり、本遺跡は遺跡の 名称として(首里大名地区)とした。

ここでは、遺構の特徴を簡記する。なお、遺構各部の名称は、調査時に呼称した語句を使用し、各墓の左右は、墓室から墓庭を見た状況で呼称した。

遺構の外観は、以下のとおりである。

- ① 屋根が亀甲墓を意識した装飾を施すもの(第11号墓)。
- ② 基盤を利用して掘り込んで墓室を造り、前面は、琉球石灰岩を積み上げて装飾するもの(第13号墓)。
- ③ 墓口周辺のみを琉球石灰岩等で塞ぐもの。
- ④ 遺構全体に小振りでその造りも簡素なもの。

亀甲墓である第11号墓(第11図)は、屋根部に石列を廻らせて亀甲墓を意識させるが、石敷き等は確認できなかった。上段の第26号墓を造る際の造成土が屋根部をかなりの土量で覆われ、調査開始時には、亀甲墓の外観はうかがえない状況であった。

墓域としては、立地する丘陵の斜面を利用して二~三段の高低からなる様相を呈していた。墓域の 形成過程をうかがう上で注意される。遺構の特徴や出土遺物などから推測すると、以下のような形成 過程が想起された。

丘陵の西側斜面に位置する第62・63 号墓、第46・47 号墓が比較的古い時期に造られたと考えられる。第62 墓は、墓室に蔵骨器を安置するための「タナ」は設けられていない。第63 号墓は、墓室の奥、右側に比較的低い「タナ」を設ける。第46・47 号墓は、室内の奥、左右に「タナ」が設けられるが、かなり高い位置で、墓室の様相は、他の古墓とは明らかに異なる。

近年、県内においては、古墓の調査事例が増加しており墓室の形態による分類が試みられている。 今後、さらなる検討が加えられることによって、古墓の研究が大いに発展するものと考える。

なお、第5~37図に遺構の実測図を、第1表にその特徴を示した。参照いただきたい。

参考文献

『前田·経塚近世墓群 2』 首里大名地区 浦添市教育委員会 2011 (平成 23) 年 2 月

第1表 遺構計測一覧

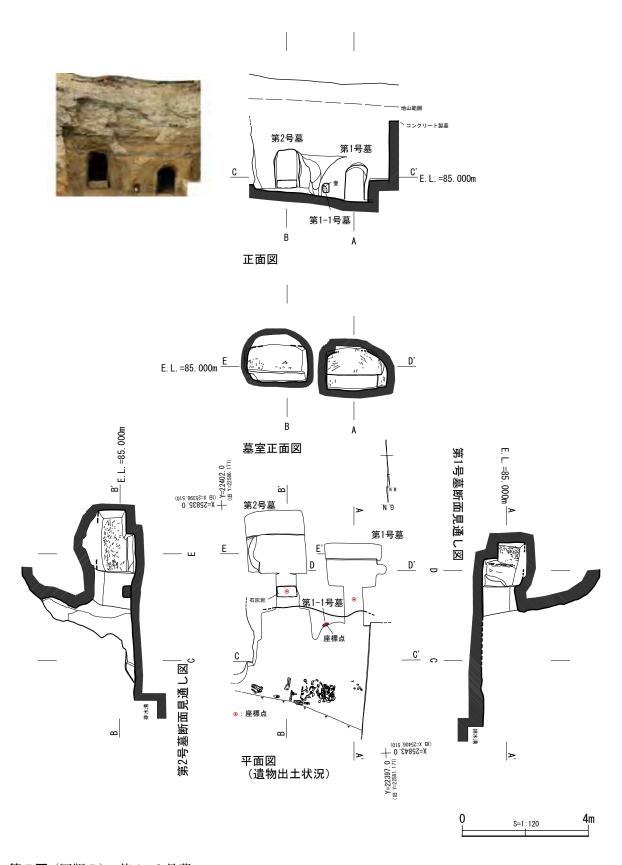
,,,,	交 退1	再計測一」	~ 													備考:①座標値は世界測地系、②墓口・墓室の単位はcr
\setminus	挿図番号 図版番号	墓番号	立地 場所	外観形式	墓口の構築	座標値(m) X座標 V座標	墓口 奥行	庭の構築	サンミデー	墓室の 平面形	墓室 (㎡)	墓室 奥行	タナ数奥	蔵骨器 有無	一次葬 の有無	備考
			の基盤		方法	Y座標 Z座標	幅高さ	方法	の有無		,	幅高さ	左左			第2号墓と墓庭を共有する。墓庭からは蔵骨器片・
1	第5図 図版5	第1号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25838.096 22397.886 84.236	78 62 116	基盤を 掘込む	×	方形	2.14	137 156 (135)	1 _ _	0	×	瓶子・猪口・指輪・板材などが出土する。墓室左側 壁には円形に掘り広がった部分が確認できる。 (墓口方位:N-1°-E)
2	第5図 図版5	第1-1号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25838.877 22398.808	不明 不明 不明	基盤を 掘込む	×	方形	不明	不明 19 30	_ _ _	0	×	第1号墓右側の壁面に穴が穿たれ、枝サンゴが詰まった小型の壺が安置されていた。(墓口方位: N-20°-W)
3	第5図 図版5	第2号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25837.788 22400.007 84.646	114 75 121	基盤を 掘込む	×	方形	3.7	200 185 (120)	1 1 —	0	×	第1号墓と墓庭を共有する。墓庭の高さは第1号墓 と比べるとやや高くなっている。墓口前床面には 細礫が広がる。(墓口方位:N-1'-E)
4	第6図 図版6	第3号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25835.621 22418.323 85.959	94 40 (65)	基盤を 掘込む	×	方形	1.39	108 155 (74)	=	0	0	墓庭は配水管工事により失われている。墓口前面 から天井の一部にかけて崩落している。墓室埋土 から3基、採面から4基の蔵骨器が出土した。シル ハラシドゥクマから頭を南に向けた一次葬の人 骨が出土した。墓口の右壁際に暗薬が設けられて いる。(墓口方佐い5・5)
5	第7図 図版6	第4号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25834.132 22420.516 86.341	84 56 137	基盤を 掘込む	×	方形	2.61	133 196 (124)	1 1 1	×	×	墓口前の閉塞石は原位置を保っていない。墓室の 掘り方はシルハラシドゥクマ中央が窪み、墓口から墓庭に向けて傾斜して下る。墓庭は配水管工事 により失われている。(墓口方位: N-12°-E)
		第5号墓	ニービ・ クチャ 互層	-	-	25835.197 22422.794 86.504	-	_	_	_	_	_	-	-	-	調査当初第5号墓とした範囲は第6号墓の一部で あることが判明。第5号墓は欠番とした。
6	第8図図版7	第6号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25835.112 22423.234 86.504	63 55 (58)	基盤を 掘込む	0	方形	3.72	153 243 (115)	1 1 1	0	×	墓庭の大半は配水管工事で失われている。機を並べてサンミデーを設け、上部には陶製有形甍形の蔵骨器基が置かれていた。墓口から墓庭にかけて暗渠が設けられている。(墓口方位:N-10°-E)
7	第9図図版8	第7号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25828.013 22422.158 89.929	121 53 132	基盤を 掘込む	×	方形	3.62	182 199 (146)	1 _	0	×	床面は2面ある。上位の床面は崩落土などを造成 して平坦面を成形した面で、墓庭にコンクリート 製塞が置かれていた。下位の床面は墓口前に細礫 が広がる。墓口側の壁面に約25×20cmの小さな 捆り込み、左側に横穴を掘り広げた痕跡がある。
8	第9図 図版8	第7-1号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25830.852 22420.921	不明 不明 不明	基盤を 掘込む	×	方形	1.53	132 116 (83)	_ _ _	×	×	墓庭の左側壁面に墓口を東に向ける第7-1号墓が ある。(第7号墓口方位:N-12'-E・第7-1号墓口方位: S-82'-E)
9	第10図 図版 9	第8号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	基盤を 掘込む	25830.107 22418.324 89.396	192 82 195	基盤を 掘込む	×	方形	4.03	185 218 (153)	_ _ _	0	×	墓庭の床面上には大量の土砂が堆積し、墓口はその上面からコンクリートブロックで閉塞されていた。豪室内奥壁に40×27cmの半月形で小さな掘り込みがある。右壁角から横穴が掘られ、第7号墓横穴の方向へ向かっているが貫通はしていない。
10	第10図 図版 9	第8-1号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25832.413 22420.396	不明 不明 不明	基盤を 掘込む	×	方形	0.43	69 63 (53)	=	×	×	突き当りの壁面には小さな掘り込みがある。 纂庭 右カキ端部に墓口を北に向ける小振りの第8-1号 墓がある。(第8号墓口方位: N-10°-W・第8-1号墓口 方位: N-12°-E)
11	図版10	第9号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 据込む	22825.603 22402.465 86.393	90 48 132	基盤を 掘込む	×	不定形	0.38	52 79 (86)	=	0	×	現況で墓口に人骨を含む陶製有頸甍形の蔵骨器 が2基置かれていた。墓室は小振りである。(墓口 方位:S-16*-E)
		第10号墓	ニービ・ クチャ 互層	_	_	22825.462 22404.1	_	_	_	-	_	_	-	-	_	調査当初第10号墓とした範囲は第11号墓の一部 であることが判明。第10号墓は欠番とした。
12	第11図 図版11	第11号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	22824.127 22404.754 86.772	94 22 不明	基盤を 掘込む	0	方形	3.75	175 237 (152)	1 1 1	0	×	サンミデー部分は盛土と石を並べて構築する。屋 根部分には盛土を施し、周囲に石を並べることで ワラビヌティを設けている。墓室上部及び墓前面 は崩落により失われている。シルハラシドゥクマ は墓口床面よりも一段下がる。(墓口方位: S-54'
13	図版12	第12号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と 石積み を併用	25826.006 22415.901 92.445	48 57 74	基盤を 掘込む	0	楕円形	0.54	81 57 86	_ _ _	×	×	サンミデーは石組みで構築する。墓室は小振りである。墓庭下に第12-1号墓墓室が埋没している。 (墓口方位:S-38'-W)
14	図版13	第12-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と 石積み を併用	25824.278 22414.321 91.532	87 124 (56)	基盤を 掘込む	0	方形	4.38	187 234 不明	1 1 1	×	×	シルハラシドゥクマは墓口床面よりも一段下が る。サンミデーは礫組みで構築されている。第12-1 号墓は廃絶あるいは埋没後に盛土をして第12号 墓を構築している。(墓口方位:S-28*-W)
15	第12図 図版 14·15·16	第13号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	石積み	25819.280 22411.629 87.092	118 62 86	基盤を 掘込む	0	方形	5.8	201 289 158	2 2 2 2	0	×	両ソデは盛士で造成されている。右カキ上面には礫を並べ階段が造られている。墓室内のタナから羨 道部・サンミデーを通り墓庭に排水されるように暗 葉が設けられている。シルハラシドゥクマには切り 石を組んで造った棺箱を置く台座が設けられてい る。(墓口方位:S-57*-W)
16	第12図 図版 14·15·16	第13-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25820.900 22410.269	53 53 —	基盤を 掘込む	×	方形	1.72	152 113 —	1 0 0	0	×	第13号墓の右ソデを利用して構築されている。 (墓口方位: S-24'-E)
17	図版17	第14号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	不明	25822.866 22424.238 94.067	不明 不明 不明	不明	_	方形	(3.46)	(149) 237 (144)	1 1 1	0	×	斜面の崩落により墓庭部分は失われており、墓室 床面と壁面の一部のみが確認できる。 奥壁側のタ ナは両側壁のタナに比べてやや高い。 左側タナ上 から蔵骨器1基が出土した。 (墓口方位: N-42'-E)

\setminus	挿図番号		立地	外観	墓口の	座標値(m)	墓口	- 庭の	サンミ	墓室の	墓室	墓室	タナ数	蔵骨器	一次葬	
	図版番号	墓番号	場所 の基盤	形式	構築 方法	X座標 Y座標 Z座標	奥行 幅 高さ	構築 方法	デー の有無	平面形	(m)	奥行 幅 高さ	奥 右 左	有無	の有無	備考
18	図版37	第15号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25800.638 22428.212 91.950	168 99 (92)	不明	0	不明	_	不明 不明 不明	不明 不明 不明	0	×	墓室・墓庭を掘り抜いて、壕として改変した可能性が高いと考えられた。西側は入口に相当し、琉球石灰岩が並んでいた。(墓口方位:N-83°-W)
19	図版38	第16号墓	ニービ・ クチャ 互層	平葺墓	基盤と コンクリート ブロックを 併用	25795.754 22436.130 97.860	20 53 90	基盤と セメント を併用	0	方形	0.82	159 62 78	_ _ _	0	×	正面はコンクリートにより補強していた。(慕口 方位:S-80°-W)
20	第13図 図版39	第17号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25793.585 22434.321 97.261	55 77 62	基盤を 掘込む	×	楕円形	5.1	175 327 (122)	1 - -	0	×	墓室の天井及び壁面の一部は崩落により失われている。墓庭には囲いはなく、西側が大きく崩落 し失われている。墓匠は西向きに2箇所あり、共に 琉球石灰岩礫により閉塞されていた。それぞれの 墓口に対応する明瞭な墓室の区切りはないが、境
21	第13図 図版39	第17-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	据込墓	基盤を掘込む	25792.212 22433.586	38 40 36	基盤を掘込む	×	楕円形	5.1	175 327 (122)	1 	0	×	界線部分に琉球石灰岩が1段並べられており、床面の高さは左の墓室に比べて右の墓室が近い位置にある。タナ上には蔵骨器が原位を保った状態で出土し、シルハラシドゥクマからは大量の蔵骨器所は出土した。中には沖縄産陶器壺に蓋を被せて蔵骨器に転用したと考えられるものもあった。(第口万位:N-61*-W)
22	図版38	第18号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と セメント 製の枠 を併用	25788.811 22437.471 96.400	15 65 82	不明	0	方形	1.93	125 154 101	_ _ _	×	×	墓口は斜面地に設けられ、明瞭な平坦面を有する 墓庭は確認できない。サンミデーはコンクリートブロックと盛土で構築している。(墓口方位: N-31°-W)
		第19号墓	1	_	_	25811.080 22431.520	_	_	-	-	_	_	_	_	_	調査範囲の対象外。第19号幕は欠番とした。
23	図版18	第20号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25838.443 22403.961 84.865	80 不明 不明	不明	_	不明	(0.91)	(102) (103) (79)	不明 不明 不明	0	×	崩落により墓室の大半は失われており、床面と壁面の一部のみ確認できる。埋土中からは蔵骨器片が多く出土したが、原位置は不明である。(墓口方位:N-2°-E)
24	図版18	第21号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	不明	22407.442 25833.359 88.592	不明 不明 不明	不明	不明	不明	不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	0	×	明確な墓の形状は確認できないが、蔵骨器が集中 する範囲を確認した。陶製御殿形蔵骨器(素焼き) の銘音は「康熙六十一年」(1722年)、陶製無頭甍形 の蔵骨器の銘書には「乾隆」(1736~1795年)の年 号が記されていた。(墓口方位:不明)
25	図版19	第22号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25830.386 22401.332 86.248	(166) 110 不明	不明	×	方形	6.46	240 269 (148)	1 1 1	×	×	崩落により天井部分は失われている。(墓口方位: S-36°-W)
26	図版20	第23号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25820.505 22405.129 86.383	不明 39 不明	基盤を 掘込む	×	方形	0.59	117 50 (66)	_ _ _	0	×	墓室は小振りである。陶製甕形の蔵骨器を原位置で確認した。(墓口方位:\$-33*-W)
27		第24号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25818.231 22405.496 86.282	24 16 不明	基盤を 掘込む	×	楕円形	0.54	69 78 不明	_ _ _	×	×	墓室は小振りである。削平により墓室右側壁面が 残存するのみである。(墓口方位: N-48*-W)
28	第14図 図版21	第25号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25840.078 22402.095 84.542	62 58 不明	基盤を 掘込む	×	楕円形	1.61	148 154 (113)	_	0	×	墓室は小振りである。奥壁側のタナに陶製無頸甍 形蔵骨器が原位置で確認できた。タナ床面からは 陶製人形2点・銭貨・数点の貝類遺殻が出土した。 (墓口方位:N-2'-E)
29	第15図 図版22	第26号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	石積み	25825.948 22411.745 91.085	88 62 (45)	基盤を掘込む	0	方形	4.27	239 209 (148)	1 _ _	0	×	タナ及びシルハラシドゥクマから陶製御殿形4 基、陶製軒付敷形法の蔵骨器が八骨を含んだ状 態で出土した。大半が崩落により破損し、原形を 留めていない。サンミデーは石敷きを施し、上面 に人骨を含む蔵骨器片が多く出土した。墓庭から 骨片を含んだ壺が1点出土した。(墓口方位:S52' W)
30	図版23	第27号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25819.536 22405.427 86.332	32 54 不明	基盤を 掘込む	×	方形	0.87	159 55 (112)	<u>2</u> _	0	×	陶製御殿形蔵骨器(コバルト)が原位置で出土した。(慕口方位:S-57°-W)
31	第16図 図版24	第28号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を掘込む	25816.033 22415.681 87.134	103 62 118	基盤を掘込む	×	方形	3.39	174 195 121	<u>1</u>	0	0	墓庭は第29号墓と共有。石カキは第13号墓との境界となる。サンミデーはないが塞口前床面に遠球石灰岩の網礫が広がる。シルハラシドゥクマからは棺箱に北向きの姿勢の一次葬人骨が出土した。タナやシルハラシドゥクマからは破損した蔵骨器が10基以上出土した。墓庭石カキ際から頭を西にした仰向けの状態の旧日本軍人とみられる人骨「金山出石寺」線入り金属製品を伴う)が出土した。なお、同人骨は、担当部署へ引き渡した。(墓口方位:544°W)
32	第17図 図版25	第29号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25813.614 22416.707 87.260	80 71 144	基盤を 掘込む	×	方形	3.15	164 192 (81)	_ _ _	0	×	墓庭は第28号墓と共有。左カキは第30号墓の石カ キとの境界となる。明瞭なタナはないが奥壁側の 床面はやや高まりを持つ。人骨を含む蔵骨器が約 17基あり、壁面に沿ってコの字状に直立して置か れている。(墓口方位:S-82*-W)
33	第18図 図版26	第30号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25810.825 22419.885 87.366	199 71 137	基盤を 掘込む	×	不定形	1.31	109 140 93	_ _ _	0	×	墓庭は第31号墓と共有。右カキは第29号墓の左カ キとの境界となる。墓庭には礫を並べ、右カキの 地山壁面との間に暗渠を設けている。また暗渠は 墓口前から第31号墓側に伸び、第31号墓の暗渠と 合流する。(墓口方位:S62°-W)
34	第19図 図版27	第31号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25808.915 22420.424 87.598	90 94 134	基盤を 掘込む	×	方形	2.79	154 181 124	<u>1</u> _	0	×	墓庭は第30・32号墓と共有。墓口前に切り石が置かれ、墓庭との境界線を成している。墓庭の棚り方には暗渠が設けられている。墓口前で第30号墓と繋がっており、それぞれの本線と支線を合わせた暗渠の平面形はH字状を成す。(墓口方位:S-67'-W)

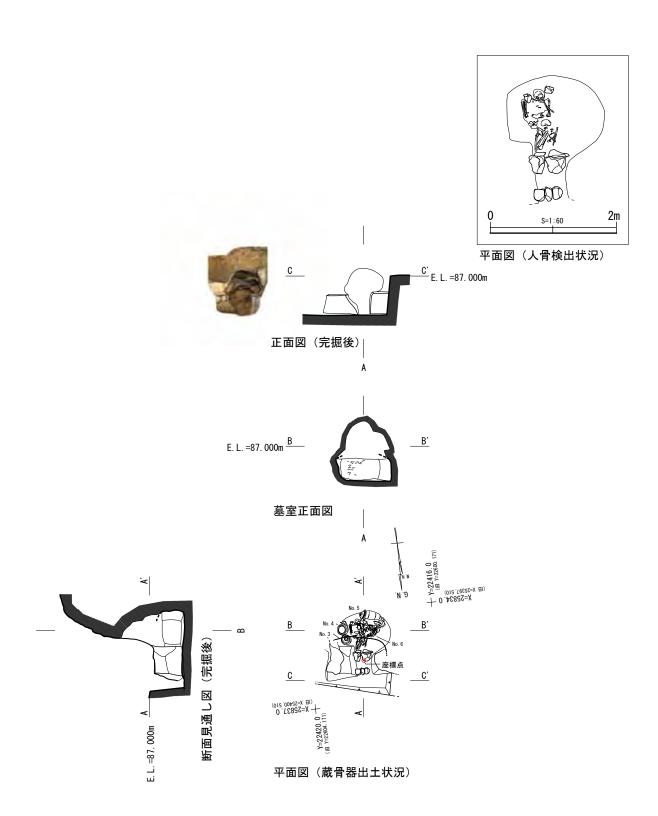
$\overline{}$			-le lele		豊田の	座標値(m)	墓口	虚 の	.H. 3. 3			墓室	タナ数			
	挿図番号 図版番号	墓番号	立地 場所 の基盤	外観 形式	墓口の 構築 方法	X座標 Y座標 Z座標	奥行 幅 高さ	庭の 構築 方法	サンミ デー の有無	墓室の 平面形	墓室 (㎡)	奥行 幅 高さ	奥 右 左	蔵骨器 有無	一次葬 の有無	備考
35	第20図 図版28	第32号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	石積み	25806.820 22421.301 87.637	56 64 96	基盤を掘込む	×	方形	2.87	168 171 (108)	1 _ _	0	0	墓庭は第31・34号墓と共有。シルハラシドゥクマから棺箱に入った状態の一次準人骨が出土した。 頭部は南を向いている。胸骨直上に琉球石灰岩礫 2点が載っている。タナ及びシルハラシドゥクマ 南側からは人骨を含む蔵骨器が約8基出土した。 塞庭には細い暗葉が設けられ、第31号墓暗渠の方 向に伸びる。(墓口方位:S-66°-W)
36		第33号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	不明	25808.346 22412.458	不明 不明 不明	不明	不明	不明	不明	不明 不明 不明	不明 不明 不明	0	×	歯・蔵骨器片・瓶子・碗・簪などの遺物が集中する 状況は確認できるが、墓の平面形は不明である。 (墓口方位:不明)
37	第21図 図版29	第34号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25803.136 22420.843 87.879	95 68 123	基盤を 掘込む	0	方形	2.66	165 161 115	<u>1</u>	0	×	墓庭は第32·39号墓と共有。サンミデーは礫を組んで構築する。蔵骨器は5基出土した。墓口左側壁際に暗渠が設けられ、ニービの礫が溝内に入っている。(墓口方位:N-89°-W)
38	図版30	第35号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と 石積み を併用	25797.374 22423.919 89.811	152 60 115	盛土を して 平場を 成形	0	方形	1.32	132 100 (108)	=	0	×	墓庭下に第35-1号幕が埋没し、盛土で上面を平坦 にすることで床面を成形している。墓口に頭骨を 含む人骨と蔵骨器片が出土する。(墓口方位:S-41° -W)
39	第22図 図版31	第35-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	石積み	25797.783 22421.450 88.611	98 60 (90)	基盤を 掘込む	0	方形	4.05	226 179 (196)	3 1 1	0	×	天井部は崩落し、壁面は一部残存している。シルハラシドゥクマには琉球石灰岩礫を敷き詰めている。シルハラシドゥクマ及びタナ上には蓋を中心とした蔵骨器片が少量出土した。暗渠は地山を掘り込み、溝内に琉球石灰岩礫を入れ込んでいる。第351号墓が焼絶あるいは埋没後に盛土を施し、第35号墓を構築している。(墓口方位: N-65*-M
40	第23図 図版32	第36号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	基盤を掘込む	25795.435 22421.068 88.656	125 75 (102)	基盤を掘込む	×	方形	(4.39)	(179) 274 不明	1 1 1	0	×	第二の両側に石積みが成されていたと考えられる。天井部は全て崩落し、壁面も一部のみ残存している。奥壁のタナは低く削平され、壁面は南に 個以上掘り広げられ、さらに丘陵内部に続く。左側タナ上面からは三叉の勢・燃えた衣類が出土した。シルハラシドゥクマは藁口から一段低い位置にある。なお、本藁周辺の図を第23図に掲載した。(藁口方位:N63°-W)
41	第23図 図版32	第37号墓	ニービ・ クチャ 互層	不明	基盤を 掘込む	25792.411 22420.231 89.846	105 62 (55)	基盤を 掘込む	0	方形	1.76	130 135 不明	1 -	×	×	天井部は全て崩落し、壁面は一部のみ残存している。タナ中央には深さ15cmの円形の穴が設けられ、左側にも薄い円形の門みが確認できる。嘉口前は切り石を並べ、両側は地山を同じ高さに削り残している。第37-1号幕が境絶あるいは埋没後に盛土をして第37号幕を構築する。なお、本幕周辺の図を第23図に掲載した。(幕口方位: N-70´-W)
42	第23図 図版33	第37-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25793.277 22418.895 88.744	67 53 不明	基盤を 掘込む	0	楕円形	0.71	75 95 (83)	_ _ _	0	×	墓室は第37号墓の墓口下層に位置する。墓室は小振りである。墓室はホービの90×60cmの平石を配する。下層には第43号墓が埋没している。なお、本墓周辺の図を第23図に掲載した。(墓口方位: N-64-W)
43	図版34	第38号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25784.068 22419.221 88.505	101 58 不明	基盤を 掘込む	×	方形	3.03	158 192 127	_ _ _	0	×	第38号墓右カキに掘り込みがあり、第38-1号墓が 位置する。墓庭は第40号墓と共有する。(第38号墓 口方位: N-33'-W 第38-1号墓口方位: N-77'-W)
44	図版34	第38-1号 墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25788.425 22417.987 88.467	33 29 不明	基盤を 掘込む	×	不定形	0.19	38 56 不明	1 1 1	×	×	
45	第24図 図版40	第39号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25801.419 22421.393 87.831	30 63 121	基盤を 掘込む	×	方形	0.64	106 60 79	_ _ _	0	×	左カキは地山を削り残して構築する。左カキ際に 溝を設けている。墓庭は第30・31・32・34号墓と共 有する。墓室は小振りである。蔵骨器が地山上面 に2基直立した状態で出土した。(墓口方位:N-75・ -W)
46		第40号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25805.414 22418.404 88.670	116 66 69	基盤を 掘込む	×	不明	_	不明 (143) 不明	_ _ _	×	×	崩落が著しく墓室は大きく失われている。崩落の 影響は第61号墓前面まで広がっている。墓室の床 上面からは板材が出土した。幕庭は第38号墓と共 有する。(墓口方位:N-57*-W)
47	図版40	第41号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25799.783 22422.320 88.424	94 56 108	基盤を掘込む	×	方形	2.16	193 112 139	1 1 1	0	×	石カキは地山を削り残して構築する。墓庭は第 351:36:37-1号墓と共有する。両側壁のタナは奥 壁側に比べてやや低くなっている。墓庭を共有し ているため、明確な遺物の区分けはできないが、 墓庭からは陶磁器片や棺箱の板材が出土した。な お、本墓周辺の図を第23図に掲載した。(墓口方 位:S-16'-W)
48	図版41	第42号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を掘込む	25792.116 22419.125 88.630	108 67 (127)	基盤を掘込む	×	方形	0.66	76 93 (83)	_ _ _	0	×	左カキは地山を削り残して構築する。墓室は小振りである。墓室には方形の切り石を2個配置して 相箱や破骨器を置く台座を設けている。墓庭には 伏せた蔵骨器で北方向に続く暗渠を構築してい る。その際、北隣にある第73号章左カキの石列を 一部削平したものと考えられる。なお、本墓周辺 の図を第23図に掲載した。墓口方位:S-30 - W)
49	図版42	第43号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25793.381 22418.886 88.390	- -	基盤を 掘込む	×	楕円形	0.51	66 81 (68)	_ _ _	×	×	左カキは地山を削り残して構築する。第37-1号墓 の墓口下に構築された小振りの墓である。天井部 及び壁面は大きく失われ、床面と壁面の立ち上が り部分のみが残存する。なお、本墓周辺の図を第 23図に掲載した。(墓口方位:N-54°-W)
50	図版42	第44号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25794.036 22416.213 88.090	57 66 (48)	基盤を 掘込む	×	方形	0.96	72 134 (32)	_ _ _	×	×	天井部及び壁面は大きく失われ、床面と壁面の立ち上がり部分のみが残存する。墓室は小振りである。墓室はから精神の板材が出土した。人骨点、こはで1点が板材上面から出土した。墓庭は第73・74号臺と共青する。なお、本室周辺の図を第23図に掲載した。(墓口方位:S46°-W)
51	第25図 図版43	第45号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 据込む	25824.834 22420.992 93.192	19 62 82	基盤を 掘込む	0	楕円形	0.43	43 92 76	_ _ _	0	×	石カキは地山を削り出して構築する。墓口は第46 芍薬の嘉室奥壁に当たる地山の期)込みにより 構築されている。墓庭は第46号墓の廃絶あるいは 期没後さらに盛土して床面を形成している。墓室 は小振りである。墓室内からは石製家形蔵骨器や 本土産陶器を蔵骨器に転用したと考えられる資 料が出土した。(墓口方位:S31°-W)

			立地		墓口の	座標值(m)	墓口	庭の	サンミ			墓室	タナ数			
$ \setminus $	挿図番号 図版番号	墓番号	場所 の基盤	外観形式	構築方法	X座標 Y座標 Z座標	奥行 幅 高さ	構築 方法	デー の有無	墓室の 平面形	墓室 (㎡)	奥行 幅 高さ	奥 右 左	蔵骨器 有無	一次葬の有無	備考
52	第26図 図版43	第46号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を掘込む	25823.308 22419.802 91.772	54 72 (50)	基盤を掘込む	0	方形	6.3	192 328 (208)	1 1 1	0	×	両カキとも地山を削り出し、琉球石灰岩の石積み で構築する。サンミデーは琉球石灰岩の石組みで 構築されている。奥壁のタナは中央を削り残すこ とで左右箇所に分かれている。奥タナ、左右タナ とも比較的高い位置に設けられる。墓庭から出土 した蔵骨器の銘書に「康熙ま七年』(1688年) の年号 が記されていた。(墓口方位:5-49°-W)
53	第27図 図版44	第47号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を掘込む	25819.474 22422.090 91.689	93 57 (64)	基盤を掘込む	×	方形	4.3	166 259 (128)	1 2 1	0	×	両カキとも地山を削り出して構築する。右カキに 小振りの掘り込みが設けられている。内部から煙 管分腫首と吸い口が出土した。左右のタナの角部 分は一部不整形に掘り広げられている。両タナと も比較的高い位置に設けられる。薬庭から蔵骨 器片や瓶子が出土した。歳骨器片は1箇所にまと まって出土した。(墓口方位:S43°-W)
54	第28図 図版45	第48号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25816.795 22423.499 92.115	31 93 (71)	基盤を 掘込む	0	楕円形	2.18	184 200 (174)	1 -	0	×	両カキとも地山を削り出して構築する。左カキに 第757墓が構築され、墓庭を共有する。墓室から は原位置を保った歳骨部が出土した。例れた歳骨 器の上に板状のサンゴ石が載っている状況が確 認できた。墓庭から歳骨器片、瓶子・猪口・煙管・ 管・鏡が出上した。鏡は保存処理を施した。(墓口 方位:S-48'-W)
55	第29図 図版46	第49号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と 石積み を併用	25784.329 22437.969 98.726	208 59 101	基盤を掘込む	0	方形	3.82	152 251 155	1 1 1	0	×	両カキとも地山の削り出しで右カキは琉球石灰 岩石積みで構築されている。左カキに第64号墓が 構築され、墓庭を共有する。サンミデーは琉球石 灰岩の石組みで右側角にカビアンジドゥクマが 設けられている。墓庭からは頼子第1-指輪・板 材・管を伴う毛髪が土坑内より出土した。毛髪は 保存処理を施した。また、戦争遭物なども得られ ている。(墓口方位:S49'-E)
		第50号墓	ニービ・ クチャ 互層	_	_	25814.862 22425.052	_	_	_	-	_	_	-	-	_	調査当初第50号墓とした範囲は第51号墓の一部 (墓庭)であることが判明。第50号墓は欠番とし た。
56	第30図 図版47	第51号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 据込む	25815.991 22425.733 92.717	40 60 (40)	基盤を 掘込む	0	方形	1.47	137 107 (81)	_ _ _	0	0	右カキは地山を削り出して構築する。サンミデーは琉球石灰岩の石組みで構築されている。墓室床面上から一次葬人骨が出土、蓍を伴う毛髪が伴っていた。毛髪は保存処理を施した。第51号墓は第75号墓廃絶あるいは埋没後、上面に塞土をして床面を成形している。(墓口方位:S-25°-W)
57	図版48	第52号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25816.348 22427.934 92.860	109 61 (126)	基盤を 掘込む	×	(方形)		不明 259 不明	<u>1</u>	0	×	右方キは地山を削り出して構築する。墓室の東側は別の墓もしくは壕が設けられているとみられる。墓室からは精口や本土産殿器片が出土した。墓庭から蔵骨器片・銭貨(寛永通宝)・貝類遺殻が出土した。墓庭は第53・54号墓と共有する。(墓口方位:S31-W)
58	図版49	第53号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25811.790 22428.062 92.670	111	基盤を 据込む	×	(方形)	(1.26)	200 63 (79)	_ _ _	0	×	墓庭は第54-55号幕と共有する。墓室は天井部及び夷壁を除く壁面は大きく失われている。(第5号 号幕と共に豪室が残存した四み部の下原康年万県 岩石石積みが加えられ、測査対象外(古墓N)の左カキとして改変されていた。)(墓口方位:N-76・W)
59	図版49	第54号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25810.288 22427.818 92.690	59 81 (31)	基盤を 掘込む	×	楕円形	0.82	70 129 71	_ _ _	0	×	墓庭は第53・55号墓と共有する、天井部及び興壁 を除く壁面は大きく失われている。墓室は小擬り である。(第53号墓と共に墓室が残存した四み部 分に琉球石灰岩の石積みが加えられ、調査対象外 (古墓N)の左カキとして改変されていた。)(墓口 方位:N-73'-W)
60	図版49	第55号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25808.456 22427.931 92.780	35 53 (28)	基盤を 掘込む	×	方形	1.26	210 94 (89)	_ _ _	0	×	墓庭は第53・54号墓と共有する。天井部及び壁面 の一部は失われている。床面の奥側は一段高くな り、蔵骨器が2基直立した状態で出土した。掘削調 養時に幕ロ周辺の埋土中から誊・土製人形が出土 した。(幕口方位:N-58*-W)
61	図版50	第56号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25807.243 22430.702 94.440	107 29 (64)	基盤を 掘込む	×	楕円形	1.43	88 165 (77)	_ _ _	0	×	墓室からは直立した蔵骨器が3基出土した。その うち1基は小型でつまみ付の平らな蓋を持つ。蔵 骨器が変置されていた床面はそれぞれの大きさ に合わせて掘り窪められていた。墓室は墓口を 含めると左壁が大きく彫らむいびつな楕円形に なっている。(墓口方位:N-66'-W)
62	図版50	第57号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25804.345 22428.394 92.230	107 125 132	基盤を 掘込む	×	方形	2.86	157 182 (112)	 - -	0	×	墓室の天井部は崩落により失われている。埋土中から蔵骨器片が大量に出土したが原位置を保った遺物は出土しなかった。(墓口方位:S-75*-W)
63	図版51	第58号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25793.769 22431.154 93.770	_ _ _	基盤を 掘込む	×	方形	2.01	183 110 (147)	_ _ _	0	×	崩落が著しく残存状態が良くない。墓室内の崩落 土中からは人骨を伴う蔵骨器片が大量に出土したが、原位置を保った遺物は出土しなかった。(墓 口方位:S-53'-W)
64	図版51	第59号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25790.489 22432.750 97.060	111	不明	_	(楕円形)	_	(82) (83) (72)	_ _ _	0	×	墓口を含めた床面の半分、天井部と壁面が崩落により大きく失われているため、明確な墓室の平面 形や墓口の方向は不明である。墓室からは小型の 蔵骨器が3基出土した。(墓口方位:N-39°-W)
65	図版51	第60号墓	ニービ・ クチャ 互層	_	_	25785.922 22429.587 92.880	-	_	_	_	_	_	_	0	×	崩落が著しく原形を保っていない。崩落土には蔵 骨器片が含まれている。
66	図版51	第61号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25784.647 22426.547 93.930	72 58 (101)	不明	×	(方形)		(221) (322) (114)	不明 不明 不明	0	×	崩落が著しく墓口と墓室左壁面のみ残存する。墓室の平面形は残存状況から方形と推測できる。 墓口には琉球石灰岩礫が閉塞石として積まれていた。墓口から北側で墓庭に相当する範囲は第40 号墓の崩落の影響を受け、失われる。(墓口方位: N-64-W)
67	第31図 図版 52·53	第62号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25784.112 22423.076 94.086	109 62 (87)	基盤を 据込む	0	楕円形	3.51	111 282 (129)		0	×	墓室からは直立した状態を含め、蔵骨器が16基出 土した。その他、瓶子便前焼含む・猪口・煙管など が出土した。墓口は琉球石灰岩とニービの礫で閉 塞されていた。墓庭は崩落により失われている。 (墓口方位:N-34°-W)

\setminus	挿図番号	** ** 17	立地	外観	墓口の	座標値(m)	墓口	庭の	サンミ	墓室の	墓室	墓室	タナ数	蔵骨器	一次葬	No. at
	図版番号	墓番号	場所 の基盤	形式	構築 方法	X座標 Y座標 Z座標	奥行 幅 高さ	構築 方法	デー の有無	平面形	(m)	奥行 幅 高さ	奥 右 左	有無	の有無	備考
68	第32図 図版54	第63号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25779.293 22422.391 94.229	105 54 (68)	基盤を 掘込む	×	方形	3.47	180 193 (118)	1 1 —	0	×	塞室床面から直立した状態を含め蔵骨器が基出 土した。内訳は沖縄産陶器(水甕)を蔵骨器に転用 した資料基、陶製無頭甕形蔵骨器(ボージャー)3 基である。墓口の前方に円形の土坑が掘り込まれ ている。脊椎動物遺体(豚の頭部)が内部から出土 した。(第口方位:N-66・W)
69	第29図 図版46	第64号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤と 石積み を併用	25783.191 22442.600 98.670	70 61 (146)	基盤を 掘込む	0	方形	_	不明 不明 不明	不明 不明 不明	0	×	第49号墓の左カキに構築されている。サンミデ は琉球石灰岩の石組みで構築され、右角にカビア ンジドゥクマが設けられている。墓口前から歩兵 銃、墓室から防毒マスク・箱入りの弾が出土した。 墓庭は第49号墓と共有する。(墓口方位:S-27°-W)
70	図版55	第65号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25777.278 22437.382 98.830	51 43	基盤を 掘込む	×	方形	0.2	46 44 41	_ _ _	×	×	左カキは地山を削り出し構築する。墓室は小振り である。琉球石灰岩が2個墓口前に積まれ、閉塞さ れていた。(墓口方位:S-26°-E)
71	図版55	第66号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25775.245 22434.922 97.930	180 58 (28)	不明	×	方形	_	187 (178) (199)	(1) (1) (1)	0	×	墓室右側は建物の基礎工事により攪乱を受けている。コの字状のタナが1段巡っていたと推測できる。墓口には球右灰岩が閉塞石として使用されていた。(墓口方位:S-IT-E)
72		第67号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	不明	25773.869 22429.960 98.070	不明 不明 不明	不明	-	(方形)	-	(206) (258) (167)	3 1 1	0	×	墓室の南半分は建物の基礎工事により攪乱を受け、北側半分が残存するのみである。墓口は南を向くと推測できる。(墓口方位:S-19°-E)
73		第68号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25772.759 22427.388 98.390	75 46 (15)	不明	×	方形	0.31	75 41 (67)	1 _	0	×	墓室は小振りである。幕口の南側は建物の基礎工事により攪乱を受ける。(墓口方位:S-39'-E)
74	第33図 図版56	第69号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25770.364 22426.022 88.011	156 62 (91)	基盤を 掘込む	×	方形	5.42	242 224 (198)	3 1 1	0	×	行カキは地山を削り出し構築している。左側は建 物の基礎工事により攪乱を受けている。塞室右壁 に第70号塞につながる通路が設けられている。塞 室から蔵骨器12基、鉄兜、陶器片やガラス版、羨道 から水筒が出土した。塞延からは人骨と鉄が出土 した。(暴口方位:S-42°-E)
75	第34図 図版57	第70号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 据込む	25767.405 22422.795 97.516	188 64 (62)	不明	0	方形	4.71	170 277 (180)	2 1 1	0	×	左カキは地山を削り出し構築している。墓室両壁には第69・71号墓につながる通路が設けられている。義道部、サンミデーの縁は琉球氏内岩の石組みで構築されている。墓室床面より高い位置で人骨が出土した。その周囲からは戦争遺物が出土したことなどから、旧日本軍人とみられる。(墓口方位:S-30°E)
76	第35図 図版58	第71号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を掘込む	25765.343 22420.472 97.911	113 56 47	不明	0	方形	3.35	164 204 (128)	1 1 1	0	×	右カキは地山を削り出し構築している。サンミデーの石組みは琉球石灰岩の石組みで構築されている。墓室の左壁には東隣の第70号墓につ窓がる道路が設けられている。墓室内からは蔵骨器の蓋・瓶が出土し、墓室の掘り込みからは歯ブラシ・石鹸箱〔「六四〇三 一法師隊 船越陸郷 錦入り)・もの之〔「天口軍曹」などの銘入り)・銭貨が出土した。(墓口方位、5.36°、E)
77	図版59	第72号墓	ニービ・ クチャ 互層	_	_	25791.435 22417.258 88.540	_	_	1	1	_	_	_	0	×	蔵骨器が13基直立して集中している箇所があるが、周囲の状況から墓室ではないと考えられる。
78	図版59	第73号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25794.847 22415.086 87.940	— 38 (37)	基盤を 掘込む	×	方形	0.37	92 40 (26)	_ _ _	0	×	墓室は小振りである。墓庭は第44·74号墓と共有 する。墓室埋土中から緒口が出土した。なお、本墓 周辺の図を第23図に掲載した。(墓口方位:S42° -W)
79	図版60	第74号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25792.866 22417.250 88.250	35 87 88	基盤を 据込む	×	方形	0.59	65 91 (77)	1 1 1	×	×	左カキのみ琉球石灰岩の石積みで構築している。 豪室は小振りである。シルハラシドゥクマから棺 箱を置くための琉球石灰岩小碟が出土した。豪庭 は第44・73号墓と共有する。なお、本嘉周辺の図を 第23図に掲載した。(墓口方位:S-44*-W)
80	図版60	第75号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25813.280 22424.074 92.030	70 64 (62)	基盤を 掘込む	×	方形	0.87	128 68 (56)	<u>1</u> _	0	×	第48号墓の左カキに構築されている。墓庭は第48 号墓と共有する。第75号墓は廃絶あるいは埋没後 に盛土をして第51号墓を構築している。(墓口方 位:N-67・W)
81	第36図 図版61	第76号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25784.938 22413.910 88.343	116 58 88	基盤を 掘込む	×	方形	2.81	155 126 93	_ _ _	0	×	平成22年度、工事開始後に発見され緊急対応にて 確認調査、墓口及び墓庭は埋没していた。墓室に は、8基の蔵骨器が安置されていた。墓口より銭 貨等が出土。(墓口方位:N-22'-E)
82	第37図 図版 62·63	第77号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25839.402 22414.477 85.440	76 46 —	不明	×	楕円形	0.34	86 40 —	_ _ _	0	×	平成20年度、配水管工事に伴い緊急対応にて確認 調査。全体的に提乱が著しく詳細は判然としな い。3 体分の人骨が集中する掘り込みを確認。(墓 口方位:N-13'-E)
83	第37図 図版 62·63	第78号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25839.452 22412.419 84.960	48 52 —	不明	×	方形	1.9	100 190 —	_ _ _	0	×	平成20年度、配水管工事に伴い緊急対応にて確認 調査。全体的に提乱が著しく詳細は判然としな い。陶製無郵甍形蔵骨器、転用蔵骨器や中国産磁 器、貝類遺殻などが出土。(墓口方位:N·13°-E)
84	第37図 図版 62·63	第79号墓	ニービ・ クチャ 互層	掘込墓	基盤を 掘込む	25839.905 22411.506 85.400	_ _ _	不明	×	不定形	_	_ _ _	_ _ _	0	×	平成20年度緊急対応にて確認調査。全体的に攪乱 が著しく詳細は判然としない。1 個の琉球石灰岩 と人骨片が出土。(墓口方位:N-13°-E)

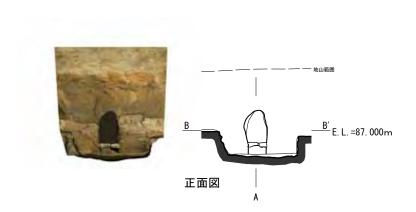


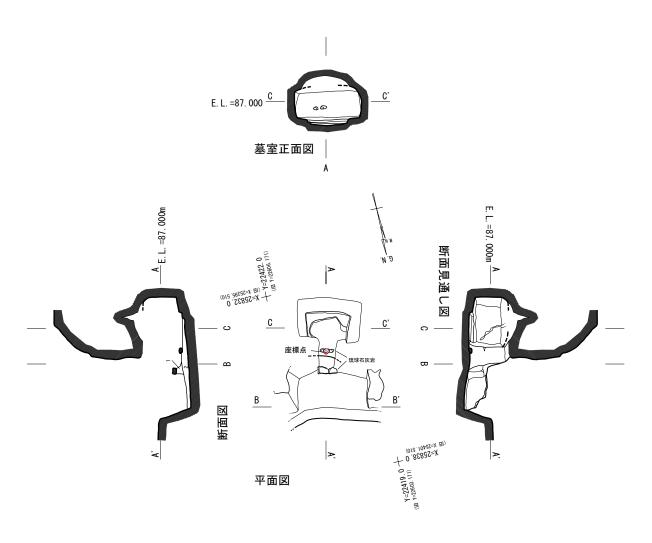
第5図(図版5) 第1·2号墓





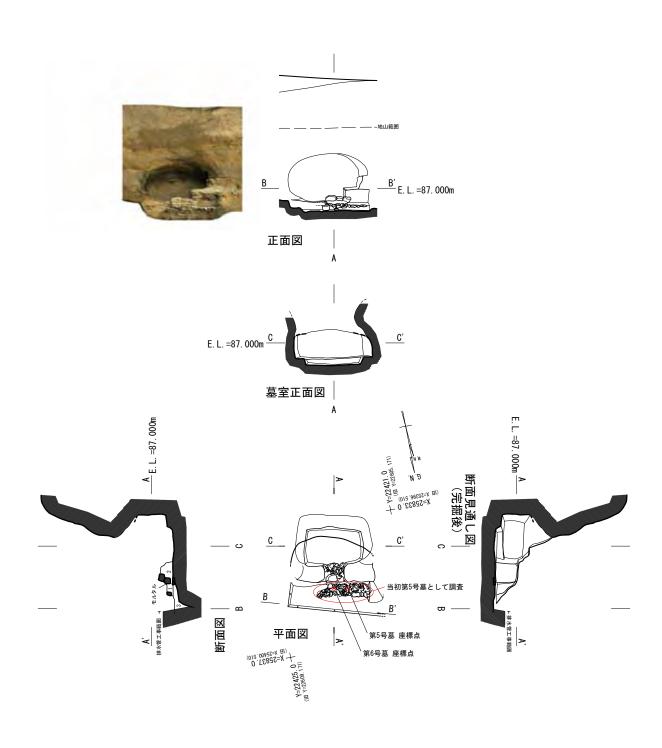
第6図(図版6) 第3号墓





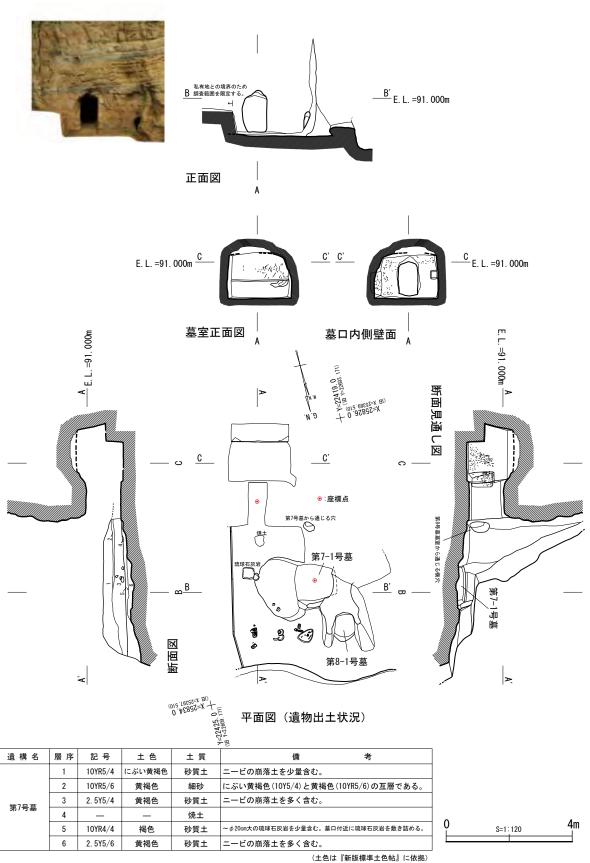
遺 構 名	層序	記 号	土 色	土 質	備	考			
第4号墓	1	10YR6/3	にぶい黄橙色	粘質土	ニービの崩落土を少量含む。		0		4m
弗 4万基	2	2. 5Y6/2	灰黄色	粘質土			Ľ	S=1:120	<u></u>
	-				(土色は『新月	版標準土色帖』に依拠)			

第7図(図版6) 第4号墓



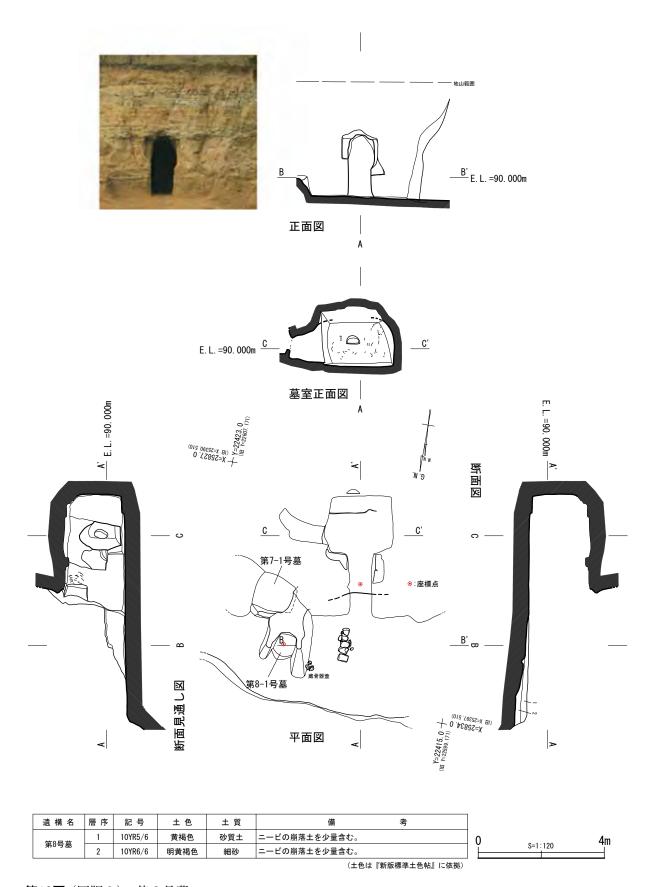
遺構名	層序	記 号	土 色	土 質	備考	
	1	2. 5Y6/2	灰黄色	粘質土		
第6号墓	2	2. 5Y6/1	黄灰色	粘質土	~ φ 20cmの琉球石灰岩礫を含む	
	3	10YR6/2	灰黄褐色	粘質土		
					(土色は『新版標準土色帖』に依	拠)

第8図(図版7) 第6号墓

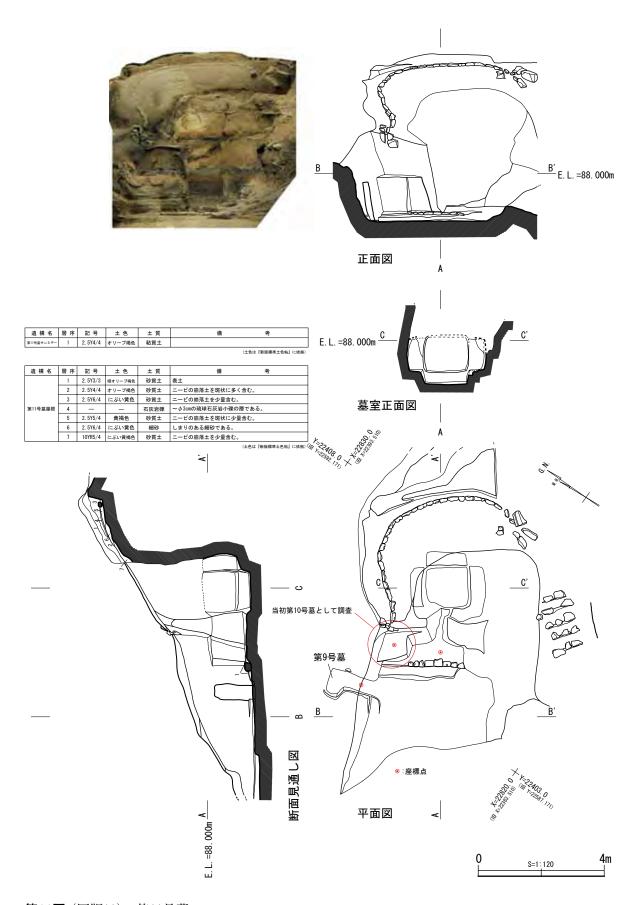


第9図(図版8) 第7号墓

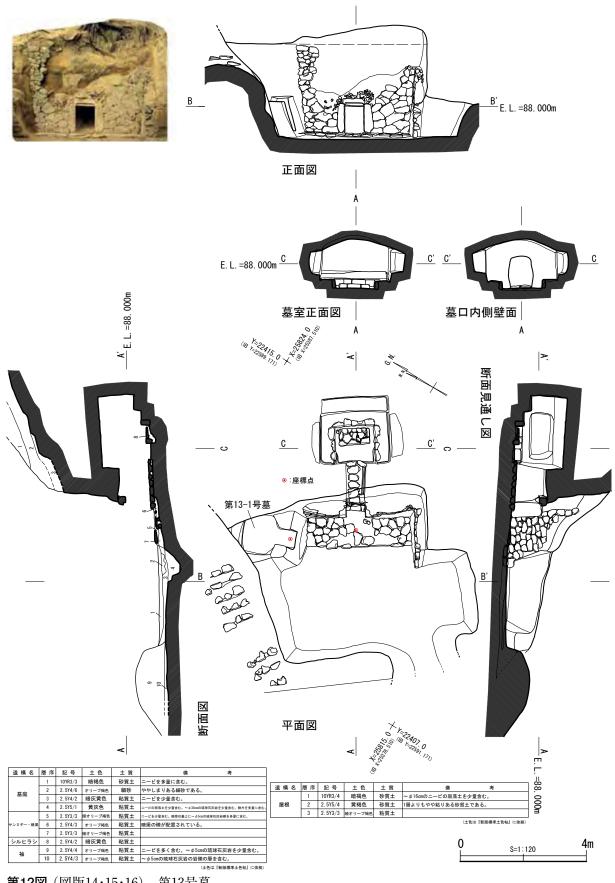
(工円は『析版保华工円和』に依然



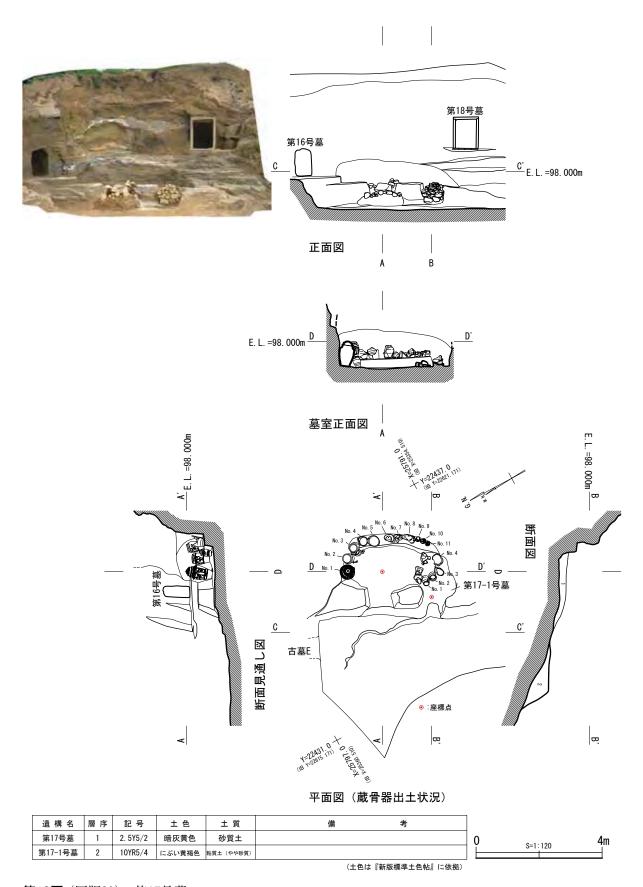
第10図(図版9) 第8号墓



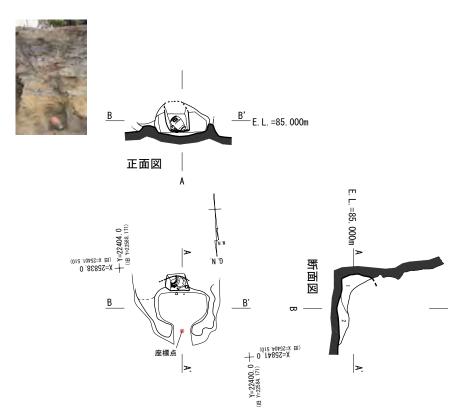
第11図 (図版11) 第11号墓



第12図 (図版14·15·16) 第13号墓



第13図 (図版39) 第17号墓



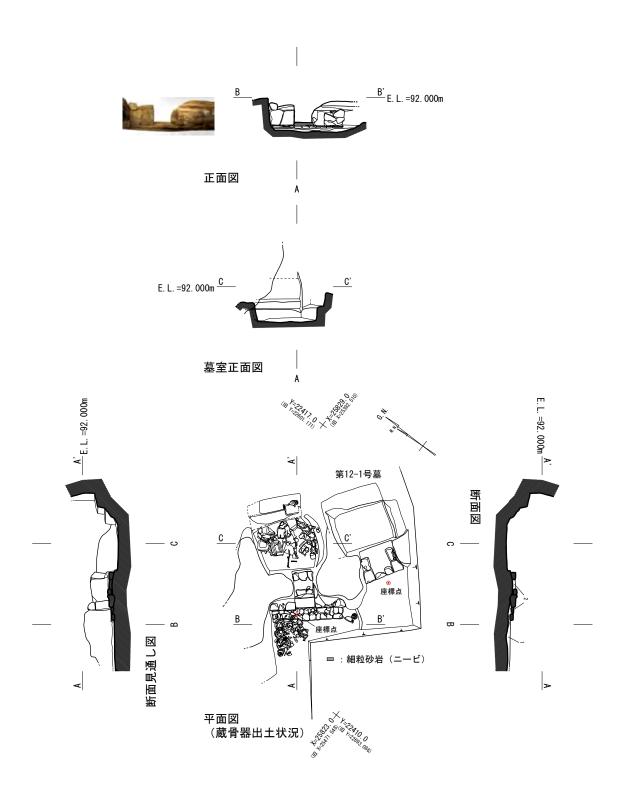
平面図 (蔵骨器出土状況)

遺構名	層序	記号	土 色	土 質	備考
第25号墓	1	2. 5Y4/6	オリーブ褐色	砂質土	ニービの崩落土を多量に含む。
界20号基	2	10YR4/4	褐色	粘質土	1層よりもやや粘性ある砂質土である。



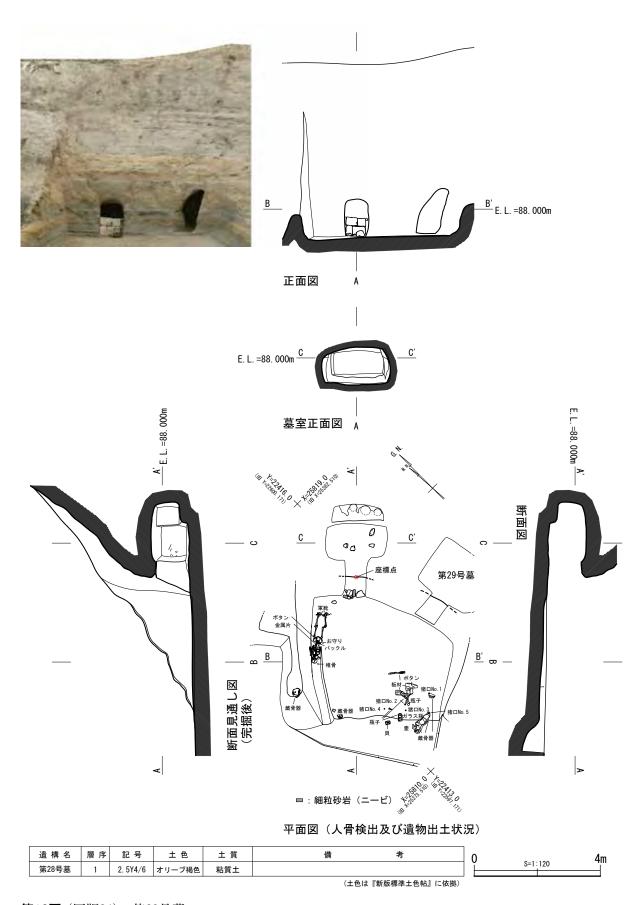
(土色は『新版標準土色帖』に依拠)

第14図 (図版21) 第25号墓

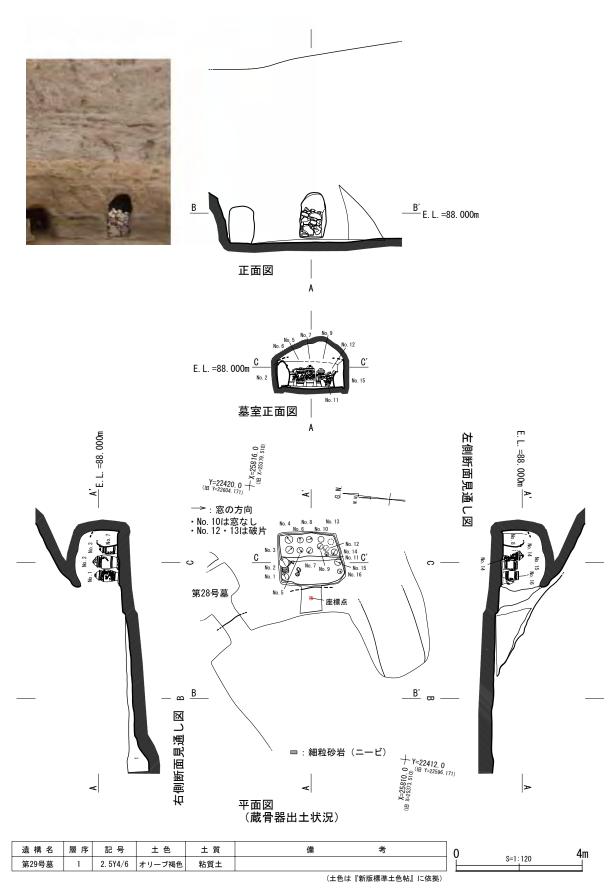


遺構名	層序	記号	土 色	土 質	備	考
笠00日苔	1	2. 5Y4/4	オリーブ褐色	砂質土	掘り方埋土である。	
第26号墓	2	2. 5Y4/6	オリーブ褐色	砂質土	やや粘りある砂質土。	
						(土色は『新版標準土色帖』に体

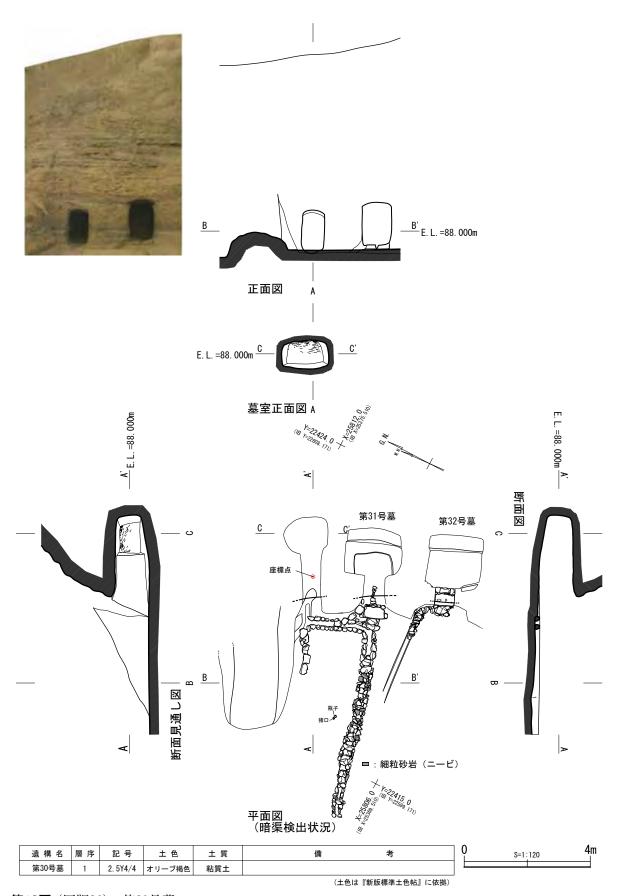
第15図 (図版22) 第26号墓



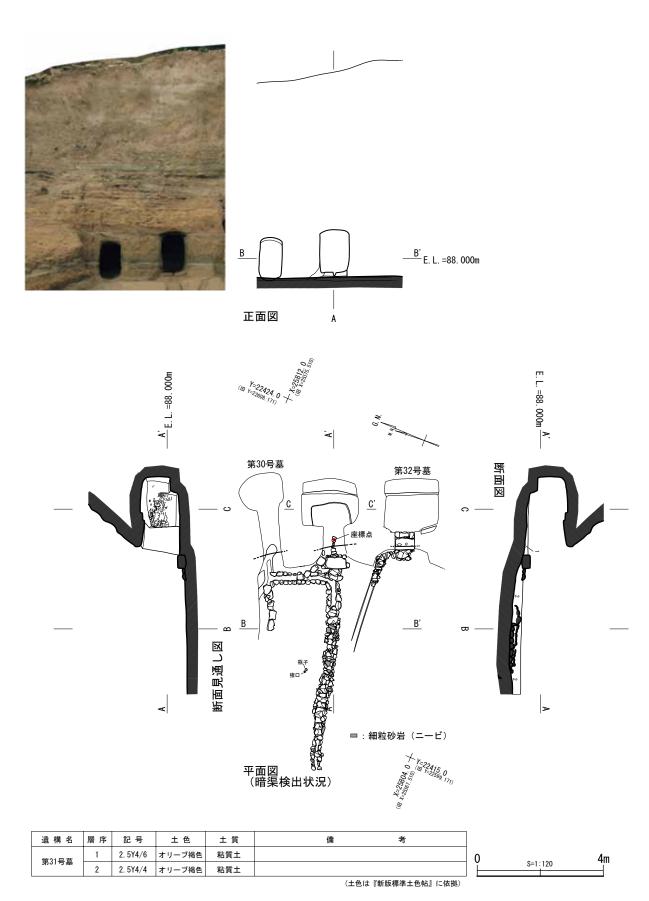
第16図 (図版24) 第28号墓



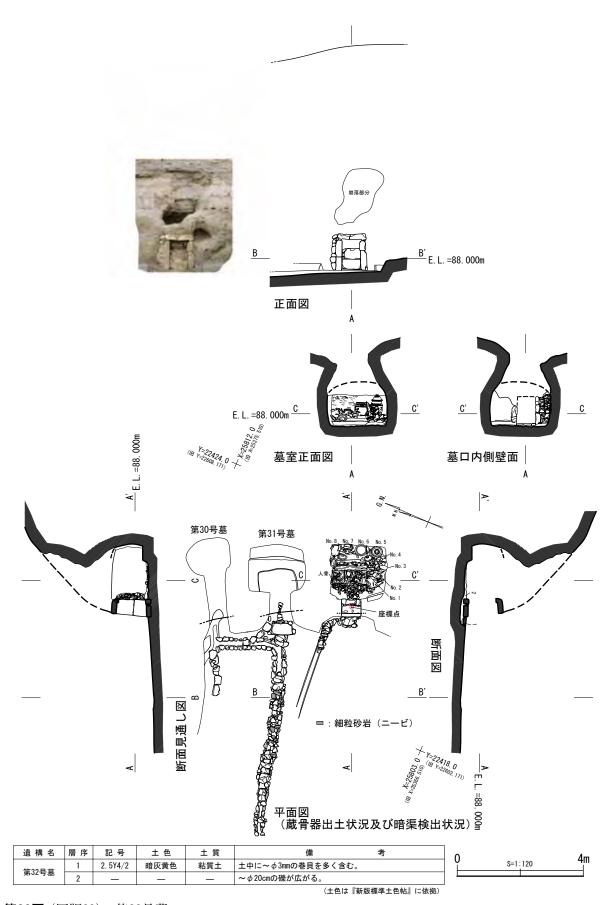
第17図 (図版25) 第29号墓



第18図 (図版26) 第30号墓

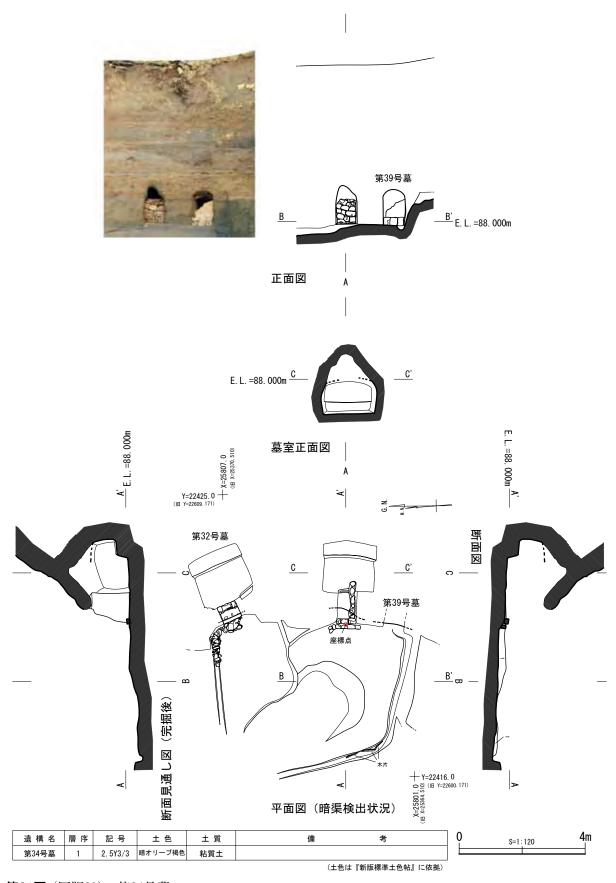


第19図 (図版27) 第31号墓

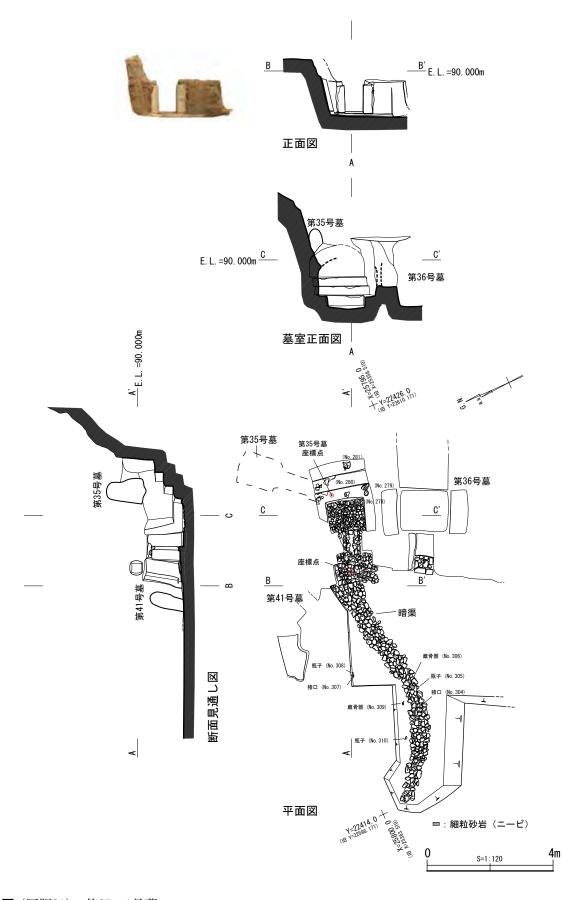


第20図 (図版28) 第32号墓

— 38 —



第21図 (図版29) 第34号墓

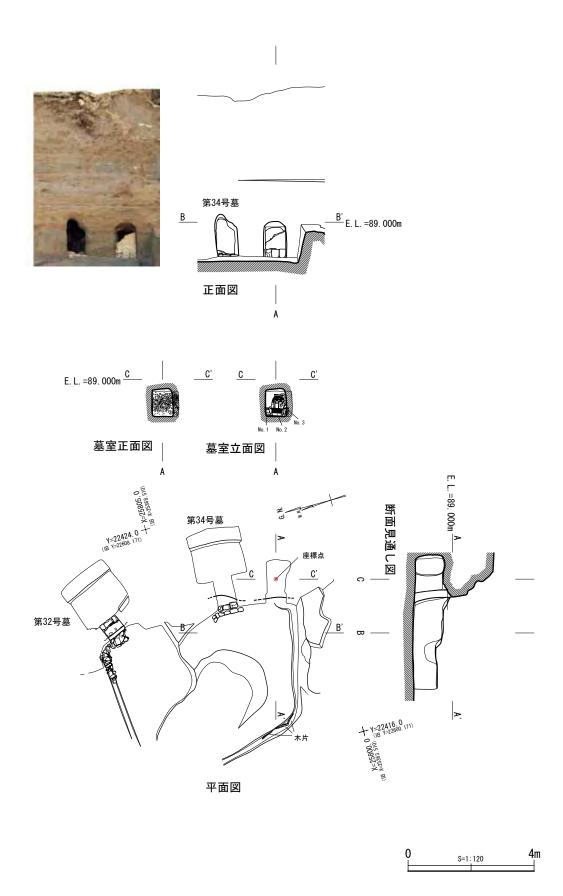


第22図(図版31) 第35-1号墓

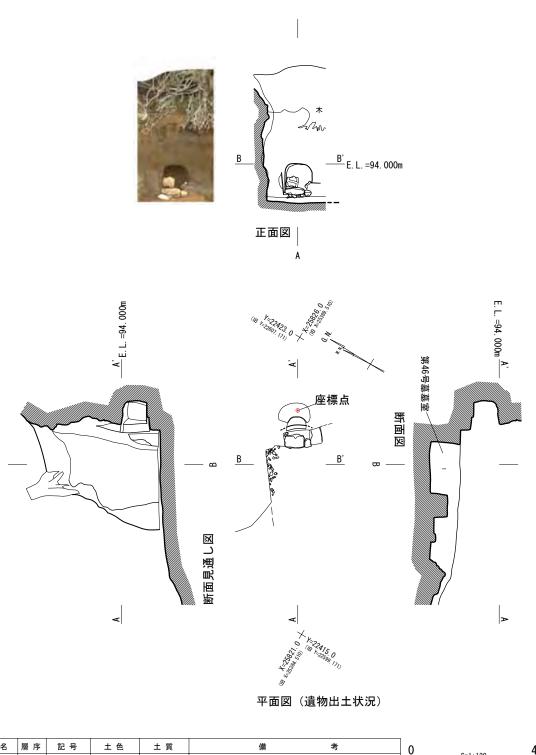




第23図(図版32) 第36号墓周辺



第24図 (図版40) 第39号墓

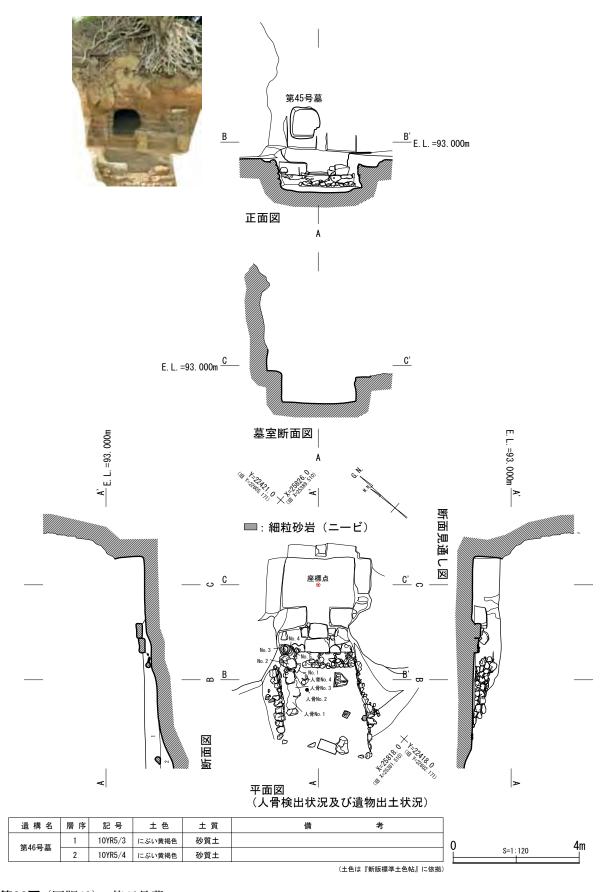


 遺構名 層序
 記号
 土色
 土質
 備
 考

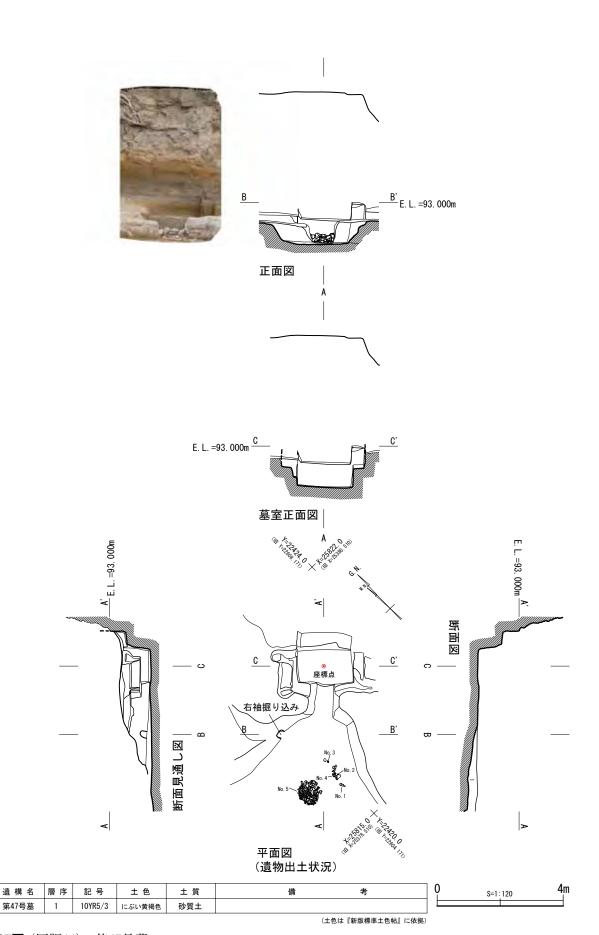
 第45号墓
 1
 10YR4/4
 褐色
 砂質土
 ニービ・クチャの地山ブロックを多量に含む。

 (土色は『新版標準土色帖』に依拠)

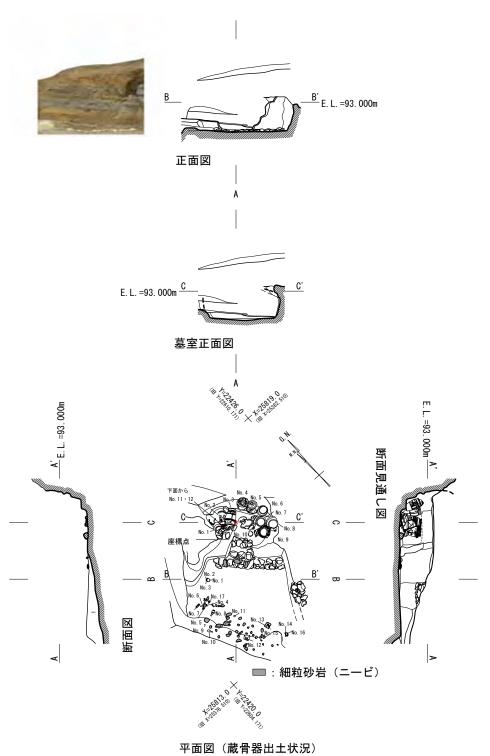
第25図(図版43) 第45号墓



第26図 (図版43) 第46号墓

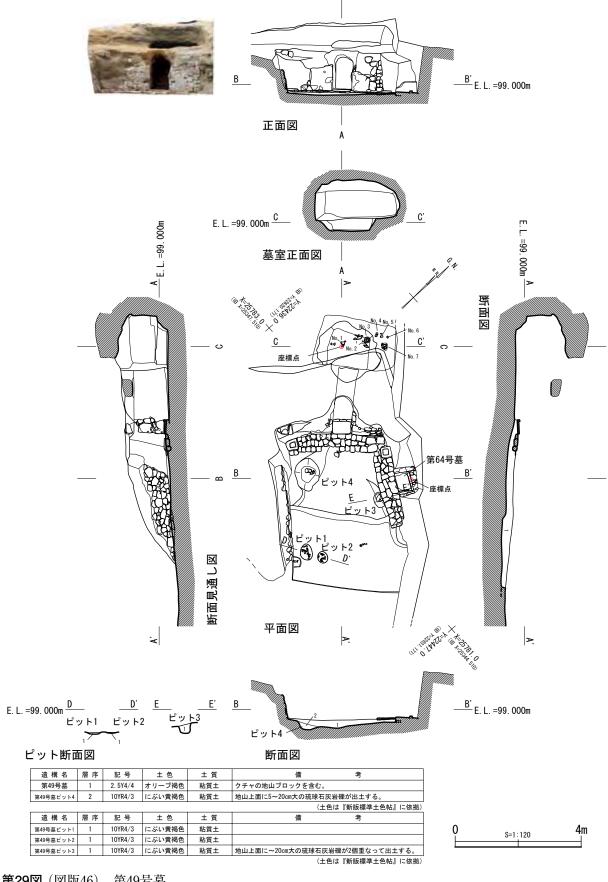


第27図(図版44) 第47号墓

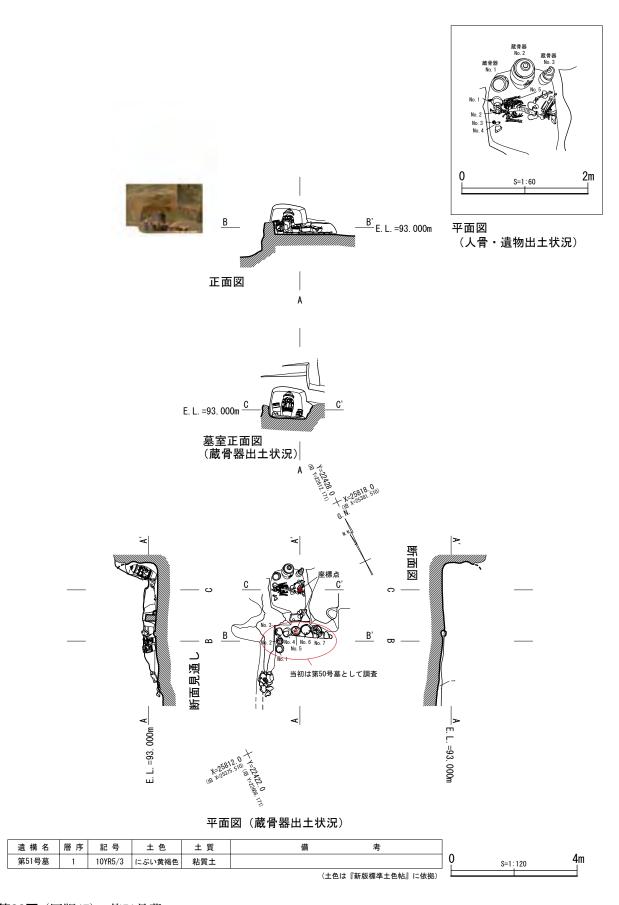


遺構名	層序	記号	土 色	土 質	備	考		0			4m
第48号墓	1	10YR5/3	にぶい黄褐色	砂質土				Ľ	S=1:	120	-Ϊ''
						(十分)十『蛇屿博進十分計』にた	thn \				_

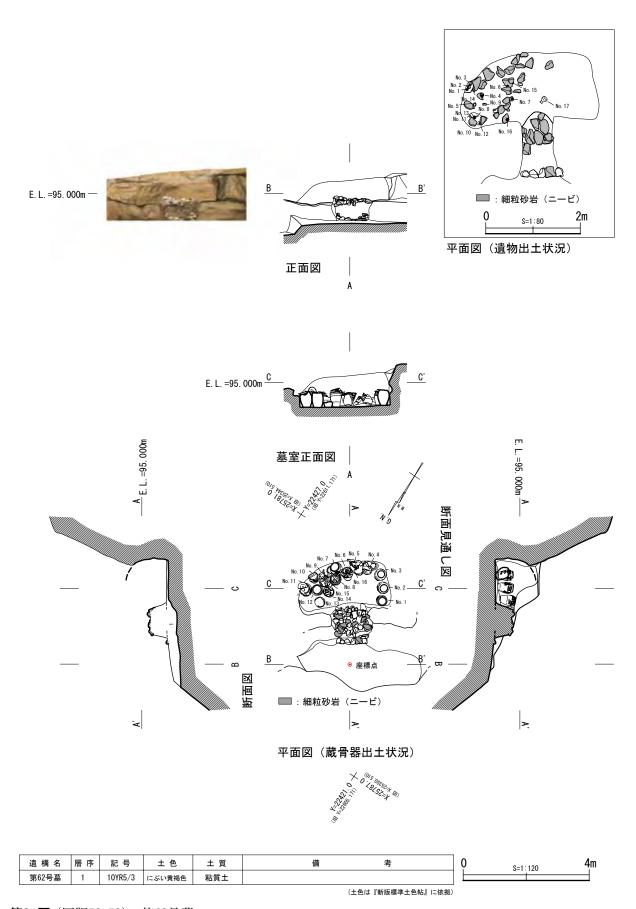
第28図(図版45) 第48号墓



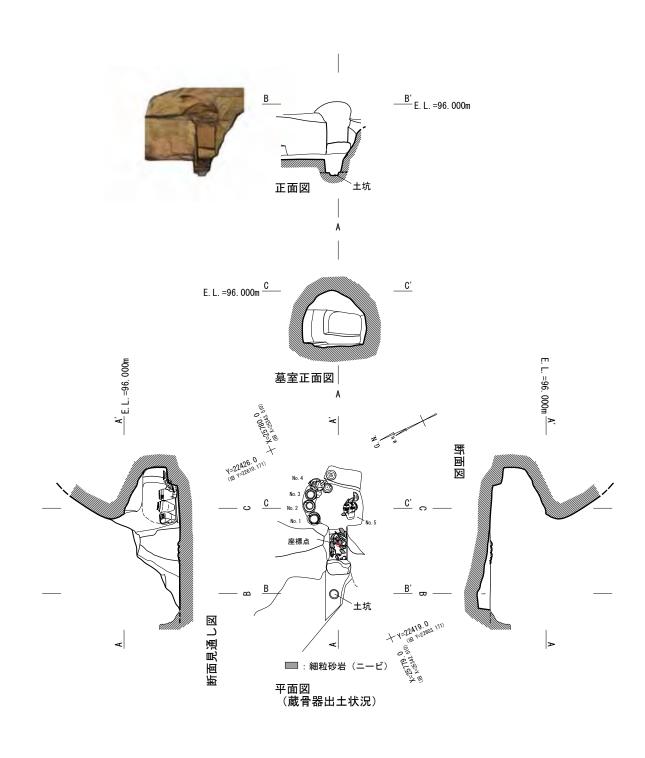
第29図 (図版46) 第49号墓



第30図 (図版47) 第51号墓

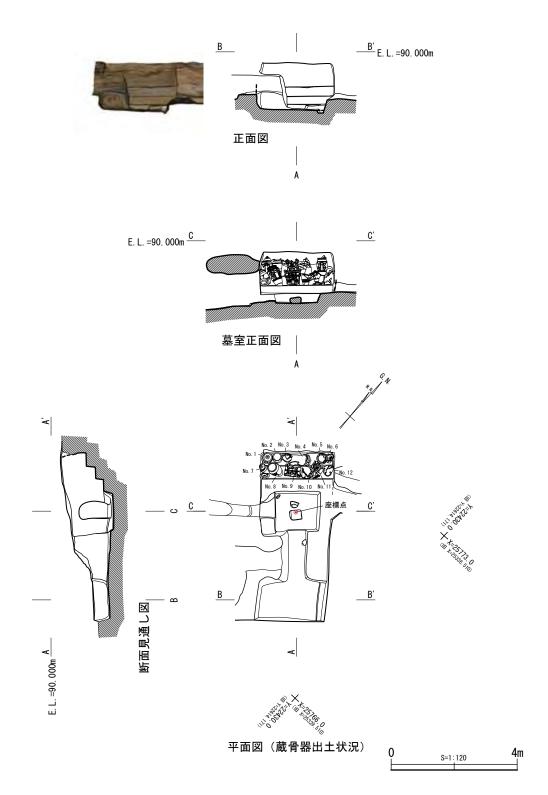


第31図(図版52·53) 第62号墓

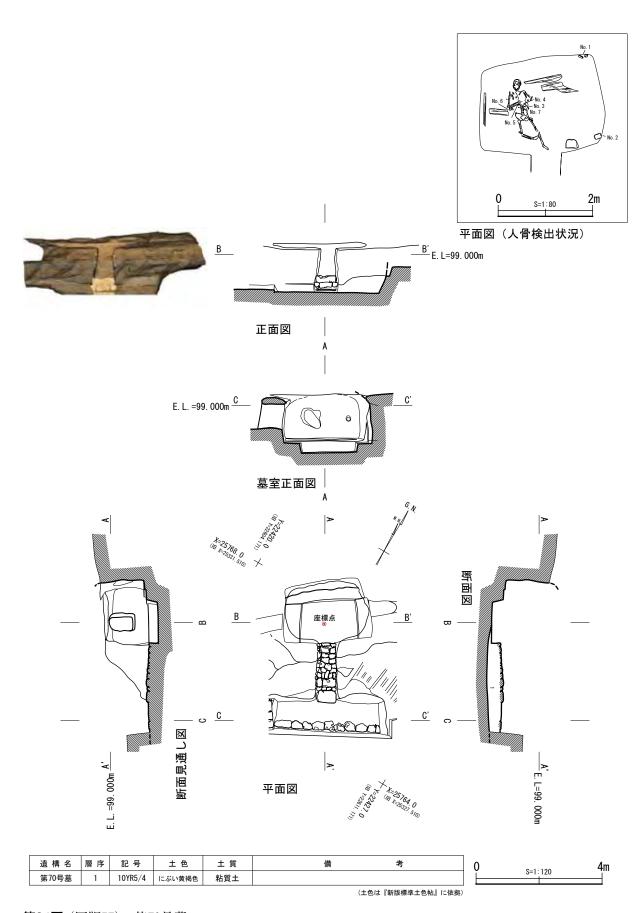


遺構名	層序	記号	土 色	土 質	備	考		0			4m
第63号墓	1	10YR5/4	にぶい黄褐色	粘質土				<u> </u>	S=1:120	0	-Ï''
					(-	F 各 付 『 新 版 堙 淮 + 各 և 』 / −	(大坳川)				_

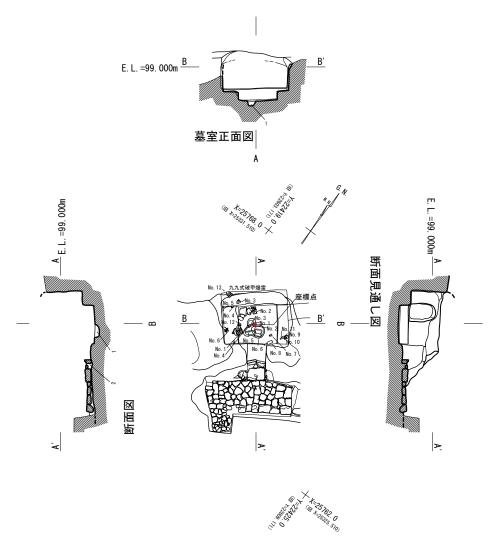
第32図(図版54) 第63号墓



第33図(図版56) 第69号墓



第34図(図版57) 第70号墓



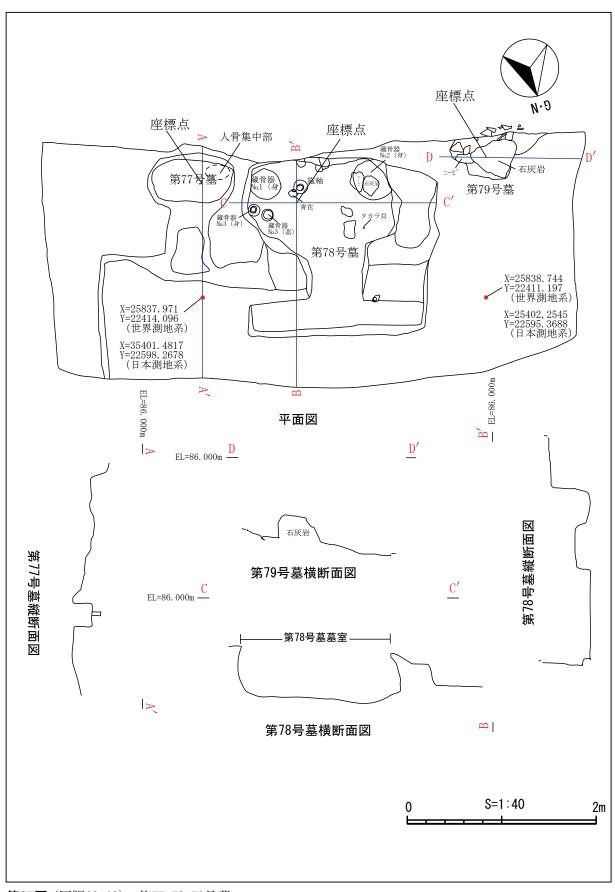
平面図 (蔵骨器出土状況)

遺 構 名	層序	記 号	土 色	土 質		備	考			
第71号墓	1	10YR5/2	灰黄褐色	粘質土	粘性強い。					
弗 //	2	10YR5/4	にぶい黄褐色	粘質土				0	0.1.100	4m
							(土色は『新版標準土色帖』に依拠)	<u> </u>	S=1:120	<u> </u>

第35図 (図版58) 第71号墓



第36図 (図版61) 第76号墓



第37図 (図版62·63) 第77·78·79号墓

第V章 蔵骨器

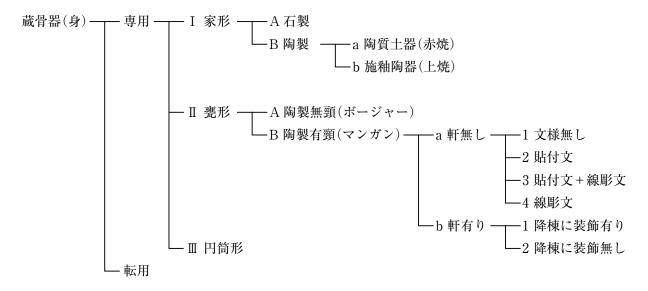
本遺跡における蔵骨器の出土総数は、身 739 点、蓋 538 点の計 1,277 点である(第 6 表参照)。総数は、 胴部を除く口縁部・底部・口縁~底部・完形を数えた。なお、身と蓋はセット関係にあり、身の出土数から、 少なくとも 739 セットの蔵骨器が存していたと考えられる。

調査した墓の内、第62・63号墓においては蔵骨器が最も良好な状態で検出された。

第38図~第40図に掲載した図は、第62号墓より出土した蔵骨器である。同墓からは、これ以外に、 沖縄産無釉陶器の底部、甕形陶製有頸蔵骨器(マンガン)の蓋が出土している。

図版 64 ~ 図版 72 は、第 62·63 号墓から出土した蔵骨器に加え、乾隆年間以前の銘書があるものの内、 撮影が可能なものを選別し、掲載した。

蔵骨器の身は、下記のように分類した。



また、蔵骨器の蓋に関しては、身の各類型に合わせて分類した。身と蓋の相関は、第2表のようになる。

第2表 身·蓋相関

		身		蓋
		A 石製		① 切妻
I 家形	B 陶製		陶質土器(赤焼) 施釉陶器(上焼)	② 寄棟 ③ 入母屋
		A 陶製無頸(ボー	ジャー)	① 宝珠形つまみ ② まんじゅう形つまみ ③ つまみ無し
Ⅱ 甕形	B 陶製有頸 (マンガン)	a 軒無し	1 文様無し 2 貼付文 3 貼付文+線彫文 4 線彫文	① 5mm以上の「き」 ② 5mm未満の「き」 ③ 「き」無し
		b 軒有り	1 降棟に装飾有り 2 降棟に装飾無し	① 降棟に装飾有り ② 降棟に装飾無し
		Ⅲ 円筒形		① 宝珠形つまみ

I類蓋は、屋根形式による細分が可能である。しかし、本遺跡においては、IA類(石製)は、屋根形状が不明であり、IBa類(赤焼)は、出土したのは寄棟のみであった。同様に、IBb類(上焼)も入母屋のみであった。

Ⅱ類 (甕形) は、大きさなどで細分類が可能であるが、今回は割愛する。本遺跡で出土した蔵骨器は、 口径が 20 ~ 30cm、器高が 45 ~ 55cmの間に属する (P129 第 58 図参照)。

出土蔵骨器の種類で最多のものは、II Ba 類(甕形陶製有頸軒無し・マンガン)である。身 407 点、蓋 379 点、総数 786 点が出土している。これは、少なくとも 407 セットの蔵骨器が存していたということであり、総セット数の 55%を占める。一方、II A 類(甕形陶製無頸・ボージャー)は、身 143 点、蓋 115 点であり、総セット数の 19%である。

第3表は、専用蔵骨器のうち図版を掲載したものと、掲載してはいないが、銘書のあるものを収録 した表である。

判読できた銘書年号の内、最も古いものが康熙 25 (1686) 年 (連番号No. 153) であり、最も新しいものが昭和 47 (1972) 年 (連番号No. 32) である。この一帯が、約 290 年間にわたって墓所として利用されていたことがわかる。

第4表は、出土した転用蔵骨器の内、胴部を除いたものを収録した表である。

転用蔵骨器は身 58 点、蓋 14 点が出土しており、身の出土数から少なくとも 58 セットの蔵骨器があったことがわかる。身は壺や甕の転用品であり、蓋は皿や鉢を転用している。その殆どが壺屋焼であるが、喜名焼とみられるもの(連番号 $N0.50\cdot55$)や、薩摩焼とみられるもの(連番号 $N0.42\cdot62$)もある。第 5 表は、形式分類と洗骨年の相関表である。銘書中に複数の洗骨年を有するものについては、新しい洗骨年を採用した。

身は、銘書を有するものが少ないが、Ⅱ Ba 3類(陶製有頸軒無し貼付文+線彫文)が、19世紀初頭~20世紀初頭に属している。蓋は、Ⅱ Ba ①類(陶製有頸軒無しで5mm以上の「き」を有するもの)は、18世紀後半~19世紀中頃、Ⅱ Ba ②類(5mm 未満の「き」を有するもの)は、19世紀中頃~20世紀初頭、Ⅱ Ba ③類(「き」無し)は、20世紀初頭~中頃に集中する傾向がみられる。

参考文献

那覇市教育委員会 2001 『銘苅古墓群 (Ⅲ) - 那覇新都心土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書 IX - 』 那覇市文化財調査報告書第 50 集 沖縄県立埋蔵文化財センター 2001 「第 3 部 第 3 章 第 1 節 厨子」『ヤッチのガマ カンジン原古墓群 - 県営かんがい排水事業 (カンジン地区) に係る埋蔵文化財発掘調査報告書 - 』沖縄県立埋蔵文化財センター第 6 集

浦添市教育委員会 2004 『前田·経塚近世墓群 - 市道 111 号線埋蔵文化財発掘調査 - 』

浦添市教育委員会 2007『市内遺跡発掘調査報告書(1) - 平成 13 ~ 18 年度調査報告 - 』

浦添市教育委員会 2011 『前田・経塚近世墓群 2 首里大名地区 – 那覇広域都市計画道路事業 3·3·16 号国際センター線に伴う埋蔵文化財発掘 調査 – 』

第3表 専用蔵骨器観察一覧

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
1	LANK III J	第1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			…□日洗骨 四代前□亀五女カナ歳四ツ…						
2		第1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			…年癸巳八月廿□…						乾隆38年(1773)癸巳 道光13年(1833)癸巳 明治25年(1893)癸巳
3		第3号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			…三年七月…						
4		第3号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.1 — 18.5		大清道光拾八年···永···, ···年辛丑十一月廿□日 洗囧,						道光18年(1838)戊戌 道光21年(1841)辛丑
5		第3号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③			光緒…, …男佐□…,						
6		第3号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	12.0 29.0 18.6		大清咸豊七年丁巳六月十八日三男□□□□,十 月···洗骨,						咸豊7年(1857)丁巳 対は遺物No.60
7		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.0 — 10.3		昭和二□卯□二月八日洗骨□…, 長女…,						昭和2年(1927)丁卯
8		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			紀元二団…百年,昭囿…年辰年一月八日(旧十一 月…, …儀間春子享年…,		儀間				昭和3年(1928)戊辰 昭和15年(1940)庚辰 昭和27年(1952)壬辰 昭和39年(1964)甲辰
9		第6号墓	蓋	陶製有頭甕形	II Ba			…洗骨儀間…,	П	儀間				
10		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			大圖嘉慶□…,	Ц				-territor as Acc	
11		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			國慶七年壬國□月廿九日洗聞…, …□道光二十□…,					嘉慶7年 (1802)	
12		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	 18.5		闆□□國□,嫡…,						
13		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.2 28.0 14.0	18	(外)大清同治三年甲□□□平良, (内)□□□□□□□□■圜□,大清同冶三年匣子 □月五日安骨□···,					同冶3年 (1864)	
14		第6号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	9.5 30.5 9.4		…□月□日圞間洗骨,		儀間				
15		第6号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.0 26.7 14.5	20	大中村…,妻囫□,靈慶六年辛酉,二月□찐,						嘉慶6年(1801)辛酉
16		第6号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3 または II Ba4			…月八日(旧十一月□…						
17		第6号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3 または II Ba4			骨儀問□,		儀間				
18		第6号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	26.2 32.0 — 48.4	13	(外)大清同治三年甲子,八月五日安骨□□ 平良附□門□親雲上, (内)・・・□□□□□□□□■以外王剛より□□か之門□他系□□□□■対少王剛より□□ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		平良新城			同治3年 (1864)	
19		第6号墓	身	陶製無頸甕形	II A			…村圈…,						
20		第6号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3		15	(外)大中村新城親雲上…,妻か…,…年辛酉二…, (内)…□□□…,…□□…年辛酉二…,		新城				嘉慶6年(1801)辛酉
21		第7号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	_ 10.3		圓器城,配□□年圖…葬,…樽金…,		真栄城				
22		第7号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	11.3 25.7 11.8		明治三十五年寅旧八月二十三回洗骨,真栄城長 女ツル 二女オト 三女カメ 合葬		真栄城			明治35年 (1902)	
23		第7号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	10.8 22.8 11.1		嘉手苅玄達三男童名松金,明治四拾五年旧十二 月□□□□,		嘉手苅				明治45年(大正元年 1912)壬子
24		第7号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	13.7 — 18.0		大清···,三月···,真栄國···,光緒二十一年②未□ 六月□四回四代嘉手苅親國旦洗骨回四日□□, 光緒三十二年丙午六月···,嘉手苅蒲戸次男···,		真栄城 嘉手苅			光緒21年 (1895)	
25		第7号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb①			…圓圈城圈圈臣…,…三女 真栄國…,…辰□月 十四日死,		真栄城				
26		第7号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва③	28.5 —		…□圀次男徳…旧四月三日□…						
27		第7号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3			女元祖玄宣妻長圐□□母也,···年甲戌八月九日 真栄城親雲上玄快母洗骨,		真栄城	玄			同治13年(1874)甲戌 嘉慶19年(1814)甲戌 乾隆19年(1754)甲戌
28		第7号墓	蓋	陶製有頭甕形	II Ba③			…嘉手苅…	Щ	嘉手苅				
29		第7号墓	身	陶製無頸甕形	II A			…□□親雲上紹始□…,…正月十三日死去…月 六日洗骨,						
30		第7号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3 または II Ba4			大清咸豊…,						咸豊(1851~1862)
31		第8号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			…旧四月三日洗骨ス,明治,	\Box					明治(1868~1912)
32		第8号墓	蓋	陶製円筒形	Ш	5.2 14.0 4.5	33	(縁)一九七二年一月二十一日 (内) 洗骨日 妻崎間ウト旧十二月六日,		崎間			昭和47年 (1972)	
33		第8号墓	身	陶製円筒形	Ш	13.0 14.2 12.0 21.4	32	(外)崎間ウト,		崎間				三脚・高台はみられ ない
34		第9号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②				П					
35		第9号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba			…十一月五回…						
36		第9号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва③	12.0 27.8 12.5		朝篤次 <u>阴</u> 高嶺朝重洗骨 昭和十年旧十月田回号 名□□□.		高嶺	朝		昭和10年 (1935)	対は遺物No.154(表外

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	器高 ※()は残存値 備考
	図版番号				分類	7.2		(縁)…七年辛卯九月十七日洗骨,		30-11		光緒11年	光緒17年?	
37		第9号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	20.0 9.5	40	(内)十三世朝重唐名向邦俊 次女鶴享年五歲 光 緒十一年乙酉五月廿二日卒,	向		朝	(1885)	(1891)	光緒17年(1891)辛卯
38		第9号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	28.0 12.6		…年旧十月□日洗骨 朝重長男,			朝			
39		第9号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	— 11.5		…□訂酉□□□□洗骨□…,						
40		第9号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	21.5 22.5 13.5 35.0	37	(縁)十三世朝重 唐名向邦俊次女鶴享年五歲, (外)朝重次女鶴,	向		朝			
41		第12/13 号墓間	蓋	陶製家形	I Bb③	-		同人嫡子宮城筑登之男子亀,		宮城				
42		第13号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	32.0 37.0 36.0	51	明治四拾圈年申 旧十一月三日 死去 大正弐年正月三日 旧十一月二十六日 洗骨				明治41年 (1908)	大正2年 (1913)	
43		第13号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	32.0 38.0 39.0		明治参拾见年□□ 旧九月二十二日死去, 明治四拾参年申旧十一月参日洗骨,				明治39年 (1906)	明治43年 (1910)	対は遺物No.13-4 (表外)
44		第13号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	41.0 50.0 40.0		明治□□癸旧二月十□□嫡子比嘉□□.		比嘉				明治 6年(1873)癸酉 明治16年(1883)癸未 明治26年(1893)癸巳 明治36年(1903)癸卯 対は遺物No.13-5(表 外)
45		第13号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	35.0 47.0 36.0	52	明治三十九年申旧三月十六日洗骨, 明治二十八 年光緒二十二年申旧五月七日死去 嫡子比嘉 加壓,		比嘉		明治28年 (1895) 光緒22年 (1896)	明治39年 (1906)	明治28年(1895)乙未 光緒22年(1896)丙申 明治39年(1906)丙午
46		第13号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.0 34.0 18.0		大清光緒五年□寅九月十七日死去 嫡子比嘉加 那園□□ 同九年八月四日洗骨,明治三十三 年丙□四月三日死去…比嘉圖園図思戸 明治 三十三年□□十二月八日洗骨,		比嘉		光緒5年 (1879) 明治33年 (1900)	光緒9年 (1883) 明治33年 (1900)	光緒5年(1879)己卯 明治33年(1900)庚子 対は遺物No.13-7 (表外)
47		第13号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.0 10.0 —		光緒十三年□四月二十五日嫡子蒲□□死去 同十七年…,				光緒13年 (1887)		光緒17年(1891)辛卯 対は遺物No.13-9 (表外)
48		第13号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	7.0 —		明治二十年□□月□□年卯 旧十二月□□,						明治20年(1887)丁亥 対は遺物No.13 – 10 (表外)
49		第13号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.5 21.0 12.0		昭和十五年旧□···, 八十八年, 一九五四年 午匣旧三月廿五日洗骨,					昭和29年 (1954)	昭和15年(1940)庚辰
50		第13-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва③			…□□□旧十月□一日洗骨ҳ 座波仁王六十二 …,		座波				
51		第13号墓	身	陶製家形	I Bb	35.0 43.0 28.0	42	明治四十一年申旧十一月三日死去, 大正元年子 旧十一月二日洗骨ス,				明治41年 (1908)	大正元年 (1912)	
52		第13号墓	身	陶製家形	I Bb	47.0 — 40.0 42.0	45	明治弐拾八 光緒弐拾弐 申旧五月七日死去 嫡子比屬□・・		比嘉		明治28年 (1895) 光緒22年 (1896)		明治28年(1895)乙未 光緒22年(1896)丙申
53		第14号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	14.8 — 17.5		光緒五年朔日死去 高江洌筑登之…,同十三年 □月□日洗骨,大正十五年寅八月十□日洗骨,		高江洌		光緒5年 (1879)	光緒13年 (1887) 大正15年 (1826)	大正15年(昭和元年) 対は遺物No.93(表外)
54		第14号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	_		···· 同治三腦···月···,						同治年間は13年ま で
55		第14号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	 13.0		(外)…年癸亥九月十一日…圇江洲…, (内)高江洲…,		高江洲				
56		第14号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	_		(縁)…咸豊国年乙卯…,						咸豊5年(1855)乙卯
57		第15号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	_		…六日八世向進徳…, …年同日同人娘…, …嫡子眞□…,	向					
58		第17号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb①	_		… 図吉飌…光緒因年□十一月…洗骨,光緒十八年壬辰…廿二日□図園親雲上建憲洗骨…,…九日閥聞…		又吉				光緒6年(1880)庚辰 光緒18年(1892)壬辰
59		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.35 26.8 13.7		明治三拾年回六 <u>团</u> …, …又吉親雲上建憲長女园 骨,		又吉	建			明治30年(1897)丁酉
60		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba			(外)…照屋…, …□□□…, …親…, …峯…, …洗 骨… (内)咸豊二阻思仁王…,…□洗聞…,		照屋				咸豊2年(1852)壬子
61		第17号墓	蓋	陶製軒付甕形	∏ ВЬ①	15.5 35.0		咸豊二年□□□□··□□□□□□照屋□□親雲上 女子真鶴洗骨, 嘉慶拾五年午四月八日死去 充 維仁嫡子照屋筑登之親雲上建峯麦真呉勢 嘉慶 拾九年戌八月廿三□□洗骨,		照屋	建	嘉慶15年 (1810)	嘉慶19年 (1814) 咸豊2年 (1852)	対は遺物No.43(表外)
62		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва①	13.0 30.5 14.5		嘉慶十二年卯六月十七日洗骨 次男照屋筑登之 親雲上建僖,		照屋	建		嘉慶12年 (1807)	対は遺物No.31(表外)
63		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	10.5 26.5 15.0		嘉慶七年壬戌六月廿二日洗骨 次男照屋里之子 親雲上妻,		照屋			嘉慶7年 (1802)	
64		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	6.5 20.0 9.5		明治二十九年旧酉年九月朔二日死亡ス 明治四 □年旧午年十二月十二日洗骨.				明治29年 (1896)		明治39年(1906)丙午 明治40年(1907)丁未
65	図版71の2	第17号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A(3)	10.0 34.0 10.4		乾隆四十三年戊戌十月廿九日□照屋里之子親 雲上母…洗骨,		照屋			乾隆43年 (1778)	
66	図版70の3	第17号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	9.0 25.4 7.5		乾隆田□年丙國七月七日□骨 次男照屋親雲上□□□□,		照屋			乾隆11年 (1746)	

	共岡楽 D.				4-31		ı	<u> </u>	_				i	器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
67		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.4 30.2 15.6	72	照屋筑登之親雲上建福洗骨,道光二十一年辛丑 九月十日嫡子,改男偃屋筑登之親雲上嫡子 嘉慶十五年庚午四月九日洗骨嫡子照屋筑登之 親雲上建福妻,		照屋	建			嘉慶15年(1810) 道光21年(1841)
68		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	12.0 33.0 15.5		(綠)照屋建典 同人妻. (內)長男照屋建典 明治三拾三年旧子五月九日 洗骨,同人妻光緒十年正月十五日洗骨,		照屋	建		光緒10年 (1884) 明治33年 (1900)	
69		第17号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.5 19.0 8.5		同治十年辛未九月十六日□□, □ <u>图</u> 勢嫡子□戸 洗骨,					同治10年 (1871)	
70		第17号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A	_		…□□三人,	П					
71		第17号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	_		道光廿二年…, 三日照屋□…, 妻真加…,	Ш	照屋				道光22年(1842)壬寅
72		第17号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	31.0 38.0 25.0 57.0	67	嘉慶十五年庚午四月九日洗骨 嫡子照屋筑登之 親雲上建福妻思戸□. 道光二十一年辛丑九月十 日照屋筑登之親雲上建福洗骨,		照屋	建		嘉慶15年 (1810) 道光21年 (1841)	
73		第17号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	_		嘉慶七年壬戌六月因回…□□…囫囵②親雲上…建趣,			建			嘉慶7年(1802)壬戌
74		第17-1号墓	蓋	陶製有頸魙形	II Ba①	26.5 —		嘉慶四年己未七月七日洗骨 儀間筑登之□□□□次男照屋□親雲上女子,		儀間 照屋			嘉慶4年 (1799)	
75		第17-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	17.0 6.5		嘉慶十二年辛卯六月十七日洗骨 三男照屋筑登 之□女子蒲戸,	Ц	照屋			嘉慶12年 (1807)	嘉慶12年(1807)丁卯
76		第17-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.2		道光三年癸未…月廿九日…昗國一	Ц	照屋				道光3年(1823)癸未
77		第20号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A③	10.7 33.0 12.0		…□□□媙, …, …□□,	Ц					
78		第21号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	— 8.2		全圖…	Ш					
79		第21号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A③	— 8.0		…□十一月九, …□三男濱里筑…,		濱里				
80	図版69の1	第21号墓	蓋	陶製家形	I Ba②	32.6 56.0 21.0		康熙六拾一年壬寅八月十八日洗骨 濱里筑之親 □上全安 □濱里筑登之親雲上□安□儀、雍正 拾四年丙辰八月二十七日洗骨、懿國□獨短即申 全國□思加戸洗骨、		濱里	全		康熙61年 (1722) 雍正14年 (1736) 乾隆16年 (1751) 乾隆29年? (1764)	雍正14年(乾隆元年) 対は遺物No.171 – 4 (表外)
81		第21号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.0 28.0 15.2		嘉慶八年癸亥九月六日洗骨嫡子濱里 <u>國登之親</u> 雲上,		濱里			嘉慶8年 (1803)	
82		第21号墓	蓋	陶製無頸甕形	IIΑ			乾隆三十四,						乾隆34年(1769)己丑
83		第21号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.2 27.0 14.0		(縁)···七年丁酉···洗骨 嫡子濱里筑登之親雲上 方顧動國子. (内)園慶···七月回日 嫡子濱里筑登之親雲上妻 并···濱里筑登之□□□.		濱里	源			道光17年(1837)丁酉
84		第21号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			…筑登之親雲上, …備童名厕那, …同人妻マト, …同子蠠マト,						
85	図版71の1	第21号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	8.3 — 10.6		乾隆四拾年乙未九月…, 圍颺…,		宮城				乾隆40年(1775)乙未
86		第21号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb	31.0 —		(縁)金紀濱里筑登之親雲上□同人妻□女子孫 思加那女子まか□同治…, …年癸子九月十□洗 骨,	Ш	濱里				同治2年(1863)癸亥 同治3年(1864)甲子
87		第21号墓	身	陶製無頸甕形	ΠA	0==		(外)三男濱里筑登之親雲上妻洗쮑…,	Ц	濱里				
88	図版72の4	第21号墓	身	陶製無頸甕形	II A	25.5 35.4 23.4 52.0		乾隆四十年乙未八月廿八日洗骨 濱里親雲上全 備。		濱里	全		乾隆40年 (1775)	
89		第23号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	8.0 22.0 9.5		昭和拾九年七月十七日骨上 鍋長男亀,	Ш				昭和19年 (1944)	
90		第23号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	9.0 22.0 10.0		大正七年□午十二月十二日死去行□六歳, 大正 拾弐年 <u>四</u> 亥六月五日洗骨 宮城鍋次女カメ,	Щ			大正7年 (1918)	大正12年 (1923)	
91		第23号墓	蓋	陶製有頸魙形	II Ba①	10.6 29.7 15.5		渡久原里之子親雲上妻 寅丑七月二十八日,	Ц	渡久原				対は遺物No.183(表 外)
92		第26号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	32.8 37.0 37.5		(縁)…十月□日□洗骨三女…,						対は遺物No.159-1, -2,-3(表外)
93		第26号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	39.0 50.5 49.0		(縁)四代新垣親雲上童名□□同人妻山戸 大□□□□九月廿一日洗骨□□,	Ш	新垣				対は遺物No.160 – 1, – 2, – 3(表外)
94		第26号墓	蓋	陶製家形	I Bb③			(内)道光二十七年丁未十一月廿七日新里にや妻 マカト洗骨 同人妻マカ同治□七年戊辰十一月 九日親垣妻洗骨シテ□厨之ヲ	Ц	新里			道光27年 (1847)	同冶7年(1868)戊辰 対は遺物No.161 – 2 (表外)
95		第26号墓	蓋	陶製家形	I Bb③			大清道光二拾九年九月九月廿八日洗骨. 仲…, 大清道光二拾□年辛丑七月七日洗骨仲間村仲 門…□代…□ …親雲上妻, …童名蒲戸,					道光29年 (1849)	道光21年(1841)辛丑 対は遺物No.162-1, -2,-4(表外)
96		第26号墓	蓋	陶製軒付甕形	Ⅱ ВЬ①	11.1 29.5 16.8		道光六年丙戌八月廿日新垣回や母,	Ц	新垣				道光6年(1826) 対は遺物No.163-1, -2(表外)
97		第26号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.0 22.0 —		光緒二十二年丙申九月五日死亡ス, 五代仁王新 垣筑登之次女ウタ行歳七才,		新垣		光緒22年 (1896)		

														器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対Nα	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
98		第26号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	11.7 29.4 13.7		大正…骨, 大正九年…,						大正9年(1920)庚申
99		第27号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	40.1 50.0 52.0		昭和八年□閏□団用□□□,亀,昭和□, 旧寅□,死□,□□洗骨,□□□□亀,						昭和8年(1933)癸酉 対は遺物No.193-2 (表外)
100		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	7.0 19.5 11.0		光豳…年七月□十八日□□□□.						
101		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	31.6 —	108	明治三拾八年乙巳旧十二月九日 次男…,						明治38年(1905)乙巳
102		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	10.8 29.8 13.3		二代新城筑登之 同人妻洗骨,		新城				
103		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	14.0 31.0 —		道光二十七年酉十一月新城親雲上 同治三年甲子十一月廿日同人妻,		新城				道光27年(1847)丁未 同治3年(1864)甲子
104		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.0 23.3 10.0		光緒三年子七月八日 四代新城□や男子次良洗 骨,同十一年乙酉八月廿二日男□洗骨,		新城			光緒3年 (1877) 光緒11年 (1885)	光緒3年(1877)丁丑 対は遺物No.231(表 外)
105		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	10.6 30.2 11.0		新城次良大正十三年子旧二月十九日死去 昭和 十四年卯旧四月二十六日洗骨ス 次良当二十九 歳。		新城		大正13年 (1924)	昭和14年 (1939)	対は遺物No.232(表 外)
106		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	12.5 33.5 —		咸豊四年辰十二月 國子新城にや, 光緒十一年 乙…廿一日同人妻,		新城				咸豊4年(1854)甲寅 光緒11年(1885)乙酉
107		第28号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.0 —		□…□…同…,						
108		第28号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	31.7 — — —	101	光緒三拾一年 明治三拾八年旧十二月九日 次 男新城カ団妻子□□ 次男マツヤ洗骨,		新城			光緒31年 (1905)	光緒31年(明治38年)
109		第28号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	31.0 — —		(内)次良, 次良,						
110		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	13.5 34.0 16.0		咸豊十三年辛國十一月廿七日まか戸,						咸豊年間は11年 (1861)辛酉まで 対は遺物No.245(表 外)
111		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	13.0 34.0 15.0		咸豊十壱年堅囮十一月□□比嘉□や洗骨□. 光緒囲履十一月…,		比嘉			咸豊11年 (1861)	光緒6年(1880)庚辰 対は遺物No.246(表 外)
112		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.5 29.5 15.0		道光元年二月六日死去 同七年丙亥六月九日洗骨 比嘉筑登之,		比嘉		道光元年 (1821)	道光7年 (1827)	対は遺物No.247(表 外)
113		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.2 28.0 15.0		光緒七年辰正月十四日死 同廿二年申九月十七 日洗骨 嫡子三圓知念。		知念		光緒7年 (1881)	光緒22年 (1896)	光緒6年(1880)庚辰 光緒7年(1881)辛巳 対は遺物No.249(表 外)
114	図版72の3	第29号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	30.0 10.3	122	乾隆二十二年丁丑五月七日 囫囵□,		知念				乾隆22年(1757)丁丑
115		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	10.1 27.0 13.0		光緒十三年戌十月廿八日死 同廿二年申九月 十七日洗骨 嫡子比嘉筑登之親雲上,		比嘉		光緒13年 (1887)	光緒22年 (1896)	光緒12年(1886)丙戌 光緒13年(1887)丁亥 対は遺物No.251(表 外)
116		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.5 29.0 15.0		嘉慶十六年末二月十八日先洗 比嘉筑□□□ 男子□□		比嘉			嘉慶16年 (1811)	対は遺物No.252(表 外)
117		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	13.3 27.3 12.0		明蹬元年丙午旧七月十一日 長男比嘉浦…		比嘉				明治元年(1868)年戊 辰 対は遺物No.253(表 外)
118		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	13.2 33.0 17.5		光緒六年卯十一月十四日死 同十年三月十一日 洗骨 比嘉筑登之,光緒十一年三月十一日死 同 廿二年申九月十七日洗骨 比嘉親雲上妻…,		比嘉		光緒6年 (1880) 光緒11年 (1885)	光緒10年 (1884) 光緒22年 (1896)	光緒5年(1879)己卯 光緒6年(1880)庚辰 対は遺物No.256(表 外)
119		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.0 27.5 13.0		光緒六年辰四月十五日 妻比嘉知念,		比嘉知念		,,	,,	光緒6年(1880)庚辰 対は遺物No.258(表 外)
120		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.5 27.6 14.0		光緒二十年甲午十二月十八日□□□□□之 妻カマ, 昭和五年閏六月十九日新里ョ□移入 骨,	П	新里				光緒20年(1894)庚午 昭和5年(1930)
121		第29号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.4 27.3 14.9		嘉慶三年子三月廿日 次男た固知念洗骨ニ付,		知念			嘉慶3年 (1798)	嘉慶3年(1798)戊午
122	図版72の3	第29号墓	身	陶製無頸甕形	II A	28.0 33.0 21.8 46.0	114							窯印あり
123		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	16.6 7.0		大正八年旧正□十八日洗骨 喜瀬□□图次郎次 男□亀,		喜瀬			大正8年 (1919)	対は遺物No.263(表 外)
124		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	12.5 28.5 13.5		大正八年旧正月二十八日洗骨, 喜瀬四男ノ四男 酉松,		喜瀬			大正8年 (1919)	対は遺物No.264(表 外)
125		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	9.4 22.0 9.2		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□						対は遺物No.264(表 外)
126		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	9.0 28.2 12.0		…辛巳八月十八日洗骨ウト,						対は遺物No.265(表 外)

								I	_					器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身・蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
127		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	12.0 33.8 17.0		昭和二年□□, 國租十年亥□□□二十七日喜瀬□□洗骨,		喜瀬			昭和10年 (1935)	昭和2年(1927)丁卯 対は遺物No.266(表 外)
128		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.0 31.0 13.5		大清懮隆…圆登之…,						
129		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.3 27.2 13.3		明治廿六年十一月九日, 喜瀬男山, 喜瀬,		喜瀬				明治26年(1893)癸巳 対は遺物No.269(表 外)
130		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	12.5 — 14.5		…之…, 光緒三拾一年乙…□□□新城妻…□カマ次男マツ□, □□洗骨,		新城			光緒31年 (1905)	
131		第32号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	13.3 36.0 13.0		新城筑登之親雲上女子□鍋 □親雲上□…,		新城				
132		第33号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	8.5 — 11.5		同人…,						
133		第34号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.6 29.0 14.0		同冶九年庚午 十二月朔日 死去 □靈女子 新城か□男子圖儀八回成□ 光緒一年子二月 二十八日 死去		新城		同治9年 (1870) 光緒元年 (1875)		対は遺物No.272(表 外)
134		第34号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	10.5 29.0 16.0		咸豊八年戊午三月十一日 新城筑登之洗骨,		新城			咸豊8年 (1858)	
135		第34号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	14.0 32.5 17.7		咸豊十年庚申三月三十日死, 同治二年癸亥三月 廿五日死, 妻				咸豊10年 (1860) 同治2年 (1863)		対は遺物No.274(表 外)
136		第34号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	7.3 21.0 9.0		三男 三良,						対は遺物No.275(表 外)
137		第35号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	13.2 — 14.0		昭和拾壱年…,四代目長男石川,四代目,		石川				昭和11年(1936)丙子
138		第35号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	14.3 —		明治…, 二月…, 昭和二年…, 十六日洗…, 妻,						昭和2年(1927)丁卯
139		第35号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			…□□親圏国, …朝□, …朝安, …□,			朝?			
140		第35号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3			昭和拾□…,…□□囲,						昭和15年(1940)庚辰
141		第35-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.6 20.5 10.0		明 <u>圙</u> 三十五年旧九月廿日死去, 昭和貳年旧七月 廿日洗骨,				明治35年 (1902)	昭和2年 (1927)	
142		第35-1号墓	蓋	陶製有頸魙形	II Ba②	7.5 20.0 8.2		光緒二十年四月七日死去 加那□□ 長女 同 二十六年辛丑三月十二日洗骨。				光緒20年 (1894)	光緒26年 (1900)	光緒26年(1900)庚子 光緒27年(1901)辛丑
143		第35-1号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	6.0 21.0 6.0		次男子 次男嘉数 □子かま,		嘉数				
144		第35-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	12.5 28.6 13.5		昭和□二年□十一月廿二日加那長男加那洗骨, 昭和三年旧正月廿七日行年二十八才				昭和3年 (1928)		昭和12年(1937)丁丑 昭和22年(1947)丁亥 昭和32年(1957)丁酉
145		第35-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	5.7 17.5 8.8		光緒十八年 巳年嫡子嘉数 丽那嫡子蒲死去 同二十年末四月七日洗骨		嘉数		光緒18年 (1892)	光緒20年 (1894)	光緒18年(1892)壬辰 光緒19年(1893)癸巳 光緒20年(1894)甲午 光緒21年(1895)乙未
146		第35-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	16.5 6.7		故陸軍輜重兵上第兵賀数三郎 旧卯年三月二十 日死去,昭和十四年五月九日支那事変際中華民 國於テ戰死 享年三十歳,		賀数		昭和14年 (1939)		
147		第35-1号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	29.0 —		…年, …廿七日死亡, …昭和十二月, …廿二日洗骨, …置数前, …□圌,		賀数				対は遺物No.277(表 外)
148		第36号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	7.0 24.2 (7.7)		昭和四十五年庚戌八月三日洗骨,					昭和45年 (1970)	
149		第37-1号墓	身	陶製家形	I Bb			(縁)…日死 同十年辛…,						同治10年(1871)辛未 大正10年(1921)辛酉
150		第41号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва③	9.0 32.5 —		光緒十八年辰正月 次男當山筑登之親雲上死去 同二十二年丙申八月二十日洗骨 寿七十七 童 名權,光緒廿九年癸卯九月廿四日 次男當山筑 登之親雲上 妻力中 入港代,同廿九年癸卯九月 廿四日 次男當山筑登之親雲上 長男亀洗骨,		當山		光緒18年 (1892)	光緒22年 (1896) 光緒29年 (1903)	
151		第42号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.0 22.5 10.0		諸見里里之子親雲上朝□四男□□ 四十二年酉七月廿九日洗骨,		諸見里	朝?			明治42年(1909)己酉
152		第46号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.8 30.7 16.5		咸豊弐年壬子四月七日 嫡子高里… 親雲上洗骨,		高里			咸豊2年 (1852)	
153	図版70の1	第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	10.5 33.8 16.0		康熙弐七年高里飄霽⊞七月廿七日,康熙廿五年 丙寅同人屡□六月九日,		高里				康熙25年(1686)丙寅 康熙27年(1688)戊辰 表面に線彫り
154		第46号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			…巳二月十骨窗筑登…,						
155		第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	IIΑ			大清乾隆…,						
156	図版70の4	第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A③	8.8 — 6.6		…・一 配隆四拾年乙未九月十日洗,桃示仁屋母親					乾隆40年 (1775)	
157	図版71の3	第46号墓	蓋	陶製無頸甕型	II A3	9.5 31.3 10.5		乾隆四十四年亥…親雲上妻洗骨,					乾隆44年 (1779)	
158		第46号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	 29.5 _								

														器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身・蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
159		第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	ΠА			與那嶺圈選臣…,同人, >		與那嶺				
160		第46号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	16.0 31.0 15.1		明治三十九年午丙十一月廿二日 新垣親雲上長 男新垣筑登之童名仁王死亡, 明治四十三年旧戌二月一日同人洗骨ス,		新垣		明治39年 (1906)	明治43年 (1910)	
161		第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	_	_	津囮□…,	Ц					
162		第46号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.8		嘉慶…拾六年…,	Н				<u> </u>	
163		第46号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A	30.6 (8.0)		石川, 九囲廿,		石川?				
164		第47号墓	身	陶製無頸甕形	ΠA			…乾…, …□□□…,						
165		第47号墓	身	陶製無頸甕形	II A	9.0		…洗骨…, …□□…	\vdash					
166		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	23.5 12.5		咸豊九年已困一月十八日 四男高里里之子親雲 上 四男武太洗骨,		高里			咸豊9年 (1859)	対は遺物No.132(表外)
167	図版70の2	第48号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	8.0 27.5 12.0		毛氏高里親雲上盛聲乳母 大清康熙五拾三年甲午十月十三日洗骨,	毛	高里	盛		康熙53年 (1714)	
168		第48号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb①	9.0 29.0 17.0		四男高里里之子親雲上盛普 □□□□子十二 月□日		高里	盛			対は遺物No.156(表 外)
169		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.0 30.0 16.0		道光四年甲申七月七日 三男高里里之子親雲上 妻洗骨.					道光4年 (1824)	
170		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	9.5 31.0 15.5		威豊九年未十一月十八日 四男高里里之子親雲 上洗骨盛復, 道光弐拾弐年壬寅十月十日 四男 高里里之子親雲上妻洗骨,		高里	盛		道光22年 (1842) 咸豊9年 (1859)	対は遺物No.184(表 外)
171		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.5 29.5 14.0		國方 四男高里里之子親雲上盛普 嘉慶二十四 年己卯七月十一日洗骨,		高里	盛		嘉慶24年 (1819)	
172		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	30.5 —		…道光□既囝年八月, …洗骨仕, …高□…,						道光20年(1840)庚子
173		第48号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	7.5 30.5 15.0		盛傷次妻 光緒十三年丁亥 六月十二日洗骨,					光緒13年 (1887)	
174		第48号墓	蓋	陶製無頸甕形	IIΑ			…日洗骨, …親雲上三男, …囿,						
175		第48号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	25.5 33.5 21.0 54.0		嘉慶二十二年丑, 三□圆圀[2□, □□十五日洗 骨,						嘉慶22年(1817)丁丑 対は遺物No.182(表 外)
176		第49号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	14.0 28.2 12.5		赤平宮城家先…,		宮城				
177		第49号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	5.2 15.0 4.6		(縁)三代山城仁和先妻…, □十九才		山城				
178		第49号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb①			…□□七四國…, …□同人阅, …子,						
179		第49号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			(内)光緒十八年… 旧五园年, (縁)…死□,						光緒18年(1892)壬辰
180		第49号墓	蓋	陶製有頸魙形	II Ba③			(内) ···力乂寅人行歳··· . 四世□···, ···月廿七日洗 骨, 新四月十七日, ···□□艮女也. (縁)二代知念仁···汝男亀□···, 十月十日死去 昭和.		知念				
181		第49号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	15.0 28.7 13.4		明治□□□□□九月十九日,□□仁王女カマ歳 □□□,…旧三月□日,						
182		第49号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	8.6 19.5 8.2		(縁)三代山城仁和妻ウシ 昭和十八年未九月 二十五日死亡 ी配六十四才,昭和十八年九月 二十五日火葬,		山城		昭和18年 (1943)		
183		第49号墓	身	陶製有頸甕形	ⅡBa3 または ⅡBa4			(内) □寅人□□□□昭和 (縁)		知念				昭和13年(1938)戊寅
184		第49号墓	身	不明				… 宮城□…,		宮城				
185		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	11.2 28.3 13.2		…二日卒 宮城德年四十三歳, …年旧十月十三 日,		宮城				
186		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			光緒四年戌寅…徳宮城妻…,		宮城				光緒4年(1878)戊寅
187		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	13.7 32.3 16.3	192	洗骨明治廿六年□□□···, 宮城仁和, ···日年七十一歳, ···月四日,		宮城			明治26年 (1893)	
188		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.2 23.0 12.5		大正四年旧卯十月十四日骨洗 伊良波朝邦安童 名□.		伊良波	朝		大正4年 (1915)	
189		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	12.0 32.0 18.0		伊良波牛次男朝邦 大正六年巳旧十一月十四日 死亡, 洗骨日昭和九年旧十一月廿一日, 伊良波朝邦 洗骨日昭和九年十一月廿一日,		伊良波	朝	大正6年 (1917)	昭和9年 (1934)	
190		第51号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	5.4 16.0 7.0	191	(縁)朝邦 男三郎 □男太郎 三男三郎 五男因郎, (内)…明治拾壱年申二月十日,			朝			明治11年(1878)戊寅
191		第51号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba4	17.5 18.5 10.5 29.0	190	朝邦 長男牛 三男三郎 五男太郎			朝			
192		第51号墓	身	陶製有頸甕形	ⅡBa3 または ⅡBa4	32.5 — —	187	明治□二十□年…四日宮國仁…,		宮城				

Note aspla	挿図番号	*********	a -w-	6 St. 7 1 1 1 St.	形式	V- II	LLA	No. etc.	I	ci h	As of the	TI de Ar	i i	器高 ※()は残存値
連番	図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
193		第55号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.0 34.0 18.0		(縁)□□□□□□月拾五日洗骨 宮城筑登之童名 依 (内)光緒十九年乙未閏五月八日死亡 女亀 宮城 筑登之 妻 光緒廿七年壬寅三月廿八日洗骨		宮城		光緒19年 (1893)	光緒27年 (1901)	光緒19年(1893)癸巳 光緒21年(1895)乙未 光緒27年(1901)辛丑 光緒28年(1902)壬寅
194		第55号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.5 19.0 8.0		宮城松長男 酉未旧四月三日洗骨,		宮城				対は遺物No.420
195		第56号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	9.5 31.0 12.0		咸豊拾二年壬戌八月朔日洗骨 渡慶次筑登之 妻,		渡慶次			咸豊12年 (1862)	咸豊12年(同治元年) 対は遺物No.422
196		第57号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	27.4 —		(縁)同治五年卯十一月十一日死去 相永降友寄 英得妻□…,	相?	友寄		同治5年 (1866)		同治5年(1866)丙寅 同治6年(1867)丁卯
197		第57号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①			…		友寄				
198		第57号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A(3)	- 7.5		···□□□□□未正月八日□···, ···辰八月廿六日 ···,						
199		第57号墓	蓋	陶製無頸甕形	ΠА	_		…死去 英□…,…年七月…,…七日…,…英…,						
200		第58号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	 10.0								
201		第58号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③			大正五年丙辰三月四日死 嫡子宮城仁和…,		宮城		大正5年 (1916)		
202		第59号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.4 17.4 8.4		□□□□□□□□□新垣樽,		新垣				
203		第60号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③			…洗骨, …大正十四年乙…, …月二十二日團□ …, …娘…, …朝…, …喜名巫…,		喜名?				大正14年(1925)乙丑
204		第60号墓	身	陶製家形	I Bb			…寅四月九日…,						
205		第62号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			…才乙丑, 日夭同,						
206		第62号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②			同治八年戌巳六月十三日死去 向世徳四男諸見 里…,	向	諸見里	世	同治8年 (1869)		同治8年(1869)己巳
207	第39図 6 図版65の6	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A	8.2 27.4 (10.9)	218					, ,		窯印あり
208	第38図 2 図版64の2	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	8.0 32.1 17.0	219							線彫模様あり
209	第38図 1 図版64の1	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	Ⅱ A①	9.6 33.2 17.9	220							表面にハスの線彫り
210	第40図 11 図版66の11	第62号墓	蓋	陶製円筒形	11(1)	7.3 34.4 15.8	221							表面に線彫り+貼り 付け
211	第40図 9 図版66の9	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	10.2 28.5 6.9	223							
212	第38図 3 図版64の3	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	7.0 29.8 14.0	224							
213	第39図 7 図版65の7	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	32.0 10.5	225							
214	第39図 5 図版65の5	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	33.5 9.8	226							
215	第39図 4 図版65の4	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A	28.8 (8.7) 7.8	227	□十一月十日閱聞 □仲村□□親雲上,		仲村				
216	第40図 10 図版66の10	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	30.2 10.0 5.4	228							
217	第40図 8 図版66の8	第62号墓	蓋	陶製無頸甕形	ΠА	28.6 (11.7)	229							
218	第39図 6 図版65の6	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	25.5 35.6 21.6 50.6	207							蓮の線彫り
219	第38図 2 図版64の2	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	24.0 37.5 19.6	208							蓮の線彫り+貼り付 け
220	第38図 1 図版64の1	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	49.6 23.4 37.4 20.4	209							蓮の線彫り
221	第40図 11 図版66の11	第62号墓	身	陶製円筒形	Ш	48.0 32.6 33.4 31.9	210							
222		第62号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	43.3 27.5 36.0								
		=. y cor				22.7 51.0			L					
223	第40図 9 図版66の9	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	25.0 32.0 21.7 48.3	211							窯印あり
224	第38図 3 図版64の3	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	26.5 41.2 21.0 60.5	212							蓮の線彫り+貼り付 け

			_			_								器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
225	第39図 7 図版65の7	第62号墓	身	陶製無頸甕形	IIΑ	26.0 35.5 21.5 47.4	213							窯印あり
226	第39図 5 図版65の5	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	25.0 34.8 20.5 47.1	214							窯印あり
227	第39図 4 図版65の4	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	26.5 36.7 21.0 46.5	215							
228	第40図 10 図版66の10	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	26.1 36.9 27.8 52.2	216							
229	第40図 8 図版66の8	第62号墓	身	陶製無頸甕形	II A	27.5 35.0 21.5 48.2	217							窯印あり
230		第63号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	9.9 30.0 10.0								
231	図版67の1	第63号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A①	32.7 14.2	234							表面に波線模様あり
232	図版67の2	第63号墓	身	陶製無頸甕形	II A	22.2 40.0 20.0 50.0								
233	図版67の3	第63号墓	身	陶製無頸甕形	II A	28.0 37.0 22.0 51.0								
234	図版67の1	第63号墓	身	陶製無頸甕形	II A	24.5 38.3 21.0 52.0	231							窯印あり 蓮の線彫り
235	図版67の4	第63号墓	身	陶製無頸甕形	II A	29.0 34.7 24.0 48.0								窯印あり
236		第67号墓	蓋	陶製無頸甕形	ΠA			(外)…年辛丑,…仲里筑登之, (内)…月十一日,…□□□,		仲里				
237		第67号墓	蓋	陶製有頸甕形	Ⅱ Ba②			…□□筑□□···,□正月四日洗聞,□□筑登之妻,□,	L					
238		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва①	12.0 29.8 17.5		嘉慶□□□□□□洗骨,仁王宮城,仁王宮城		宮城				対は遺物No.619(表 外)
239		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	11.4 33.0 17.0		道光拾年庚寅七月七日 宮城筑登之親雲上妻洗 骨, 同治三年甲子七月七日 宮城筑登之親雲上 洗骨,		宮城			道光10年 (1830) 同治3年 (1864)	
240	図版71の4	第69号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A3	8.5 30.0 11.0		乾隆□翌年丙辰十月二十六日洗骨 □宮城父,		宮城				乾隆1年(1736)丙辰 乾隆61年(1796)丙辰
241		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II ВаЗ	13.5 35.9 16.0		…□年正月十日 宮城鍋洗骨, …七年八月廿六 日 宮城ナビ洗骨,		宮城				
242		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	11.0 — 6.3	250	…道光十三年癸巳五月四日十 <u>元</u> …流骨,同年 …, …死同十七年,				道光13年 (1833)		
243		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	Ⅱ Ba②	17.0 9.0		明治三十一年戌旧十二月□□ 宮城三□□三男 樽洗骨,		宮城			明治31年 (1898)	
244		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	5.0		…年十月二十九日三良死…, 圀骨,						
245		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	7.0 22.5 11.0		明治四十二年旧六月廿三日 宮城三良 次良 三良洗骨, 死歳十一,		宮城			明治42年 (1909)	対は遺物No.630(表 外)
246		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	10.0 29.0 13.5		(縁)昭和十九年十月十四日死去,同年廿年三月十三日洗骨,宮城宗永次女□子三人合葬ス, (内)昭和拾壱年旧十一月七日,昭和十八年五月 廿九日 死亡,同二十年三月十三日洗骨 宮城 鍋 夫婦合葬三人,		宮城		昭和18年 (1943) 昭和19年 (1944)	昭和20年 (1945)	
247		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	13.5 33.1 15.5		昭和五年旧七月十二日洗骨ス,宮城三良,昭和 拾八年三月廿九日洗骨ス,宮城三良妻ウシ 夫婦合葬,		宮城			昭和5年 (1930) 昭和18年 (1943)	
248		第69号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва①	6.5 18.3 8.0		サン 大正四年卯正月□日洗骨, 六代□長男三良,					大正4年 (1915)	対は遺物No.639(表 外)
249		第69号墓	蓋	陶製家形	I Bb③			明治十三年辰六月廿三日死 次良宮城妻骨洗□□年, 次良宮城, 次良宮城園女二-田男次良□年□□□.		宮城		明治13年 (1880)		対は遺物No.635(表 外)
250		第69号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	28.0 33.0 23.0 54.0	242	大清道光十三年癸巳五月四日死廟子十八宮 城同十七年 丁酉四月七日洗骨 同年十月 二十九日死三良宮城 同十七年丁酉七月七日 洗骨		宮城		道光13年 (1833)	道光17年 (1837)	
251		第69号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3	31.0 37.0 22.5 63.0		道光拾年庚寅七月七日 宮城筑登之妻洗□,		宮城			道光10年 (1830)	
252		第71号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③			…年, …光緒二十三年暨, …旧十一月廿		玉城				光緒23年(1897)丁酉

													i	器高 ※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	形式 分類	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
253		第71号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	14.8 31.2 15.6		(縁)…旧正月三日死去 新垣加麻…月十五日洗骨, (内)新垣加麻 六十□,		新垣				
254		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	_		道光廿拾三年癸卯七月八日洗骨…, …年丁酉六月廿一日洗骨 石川ノ三男宮城親雲上,		宮城			道光23年 (1843)	道光17年(1837)丁酉 対は遺物No.300
255		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва①	10.5 30.0 17.0		道光七年丁亥七月七日		宮城 石川				道光7年(1827)丁亥
256		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ва①	11.9 32.7 15.0		(縁)…亥旧三月十八日宮里筑登之親…童名樽洗骨。 (内)明治三十二年亥旧三月十八日 宮里□親雲 上 童名樽洗圀…,大正□年□旧九月八日妻カマド洗骨。		宮里			明治32年 (1899)	
257		第72号墓	蓋	陶製軒付甕形	II Bb①	19.0 32.3 18.5		道光丁園七年七月七日 次男宫城男子か国宫 城。同治九年庚午八月廿七日 次男宫城仁屋妻 洗骨。		宮城			同治9年 (1870)	道光7年(1827)丁亥
258		第72号墓	蓋	陶製有頭甕形	II Ba①	10.2 29.0 15.0		<u> 選光拾七年丁丙六月廿一日洗骨.□□□□□□□□□□</u> <u>□□</u> , 道光弐拾三年癸卯七月八日洗骨 石川ノ 三男宮城□親雲上 嫡子宮城⊠や同人妻,		宮城			道光17年 (1837) 道光23年 (1843)	
259		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	10.6 26.7 13.3		围治 丗一年旧閏三月六日洗骨···,					明治31年 (1898)	
260		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	 15.5		道光弐十三年癸卯七月八日洗骨 次男宮城にや 嫡子宮城匹や,		宮城			道光23年 (1843)	対は遺物No.313(表 外)
261		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	10.5 29.5 15.7		咸豊九年己未七月七日洗骨 □宮城 男子弐人,		宮城			咸豊9年 (1859)	
262		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.0 20.5 11.0		咸豊九年已未洗骨<u>因</u>図宮城国や女子手 宮里彦良二女才(三女チル昭…日洗骨)		宮城 宮里			咸豊9年 (1859)	
263		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	7.0 19.0 10.0		大正七年旧九月八日 宫里彦良五男加那洗骨四 才,		宮里			大正7年 (1918)	対は遺物No.308(表 外)
264		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.0 17.5 9.0		(縁) 宮里廖園□□□□ , (内) 宮里彦良□□□□ 咸豊九年己未洗骨ス, 宮城□女子牛,		宮里			咸豊9年 (1859)	
265		第72号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba③	6.1 18.6 7.6		三男(三郎洗骨不明) 昭和十九年八月町日記ス,						昭和19年(1944)甲申
266		第76号墓	蓋	陶製家形	I Bb③	40.0 51.0 42.0		(縁)三男金城筑登之 光緒十八年己八月十六日 死去享年四十九号實□, 金城筑登□□□□, 同 廿六年子正月廿一日洗骨,		金城		光緒18年 (1892)	光緒26年 (1900)	光緒18年(1892)壬辰 光緒19年(1893)癸巳 対は計測No.1
267		第76号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	14.0 30.3 15.7		(縁)光緒九年□□五月□□三男 金城筑登之嫡 男□□□□№, 光緒四年己卯六月卅日쪧, 旧□□六月□□쪧,		金城				光緒4年(1878)戊寅 光緒5年(1879)己卯 光緒9年(1883)癸未 対は計測No.2(表外)
268		第76号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	6.7 22.0 10.5		三男□□□, 女□□, …月十一日□, 三月□□, □□, 大□光□元□□+,						対は計測No.5(表外)
269		第76号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.0 19.2 10.8		三男金城亀嫡子蒲 光緒廿三年酉正月十一日夭 亡 同廿六年子正月廿一日洗骨,		金城		光緒23年 (1897)	光緒26年 (1900)	対は計測No.6(表外)
270		第76号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	9.0 21.4 11.4		(縁)匣洗骨 金城亀三女, (内)金城亀, □光緒…□ 年□…洗骨,		金城				対は計測No.7(表外)
271		第76号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba②	8.7 20.7 11.0		三男登, □□三□, □十三年戌, 二月死去,						対は計測No.8(表外)
272	図版72の1	第77号墓	蓋	陶製有頸甕形	II Ba①	12.1 28.8 14.5		乾隆六拾年乙卯八月六日洗骨 新城筑圈/D親雲 上鄉,		新城			乾隆60年 (1795)	
273		第77号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba3			(外) …□六…□月六日, (内)□□…妻…嘉慶□…洗骨…,						
274		第77号墓	身	陶製有頸甕形	ⅡBa3 または ⅡBa4			(内) 大清同治三年甲子八月四日随置…,					同治3年 (1864)	
275		第77号墓	身	陶製有頸甕形	II Ba2 または II Ba3			…□□□獅□□□,						
276	図版72の2	第78号墓	蓋	陶製無頸甕形	II A②	33.0 11.0	277	豊村親雲上園 乾隆拾九年甲戌九月三日洗骨,		豊村			乾隆19年 (1754)	
277	図版72の2	第78号墓	身	陶製無頸甕形	II A	26.0 36.0 22.0 52.5	276	(外)乾隆拾九年□…,						乾隆19年(1754)甲戌
278		号墓不明	蓋	陶製無頸甕形	II A			题隆…, 丁丑六月…						干支が丁丑→乾隆 22年(1757)

第4表 転用蔵骨器観察一覧

連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	器種	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
1		第1-1号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	12.0 16.2 8.5 22.2								枝サンゴ入り
2		第2号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	55.5								
3		第2号墓	蓋	沖縄産陶質土器										
4		第2号墓	蓋	沖縄産施釉陶器	Ш			…□…,…且の御墓…						
5		第6号墓	蓋	沖縄産陶質土器		6.0		□…,隆□…,□…						
6		第9号墓	蓋	沖縄産施釉陶器		3.3 2.8	7							
7		第9号墓	身	沖縄産施釉陶器	壺	7.5 (11.6)	6							
8	第43図 8 図版75の8	第11号墓	身	中国産褐釉陶器	壺	9.5 — 5.8 (9.5)								
9		第13号墓	身	褐釉陶器	不明									
10		第14号墓	蓋	沖縄産陶質土器		6.0		(外)…癸亥十月十一日たか辺ट… (内)…治二年癸亥十月十一日…						
11		第17号墓	蓋	沖縄産施釉陶器	Ш	(10.0) 3.8 2.8	14							枝サンゴ入り
12		第17号墓	蓋	沖縄産施釉陶器	Ш	12.8 7.9 2.9	15							枝サンゴ入り
13		第17号墓	蓋	沖縄産施釉陶器	Ш	11.3 4.8 3.1	16	(外)□□□□三男□□□□金明治三十一年□ 洗骨					明治31年 (1898)	枝サンゴ入り
14		第17号墓	身	沖縄産施釉陶器	油壺	11.8 14.5 9.7 16.8	11	(縁)□□□, □男照屋□□□		照屋				耳4か所あり 枝サンゴ入り
15		第17号墓	身	沖縄産施釉陶器	油壺	12.5 15.7 10.0 18.3	12	(縁)長男照屋建□		照屋				耳4か所あり 枝サンゴ入り
16		第17号墓	身	沖縄産施釉陶器	油壺	12.0 15.5 10.0 18.5	13	(縁)三男圏屋		照屋				耳4か所あり 枝サンゴ入り
17		第23号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									
18		第23号墓	蓋	沖縄産施釉陶器	Ш									
19		第26号墓	蓋	沖縄産施釉陶器		10.2			\vdash					
20		第26号墓	蓋	沖縄産施釉陶器		7.5 3.2		大正拾参子年死亡				大正13年 (1924)		
21	第49図 1 図版81の1	第26号墓	蓋	沖縄産陶質土器		12.3 7.0 1.8	24							
22		第26号墓	身	沖縄産施釉陶器	壺	9.0 10.9 6.8 9.6								
23		第26号墓	身	沖縄産施釉陶器	壺	9.8 13.8 7.5 11.6								
24	第49図 2 図版81の2	第26号墓	身	沖縄産陶質土器	壺	12.6 18.4 11.4 11.9	21							
25		第28号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	7.2 —								
26		第28号墓	身	沖縄産無釉陶器	蹇	19.0 25.2 13.0 35.8								窯印あり
27		第28·29号 墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									喜名焼?
28		第28·29号 墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									喜名焼?
29		第28·29号	身	沖縄産無釉陶器	壺	\vdash	\vdash		\vdash		\vdash			
30		墓 第28·29号 墓	身	沖縄産無釉陶器	壺				\vdash					窯印あり
31		第29号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	22.0 31.4 19.0 38.0								喜名焼 窯印あり
32		第29·30号 墓間	身	沖縄産無釉陶器	不明	00.0			\vdash					喜名焼?
33		第29·30号	身	沖縄産無釉陶器	壺	\vdash	\vdash		\vdash		\vdash			
-		墓間 第29·30号				\vdash	_		\vdash		$\vdash \vdash \vdash$			
34		墓間	身	沖縄産無釉陶器	壺									

												1	新高 	※()は残存値
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	器種	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
35		第29·30号 墓間	身	沖縄産無釉陶器	壺									
36		第29·30号 墓間	身	褐釉陶器	壺									
37		第30号墓	身	沖縄産無釉陶器	甕									喜名焼?
38		第35 - 1· 36·37 - 1 ·41号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									
39		第35 - 1· 36·37 - 1· 41号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									
40		第35 - 1· 36·37 - 1· 41号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙									
41		第39号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	10.8 14.5 6.8 20.3								蓋はサンゴ石灰岩
42		第45号墓	身	本土産施釉陶器	水甕	17.8 — — —								薩摩焼? 耳4か所あり
43		第45号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	14.5 — (15.0)								
44	第48図 3 図版80の3	第46号墓	身	沖縄産無釉陶器	鉢	32.7 29.3 15.7 22.1								
45		第46号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	9.0 (12.0)								
46		第46号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	12.5 (24.0)								
47		第48号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	10.3 12.8 7.5 19.0								枝サンゴ入り
48		第48号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	9.6 12.6 6.3 18.8								枝サンゴ入り
49		第51号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙				┡					
50		第51号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	17.5 41.5								喜名焼? 中に石灰岩あり
51		第51号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	18.6 26.0 13.5 40.5								
52		第56号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	20.0 26.8 — (33.0)								
53		第56号墓	蓋	沖縄産陶質土器	蓋	9.1 6.5 3.4	54							
54		第56号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	10.1 14.0 6.5 20.8	53							
55		第61号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙				_					喜名焼?
56		第61号墓	身	沖縄産無釉陶器	不明	 _ _ 11.0								
57	図版68の2	第62号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	22.0 31.5 16.0 37.0								喜名焼? 窯印あり
58		第62号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	22.0 (24.0)								
59	図版68の4	第62号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	16.5 36.0 — 51.0								耳3ヶ所あり
60	図版68の5	第62号墓	身	褐釉陶器	壺	15.3 38.7 — 45.0								中国産? 肩部に渦巻き模様
61	図版68の3	第63号墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	24.5 39.2 21.0 55.0								喜名焼?
62	図版68の6	第63号墓	身	本土産施釉陶器	壺	16.3 37.8 — 50.3								薩摩焼? 外底部に貝目跡

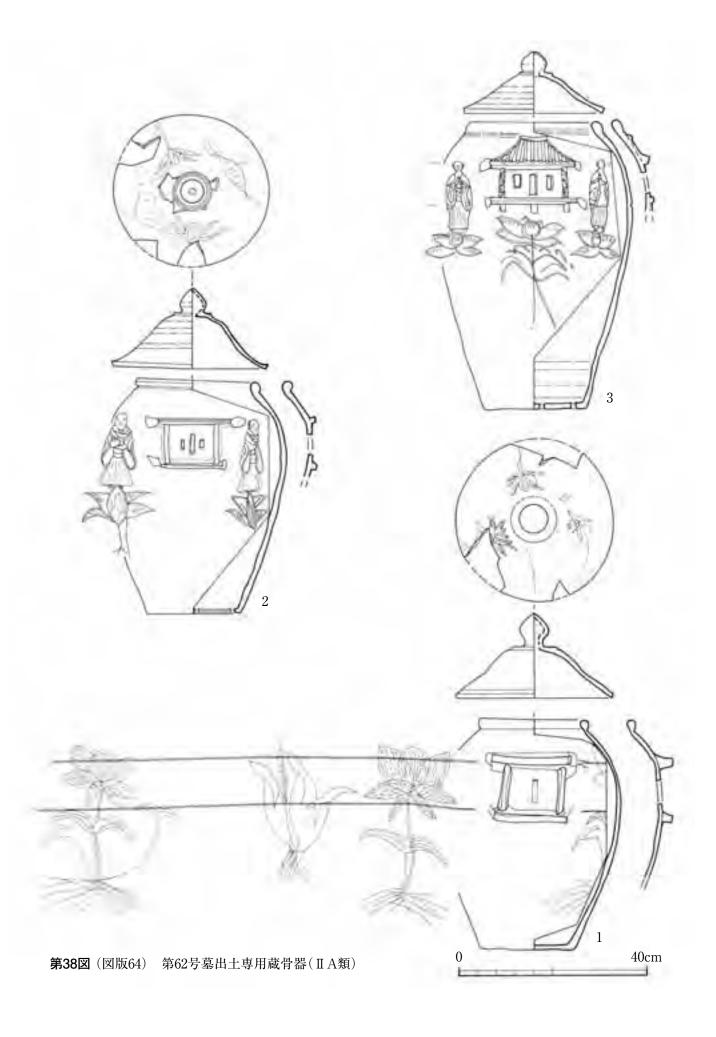
身: 口径 蓋: 上部径 皿: 口径 胴径 下部径 底径 底径 器高 ※() は残存値

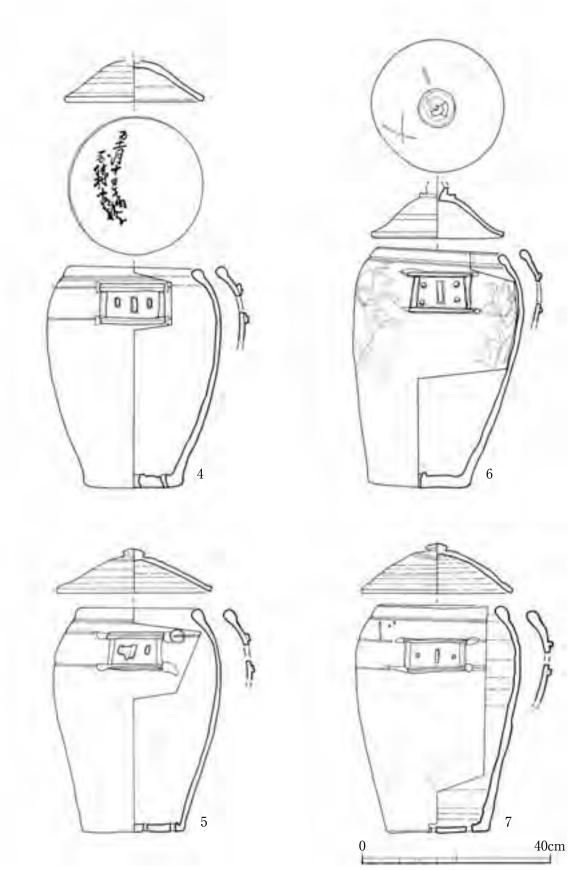
連番	挿図番号 図版番号	墓番号	身·蓋	名称又は仮称	器種	法量	対No.	銘 書	氏	家名	名乗頭	死去年	洗骨年	備考
63	図版68の1	第63号墓	蓋	沖縄産無釉陶器	鉢	13.7 31.3 12.8		(5F)						
64		第63号墓	身	本土産施釉陶器	壺									薩摩焼
65		第72号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺									喜名焼?
66		第78号墓	蓋	沖縄産陶質土器		12.9 10.7 4.8	67							
67		第78号墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	9.5 16.3 9.2 20.6	66							
68		不明	身	沖縄産無釉陶器	壺									
69		第53 – A号 墓	身	沖縄産無釉陶器	魙	 15.7 								
70		第53 – A号 墓	身	褐釉陶器	壺									
71		第53 – A号 墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	14.8 — —								耳3か所あり
72		第53 – A号 墓	身	沖縄産無釉陶器	壺	17.5 35.7 —								耳3か所あり
73		第53 – A号 墓	身	沖縄産無釉陶器	魙									

第5表 形式分類と洗骨年相関

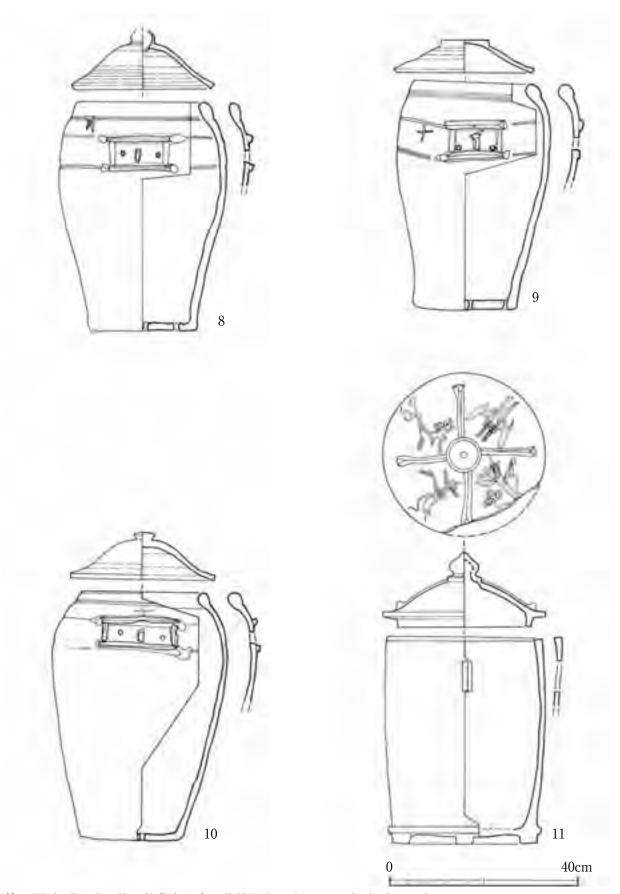
第5	表 形式	^犬 分類と洗骨	·年相関									
	$\overline{}$	形式分類		I	П	A		IΙΒ				
i i	35	七 骨年	_	I Bb3	II A②	II A(3)	II Ba①	II Ba②	II Ba③	II Bb①	Ш	備考
	1714	康熙	53		1							
1 1	1746	мет	11		1	1						
	1754		19		1							
	1764		29	1								
	1775	乾隆	40			1						
	1778		43			1						
	1779		44			1						
[1795		60				1					
	1798		3					1				
	1799		4				1					
	1802		7				2					
	1803	嘉慶	8		l .			1				
	1807		12				2					
	1811		16 24				1					
	1819 1824		4				1					
1 1	1827		7				1					
	1841		21				1					
	1843	道光	23				2	1				
	1847		27	1								
	1849	<u> </u>	29	1								
	1852		2					1		1		
	1858		8				1					
[1859	咸豊	9				3	2				
	1861		11					1				
	1862		12						1			
	1864		3				1					
	1870	同治	9					1		1		
蓋	1871 1885		10 11					1				
1 1	1887		13					1				
1 1	1891		17 ?					1				
	1893		19						1			銘書では明治26年
	1894		20					1				
ÌÌ	1895		21					1				
	1896	光緒	22					2	1			
	1898		24					1				銘書では明治31年
	1899		25				1					銘書では明治32年
	1900		26	1				4				銘書では明治33年
	1901		27		i			1				Morte of CHILL OF A
	1902 1905		28 31					1	1			銘書では明治35年
 	1905		39	1				1				
1	1900	明治	42	1				1				
	1910	21111	43	1				1				
	1913		2	1								
	1915		4				1	1				
	1918	大正	7						1			
	1919	N.II.	8						2			
	1923		12						1			
	1926		15						1	ļ		
	1927		2					1		-		
	1934 1935		9		<u> </u>	<u> </u>			1	-		
	1935		10						1			
	1943	昭和	18						1	<u> </u>		
	1944	24.14	19 ?						1			
	1945		20						1			
	1954		29					1				
	1972		47								1	
		形式分類		I	П	A		I	В			V112
	Ä	上骨年	_	I Bb	II .	A1		II Ba3		II Ba3または II Ba4		備考
}	1775	乾隆	40		1							
	1817	嘉慶	22				1					
1.1	1830		10				1					
身		380 18	17				1					
身	1837	道光							I	T		_
身。	1837 1841		21				1					
身	1841 1864	同冶	21 3				1			1		
身	1841		21	1						1		

# PROF. 19 PROP. 19	第6表 蔵骨器出土								
No. Control	形式分類		1		専用蔵骨器		IIA IID = ± + x)+	転用養骨器	不明 小計
		家形石製(IA類)	家形陶製(IB類)	甕形陶製無頸(Ⅱ A類)	甕形陶製有頭軒無し(ⅡBa類)	甕形陶製有頭軒有り(ⅡBb類)	円筒形(Ⅲ類) または Ⅱ Ba	和/日/成 日 田子	
THE COLUMN TWO COLUMN TO SERVICES AND ASSESSMENT	出土地占			身蓋					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
STATE OF STA	第1号墓	日 底 日~底 完 上 下 完				口	元口馬元上元馬口馬元		
ST.								1	
THE STATE OF THE S		+ + + + + + + +	 	1 1 1		 	 		
Column C	第4号墓				4 2 4 1				6 6 12
THE COLUMN AS A STATE OF THE COLUMN AS A STATE		+ + + + + + + +	 			+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	 	 	
The content of the	第8号墓			2 1	5 2 1 4 1 2	1	1 1		10 11 21
\$\frac{\fint{\frac{\fint{\frac{\fint{\frac			 			 	 	1 1	
2007 20	第12-1号墓	1							2 4 1 5
\$\frac{\pi_{1}}{\pi_{1}}\$ \tag{2}{\pi_{1}}\$ \tag			6 1		3 1 4 4 2 1	 	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	+ + , + + + + + + + + + + + + + + + + +	
WORLD NORTH NAME OF THE PROPERTY OF THE PROPER						1			
**************************************						1		1	
\$\frac{1}{2}\frac{1}\frac{1}{2}\f	第16号墓		 			 	 	 	
Control Cont							3	3 1	
Column		 	 			 	 	 	
\$250.00 \$1.0	第21号墓		1 1				1		22 22 44
\$250.00 \$1.0		 	++++++		2 3 3 1 1 1 1 2	++++++	 		
1	第25号墓			1 1					1 2 1 3
2004 1 1 1 1 1 1 1 1 1		+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +			3 3 2 2 2	 		3 1 1	
Second	第28号墓								17 13 30
Washing Wash			++,+++,+++	1 1 1 1 1 1 1		++++++	 	4	
\$\frac{\partial \text{Pick}}{\partial \text{Pick}}\$\frac{\partial \text{Pick}}{\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}}\$\frac{\partial \text{Pick}}{\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick} \partial \text{Pick}}{\partial \text{Pick}}\$\partial \text{Pick}	第29号墓								18 18 36
## CASE Company Compan				1 1 1			 		
100 1					3 1			1	
Series									
\$\frac{\frac			 			 	 	 	
\$\frac{\pi_{1}}{\pi_{1}}\$ \ \frac{\pi_{1}}{\pi_{1}}\$ \ \frac{\pi_{1}}{\pi_{						1 1			
No.			 			 	 	 	
## CENTER 1 1 1 1 1 1 1 1 1	第35-1・41号墓						3		
## Company Com		+ + + + + + + +	 			 	 	3	
## A PART OF TAX P									
1		+ + + + + + + +		 		 	 	1 1	
Second	第40号墓			2	2 1				2 3 5
1		+ + + + + + + +	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			 	+++++++	
19 19 19 19 19 19 19 19	第45号墓				2 2			1 1	3 9 5 14
September Sept		1	 			+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	4	2 1	
第日9年	第48号墓				2 1 1 5 2 3 2 5		1	2	1 17 15 32
第99年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			++++++++				+++++++++++	 	
WORNING	第52号墓			1 1 1 1 1 1 1 1					20 20 00
#8078									
照当部	第56号墓		 				 	1 1	
短母音									
報告に対しては、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	第58号墓	 	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++			 	1 1 1 1 5 1 1 1	 	
総合が発	第60号墓		1	1	9 1 2 1				1 13 3 16
第359萬		 	 			 			
総合学名	第63号墓			4 1 2					1 7 4 11
第679名		 	++++++			++++++		++++++	
第999番	第67号墓								1 3 4
第79号名		+++++	++++++	+ + + , + + + + , + +	7 3 2 5 3 2 6	+ + + + + + + + +	 	++++++	
第72号音	第70号墓				6 3 3				1 11 4 15
第75号属							,		
第75号幕	第73号墓		 				2		5 2 7
第75号嘉	第75号墓		1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		-				
第75号章			 				 	 	
第79号幕	第78号墓			2 3 1	1			1	1 1 5 5 10
補償No.48号幕		 	 			 	 	 	
B地区	補償No.48号墓								3 1 4
一括 号幕不明 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語		 	++++++	++++++	3 3 1 1 1 1	++++++	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	2 3	
各部位計 0 0 3 0 0 0 0 3 1 5 8 1 3 2 12 75 39 8 21 8 60 28 21 193 101 43 70 33 158 86 100 2 1 5 3 0 5 2 3 1 0 2 0 2 17 1 0 0 0 22 12 9 15 0 2 0 4 8 79 739 538 1277 日土地点 日土地点 日土地点 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 蓋 身	一括								2 2 0 2
出土地点			3 1 5 8 1 2 2 10	0 75 30 8 21 8 60 29 21	193 101 43 70 22 159 96 100		3 1 0 2 0 2 17 1 0 1	 	
身 蓋 身 蓋 身 蓋 身 基 上 日<							完 口 底 完 上 完 底 口 底 完		完底。
II Ba II D II SI II D III		身蓋	身蓋	身蓋	身	身蓋			身 1 1
11.04		家形石製(I A類)	家形陶製(IB類)	甕形陶製無頸(Ⅱ A類)	甕形陶製有頭軒無し(ⅡBa類)	悪形陶製有頭軒有り(ⅡBb類)	円筒形(Ⅲ類)	転用蔵骨器	
	形式分類			Į	専用蔵骨器		т тва г	1	





第39図(図版65) 第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)



第40図(図版66) 第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類 8~10)·(Ⅲ類 11)

第VI章 その他の遺物

ここでは、蔵骨器以外(一部、転用蔵骨器を除く)の資料を報告する。

資料の集計数は、合計 1771 点である。資料の内訳としては、中国産陶磁器 45 点、本土産陶磁器 128 点、ミニチュア磁器 1 点、人形 6 点、沖縄産陶器 540 点、土器 5 点、円盤状製品 11 点、瓦 22 点、ガラス製小玉 2 点、硯 2 点、石製品 4 点、煙管 51 点、指輪 33 点、鎌 1 点、刀子 4 点、簪 33 点、鏡 1 点、銭貨 75 点、釘 74 点、貝類遺殻 50 点、脊椎動物遺骸 16 点、その他 667 点である(第 7 表)。

上記資料の中から、第62号墓出土遺物、中国産及び本土産陶磁器、沖縄産陶器、硯、人形、円盤状製品、 釘、指輪、簪、鏡、煙管、ガラス及びプラスチック製品、銭貨、貝類遺殻、脊椎動物遺体を紹介する。 なお、今回の報告は、整理時間等の都合上、一部資料のみを掲載した。そのため、本古墓群出土遺 物の全体像を把握しきれていないのが現状である。今後、機会を改めて再整理・分析を行う必要がある。 以下、出土遺物の種類ごとに概略を示す。

第7表 遺物出土一覧

$\overline{}$	出土地			中国	国産			本	上産	1 10			沖綿	 			円指	盤状	製品													J	Į				
種類		青磁	青花	白磁	色絵	褐釉陶器	その他	肥前(近世)	その他	ミニチュア磁器	人形	施釉陶器	無釉陶器	陶質土器	その他	土器	沖縄産無釉	沖縄産陶質	瓦	瓦	ビーズ	硯	石製品	煙管	指輪	鎌	刀子	簪	鏡	銭貨	釘	巻貝	二枚貝	獣骨	その他	Î	î
第1号墓	墓庭							1	3	1		7	2							t	\vdash		\vdash	H	Н		H	\vdash	H	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	1	1	.5
第1・2号墓	墓庭							Ť	1	Ť		5	Ë			H		╁	\vdash	\vdash	1	\vdash	Н	3	1	Н	H	Н	H	Н	Н	Н	\vdash	\vdash	3	-	4
第2号墓	墓庭	1						2	1			14	1	2					2	2	Ė		\vdash	Ť	1		H	\vdash	H	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	Ť	⊢	26
	墓室										1	2						T		T		\vdash		Н	Н		Н		Н		2		\vdash	\vdash	2	7	Г
第3号墓	甕No.7								1			1								T				Г			Н	\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	┢	2	11
	墓庭											1		1				T		T		Т		Г			Г	\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash	Т	Т	Н	2	ĺ
	墓室											1							T	T				Г			Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	1	Г
第4号墓	墓庭											2						T				Г		1			Г		Г		1	Г	Г	Г	┢	4	5
	墓室								1			1		1						T				1			Г		Г						1	5	
	甕No. 1																			T															2	2	
# a E #	甕No. 2																			1																1	
第6号墓	甕No. 3											1															Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г	Г		1	12
	甕No不明											1								İ																1	
	埋土	1										1								Ī															Г	2	ĺ
然長日本	墓室																			Ī				Г			Г	Г	Г	Г	1	Г	Г	Г	Г	1	10
第7号墓	墓庭			1					3			9	1	4						1		1	1	3	9		Г	3	Г	2	5	Г	Г	1	4	48	49
第7-1号墓	埋土											1		1										Г			Г	1	Г			Г		Г			3
第7・8号墓	墓庭																															1				1	3
免1.0 万套	残土											1	1																							2	3
第8号墓	墓庭								1			7	2	2						3				2						1					3	2	1
第8-1号墓	墓庭											1		1										1				1									4
第9号墓	墓室																																			0	8
N 7 7 26	墓庭								1			3		1						1				1											1	8	Ů
第11号墓	サンミデー右																																			0	7
771117 26	埋土		2									1	1												3								L	L	L	7	Ĺ
第11·13号墓	墓庭外											1																					L	L	L		1
第12号墓	墓室												1	1																					1	3	4
7712 J AS	墓庭												1																						上	1	Ĺ
第12・13号墓	斜面												2																						L		2
第13号墓	墓庭							2				12	2	5		1	L	$oxed{oxed}$			$oxed{oxed}$	2	$oxed{oxed}$	2	2		$oxed{oxed}$	$oxed{oxed}$	11	39	46						
	墓庭掘り方											1								L				4	Ш		1		$oxed{oxed}$			$oxed{oxed}$	L	L	1	7	
第13-1号墓	埋土								0											L				$oxed{oxed}$	$oxed{oxed}$	L	$oxed{oxed}$		$oxed{oxed}$				L	L	$oxed{oxed}$	L	0
第15号墓	下層埋土								3				2											L	Ш		$oxed{oxed}$		$oxed{oxed}$				$oxed{oxed}$	$oxed{oxed}$	73	-	'8
第16号墓	墓庭掘り方埋土											5								$oxed{oxed}$				2	$oxed{oxed}$	L	$oxed{oxed}$		$oxed{oxed}$				L	L	2	⊢	9
第17号墓	墓室埋土								1			1												L	Ш		$oxed{oxed}$		$oxed{oxed}$				L	$oxed{oxed}$	$oxdapsymbol{oxed}$	2	4
A V COM	墓庭掘り方埋土								1																			1								2	ľ

	出土地			中国	国産			本	土産	11 111			沖綿				円隻	建状蓼	品		П	П			П		П					J	Į			
						褐	2.	肥煎	2	ニチョ	人	施	無	陶	2	土	沖細	沖細		ъ	ビーズ	733	石	煙	指輪	41k	刀	.00E	486	銭	ΦT		_	獣骨	その	合
		青磁	青花	白磁	色絵	褐釉陶器	その他	肥前(近世)	その他	チュア磁器	人形	施釉陶器	無釉陶器	陶質土器	その他	土器	沖縄産無釉	沖縄産陶質	瓦	瓦	ヹ	硯	石製品	煙管	輪	鎌	刀子	簪	鏡	銭貨	釘	巻貝	二枚貝	H	他	合計
種類						器	10	世	16	器		器	器	器	2		釉	質			Ш	Ш			Ш								Ĺ			<u> </u>
第17-1号墓	墓室掘り方埋土 墓口美道埋土								1		2	1						Н	_		Н	Н			Ц		Н	1		1		_		L	1	6 8
第18号墓	型土 埋土											1					H		\dashv		Н	Н		H	Н	Н	Н	1	Н	1	\vdash	_	H	H	\vdash	1
第20号墓	墓室											-									Н	Н		Н	Н	Н	Н	Н	Н	\vdash	Н	Н	Н	\vdash	2	2
	遺物集中部											1	1				П				П	П		Г	П		Н	Г		┢				Г		2
第21号墓	下部												1												П											1 3
第22号墓	墓室																																	2		2
	墓室													1							Щ	Щ			Ш		Щ									1
第23号墓	墓庭																				Щ	Щ		L	Ц		Щ	ldash		ldash	ldash	_	ldash	L	1	1 4
	墓庭外								<u> </u>			0		1					_		Ш	Н			Ш		Ш							L	1	2
第24号墓	墓庭 埋土		_						1			2	1	2				-	\dashv		Н	Н		H	2		Н	1		2	\vdash	_	\vdash	\vdash	H	7 6
第25号墓	墓室										2	2	3	2				-		2	Н	Н	1		-	Н	Н	1	Н	6	1	1	7	\vdash	1	26
7,020 J ag	売No. 1		1								_	_							\dashv		Н	Н	_	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Ľ	Ė		Ė	H	1	2
	變No. 2																П				П	П		Г	2	П	П	Г		Т				Г		2
第26号墓	魙No. 4											1									П	П		П	П		П	П		Г	П		П	Г	П	1 21
	甕No. 6											1													2										2	5
	墓庭								1			2	2									П	1	1	\square			1							3	11
第27号墓	墓庭		L									1	1	1			$oxedsymbol{oxed}$	Ш	_		Ц	Ц		$oxedsymbol{oxed}$	Щ	oxdot	Щ	$oxedsymbol{oxed}$	oxdot	$oxedsymbol{oxed}$	$oxedsymbol{oxed}$		$oxedsymbol{oxed}$	$oxedsymbol{oxed}$	$oxedsymbol{oxed}$	3
Manager 1	墓室		L	<u> </u>	_	_					_	1	4	3			$oxed{oxed}$			Щ	Щ	Щ		$oxed{oxed}$	Щ		Щ	$oxed{oxed}$		_	10	_	$oxed{oxed}$	$oxed{oxed}$	5	23
第28号墓	墓庭		_	_			<u> </u>	Ļ.	ļ.	<u> </u>	_	1	1	1	H	2	H	Ш	_		Н	Н		\vdash	Н	H	Н	\vdash	H	\vdash	\vdash	_	\vdash	\vdash	12	17 46
数90 90 P. 草	墓庭外						1	1	1			1	2	-		1	H	,	_		Н	Н		2	<u> </u>		,	2			0	,	,	L	1	6
第28·29号墓 第28~32号墓	墓庭 上部斜面		_				1	1	6			18	1	5		1		1	\dashv		Н	Н		3	1		1	3		2	2	1	1	H	9	63
第29号墓	基室						1		1			1	2	1							Н	Н		Н	Н	Н	Н		Н	-				\vdash	1	4
第29·30号墓	墓庭外						2		2			2	2			1			\dashv		Н	Н		H	Н	Н	Н	H	Н		H		H	H	1	10
第30号墓	墓庭						1		3			5	2	2			Г				П	1		Г	П	П	П	Г		Т	Г			Г	1	15
第30・31号墓	墓庭																				П	П			П		П	П		Г	П		П	1	П	1
	墓庭							2				1	1	1																						5
第31号墓	墓庭外								0																Ш		Ш								1	1 16
	暗渠周り								2			2	1	2						1															2	10
M 17 -##	墓室								<u> </u>				1						_		Щ	Щ			2		Щ				2	_		L	2	7
第32号墓	墓庭								2			2	2	1				-	\dashv		Н	Н		H	Н		Н	H		┝	ļ_	7	H	H	1	14 25
第33号墓	墓庭外 遺物集中部	1					<u> </u> 	1	1	<u> </u> 		5	1	1					_		Н	Н		1	Н		Н	5		H	3	_		\vdash		19
#337 季	墓室	1						1	1			3	2	1					\dashv		Н	Н		1	Н	Н	Н	1		\vdash	٦		H	\vdash	1	4
第34号墓	墓庭								1			4	3						\neg		Н	Н			Н	Н	Н	H	Н	\vdash	\vdash			\vdash	H	8 12
第34・35号墓	墓庭外																				П	П		1												1
第35号墓	墓庭								1			2									П	П		Г	П			Г		0	Г			Г	1	4
第35-1号墓	墓庭								1			5	1											1						0					1	9 11
(H21)	暗渠礫内											2									Ш	Ш			Ш		Ш									2 11
第35-1号墓 (H22)	暗渠埋土												2												Ш		Ш									2 14
(П22)	墓庭掘り方埋土								2			3		1					_		H	Н		2	2		Н	<u> </u>		1		1				12
第35-1、41号墓	墓庭掘り方埋土No 墓庭掘り方埋土								2			11	6	3			H				1	Н		1	Н		Н	1			L	_		L	11	36 37
第35-1、36、	基庭畑リ万理工 排水施設北側落		_	_									_				H	-	\dashv	_	Н	Н		 	Н	H	_	\vdash	H	 	\vdash	_	\vdash	H	1	1
37-1、41号墓	ち込み埋土											9	3						_	1	Щ	Щ		1	Щ		1	$ldsymbol{ldsymbol{ldsymbol{eta}}}$		1		_		L	1	17
第36号墓 (H21)	墓室		,						1			-	0	0			,				Н	Н		H	1		Н	H		L	L	_	L	H	5	6 20
	墓庭 墓庭掘り方埋土		1	_					3			5 1	2	2			1	-	\dashv		Н	Н		H	Н		Н	\vdash		┝	12	_	1	H	\vdash	14 15
第36号墓 (H22)	上部斜面崩落埋土		1	\vdash							\vdash	1	\vdash	Н	Н	Н	H	Н	\dashv	Н	Н	Н		Н	Н	Н	Н	Н	Н	1	14	\vdash	1	\vdash	\vdash	1 16
第37号墓	墓庭				H		\vdash	\vdash	2	\vdash		H	1	1	H	H	Н	Н	\dashv		Н	H		Н	H	H	H	Н	H	Ė	Н	Н	Н	Н	Н	4
第37-1号墓	墓庭											1	2				П	П	\neg		Н	Н		Г	П	П	Н	Г	П		П		П	Т	1	4
(H21) 第37-1号墓	墓庭掘り方埋土		,	\vdash			\vdash	\vdash	1	\vdash	\vdash	6	2		H	H	\vdash	\dashv	\dashv		Н	Н		\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	H	\vdash	28	38
(H22)			1	_			<u> </u>	<u> </u>	-	<u> </u>		0		H	H	H	H		\dashv		Н	Н		\vdash	Н	H	Н	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	<u> </u>	\vdash	H	48	├
第38号墓 第40号墓	墓庭外 埋土		\vdash	\vdash	-		\vdash	\vdash	2	\vdash	_	2	1	1	\vdash	\vdash	\vdash	Н	\dashv		Н	Н		\vdash	Н	\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	4	8
7710万垄	理工 墓室埋土	\vdash	_	_			\vdash	1	\vdash	\vdash		4	1	1	Н	Н	H	Н	\dashv		Н	Н		\vdash	Н	Н	Н	\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	4	1
	秦至 <u></u> 生工 墓室袖		\vdash	\vdash			\vdash	\vdash	\vdash	\vdash			\vdash	1			\vdash	Н	\dashv	\vdash	Н	Н		\vdash	Н	Н	Н	\vdash	Н	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	1	1
			1	ı	1	1	1	1	1	1		1		1		1				ш	ш	ш	$\overline{}$		ш	ш	ш			ı					1 *	12
第41号墓	墓庭埋土																														П		П	П	1	1 1 12

1		出土地			中国	国産			本二	上産	3			沖箱				円盤	監状事	提品													ļ	Į		Г		\neg
Marchane			4				褐	7	肥前	7	ニチュ	人	施	無	陶	7	盐	沖縄	沖縄		瓦	ビー	砠	石製	煙	指	鎌	ᄁ	籍	錇	銭	釬	,,	-	獣骨	その	1	À
### 2			育磁	青花	磁磁	色絵	粕陶哭	の他	(近世	の他	ア磁	形	粕陶哭	粕陶哭	質土哭	の他	忝	産無	産陶	瓦	,	ズ	94	品	官	輜	200	十		200	頁		巻貝	枚貝	"	他	i	T
受けらいませき できらい できらい できらい できらい できらい できらい できらい できら	種類	I					nir		<u></u>		器			tur	nir			釉	質							Щ		Щ		_				_	\vdash		Ļ	-
1	第42号墓			,						0			-	4	1		H		H		0		H		H	Н		Н		┝	ļ ,	H		L	H	_	-	23
知らいません (日本の) (日本		 		1						2			8	4	1				H		2		H		H	Н		Н		\vdash	1	10	Н		\vdash	-	-	\vdash
短いられる	第44号墓																						H		H	Н		Н		┢	H	10		┢	Н	Н	-	12
無限性		-																					Г		Г	Н		Н		\vdash	Н	Н		\vdash	2		-	Н
無理性の	第45号墓	墓庭右袖カキ																								П									П	1	1	5
無限性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性		墓室埋土												1																						1	2	Г
照照性		墓室蔵骨器No.																																		3	3	
解析的		墓庭埋土蔵骨器No.																								Ш		Ш								L	0	
															1											Ш		Ш								13	-	
無疑的理性	第46号墓									1			1										L		L	Ц		Щ		ldash	ldash	ldash		<u> </u>	igspace		-	58
接いらい													_				L						L		L	Щ		Щ		L		2			\vdash	\vdash	-	
接受けられていません 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										1			-	,	\vdash								H		H	H		Н		H	H	H		9	H	-	-	l
本語の										1			0	1	1				H							1		Н					Н		\vdash	3	-	
日本語		-				\vdash		\vdash	\vdash	1	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	H	\vdash	H		H		\vdash		\vdash	Н		Н		\vdash	\vdash	\vdash	H	\vdash	\vdash	5	-	\vdash
無理性						\vdash							2	\vdash	H	\vdash	H	\vdash	H		H		H		H	H		H		\vdash	H	H	1	\vdash	Н	Ť	┈	
無疑性 (第47号墓												_		H		Н		H		Н		Н		1	Н		Н		\vdash	3	Н	-	3	Н	9	_	29
発音が表します。		墓庭掘り込み埋																			П		Г		2	П		Н		\vdash	Г	Г		┢	Г	Г	2	ĺ
無容性性						\vdash									2	\vdash	Г	\vdash	Т	Н	Н		Г		Г	Н		Н		Н	1	П	Н	\vdash	М	1	⊢	П
無数性性		墓室埋土											1	1												П									Г	Г	2	
無限性		墓庭掘り方埋土								1			3		1						1				1								1	4	П	4	16	
照出	第48号墓	墓庭掘り方埋土No								1			5												3				3	1						18	31	59
### 24 1		墓庭埋土											1																		1			1			3	
 高空産性・		埋土																													1						1	
無容的		閉塞石下面											1													Ш		Ш						1			2	
#49号編										2																Ш		Щ							igspace	_	-	
解の方体																										Ш		Щ		_				_		Н	-	
括り方が 括り方が 括り方が 括り方が 括り方が 括り方が 括り方が 括り方が 日からでといわけらいというできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからでといわけらいできます。 「はりからできます。 「はりからできます。 「はりからできます。 「はりからできます。 「はりからできます。 「はりからできます。 「はりからできをはないできます。 「はりからからないできます。 「はりからないできます。 「はしからないできます。 「はりからないできます。 「はりからないでき	第49号墓												0		1		L	L					L		L	Н		Н		L		3		L	\vdash		-	166
接受いる はいけい はいけい はいけい はいけい はいけい はいけい はいけい はい										1			-		1											H		Н		_		9			H	Н	-	
第31号名 第32号 (HSO号) 第43日 (HSOS) 第43日 (HSOS) 843日 (HSO													_		1								H		H	3		Н	1			\vdash			Н		⊢	
#3:15等数		-								1			-										H		H	Ľ		Н		┢	H	Ľ		┢	Н	-	-	\vdash
Sec 249 7 万理土 1 1 1 1 1 1 1 1 1																	Г				Н		Н		Н	Н		Н		\vdash	1	Н		\vdash	П		┈	
(田50号) 終発機の方理士	第51号墓	サンミデー上蔵骨器No													1								Г		Г	П		П		Г	Г	Г		Г	П	2	3	
押出中	(旧50号)	墓庭掘り方埋土												4	1								Г		Г	П				Т	Г	Г		1	П	2	8	40
第51-52号線 解産網り万理土物 2 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		墓庭掘り方掘り込み													1																					5	6	
第空地土 2 1 1 1 1 2 2 2 4 2 2 4 3 3 4 3 3 4 3 3 5 6 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7		埋土中											3	2	1										1											6	13	
第52号導 32 2 2 4 1 2 2 2 2 2 3 3 3 3 3 6 6 6 4 3 3 4 6 4 3 3 4 6 4 3 3 4 6 4 </td <td>第51、52号墓</td> <td>墓庭掘り方埋土No</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>Ш</td> <td></td> <td>Ш</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>!</td> <td>5</td>	第51、52号墓	墓庭掘り方埋土No							2																	Ш		Ш						3			!	5
第52号第 纂庭組り方理土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1 2 3 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>-</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td>L</td><td>3</td><td>-</td><td></td></t<>				2	-			1						2	2																3				L	3	-	
第62号章 墓庭祖士 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3					2				-	2			4						L				L		L	Ш		Щ		L					\vdash	\vdash	┈	
嘉庭理土 1 1 1 1 1 2 第53号墓 石積内 1 1 1 1 1 7 10 第54号墓 嘉室埋土中 1 1 1 1 1 1 7 10 北側埋土 1 1 1 1 1 1 2 3 3 第55号墓 建土 1 1 1 1 1 2 1 3 3 6 6 北側生土 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 3 3 3 3 9 第57号墓 建土 1 <t< td=""><td>第52号墓</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>9</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>H</td><td>Н</td><td></td><td>Н</td><td></td><td>H</td><td>H</td><td>H</td><td></td><td>2</td><td>H</td><td>\vdash</td><td>-</td><td>37</td></t<>	第52号墓								1					9	1					1					H	Н		Н		H	H	H		2	H	\vdash	-	37
第室掘り万瀬り込み 1 1 1 1 1 1 1 3 第53号墓 石積内 2 2 2 北側建土 1										1									H	1						Н		Н	1				Н	3	\vdash	\vdash	-	
第53号墓 石積内 1 1 1 1 7 10 <td< td=""><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>\vdash</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>\vdash</td><td>H</td><td>\vdash</td><td>H</td><td></td><td>Н</td><td></td><td>Н</td><td></td><td>Н</td><td>Н</td><td></td><td>Н</td><td>1</td><td>\vdash</td><td>Н</td><td>Н</td><td>Н</td><td>\vdash</td><td>\vdash</td><td>\vdash</td><td>-</td><td></td></td<>				1		\vdash			1							\vdash	H	\vdash	H		Н		Н		Н	Н		Н	1	\vdash	Н	Н	Н	\vdash	\vdash	\vdash	-	
第54号墓 墓室埋土中 1 1 1 1 1 1 7 10 <	第53号墓			Ť					Ė	Ė						\vdash	H	\vdash	Н		Н		Н		Н	Н		Н		\vdash	Н	Н	Н	\vdash	Н	2	-	2
第64号墓 北側埋土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		 				1								1	T		Г		T		П		Г		Г	П		Н		Г	1	П	П		Г	-	-	П
第55号墓 北側埋土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	第54号墓				İ	İ		İ	İ	İ	İ		1		Ħ		Г		П		П		Г		П	П		П			П	П	П		Г		-	13
北側埋土 1 1 1 1 1 1 7 第56号墓 埋土 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1	第55旦草	墓室埋土											1		1										1						3					Г	6	10
第56号墓 北側埋土 3 3 9 第57号墓 建土 1 0 4 5 6 第58号墓 埋土 2 2 1 9 14 第59号墓 藏骨器No 8 8 8 第60号墓 埋土中 1	おいり万基	北側埋土							1			1	1												1	2			1								7	13
北側埋土 3 3 第57号墓 墓室埋土 0 4 5 埋土 1 0 4 5 第58号墓 埋土 2 2 1 9 14 第59号墓 藏骨器No 8 8 墓庭埋土 1 <td>第56号墓</td> <td>埋土</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>oxdot</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>oxdot</td> <td></td> <td>oxdot</td> <td>Ш</td> <td></td> <td>П</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>\Box</td> <td>-</td> <td>9</td>	第56号墓	埋土								1			2	1			oxdot						oxdot		oxdot	Ш		П			-	$oxedsymbol{oxed}$				\Box	-	9
第57号墓 埋土 1 1 1 6 第58号墓 埋土 2 2 1 9 14 第59号墓 藏骨器No 8 8 第60号墓 埋土中 1 1 1 1 1 1 1 1 2 4 7 北側土土 1 <td>7,000 J W</td> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>$oxed{oxed}$</td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td></td> <td></td> <td>Ц</td> <td></td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td></td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td>Щ</td> <td></td> <td>Ш</td> <td></td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td>3</td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td>$oxed{\Box}$</td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td>$oxedsymbol{oxed}$</td> <td>igsqcup</td> <td>-</td> <td>Ľ</td>	7,000 J W	 				_			_								$oxed{oxed}$	$oxedsymbol{oxed}$			Ц		$oxedsymbol{oxed}$		$oxedsymbol{oxed}$	Щ		Ш		$oxedsymbol{oxed}$	3	$oxedsymbol{oxed}$	$oxed{\Box}$	$oxedsymbol{oxed}$	$oxedsymbol{oxed}$	igsqcup	-	Ľ
期土 1 第58号墓 埋土 2 2 1 第59号墓 藏骨器% 8 8 臺庭埋土 1 1 1 現土中 1 1 1 2 4 北側埋土 1 1 1 1 1 1	第57号墓												-				L				Ц		$oxed{oxed}$		$oxed{oxed}$	Щ		Щ		_	$oxed{oxed}$	$oxed{oxed}$	Щ	0	$oxed{oxed}$	4	-	6
第59号墓 藏骨器Na 8 8 幕60号墓 埋土中 1 1 1 2 4 7 北側建土 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 4 7		_				_		_	_	_	_			<u> </u>		_	L	\vdash			\vdash		\vdash		\vdash	Щ		Щ		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	-	
第60号墓 選出中 1 1 1 1 1 2 4 7 北側理土 1 1 1 1 1 1 1 1 2 4 7		 				_		_	_	2	_		2	1	H	_	\vdash	\vdash	H		\vdash		\vdash		\vdash	Н		Н		\vdash	\vdash	9	\vdash	\vdash	\vdash		-	
第60号墓 埋土中 1 1 1 2 4 7 北側埋土 1 1 1 1 1 2 2	界59亏基	1		_	_	_		_	_	_	_		_	_		\vdash	H	\vdash	H		H		\vdash		\vdash	Н		Н		\vdash	\vdash	\vdash	H	\vdash	\vdash	-	-	5
北側埋土 1 1 2	第60号章					\vdash			\vdash	1			1	\vdash		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash		\vdash		\vdash	Н		\vdash		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	-	┈	7
	7700ケ季		\vdash	\vdash	-	_	\vdash			1			1	1	H	_	H	_	H		Н		H		H	Н		Н		\vdash	H	H	H	\vdash	H	-	_	'
	第61号墓	埋土				\vdash		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		2	1	1	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	Н	Н		\vdash		\vdash	Н		Н		\vdash	2	\vdash	Н	\vdash	\vdash	5	-	0

	出土地			中国	国産			本	土産	11 111			沖≉				円盤	23 大事	4 H			Ţ			П							J	Į			
						褐	7	肥前	7	チュ	人形	施	無	陶	7	土器	沖縄	沖縄		瓦	ビーズ	硯	石製品	煙管	指輪	鎌	刀子	縮	鏡	銭貨	金T	Ī	_	獣骨	その他	合計
		青磁	青花	白磁	色絵	褐釉陶器	その他	肥前(近世)	その他	チュア磁器	形	施釉陶器	無釉陶器	陶質土器	その他	器	沖縄産無釉	沖縄産陶質	瓦	14	ズ	BE	品	管	輪	39%	子	В	396	貨	3-1	巻貝	二枚貝	FI	他	計
種類						征		<u></u>		器		征	福	征			釉	質					_		Ш	_									L	<u> </u>
	蔵骨器No.		1		_			_									_	Щ				_	_	2	Щ	1					_	_	L	L	L	4
	墓室No.												1					Ш				_	_	1	Ш	_							L		1	3
Mana Et alle	墓室埋土№					<u> </u>		2				2						Н	_		-	\dashv	\dashv	_	Н	\dashv	_	_			_	L	L	⊢	L	4
第62号墓	墓室掘り方埋土№							3					_					Н	-		\dashv	\dashv	\dashv	2	Н	\dashv	1	2					L	⊢	L	8 2
	墓口埋土											,	1					Н	\dashv		\dashv	\dashv	\dashv	\vdash	Н	\dashv	_	,	\blacksquare		_	H	⊢	⊢	⊢	1
	北側斜面表土			-					١,			1	1	,				Н	\dashv	,	\dashv	\dashv	\dashv		Н	\dashv	_	1			_		┞	├	┞	3
	北側埋土 墓室蔵骨器Na		_	-					1				1	1		H	H	Н	\dashv	1	\dashv	\dashv	\dashv	Н	Н	\dashv	_	1	-		_	┝	⊢	⊢	⊢	1
	墓室								1		Ì						H	Н	\dashv		\dashv	\dashv	ᅱ		Н	ᅱ	_	1			_		\vdash	┢	1	2
第63号墓			_					1	1							H	\vdash	Н	\dashv		-	┪	\dashv	Н	Н	\dashv	_	-	-		_	┝	⊢	┢	3	4
7700 J 35	墓庭掘り方埋土							2				1				H	\vdash	Н	_			\dashv	\dashv	Н	Н	\dashv	_	-			_	\vdash	┝	9	,	12
	東側埋土中											1						Н	\dashv		\dashv	\dashv	\dashv	Н	Н	\dashv	_	_			Н	\vdash	┝	۲	┝	0
	墓室No.																	Н	\dashv		\dashv	ᆉ	ᅱ	Н	Н	ᅱ	_	_					\vdash	┢	34	34
第64号墓	墓口埋土															H		Н	\dashv		-	┪	\dashv	Н	H	\dashv	_	_			_	\vdash	┢	\vdash	11	11
第65号墓	墓室埋土																		\dashv	1	\dashv	\dashv	ᅦ	Н	Н	ᅦ				2		\vdash	\vdash	\vdash	24	27
	墓室奥壁側タナ掘り込み			H	H	t		H	t		t			H	Н	H	H	H	\dashv		Н	\dashv	\dashv	Н	H	\dashv					H	\vdash	H	\vdash	2	2
	シルハラシドゥクマ					t			t		t		1	H	Н	Н	T	H	\dashv		Н	\dashv	\dashv	Н	H	\dashv			Н		\vdash		\vdash	\vdash	\vdash	1
第66号墓	埋土				T	t			T		T			Ħ	П	H		Н	\dashv		\dashv	\dashv	\dashv	П	Н	\dashv	_	7	\exists	1	Т	Н	Т	Т	Т	1
	上部攪乱土中					Ĺ			Ĺ		Ĺ	1			П	Т		Н	\exists		П	\dashv	\dashv	П	Н	\dashv			П				Τ	Т	Τ	1
第67号墓	埋土中														П			П		1	П	\dashv	\neg	П	П	\exists							Г		Г	1
第68号墓	埋土				İ	İ		İ	1		İ					Г		П			П	\dashv	\neg	П	П	\neg				1			Г	Г	Г	2
	墓室蔵骨器No.																								1											1
体の日本	墓室埋土											1										ヿ											Г		1	2
第69号墓	シルハラシドゥクマ																	П							П										1	1
	墓庭埋土																																		10	10
	墓室No.																																		20	20
	墓室埋土												1																	22					8	31
第70号墓	墓室埋土(人骨より下層)																	Ш				_		1	Щ										1	2 (
3010 J as	墓室埋土中																								Ш										2	2
	墓庭埋土								1			1																					L		3	5
	埋土								1														_		Щ	_										1
	墓室埋土№			1															_				_		Ш	_							L	L	9	10
	墓室埋土								1																Ш	_				1					3	5
	墓庭埋土		_	_					1		<u> </u>								_		\Box	_	_			_							L		L	1
第71号墓	墓室埋土掘り込みNo.																		_			_	_		Щ	_							L		1	1 3
	墓室掘り込みNo.											1	_				_	Ш				_	_		Ш	_	_	_				_	L	L	7	8
	西側表土中								1				1					Н	_		-	\dashv	\dashv		Н	\dashv						_	L	L	1	3
	西側		_						2				_	,		L	_	Н	_		\dashv	\dashv	\dashv	\vdash	\vdash	\dashv	_	_			L	L	L	┝	1	3
第72号墓	埋土		4						4			8		1				Н	\dashv		Н	\dashv	\dashv	1	Н	\dashv				1	_	┝	H	┝	5	1 23 3
第125 秦	埋土 墓庭埋土	1	1	-					2			1	1	H		H	\vdash	Н	_		-	\dashv	-	1	Н	긤	_	_	-	1	_	H	├	┝	Э	23 3 6
	- 基定理工 - 墓室理土	1	1	_	-	\vdash		-	1	_	\vdash	1	1	H	H	H	\vdash	Н	\dashv		\dashv	\dashv	\dashv	\vdash	Н	\dashv	-	-	\vdash		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	1
第73号墓	基 至理工 理土		\vdash		-	\vdash		-	\vdash		\vdash		1	H	H	H	-	Н	\dashv		Н	\dashv	\dashv	\vdash	Н	\dashv	-	-	\vdash	1	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	3	5
y 45	北側埋土	1	\vdash			\vdash			\vdash		\vdash	1		1	Н	H	\vdash	Н	\dashv		Н	\dashv	\dashv	Н	Н	\dashv			Н	-	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	۳	3
第74号墓	墓室埋土	Ė	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash		\vdash	\vdash		\vdash	1	\vdash	Ť	Н	Н	\vdash	Н		Н	\dashv	\dashv	\dashv	Н	\forall	\dashv	\dashv	\dashv	Н		\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	\vdash	1
第75号墓	墓室埋土					H			H		H			H	Н	H		Н	\dashv		Н	\dashv	\dashv	Н	Н	\dashv			Н		Н	\vdash	1	\vdash	Н	1
第76号墓	墓口埋土					t		1	T		t	1		2	П	Г	T	Н	\dashv		П	\dashv	ᅱ	1	Н	\dashv	_	_	Н	1	Т	\vdash	Т	\vdash	4	10
	墓室		1			t			3		t	10		4	1	Т	1	Н	1		Н	\dashv	\dashv	П	Н	\dashv			Н		1	\vdash	Т	Т	6	28
	蔵骨器No.5					t			Ĺ		Ĺ				1			П				\dashv		П	П								Т	Т	1	2
第77号墓	墓庭											1			П	П	1	П	\neg		П	\dashv	\dashv	П	П	\dashv			П		Т	Г	Г	Г	Г	2
	一括		2	İ	İ	Ĺ	İ	İ	Ĺ	İ	Ĺ	İ	1	Ħ		П		П			П	\dashv		1	П	\neg		\Box	П			Г	Г	Г	10	14
	墓室		2						2			14	3	3	1	П		П		2	П	\dashv	\neg	П	П	\neg		1				2	2	Г	10	42
₩70.FI W	蔵骨器No. 2																1	П							П											1
第78号墓	墓庭																	П			П	\exists	\neg	П	П	\exists							Γ	Г	Γ	0
	一括		2						1																								2		1	6
第79号墓												2	1	3				П				\Box	╗		П	╗										6
第77·78号墓							1		1			4			1		1							1											2	11
一括						1			3			26	5	2					1	2			1	1						1		2		1	3	49
	合計	5	23	5	1	1	10	26	102	1	6	329	119	88	4		5	1	5	22	2	2	4	51	33	1	4	33	1	75		18	32	,,,	667	1771
																5																				

第1節 第62号墓出土遺物

第62号墓から得られた蔵骨器以外の資料は総数27点が得られた(第8表)。第V章でも述べたとおり、本墓は、比較的古手の蔵骨器・転用蔵骨器が主体をなし、安置された状態で検出された遺構である。ここで出土資料をまとめて報告することにより、本墓群の成立年代を推察する手がかりとしたい。

本墓からは、中国産磁器 (青花)、本土産磁器 (瓶・杯)、沖縄産施釉陶器 (瓶・碗)・無釉陶器 (瓶・蓋・壺)・陶質土器 (蓋)、煙管、簪、刀子、鎌、瓦、石 9 種類が確認できた。

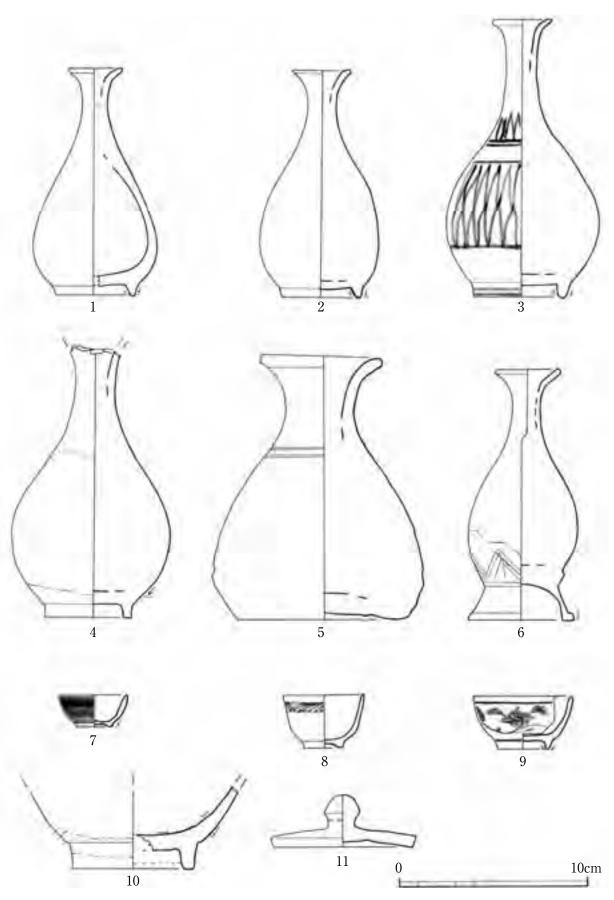
ここでは、第 41 図(図版 73)に、瓶(本土産磁器・沖縄産陶器)、小杯(本土産磁器・中国産磁器)、碗・蓋(沖縄産陶器)を、第 42 図(図版 74)に、煙管、簪、刀子、鎌を示す。 なお、個々の資料の特徴を第 9・10 表に示す。

第8表 第62号墓出土遺物一覧

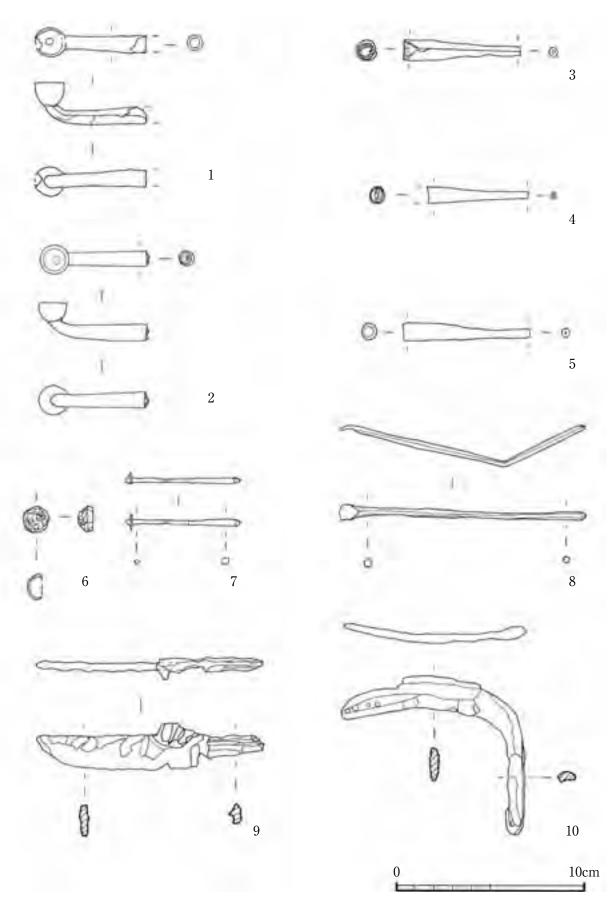
番号	種類		遺物の種類		出土地		備考	
留り	別数		退初り俚類		加工地	接合	遺物番号	取り上げ日
1	1	中国産磁器	青花	杯	墓室蔵骨器No.2内		661	2010. 11. 16
2				瓶	墓室掘り方埋土No.5		530	2010. 11. 19
3				瓶	墓室埋土No.2		527	2010. 11. 19
4	6	大 上	肥前系	瓶	墓室埋土No.3		528	2010. 11. 19
5	0	本土産磁器		杯	墓室掘り方埋土No.6		531	2010. 11. 19
6				杯	墓室掘り方埋土No.7		532	2010. 11. 19
7				杯	北側埋土		206	2010. 09. 30
8				***	墓室埋土No.1	E	526	2010. 11. 19
			→← 重上 P⇔ BB	瓶	墓室掘り方埋土No.17	一 同一	558	2010. 11. 22
9	3		施釉陶器	瓶	墓室埋土No.4		529	2010. 11. 19
10				碗	北側斜面表土		594	2010. 11. 25
11		沖縄産陶器		瓶	墓室No.17		506	2010. 11. 16
12	4		無釉陶器	瓶	墓口埋土		556	2010. 11. 22
13	4		無相陶品	蓋	北側斜面表土		594	2010. 11. 25
14				壺	北側埋土		205	2010. 09. 30
15	1		陶質土器	蓋	北側埋土		205	2010. 09. 30
16				吸口	墓室No.11付近		508	2010. 11. 16
17				吸口	墓室蔵骨器No.13		500	2010. 11. 16
18	5	煙管	銅製	吸口	墓室蔵骨器No.13		500	2010. 11. 16
19				雁首	墓室掘り方埋土No.8		533	2010. 11. 19
20				雁首	墓室掘り方埋土No.9		534	2010. 11. 19
21				耳かき形	北側斜面表土		594	2010. 11. 25
22	3	簪	銅製	星形	墓室掘り方埋土No.10	同一?	535	2010. 11. 19
23				星形	墓室掘り方埋土No.11] Inj — :	536	2010. 11. 19
24	1	刀子	鉄製		墓室掘り方埋土No.12		537	2010. 11. 19
25	1	鎌	鉄製		墓室蔵骨器No.14内		511	2010. 11. 16
26	1	瓦	赤色		北側埋土		205	2010. 09. 30
27	1	その他	石		墓室No.8付近		507	2010. 11. 16

第9表 第62号墓出土遺物観察一覧①

弟9表 弟62号	5 叁 山工 退 彻	既祭一夏 ^①				法量単位:cm、()は推算値
挿図番号 図版番号	種類	器種	口径 器高 底径	色調など	文様・特徴など	出土地点
第41図 1 図版73の1	磁器	瓶	2.9 12.0 (4.2)	外面:淡緑色 内面:淡灰色	外面は畳付け以外、口縁内面まで施釉。 釉薬の発色にやや失透感がみられる。 畳付け際に離砂が付着。	墓室掘り方埋土Na 5
第41図 2 図版73の 2	磁器	瓶	3.0 12.0 4.2	外面:淡緑色	サイズ、器形、施釉範囲は図No1と酷似。対と 思われる。 外面釉薬の発色は上記に比べ艶が見られる。 畳付け際に離砂付着。	墓室埋土№3
第41図 3 図版73の3	磁器	瓶	3.1 14.6 5.0	外面:乳白色 外面全体に慣入 が見られる。	外面畳付け以外、口縁内面まで施釉。 畳付け際に離材付着。 外面に呉須による文様、預部に鋸歯文と圏線 2条、胴部は網目文と上下に圏線1条づつ、高 台に圏線が2条施される。	墓室埋土No 2
第41図 4 図版73の 4	施釉陶器	瓶	 	外面: 頚部黄褐色 から胴部暗褐色 露胎は赤褐色。	口縁を欠損。外面腰部まで施釉。 暗褐色部分にピンホールが見られる。	墓室埋土No.4
第41図 5 図版73の 5	無釉陶器	瓶	6.4 13.7 9.0	外面:赤褐色	肩部に沈線が2条巡る。胴部下方を削りにより角度を付け最大径(11.3cm)を作る。 口縁部に焼け剥がれた痕が見られる。	墓室No.17
第41図 6 図版73の 6	施釉陶器	瓶	3.4 13.3 (5.5)	外面: 黄褐色 下部半分と外底 面未発色。	外面は畳付け以外、口縁内面まで施釉。 釉薬の発色にムラがある。 胴部下部に削りだしによる蓮華文。	墓室埋土No.1 墓室掘り方埋土No.17
第41図 7 図版73の 7	磁器	杯	3.6 1.7 1.9	外面:瑠璃色 内面:淡灰色	畳付け以外施釉。口縁を境に内外面で釉薬を 掛分ける。 外底面に釉溜りと離砂が見られる。	墓室掘り方埋土No.7
第41図 8 図版73の8	磁器	杯	4.3 2.1 2.8	内外面:灰白色	置付け以外施釉。口縁下に呉須による圏線を 2条描きその間を方向の違う斜線で埋めた文 様帯、腰部に界線を1条巡らす。 外底面に離砂が見られる。	墓室掘り方埋土No.6
第41図 9 図版73の 9	磁器	杯	5.3 2.8 2.7	外面:灰白色 内面:青灰色	畳付け以外施釉。口唇に錆釉を塗布。 呉須による界線を口縁と高台に1条づつ巡ら す。胴部には、花唐草文を巡らす。	墓室内 蔵骨器No.2内
第41図 10 図版73の10	施釉陶器	碗	— — (6.4)	内外面:褐色 素地:淡橙色	褐釉を外面腰部から内面を施釉し、内底に蛇 の目釉剥ぎを施す。畳付けにはアルミナが付着。	北側斜面表土
第41図 11 図版73の11	無釉陶器	蓋	摘み径: 1.8 器高:2.7 最大径: 7.7	内外面: 黒褐色	外面にろくろ成形痕が見られる。内面、口縁は ケズリ痕が残る。縁から内面にかけて僅かな弧 を描く形状、落とし蓋。	北側斜面表土



第41図(図版73) 第62号墓出土遺物①



第42図(図版74) 第62号墓出土遺物②

第10表 第62号墓出土遺物観察一覧②

挿図番号 図版番号	種類	器種	法量単位 cm、g		文様・特徴など	出土地点
第42図 1 図版74の1	銅	煙管雁首	長さ 火皿径 首部立上り ラウ結合部径 重さ	5.80 1.54 2.20 0.90 6.40	火皿の一部及びラウ結合部が欠損。	墓室掘り方埋土 No.8 (遺物No533) 2010.11.19
第42図 2 図版74の2	銅	煙管雁首	長さ 火皿径 首部立上り ラウ結合部径 重さ	5.60 1.43 1.97 0.78 8.60	木質のラウが残存。	墓室掘り方埋土 No.9 (遺物No.534) 2010.11.19
第42図 3 図版74の3	銅	煙管吸口	長さ 吸口径 ラウ結合部径 重さ	6.20 0.39 1.05 5.30	ラウ結合部が一部欠損。木質のラウが残存。	墓室蔵骨器No13 (遺物No500) 2010.11.16
第42図 4 図版74の4	銅	煙管吸口	長さ 吸口径 ラウ結合部径 重さ	5.37 0.35 0.83 3.20	吸口の一部及びラウ結合部が欠損。木質のラウが 残存。	墓室No.11付近 (遺物No.508) 2010.11.16
第42図 5 図版74の5	銅	煙管吸口	長さ 吸口径 ラウ結合部径 重さ	6.73 0.40 0.80 5.90	完形。中央からやや吸口側が若干の窪みを呈し歪 んでいるように見える。	墓室蔵骨器No13 (遺物No500) 2010.11.16
第42図 6 図版74の6	青銅製品	簪	頭部幅 厚さ 重さ	1.36 0.70 0.88	男性用本簪の頭部の資料。 頭部は半円状に形作り、外側の花弁数は5、その 内に多数の花弁がみられる。	墓室掘り方埋土No10 (遺物No536) 2010.11.19
第42図 7 図版74の7	青銅製品	簪	残存長 最小幅 最大幅 重さ	6.60 0.19 0.35 2.30	男性用本簪の竿部の資料。 首部は丸い形状、中部はひねりが有り、端部は四 角形になる。	墓室掘り方埋土No11 (遺物No536) 2010.11.19
第42図 8 図版74の8	青銅製品	簪	長さ約 最大幅 最小幅 頭幅 重さ	14.00 0.456 0.332 1.500 8.10	男性用の副簪と思われる。ほぼ完形。 匙部は破損。竿部の首は丸い形状、端部は六角形 になる。 端部約4cmのところで曲がる。	北側斜面 表土 (遺物No.594) 2010.11.25
第42図 9 図版74の9	鉄製品	刃子	残存長 最大幅 厚さ 重さ	12.00 1.80 0.35 15.40	錆化しているが、刃部の形状は良好に残る。 茎の残存長は約3cm。柄になる部分に付着物が 見られる。	墓室掘り方埋土No12 (遺物No537) 2010.11.19
第42図 10 図版74の10	鉄製品	鎌	残存長 最大幅 厚さ 重さ	9.40 1.70 0.50 17.90	刃部は鎌のような形状。茎は4.2 c mを計る。 刃部の先端に丸い形状のもの(約2mm)が付着?	墓室蔵骨器No.4 (遺物No511) 2010.11.16

第2節 中国產陶磁器

本遺跡から得られた中国産陶磁器は45点を数えた(第11表)。種類としては、青磁5点(碗4点・蓋1点)、青花24点(碗21点・小杯3点)、白磁5点、色絵1点、褐釉陶器1点、その他9点が確認できた。出土地点を見ると24の地点から得られているが、各遺構とも数点のみの出土傾向を示している。その中で、第52号墓では7点と最も多く出土しており、第72号墓の6点、第28・29号墓及び第78号墓の4点、第77号墓の3点と続く。その他の遺構では、1~2点であった。

ここでは、第62号墓出土資料以外の特徴的な資料8点を第43図(図版75)に示した。個々の資料の特徴は第12表参照。

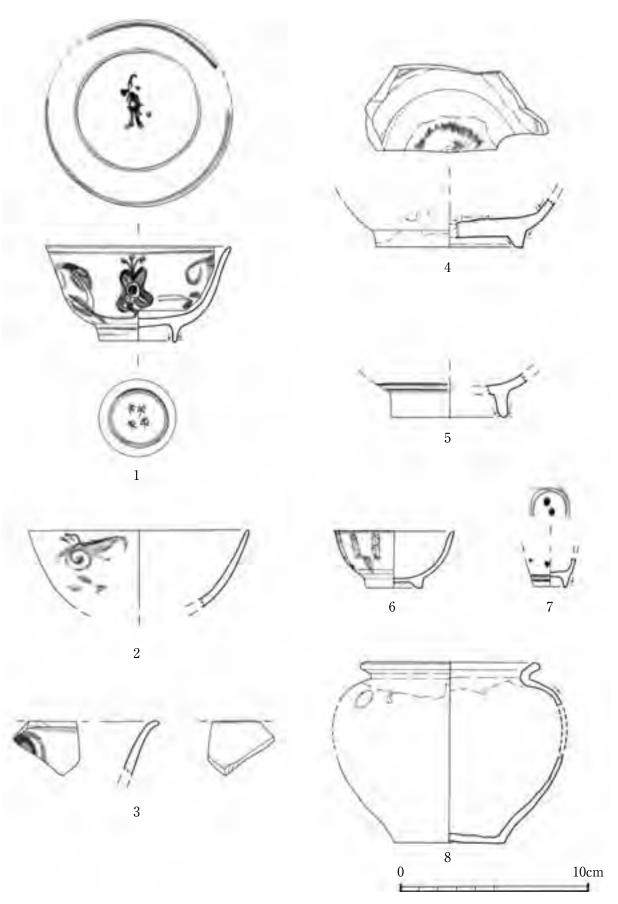
なお、第 11 号墓出土の褐釉陶器壺(第 43 図 8 図版 75 の 8)は、転用蔵骨器として集計した資料である。

第11表 中国産陶磁器出土一覧

	種類				中国	国産					
		育	手	<u>†</u>	 手 も	白磁	色絵	褐釉陶器	そのい	合	計
出土地		碗	蓋	碗	小杯	17.5		器	他		
第2号墓	墓庭		1								1
第6号墓	埋土	1									1
第7号墓	墓庭					1					1
第11号墓	埋土			2							2
第26号墓	甕No. 1				1						1
第28·29号墓	墓庭								4		4
第28~32号墓	上部斜面								1		1
第29·30号墓	墓庭外			1					1		2
第30号墓	墓庭								1		1
第33号墓	遺物集中部	1									1
第36号墓(H21)	墓庭				1						1
第36号墓(H22)	墓庭掘り方埋土			1							1
第37-1号墓(H22)	墓庭掘り方埋土			1							1
第42号墓	暗渠			1							1
	墓室埋土			2		1			1	4	
第52号墓	墓室床面No.					2				2	7
	墓室掘り方掘り込み			1						1	
第54号墓	墓室埋土中						1				1
第62号墓	蔵骨器No.				1						1
第71号墓	墓室埋土No.					1					1
第72号墓	埋土			4						4	6
第12 7 签	墓庭埋土	1		1						2	0
第73号墓	北側埋土	1									1
第77号墓	墓室			1						1	3
第117 签	一括			2						2	3
第78号墓	墓室			2						2	4
第10万 基	一括			2						2	4
第77·78号墓									1		1
一括								1			1
合	<u></u>	4	1	21	3	5	1	1	9		45
T	PI		5		24	٥	1	1	y		40

第12表 中国產陶磁器観察一覧

第12次 中国度		56				法重単位:cm、()は推昇値		
挿図番号 図版番号	種類	器種	口径 器高 底径	色調	出土地点			
第43図 1 図版75の 1	青花	碗	9.8 5.0 4.0	内外面:淡青白色 素地:乳白色	畳付け以外全面施釉。畳付けは釉を削り取る。 内外面に濃い呉須による文様をほどこす。胴 部に花唐草、内外底にデザイン化された銘。	第78号墓 褐色土 A		
第43図 2 図版75の 2	青花	碗	(11.6)	内外面:灰白色 素地:黄灰色	残存部全面施釉。外面胴部に呉須による唐草 文?が施される。器全体は白濁。	第78·78号墓前		
第43図 3 図版75の3	青花	碗	111	内外面:淡緑色 素地:黄灰色	残存部全面施釉。口縁は外反。 外面に呉須による丸文と思われる文様。	第78号墓 地山直上		
第43図 4 図版75の 4	青花	碗	— — (7.8)	内外面:青白色 素地:灰白色	高台内外の中位より下は露胎。 内底は蛇の目になり、中心は窪む。 呉須による文様が、外面胴部と内底に見られ る。内面腰部には圏線が1条見られる。	第28·29号墓 墓庭 掘り方埋土		
第43図 5 図版75の 5	青花	碗	(6.1)	内外面:青白色 素地:灰白色	畳付け以外全面施釉。畳付けは釉を削り取る。 外面腰部に圏線2条。内面腰部にも僅かに呉 須がみられる。	第77号墓 人骨集中部 攪乱一括		
第43図 6 図版75の 6	青花	杯	6.4 3.0 3.0	内外面:灰白色 素地:灰白色	畳付け以外全面施釉薬。高台内に離砂が多量 に付着。 外面胴部に呉須による梵字文が2段、圏線が 口縁に1条、腰部に2条巡る。	第26号墓 墓室埋土 蔵骨器No.1		
第43図 7 図版75の 7	青花	杯	(1.7)	内外面:青白色 素地:灰白色	内面から外面高台まで施釉。 呉須による文様は、外面胴部に文様の一部と 高台に圏線2条。内底に点文と圏線2条が見 られる。	第36号墓 墓庭掘り方埋土		
第43図 8 図版75の8	褐釉陶器	壷	(9.5) (9.5) 5.8	釉色:暗褐色 素地:赤褐色	口縁は大きく外反する。施釉範囲は外面口縁下約1 c mから口縁内まで施釉。 内外面に釉垂れが見られる。ロかによる成形痕が内面に明瞭。外面下部はナデ調整が見られる。	第11号墓 墓庭右側サンミデー		



第43図 (図版75) 中国産陶磁器

第3節 本土産陶磁器

本遺跡から得られた本土産陶磁器は 128 点を集計した (第 13 表)。ここでは、第 62 号墓出土資料以外の瓶、皿、碗、杯など特徴的なもの 10 点を図示する (第 44 図 図版 76)。

時期的には近世から近代にかけての資料である。産地は肥前・砥部・瀬戸美濃などが考えられた。種類としては、小杯が最も多く 27 点(近世期 16 点、近世~近代 11 点)で、瓶の 22 点と続く。その他、碗 2 点、陶器皿 1 点と続く。その他としたものは、近代期に属する資料と捉えられたもので、器種の分類は割愛した。

本墓群での本土産磁器の出土傾向は、瓶と小杯がセットになって得られていることにある。これは、 調査中の調査員等の感触とも一致している。

特に、瓶として分類集計した22点は、網目文、草花文、青磁などの近世期の肥前系磁器と考えられることから、墓域の成立における時期の考察に貴重な成果であったと考える。

個々の資料の特徴は、第14表に示す。

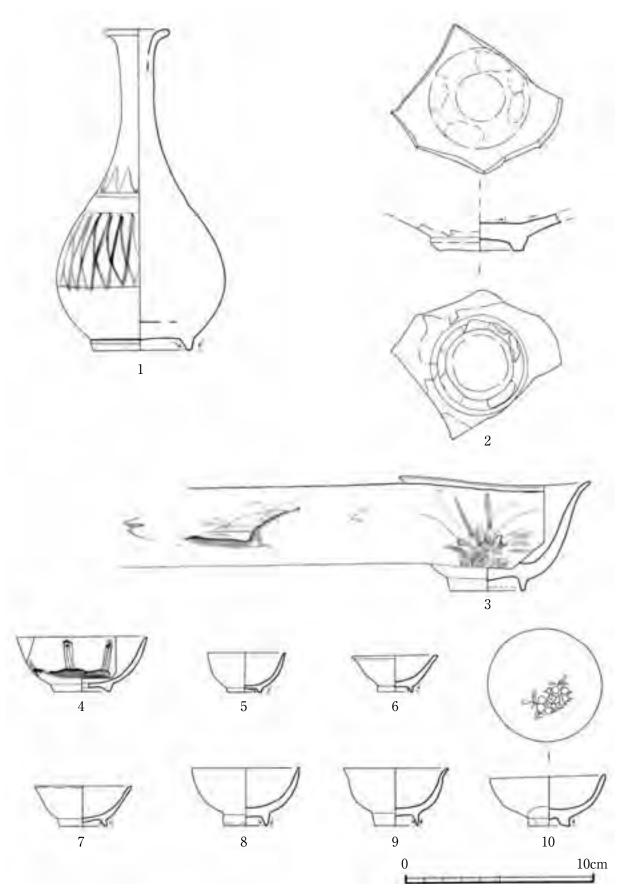
第13表 本土産陶磁器出土一覧

	本土産													
	近世								近代		合計			
		瓶		碗		小杯			小杯	l kr	2 00 1014	台	i	
出土地		網目	草花	青磁	草花	Ш	染付	瑠璃	白磁		小杯	その他		
第1号墓	墓庭	1							1			2		4
第1・2号墓	墓庭											1		1
第2号墓	墓庭		1		1							1		3
第3号墓	甕No.7								1					1
第6号墓	墓室											1		1
第7号墓	墓庭								2			1		3
第8号墓	墓庭											1		1
第9号墓	墓庭											1		1
第13号墓	墓庭		2											2
第15号墓	下層埋土								1			2		3
第17号墓	墓室埋土											1	1	
	墓庭掘り方埋土											1	1	2
第17-1号墓	墓室掘り方埋土											1		1
第24号墓	墓庭											1		1
第26号墓	墓庭									1				1
第28号墓	墓庭外				1							1		2
第28・29号墓	墓庭		1			1				1	1	3		7
第29号墓	墓室											1		1
第29・30号墓	墓庭外											2		2
第30号墓	墓庭											3		3
第31号墓	墓庭	1	1										2	4
知31 夕蚕	暗渠周り									2			2	4
第32号墓	墓庭											2	2	3
	墓庭外											1	1	
第33号墓	遺物集中部		1									1		2
第34号墓	墓庭											1		1
第35号墓	墓庭											1		1

	種類	本土産												
		近世			世					近	代	∧ =	4	
		瓶			碗	小杯			小杯	t ke	2 0 114	合語	iΤ	
出土地		網目	草花	青磁	草花	Ш	染付	瑠璃	白磁		小杯	その他		
第35-1号墓(H21)	墓庭											1		1
第35-1号墓(H22)	墓庭掘り方埋土									2				2
第35-1、41号墓	墓庭掘り方埋土No.									1		1		2
第36号墓	墓庭埋土											3		3
第37号墓	墓庭											2		2
第37-1号墓(H22)	墓庭掘り方埋土								1				,	1
第38号墓	埋土·墓庭外						1					1		2
第42号墓	暗渠											2		2
	人骨No.								1				1	
第46号墓	墓庭掘方埋土											1	1	3
	表採46号墓付近											1	1	
	墓庭掘り方埋土											1	1	
第48号墓	墓庭掘り方埋土No.								1				1	2
	墓室埋土											2	2	
第49号墓	墓庭埋土											3	3	6
.,	墓庭埋土一括											1	1	
第51号墓	墓室No.										1			1
第51、52号墓	墓庭掘り方埋土No.	2												2
.,	墓室床面No.	2							2				4	
	墓室右タナ直上	1							_				1	
第52号墓	墓庭埋土									1			1	8
	墓室掘り方掘り込み		1						1				2	
第55号墓	北側埋土		1											1
第56号墓	埋土											1		1
第58号墓	埋土											2		2
第60号墓	埋土中											1		1
7,000 3 E	墓室埋土No.	1		1									2	
第62号墓	墓室掘り方埋土No.			1			1	1					3	6
7, 02 J E	北側埋土								1				1	Ü
	墓室								_			1	1	
第63号墓	墓口埋土		1									1	1	4
分03万 <u>零</u>	墓庭掘り方埋土	1	1										2	
第68号墓	埋土		1									1		1
7,00,7 至	墓庭埋土											1	1	
第70号墓	埋土											1	1	2
	墓室埋土											1	1	
	墓庭埋土											1	1	
第71号墓	西側表土中											1	1	5
	西側											2	2	
第72号墓	埋土								1			3	4	
	墓庭埋土								1		1	1	2	6
第76号墓	墓口埋土		1				-				1	1	4	1
第77号墓	基口 建工 墓室		1					<u> </u>	<u> </u>			3		3
かけり至	墓室							<u> </u>	<u> </u>			2	2	3
第78号墓	一括											1	1	3
第77·78号墓									<u> </u>			1	1	1
									<u> </u>			3		3
10		9	11	2			2	1	13) 		3
合計		9	11	22	2	1		1	16	8	3	76		
		22 10 0 3						'0		128				

第14表 本土産陶磁器観察一覧

70	三四四級合作民元元	見				太重単位・CIII、()は推昇値
挿図番号 図版番号	種類	器種	口径 器高 底径	色調	文様・特徴など	出土地点
第44図 1 図版76の1	磁器	瓶	(3.4) 16.9 5.3	外面:灰白色	外面畳付け以外、口縁内面まで施釉。 畳付け際に離砂付着。 外面に呉須による文様、頚部に鋸歯文と圏線 2条、胴部は網目文と上下に圏線1条づつ、高 台に圏線が2条施される。	第63号墓 墓庭掘り方埋土
第44図 2 図版76の2	陶器	IIII.	_ _ 4.4	外面釉:淡緑色 内面釉:褐緑色 素地:淡橙色	外面腰部から内面まで施釉。 内面に蛇の目釉剥ぎ、その露胎に目痕が残る。 腰部、高台に削り痕。畳付けは抉りと研磨を施す。	第28·29号墓 墓庭埋土
第44図 3 図版76の3	磁器	碗	10.2 6.1 4.0	内外面:淡灰色 素地:淡灰白色	畳付け以外全面施釉。畳付け際に離砂付着。 呉須による文様、口縁、腰部に圏線1条づつ、 高台に圏線を2条巡らし、胴部には山水文。	第28号墓 上部斜面
第44図 4 図版76の 4	磁器	杯	(6.8) 2.9 (3.0)	内外面:青白色 素地:乳白色	全面に施釉するが、口唇の一部に釉の剥がれ が見られる。 外面胴部に呉須による文様。	第38号墓 埋土
第44図 5 図版76の 5	磁器	杯	4.15 2.1 1.8	内外面:淡灰白色	畳付け以外全面施釉。 型作り。器壁は薄い。	第46号墓 人骨No
第44図 6 図版76の 6	磁器	杯	4.6 1.9 1.95	内外面:淡灰白色 素地:乳白色	畳付け以外全面施釉。 口縁部は開く器形。	第7号墓 墓庭掘り方②
第44図 7 図版76の 7	磁器	杯	5.2 2.1 2.5	内外面:淡灰白色	畳付け以外全面施釉。 口縁部は開き、高台も「ハ」の字状の器形。	第1号墓 墓庭黑色土
第44図 8 図版76の8	磁器	杯	5.6 3.0 2.3	内外面:淡灰白色	畳付け以外全面施釉。 口縁部は直、高台際釉薬を削り稜を作る。 高台内に離材付着。	第3号墓 蔵骨器Na.7
第44図 9 図版76の 9	磁器	杯	5.6 3.0 2.2	内外面:淡灰白色	畳付け以外全面施釉。 口唇部は外反。畳付け離材が残る。	第7号墓 墓庭掘り方② 第1層
第44図 10 図版76の10	磁器	杯	6.1 2.7 2.2	内外面:淡灰白色	畳付け、外底面以外施釉。 外面の腰部面取りし、高台は方形。 内底面に色絵の痕、輪郭のみ残る。	第13号墓 墓庭掘り方②



第44図 (図版76) 本土産陶磁器

第4節 沖縄産陶器

本遺跡から得られた沖縄産陶器は540点を集計した(第7表)。ここでは、第62号墓出土資料以外の特徴的なものについて紹介する。

出土した沖縄産陶器は、施釉陶器 $(329 \, \mathrm{点})$ 、無釉陶器 $(119 \, \mathrm{点})$ 、陶質土器 $(88 \, \mathrm{点})$ に大別できる。 その中で、施釉陶器は瓶・小杯(第 $45 \sim 47$ 図 図版 $77 \sim 79$)、無釉陶器は壺・瓶・鉢(第 48 図 図版 80)、陶質土器は蓋・壺・水鉢(第 49 図 図版 81)を掲載した。

注目される資料として、施釉陶器のなかの所謂「古典焼」と称されるものが挙げられる(第 45 図 1 ~ 4 図版 77 の 1 ~ 4)。同資料は、副葬品として製作される特徴の論考がある。本墓群より得られた資料にもその特徴が顕著に見ることができる。今後、同テーマに着目して資料の比較・整理・検討を実施できれば、近代沖縄における葬制の一端が明らかになるものと考えられる。また、他に示した施釉陶器は、本墓群の特徴的な出土資料であることから瓶と小杯を主に報告した。

なお、第46号墓出土の無釉陶器の鉢(第48図3 図版80の3)及び第49図1・2(図版81の1・2)に示した第26号墓出土の陶質土器の壺(蓋・身)は、転用蔵骨器として集計した資料である。陶質土器壺の内容物としては、成人男性の人骨片が得られている(附篇1 第1表参照)。

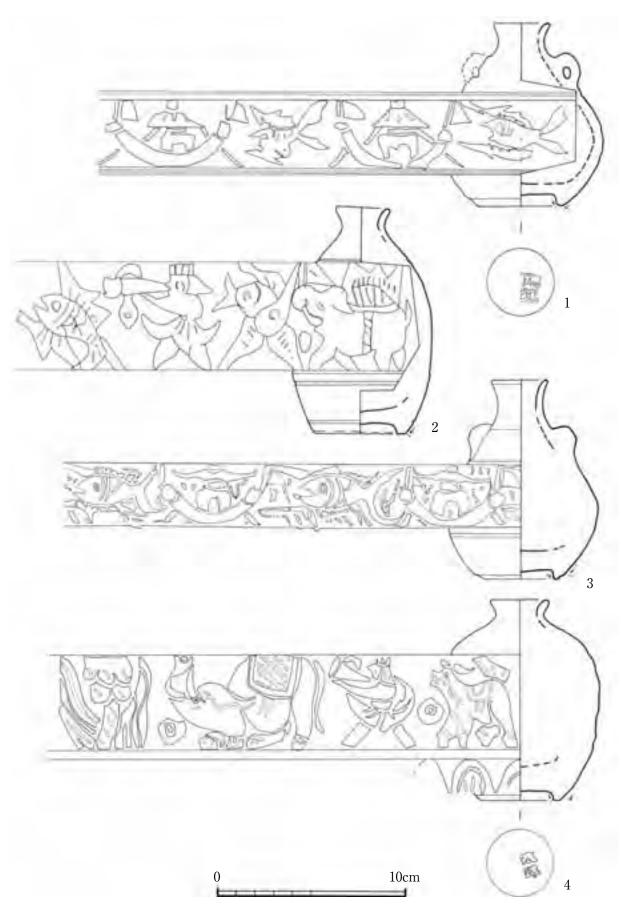
個々の資料の特徴は、第15~19表を参照。

参考文献

仁王浩司 「墓から出土する古典焼~浦添市前田・経塚近世墓群の発掘調査事例より~」 『壺屋焼物博物館紀要』 第10号 2009.3

第15表 沖縄産陶器観察一覧①

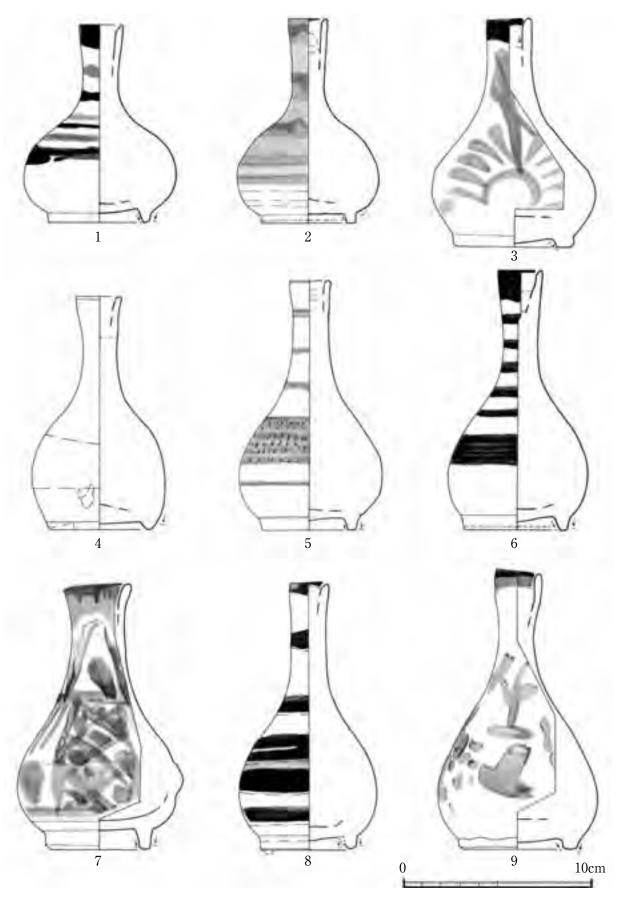
挿図番号 図版番号	出土地	器種	口径 器高 底径	施釉の状況	特徵
第45図の1 図版77の1	第7号墓 墓庭掘り方②第1層	瓶	3.0 9.6 4.6	外面の文様印刻部 及び畳付は掻き取 る。	文様帯には魚と帆船(?)の浮き彫りがある。 左右に耳を配しているが、左は欠失している。 底面に「琉球」の刻印がある。
第45図の 2 図版77の 2	第31号墓 暗渠周り埋土	瓶	2.9 12.0 4.8	外面の文様印刻部 及び畳付は掻き取 る。	文様帯には魚と象、笛を吹く人物の浮き彫り がある。
第45図の3 図版77の3	第9号墓 墓室埋土	瓶	2.9 10.5 4.0	外面の文様印刻部 及び畳付は掻き取 る。	小型である。文様帯には魚と家(?)の浮き彫りがある。左右に耳を配している。
第45図の 4 図版77の 4	第3号墓 墓庭掘り方②	瓶	3.0 10.5 4.2	外面の文様印刻部 及び畳付は掻き取 る。	文様帯には象と牛、植物、笛を吹く人物をモチーフとした浮き彫りがある。底面に「琉球」 の刻印がある。



第45図(図版77) 沖縄産陶器①

第16表 沖縄產陶器観察一覧②

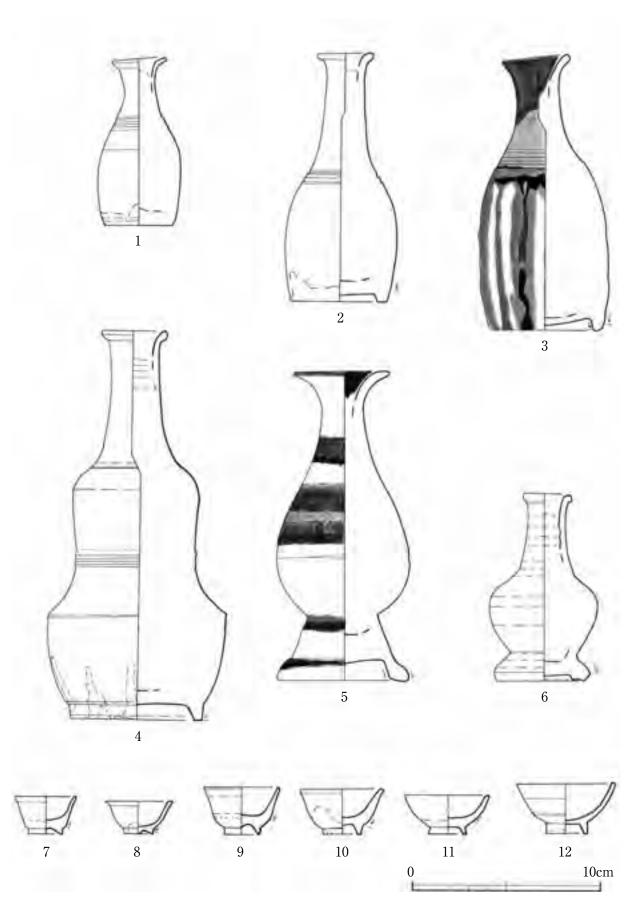
	上四位比示	見む						広重単位・CIII、()は推昇値
挿図番号 図版番号	器種	部位	口径 器高 底径	釉 (外面)	釉 (内面)	施釉範囲・文様など	遺物No.	出土地点
第46図 1 図版78の1	瓶	完形	2.3 10.4 5.3	白化粧 透明釉	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。 畳付けにはアルミナが付着。 外面に呉須と飴色の線条文。	No.56	第1号墓 墓庭黒色土
第46図 2 図版78の2	瓶	完形	2.1 10.8 5.0	白化粧 透明釉	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。 畳付けにはアルミナが付着。外底面に 砂粒、付着物が見られる。 外面に呉須と飴色による線条文。	No.217	第28·29号墓 掘り方埋土
第46図 3 図版78の3	瓶	完形	2.4 12.0 6.3	白化粧 失透	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。 畳付けにはアルミナが厚く付着。全体 に発色が悪く、艶がない。 外面に呉須による花文と口縁に条文。	No.152	第13号墓 墓庭掘り方②
第46図 4 図版78の 4	瓶	完形	2.4 12.3 5.4	褐釉	無し	外面から口縁内まで施釉。 畳付けと外底面は露胎。 外面、掛け分けか?胴部上下で発色に 違いが見られる。	No211	第28·29号墓 墓庭掘り方埋土
第46図 5 図版78の 5	瓶	完形	2.2 13.2 5.0	白化粧 透明釉	_	外面から口縁内まで施釉。 畳付けは釉薬を削り取り、露胎。高台内 縁際に砂粒付着。口唇部は釉剥がれを している。 外面、線彫りの圏線と飛鉋の文様に呉 須と飴色で条文する。	No.216-2	第32号墓 墓庭外 (重機進入路下)埋土
第46図 6 図版78の 6	瓶	完形	2.45 13.7 5.5	白化粧 透明釉	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。 畳付けにはアルミナが付着。外底面、高 台内縁に砂粒が付着。 外面に呉須による線条文。貫入が明瞭。	No.152	第13号墓 墓庭掘り方②
第46図 7 図版78の 7	瓶	完形	3.6 14.0 5.2	白化粧 透明釉	透明釉	外面から口縁内まで施釉。畳付けは釉 薬を削り取り、露胎。 頚部と胴下部に淡青色の界線を1条づ つ。条文の上部に淡青色と飴色の絵付 け。口縁から頚部に緑釉を流し掛け。胴 部に約1.5cmの付着物。	No.228	第28号墓 墓室人骨周辺
第46図 8 図版78の8	瓶	ほぽ 完形	2.1 14.1 5.1	白化粧 透明釉	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。畳付けは釉薬を削り取り、露胎。外底面、 高台内、畳付けに砂粒などが付着。外面 に呉須による線条文。	No.116	第7号墓 墓庭掘り方②
第46図 9 図版78の 9	瓶	完形	2.4 14.8 6.0	白化粧 透明釉	無し	外面、畳付け以外と口縁内まで施釉。 畳付けにはアルミナが付着。全体に発 色が悪く、貫入も見られる。 外面に呉須による草花文と口縁に流し 掛け。	No.180-2	第21号墓 遺物集中部



第46図 (図版78) 沖縄産陶器②

第17表 沖縄產陶器観察一覧③

弗 I / 衣 冲網 B	E阿伯既宗	見し						法量単位:cm、()は推算値
挿図番号 図版番号	器種	部位	口径 器高 底径	釉 (外面)	釉 (内面)	施釉範囲・文様など	遺物No.	出土地点
第47図 1 図版79の1	瓶	完形	2.9 8.9 3.6	褐釉	無し	口縁内から外面底部近くまで施釉。 頚部に沈線が4条巡る。褐色釉が下部 で溜り厚くなる。露胎との際に砂粒が 付着。外底面に糸切痕が明瞭。	No.217	第28·29号墓 墓庭掘り方埋土
第47図 2 図版79の2	瓶	完形	3.0 13.1 5.1	褐釉	無し	口縁内から外面底部近くまで施釉。 外底面に釉がまだらに掛かる。畳付け は平ら。頚部に深目の沈線が3条巡る。	No.19	第8号墓 墓庭埋土
第47図 3 図版79の3	瓶	完形	3.2 14.6 6.1	褐釉·灰 釉	J	口縁内から外面と外底面を施釉。 頚部で褐釉と灰釉の掛け分け。口縁から頚部 に縁釉流し掛けし際は厚くなる。頚部に沈線 が3条巡る。胴部は2本単位で(指か?)釉を なで落とし、施文。畳付けに付着物が残る。約 半分には掻き取った痕が見られる。	No.116	第7号墓 墓庭掘り方②
第47図 4 図版79の 4	瓶	完形	3.4 20.5 7.0	褐釉	無し	渡名喜瓶である。口縁内から外面を施釉。畳付け外底面は露胎。腰部に最大径9.5cmを測り、その上部に沈線3条を巡らす。畳付けは削りにより成形、砂粒の付着が見られる。	No.267	第48号墓 墓庭掘り方 Na 8
第47図 5 図版79の5	瓶	ほぼ 完形	5.1 16.35 6.1	白化粧 透明釉	無し	瓶子と呼ばれる台付瓶である。 口縁内から外面、外底面を施釉。畳付け にはアルミナが付着している。 胴部に線彫文と呉須、飴色による条文。 口縁内は呉須を流し掛け。	No.116	第7号墓 墓庭掘り方②
第47図 6 図版79の6	瓶	完形	2.6 10.0 5.0	褐釉	無し	小型の台付き瓶。 口縁内から外面、外底面に褐釉を施釉。 畳付けは削りにより成形、内側に向かい傾斜。砂粒などの付着が見られる。	No.217	第28・29号墓 墓庭掘り方埋土
第47図 7 図版79の7	杯	完形	3.2 2.0 1.8	淡緑灰色 透明釉	淡緑灰色 透明釉	外面腰部から内面を施釉。腰から下部、 畳付け外底面は露胎。口縁は直下に削 りが見られ外反する。腰部にも明瞭な ヘラ削りが見られ、稜を作る。高台はや や開く形状。畳付けから内に傾斜。	No.124	第8号墓 袖墓 畦こわし
第47図 8 図版79の8	杯	完形	3.5 1.7 1.55	淡灰色 透明釉	淡灰色 透明釉	外面腰部から内面を施釉。腰から下部、 畳付け外底面は露胎。 口縁は外反する。腰部に浅くヘラ削り が見られる。高台は直で、畳付けから内 に傾斜。	No.150	第46号墓 人骨Na 3
第47図 9 図版79の 9	杯	完形	4.0 2.5 1.8	淡緑灰色 透明釉	淡緑灰色 透明釉	外面腰部から内面を施釉。腰から下部、 畳付け外底面は露胎。 口縁は外反する。腰部に浅くヘラ削り が見られる。高台は直で、畳付けに付着 物あり。	No.211	第28・29号墓 墓庭掘り方埋土
第47図 10 図版79の10	杯	完形	4.4 2.4 2.0	緑灰色釉 白濁	緑灰色釉 白濁	外面腰部から内面を施釉。腰から下部、 畳付け外底面は露胎。口縁は直下に削 りが見られ外反し、口唇は丸い。外面胴 部と内底面に砂粒の付着が見られる。	No.75	第6号墓 墓口
第47図 11 図版79の11	杯	ほぽ 完形	4.5 2.1 2.0	淡緑灰色 白濁	淡緑灰色 白濁	外面腰部から内面を施釉。腰から下部、 畳付け外底面は露胎。口縁は直。内底面 やや広く、平ら、砂粒の付着が見られ る。	No.152	第13号墓 墓庭掘り方②
第47図 12 図版79の12	杯	ほぽ 完形	5.2 2.7 2.2	黄緑色釉	黄緑色釉	外面高台半分上から内面を施釉。高台 下部にアルミナの付着痕が残る。外面 胴部に1条、腰部に2条沈線が巡る。内 底面に砂粒が付着。	No.119	第13号墓 墓庭掘り方①
							_	



第47図 (図版79) 沖縄産陶器③

第18表 沖縄產陶器観察一覧④

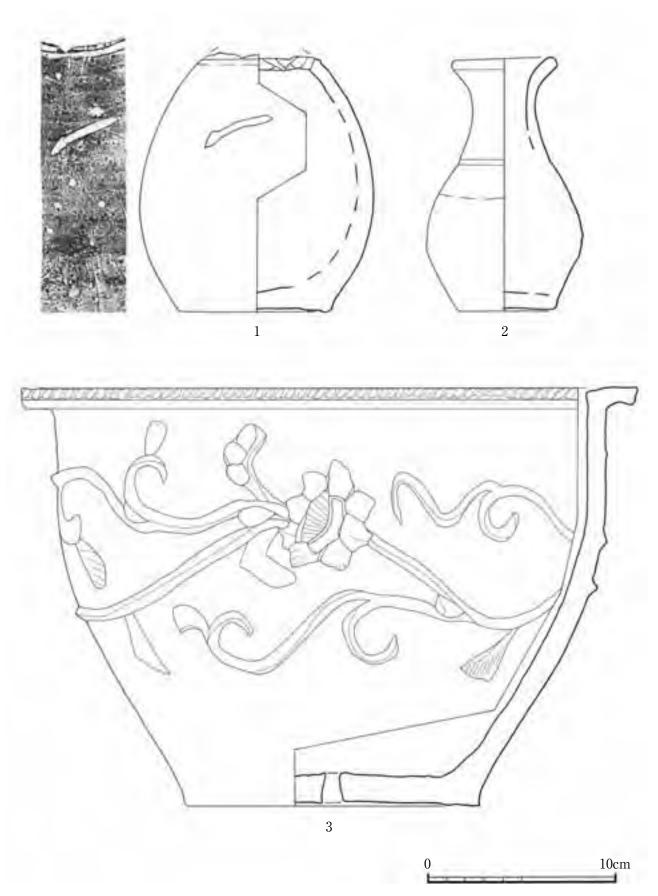
法量単位:cm、()は推算値

挿図番号 図版番号	器種	部位	口径 器高 底径	施釉範囲・文様など	遺物No.	出土地点
第48図 1 図版80の1	壺	胴~底部	13.5 8.2	頚部より上が打ち掻いて外され無頸。 残部の頚部に沈線が2条確認できる。 胴部下部にヘラ調整痕。 胴部に幅約5mm、長さ約4cmのヘラ痕が残る。窯印か?	No.276	34-⑤
第48図 2 図版80の2	瓶	完形	5.5 13.4 5.3	頚部は窄まり、口縁がラッパ。状に開く器形。 胴部下部にヘラ調整痕。胴下半分に自然釉による艶が見られる。	No.153	第46号墓 墓庭埋土
第48図 3 図版80の3	鉢	ほぽ完形	32.7 22.1 15.7	口縁部「L」字状に張り出す形状。 口縁先に貼り付け縄目文を巡らす。胴部にも貼り付け の花唐草文。胴下部と外底面はナデ、調整される。外面 自然釉による艶が見られる。 底面に約1cmの孔を外から内に穿つ。 胴内面に墨書痕が見られる。		第46号墓 墓庭蔵骨器No.4

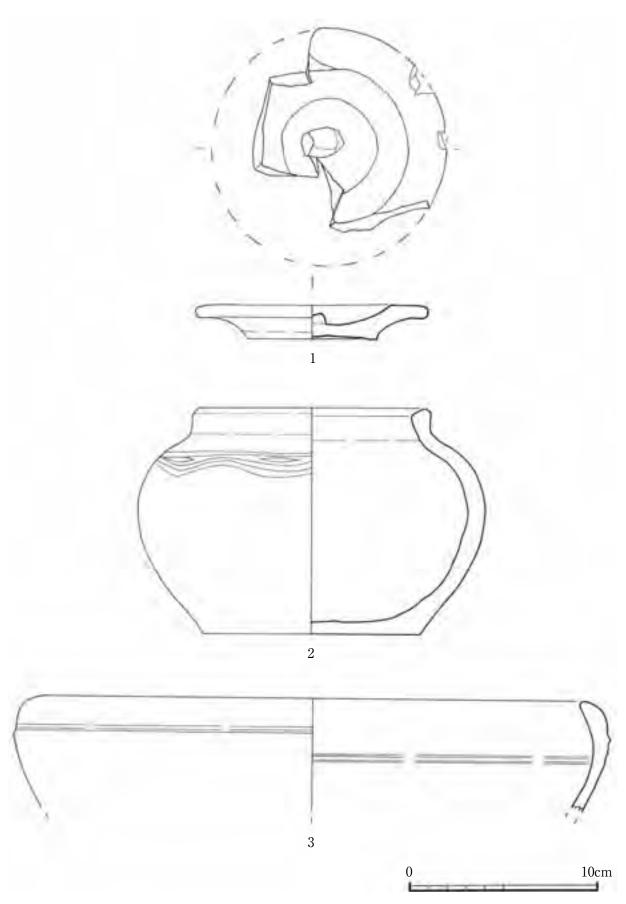
第19表 沖縄産陶器観察一覧⑤

法量単位:cm、()は推算値

挿図番号 図版番号	器種	部位	口径 器高 底径	施釉範囲・文様など	遺物No.	出土地点
第49図 1 図版81の1	蓋	口~底	(12.3) 1.8 7.0	落し蓋と思われる。外周は張り出す、先端は丸い。 上面中央に摘み?の様なものを貼り付ける。 上下面に黒色(煤痕?)の付着が見られる。	No.177	第26号墓 墓庭左側埋土 サンミデー付近
第49図 2 図版81の2	壺	口~底	12.6 11.9 11.4	胴部中位が大きく張り出し、底部と肩部へ狭まる器形。 胴部最大径18.3cmを計る。 口縁は直に立ち、上面内側に傾斜する。肩部に沈線を1 条巡らし、その上から波状沈線を1条巡らす。外面に黒 色(煤痕?)の付着が見られる。	No.177	第26号墓 墓庭左側埋土 サンミデー付近
第49図 3 図版81の3	水鉢	口縁部	(29.0)	口縁で内湾し、先端は舌状になる。 口縁部に沈線1条と2本一組の波状沈線。	No.35	第6号墓 墓室左側埋土



第48図 (図版80) 沖縄産陶器④



第49図 (図版81) 沖縄産陶器⑤

第5節 硯

硯は2点を図示した。第50図(図版82)1は、第30号墓庭外出土。同図2は、第7号墓庭出土。個々の資料の特徴は、第20表参照。

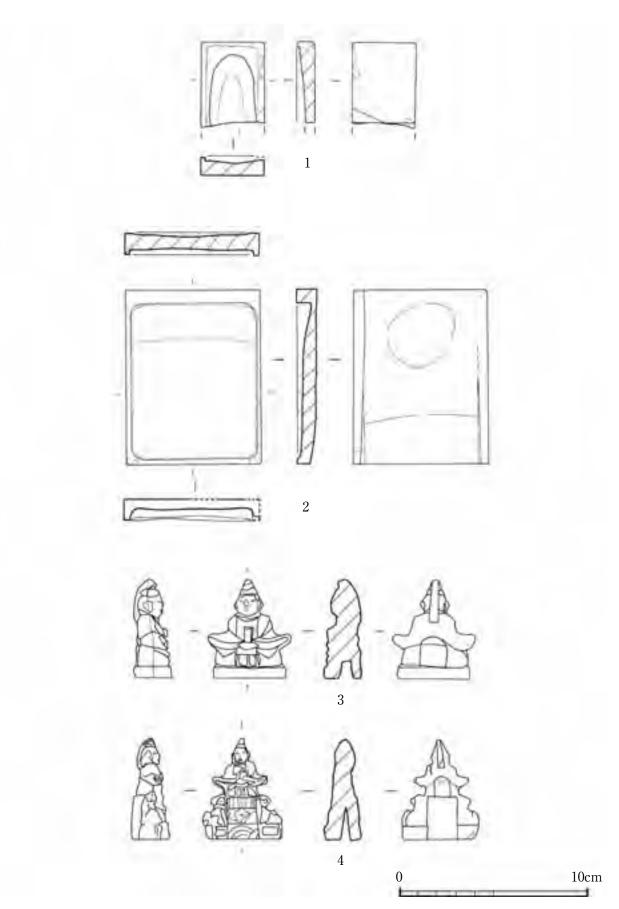
第6節 人形

人形は6点出土した。第50図(図版82)3・4は、第25号墓室より出土。個々の資料の特徴は第20表参照。なお、第25墓では、銭貨と貝が伴って出土した。葬送儀礼の際の意図が読み取れる。

人形は、上記天神2点の他に、第3号墓室から磁器製の人形1点、第17-1号墓室から磁器製の人形2点、第55号墓北側埋土から陶製(沖縄産無釉陶器)の獅子?が1点出土している。

第20表 硯·人形観察一覧 法量单位:cm、g

挿図番号 図版番号	種類	器種	長さ 幅 厚さ	重さ	文様・特徴など	出土地点
第50図 1 図版82の 1	石製品	硯	3.35 0.95	26.7	墨受け部、縁の一部破損。側面に研磨痕。残部の丘に使用によると思われる窪みが見られる。色調は、暗灰色 N3	第30号墓 墓庭外埋土 遺物No219 2010.01.13
第50図 2 図版82の 2	石製品	硯	9.2 7.2 1.2	129.8	縁の一部破損ほぼ完形。幅に比べ長さが短く感じる。 裏面も丘から池のほうに緩やかに下がる形状。 色調は、暗茶灰色 7.5R 4/1	第 7 号墓 墓庭掘り方②第 1 層 遺物No126 2009.10.21
第50図 3 図版82の3	陶製	人形	5.2 4.3 2.0	28.1	側面に型の痕が残る。 底面に約8mmの孔。 尺と烏帽子を持ち台座に座る。 色調は、にぶい橙色 7.5YR 7/3	第25号墓 墓室蔵骨器前 遺物No128 2009.10.27
第50図 4 図版82の 4	陶製	人形	5.3 4.2 2.0	21.1	側面に型の痕が残る。 底面に約4mmの孔。 尺と烏帽子を持ち台座に座る。 台座は高く、両側に狛犬、花文も見られる。 色調は、明褐灰色 7.5YR 7/2	第25号墓 墓室蔵骨器前 遺物No137 2009.10.28



第50図(図版82) 硯·人形

第7節 円盤状製品

円盤状製品は11点を集計し、内2点を図示した(第51図 図版83 第7表参照)。種類別では、沖縄産無釉陶器が5点、沖縄産陶質土器が1点、瓦が5点となっている。

第 2 号墓 2 点、第 28·29 号墓 1 点、第 36 号墓 1 点、第 52 号墓 1 点、第 77 号墓 3 点、第 78 号墓 1 点、第 $77 \cdot 78$ 号墓 1 点、一括 1 点。

第 51 図 1 は、沖縄産無釉陶器の胴部で最大径 6.4cm、最大厚 1.3cm、重量 61.8 g。第 25 号墓室出土。 同図 2 は、沖縄産無釉陶器の胴部で最大径 6.3cm、幅 1.0cm、重量 57.9 g。第 36 号墓庭出土。

第8節 釘

釘は74点を集計し、内9点を図示した(第51図 図版83 第7表参照)。出土地点は、第3号墓(2点)、第4号墓(1点)、第7号墓(6点)、第13号墓(2点)、第25号墓(1点)、第28号墓(10点)、第28号墓(2点)、第32号墓(3点)、第33号墓(遺物集中部)(3点)、第36号墓(12点)、第44号墓(10点)、第46号墓(2点)、第49号墓(10点)、第58号墓(9点)、第77号墓(1点)である。その中で、第3・28・32号墓では、墓室にて一次葬人骨が検出されている。

個々の資料の特徴は第21表を参照。

第21表 釘計測一覧

挿図番号 図版番号	出土地	材質	法量(長さ	cm·g) 重さ	備考	遺物 番号	取上げ年月日
第51図 3 図版83の3	第3号墓 墓室埋土	鉄	4.00	2.1	錆・木片が付着。両端は欠損。	68	2009.08.31
第51図 4 図版83の4	第7号墓 墓庭掘り方②	鉄	4.00	1.9	錆・木片が付着。脚部は欠損。	118	2009.10.09
第51図 5 図版83の5	第7号墓 墓庭掘り方②	鉄	4.10	1.2	錆・木片が付着。	118	2009.10.09
第51図 6 図版83の6	第7号墓 墓庭掘り方②	鉄	4.45	2.0	錆・木片が付着。	118	2009.10.09
第51図 7 図版83の7	第28号墓 墓室人骨周辺	鉄	4.30	1.0	錆・木片が付着。丸釘。	226	2009.12.17
第51図 8 図版83の8	第28号墓 墓室人骨周辺	鉄	4.60	3.1	錆・木片が付着。	226	2009.12.17
第51図 9 図版83の9	第28号墓 墓室人骨周辺	鉄	5.80	3.9	錆・木片が付着。多量の木片の付着で 磁力が弱い。	226	2009.12.17
第51図 10 図版83の10	第28号墓 墓室人骨周辺	鉄	5.50	3.7	錆・木片が付着。	226	2009.12.17
第51図 11 図版83の11	第32号墓 墓室埋土	鉄	3.70	1.5	錆・木片が付着。脚部は欠損。	214	2010.01.06

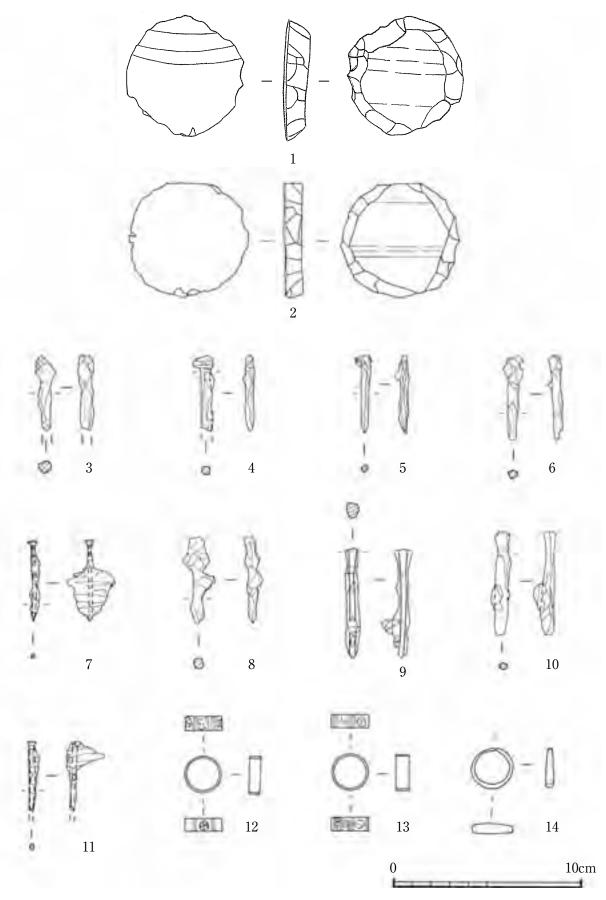
第9節 指輪

指輪は33点集計し、内3点を図示した(第51図 図版83 第7表参照)。出土地点は、第1・2号墓(1点)、第2号墓(1点)、第7号墓(9点)、第11号墓(3点)、第24号墓(2点)、第26号墓(4点)、第28・29号墓(1点)、第32号墓(2点)、第35-1号墓(2点)、第36号墓(1点)、第46号墓(1点)、第49号墓(3点)、第55号墓(2点)、第69号墓(1点)である。その中で、第26・69号墓では、蔵骨器内から得られている。二次葬の際の丁寧な葬送儀礼がうかがえる。

個々の資料の特徴は、第22表を参照。

第22表 指輪計測一覧

	上数	「輪計測一覧 「挿図番号	出土地	材質	+/7		、量(mm・g			遺物	備考
1	1	図版番号		銅	直径 20.30	飾り幅回り 10.69	厚さ 1.55	重さ 5.2	残在率	番号 55	2009.08.28
2	1		第2号墓 墓庭黒色土	銅銅	_	5.93	0.86	1.2	破損	51	2009.08.27
3	1		第7号墓 墓庭掘り方②	銅銅	19.10	5.16	0.70	1.2		118	2009.08.27
									完		
4			第7号墓 墓庭掘り方②	銅	18.81	9.83	1.19	2.4	完	118	2009.10.09
5			第7号墓 墓庭掘り方②	銅	21.38	3.00	1.03	1.0	完	118	2009.10.09
6			第7号墓 墓庭掘り方②	銅	19.20	2.83	0.81	1.2	完	118	2009.10.09
7	9		第7号墓 墓庭掘り方② 第7号墓 墓庭掘り方②	銅	19.15	4.80	1.80	1.2	完	118	2009.10.09
8			(遺物集中部)	銅	21.12	3.11	1.15	1.0	完	118	2009.10.09
9			第7号墓 墓庭掘り方②埋土中	銅	19.28	5.86	1.01	1.5	ほぼ完	120	2009.10.19
10			第7号墓 墓庭掘り方②埋土中	銅	21.64	5.81	1.56	2.8	完	120	2009.10.19
11			第7号墓 墓庭掘り方②埋土中	銅	-	-	-	0.7	破損	120	2009.10.19
12			第11号墓 屋根左側埋土	銅	21.30	6.10	1.61	1.2	完-3	130	2009.10.27
13	3		第11号墓 屋根左側埋土	銅	20.84	5.60	1.30	1.5	完-3	130	2009.10.27
14			第11号墓 屋根左側埋土	銅	19.60	4.80	0.46	0.9	完-3	130	2009.10.27
15	2		第24号墓 墓前埋土	銅	15.54	1.56	0.98	0.3	破損	189	2009.11.27
16	2		第24号墓 墓前埋土	銅	14.09	0.84	0.82	0.1	破損	189	2009.11.27
17			第26号墓 墓室埋土蔵骨器No.2	銅	20.49	7.60	0.98	2.7	完	160 – 1	2009.11.04
18			第26号墓 墓室埋土蔵骨器No.2	銅	20.29	7.74	0.89	2.6	完	160 – 1	2009.11.04
19	4	第51図 12 図版83の12	第26号墓 墓室埋土蔵骨器No.6	銅	19.30	6.55	0.98	2.1	完	160 – 3	2009.11.04
20		第51図 13 図版83の13	第26号墓 墓室埋土蔵骨器No.6	銅	19.39	6.45	0.76	2.1	完	160 – 3	2009.11.04
21	1		第28・29号墓 墓庭掘り方埋土	銅	19.90	0.90	0.80	0.2	完-1	211	2010.01.06
22			第32号墓 ②墓室	銅	21.50	9.28	2.12	5.5	完	263	2010.01.15
23	2		第32号墓 ②墓室	銅	22.69	5.95	1.95	5.5	完	263	2010.01.15
24			第35-1号墓 墓庭掘り方埋土	銅	19.40	1.20	0.90	0.3	完	254	2010.10.14
25	2		第35-1号墓 墓庭掘り方埋土	銅	11.30	5.81	0.82	1.4	完	254	2010.10.14
26	1		第36号墓 墓室左側タナ上	銅	-	1.85	1.52	0.3	破損	295	2010.01.18
27	1	第51図 14 図版83の14	第46号墓 掘り方②	銅	22.00	5.00	2.00	2.1	完	255	2010.10.14
28			第49号墓 掘り方ピット1 №3	銅	19.10	6.40	1.41	2.5	完	218	2010.10.06
29	3		第49号墓 掘り方ピット1 No.3	銅	_	-	_	1.1	破損	218	2010.10.06
30			第49号墓 掘り方ピット2 No.7	銅	20.34	9.98	1.88	5.0	完	222	2010.11.06
31			第55号墓 北側埋土	銅	18.20	1.24	5.50	1.3	完	61	2010.09.02
32	2		第55号墓 北側埋土	銅	19.10	5.41	0.75	1.3	完	61	2010.09.02
33	1		第69号墓 墓室蔵骨器No.8	銅	19.00	8.10	1.10	1.6	完	633	2010.11.26
			<u> </u>				L				



第51図(図版83) 円盤状製品·釘·指輪

第10節 簪

簪は総数 32 点(第7表では 33 点。1点は第62号墓の花形が同一の資料と思われるので、1点と換算した。)出土した(第23表)。その内 6点を第52 図(図版 84) $1\sim6$ に図示した。個々の資料の観察等は、第24・25表を参照。

本資料の分類は、『安謝西原古墓群^註 (第16表)』を参考にした結果、花形8点、耳かき形7点、匙形13点、不明4点である。なお、第62号墓出土資料の2点については、第42図(図版74)に示している。 材質は鑑定していないが銅製品がほとんどで29点、他に錫1点(第52図5)、ジュラルミンが2点含まれていた。

一番多く出土した遺構は、第 33 号墓で 5 点である。続いて第 7 号墓の 4 点、第 28・29 号墓及び第 48 号墓の 3 点と続く。その他の遺構では $1\sim 2$ 点であった。

第59図は、簪の長さと頭部の幅の関係を示した。花形は長くなっても頭部の花は2cmで一定の幅を 呈しているが、匙形は長くなれば匙の部分も大きくなる傾向を示している。耳かき形は、長くなって も耳の幅が大きくなることは見られない(第51号墓出土の匙形Aは第59図に入っていない。)。

註 山里千春 「第9節 簪」『安謝西原古墓群』 那覇市教育委員会 2001年3月

第23表 簪出土一覧

番号	出土地点	遺物No.		花	形		耳か	き形		匙	形		不明	合計
田り	田上起总	. 退初N0.	Α	В	С	D	Α	В	Α	В	С	D	71,191	
1	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118							1					4
2	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118											1	
3	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118								1				
4	第7-1号墓 地山直上	114	1											
5	第8-1号墓 前埋土							1						1
6	第13号墓墓庭外側		1											2
7	第13号墓付近						1							
8	第17号墓 墓庭掘り方埋土中	128								1				2
9	第17-1号墓 墓口羨道埋土	18										1		
10	第24号墓前埋土								1					1
11	第26号墓 墓庭掘り方埋土中	192											1	1
12	第28・29号墓庭掘り方埋土	227	1											3
13	第28・29号墓庭掘り方埋土	217						1						
14	第28・29号墓庭掘り方埋土	217	1								ĺ			
15	第33号墓遺物集中部	209	1											5
16	第33号墓遺物集中部	209	1								İ			
17	第33号墓遺物集中部	209						1						
18	第33号墓遺物集中部	209								1				
19	第33号墓遺物集中部	209						1						
20	第34号墓 墓室埋土	223								1				1
21	第35-1·41号墓墓庭掘り方埋土No27	366						1						1
22	第48号墓 墓庭掘り方No.14	273								1				3
23	第48号墓 墓庭掘り方№5	264									1			
24	第48号墓庭掘り方No13	272								1				
25	第49号墓、掘り方ピット2 No.8	223											1	1
26	第51号墓、墓室No. 2	448							1					1
27	第52号墓庭埋土	65											1	1
28	第55号墓北側埋土	68									1			1
29	第63号墓墓室蔵骨器No3	547		1										1
30	第62号墓 北側斜面表土	594									1			2
31	第62号墓 墓室掘り方埋土No.11 No.10と同一	536				1								
32	第78号墓 蔵骨器No.1							1						1
	合計		6	1	0	1	1	6	3	6	3	1	4	32

<i>7</i> 027	衣								法量(c	m· \(\sigma \)			()は推定値
番号	出土地	遺物 番号	日付け	形状	類	材質	長さ (残)	頭部 (幅)	首-竿音		竿部 長さ	重量	備考
1	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118	2009 · 10 · 09	匙形	A	銅	8.0	1.08	0.27	0.41	5.3	6.1	完形
2	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118	2009 · 10 · 09	不明	_	銅	5.5	_	0.29	0.30	3.0	2.3	破片
3	第7号墓墓庭掘り方②遺物集中部	118	2009 · 10 · 09	匙形	В	銅	14.7	1.90	0.55	0.69	10.9	33.3	完形
4	第7号墓(7-1)ソデ墓墓室左側地山直上	114	2009· 10·07	花形	A	銅	6.0	2.14	0.32	0.52	4.4	8.5	完形
5	第8号墓ソデ墓前埋土		2009· 10·02	耳かき 形	В	銅	12.1	0.55	0.33	0.47	7.3	8.8	完形
6	第13号墓墓庭外側		2009 · 09 · 30	花形	А	銅	11.4	2.21	0.31	0.48	8.0	16.9	完形
7	第13号墓付近		2009 · 08 · 28	耳かき 形	Α	銅	7.8	0.67	0.40	0.41	5.4	7.1	完形
8	第17号墓墓庭掘り方埋土中	128	2010· 09·21	匙形	В	銅	17.0	2.09	0.45	0.56	12.0	28.8	完形
9	第17-1号墓墓口羨道埋土	18	2010 · 08 · 23	匙形	D	銅	10.5	1.08	0.20	0.30	5.0	5.0	完形・竿部で曲がっ ている
10	第24号墓前埋土		2009· 11·27	匙形	А	錫	10.3	1.58	0.57	0.68	7.3	15.5	完形
11	第26号墓 墓庭掘り方埋土中	192	2009 · 11 · 30	不明	_	銅	2.2	_	Ţ	_	Ţ	0.3	破片
12	第28・29号墓庭掘り方埋土	227	2010 · 01 · 08	花形	А	銅	11.8	2.06	0.46	0.58	8.3	19.4	完形
13	第28・29号墓庭掘り方埋土	217	2010 · 01 · 07	耳かき 形	В	銅	15.2	0.46	0.19	0.27	10.7	3.7	完形・首部で曲がっ ている
14	第28・29号墓庭掘り方埋土	217	2010 · 01 · 07	花形	А	銅	(10.5)	2.50	0.30	0.31	7.1	6.3	花弁と首部が離れている ムディ部で曲がっている
15	第33号墓遺物集中部	209	2009· 12·18	花形	А	銅	6.9	2.20	0.22	0.41	4.7	4.1	完形
16	第33号墓遺物集中部	209	2009· 12·18	花形	Α	銅	(10.0)	(2.44)	0.25	0.36	6.8	7.0	花弁と首部が離れ ている
17	第33号墓遺物集中部	209	2009 · 12 · 18	耳かき 形	В	銅	15.6	0.41	0.18	0.24	11.0	4.0	完形·首部で曲がっ ている
18	第33号墓遺物集中部	209	2009 · 12 · 18	匙形	В	銅	15.0	1.89	0.42	0.53	13.0	17.7	完形
19	第33号墓遺物集中部	209	2009· 12·18	耳かき 形	В	銅	12.1	0.26	0.17	0.22	9.9	2.7	完形
20	第34号墓 墓室埋土	223	2010· 01·15	匙形	В	ジュラ ルミン	12.4	1.40	0.52	0.57	9.0	5.8	完形・竿部で曲がっ ている
21	第35-1·41号墓墓庭掘り方埋土No27	366	2010· 11·04	耳かき 形	В	銅	13.2	0.35	0.25	0.27	9.9	4.1	完形
22	第48号墓 墓庭掘り方No14	273	2010 · 10 · 15	匙形	В	銅	12.0	1.50	0.37	0.50	8.0	11.0	完形
23	第48号墓 墓庭掘り方No5	264	2010 · 10 · 15	匙形	С	銅	18.0	1.90	0.36	0.37	13.0	16.4	完形・匙部が離れて いる
24	第48号墓庭掘り方Nol3	272	2010 · 10 · 15	匙形	В	銅	(12.7)	(1.50)	0.36	0.51	7.0	8.9	ほぼ完形(匙部半分 欠)
25	第49号墓 掘り方ピット 2 No8	223	2010 · 10 · 06	不明	J	ジュラ ルミン	(8.8)	_	0.36	0.70	Į	3.0	結った毛髪に伴う
26	第51号墓 墓室No2	448	2010· 11·12	匙形	A	銅	9.2	1.80	0.29	0.49	J	_	結った毛髪に伴う。 完形
27	第52号墓庭埋土	65	2010 · 09 · 02	不明	_	銅	7.9	-	0.19	0.28	4.1	3.1	竿部のみ(花形?)
28	第55号墓北側埋土	68	2010 · 09 · 03	匙形	С	銅	15.0	1.35	0.34	0.39	10.0	11.1	完形・匙部が曲がっ ている
29	第62号墓 北側斜面表土	593	2010 · 11 · 25	匙形	С	銅	(14.0)	1.50	0.33	0.45	9.7	8.1	ほぽ完形・竿部で曲 がっている。第42図8
30	第62号墓 墓室掘り方埋土No10・11	535 · 536	2010· 11·19	花形	D	銅	(6.6)	1.36	0.19	0.35	2.8	3.0	花弁と首部が離れ ている。第42図7
31	第63号墓墓室藏骨器No3	547	2010· 11·19	花形	В	銅	7.2	1.62	0.32	0.40	5.4	8.3	ほぼ完形・花弁2枚 欠
32	第78号墓蔵骨器No1周辺		2008· 11·14	耳かき 形	В	銅	(16.0)	0.38	0.27	0.34	10.5	7.0	ほぽ完形
	1					<u> </u>							I

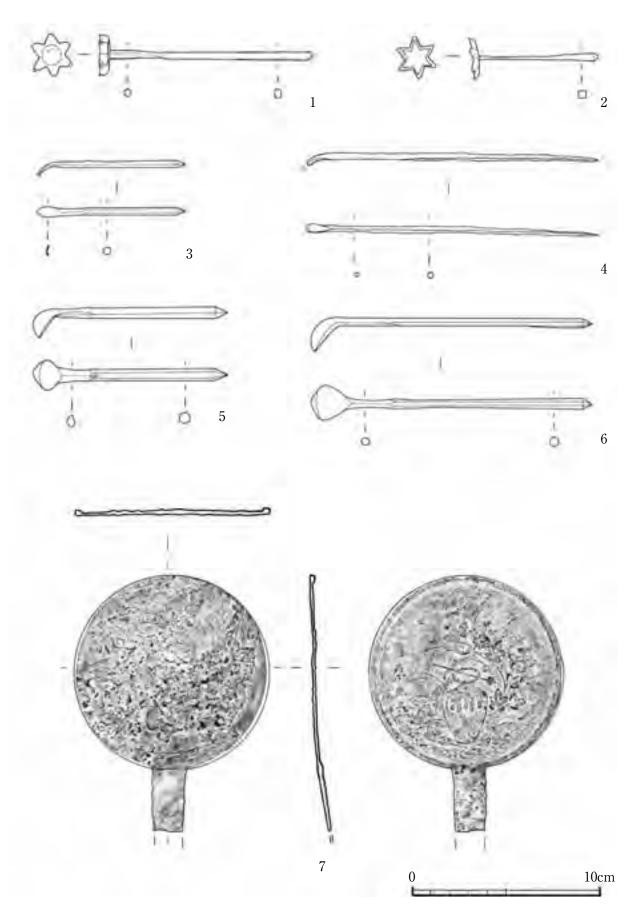
第11節 鏡

鏡は、1点のみ得られた。第52図(図版84)7、第48号墓(墓庭掘り方№1)より出土した柄鏡である。 柄が半分程度破損し、残長は13.6cm、鏡部分の径は10.1cm、柄の幅1.7cm、厚み0.25cm、重さ72.9gである。 鏡背の文様は、中央部下に「壺の口に柄杓」、上部に「菊の花」を配置している。左には「藤原光長」 の銘が浮文で見られる。

ちなみに、同墓からは、「康熙 53 (1714) 年」の銘書が記された蔵骨器が確認されている。また、成人男性 7 名、成人女性 4 名、成人性別不明 2 名、幼児 2 名の合計 15 名の人骨が確認されている(附篇 1 参照)。ただし、鏡の出土位置は、墓庭からの出土であるため、人骨との関わりは判然としない。 資料の観察等は、第 25 表参照。

第25表 簪·鏡観察一覧

挿図番号 図版番号	出土地	形状	類	材質	特徴
第52図の1図版84の1	第13号墓 墓庭外側	花形	A	銅製品	全長11.4 cmの完形の製品である。首部は六角形で竿部は四角形で先端は四角錐になる。ムディ部にひねり痕は見られない。
第52図の2図版84の2	第33号墓 遺物集中部	花形	A	銅製品	全長 6.9 cmの小型製品である。ムディ部にひねり痕が見られる。
第52図の3図版84の3	第13号墓 付近	耳かき形	A	銅製品	全長7.8 cm、重量7.1 g で重量感のある小型製品である。 竿部は六角形で先端は六角錐である。
第52図の4図版84の4	第78号墓 蔵骨器No1周辺	耳かき形	В	銅製品	残存長 1 6.0 cmの長めのタイプである。耳かき部が半分欠損している。
第52図の5図版84の5	第24号墓 前埋土	匙形	A	錫製品	完形品である。長さ10.3cmの短いタイプである。首部~ 竿部まで六角形で先端部も六角錐である。竿部に模様らし きものが見られるが、刻印が薄く判然としない。
第52図の6図版84の6	第33号墓 遺物集中部	匙形	В	銅製品	完形品である。長さ15.0cmの長めのタイプである。首部 ~ 竿部まで六角形で先端部も六角錐である。
第52図の7図版84の7	第48号墓 墓庭掘り方No 1	柄鏡	_	銅製品	柄が半分ほど欠損している。直径10.1 cm、厚さ0.25 cm、重量72.9 gである。裏面の模様は菊の花、壺の上に柄杓の図柄が確認できる製品である。「藤原光長」の銘が読める。



第52図(図版84) 簪·鏡

第12節 煙管

煙管は、51 点を数えた (第26表)。その内、11 点を図示する (第53 図 図版85)。

出土地点は、第1・2号墓(3点)、第4号墓(1点)、第6号墓(1点)、第7号墓(3点)、第8号墓(2点)、第8-1号墓(1点)、第9号墓(1点)、第13号墓(4点)、第16号墓(2点)、第26号墓(1点)、第28・29号墓(3点)、第33号墓(1点)、第34・35号墓(1点)、第35-1号墓周辺(1点)、第35-1号墓(2点)、第35-1号墓周辺排水(1点)、第36号墓(1点)、第41号墓(1点)、第47号墓(3点)、第48号墓(4点)、第51号墓(1点)、第55号墓(2点)、第62号墓(5点)、第70号墓(1点)、第72号墓(1点)、第76号墓(1点)、第77号墓(1点)、第77・78号墓(1点)である。

材質は、金属製品 (銅・アルミ)、沖縄産陶器 (施釉・無釉)、本土産磁器 (瑠璃釉) がある。

種類としては、雁首 25 点(銅製 19 点、アルミ製 1 点、沖縄産施釉陶器 3 点、同無釉陶器 1 点、本土産瑠璃釉 1 点)、吸口 23 点(銅製 18 点、アルミ製 2 点、沖縄産施釉陶器 3 点)、延ベキセル 3 点(銅製)である。

なお、個々の資料の特徴は、第27表に譲る。

第26表 煙管出土一覧

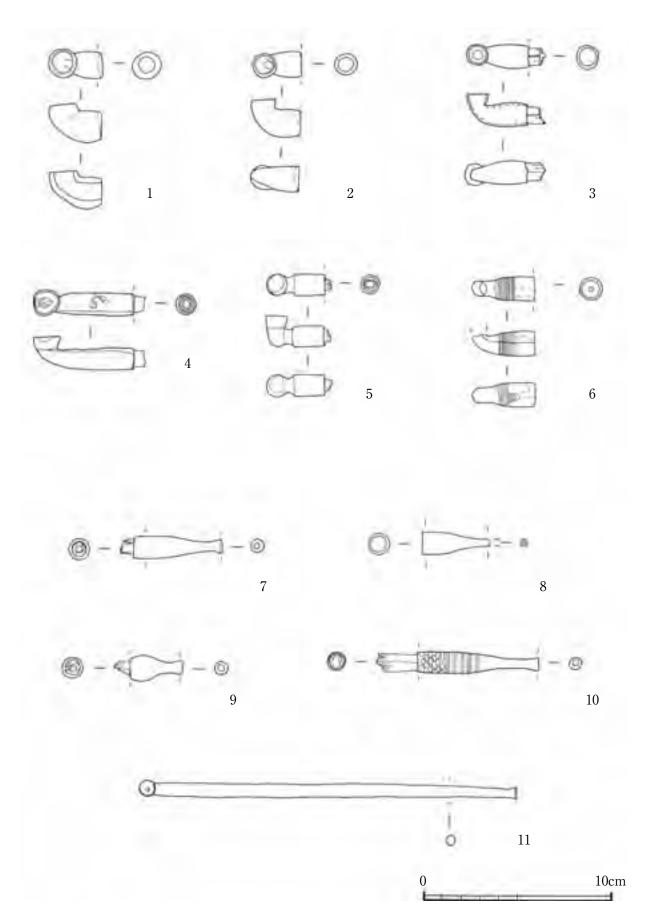
			金属製品			ì	中縄産陶器	ŗ.	本土産磁器	
出土地		銅製品		アルミ	シシ 製品	施釉	陶器	無釉陶器	瑠璃釉	合計
	雁首	吸口	延ベキセル	雁首	吸口	雁首	吸口	雁首	雁首	
第1・2号墓 墓庭黒色土		2								2
第1.2号墓 残土						1				1
第4号墓 墓庭黒色土	1									1
第6号墓 墓室埋土	1									1
第7号墓 墓庭掘り方②	1	2								3
第8号墓 墓庭埋土		1								1 2
第8号墓墓庭掘り方中埋土							1			1
第8-1号墓 墓前埋土	1									1
第9号墓 墓庭埋土	1									1
第13号墓 墓庭外側	1	1								2 4
第13号墓 墓庭外側埋土	1	1								2
第16号墓 墓掘り方埋土一括	1	1								2
第26号墓 掘り方埋土中			1							1
第28・29号墓 墓庭掘り方埋土	2	1								3
第33号墓 付近					1					1
第34·35号墓 斜面埋土		1								1
第35 - 1・41号墓 墓庭掘り方埋土No.6							1			1
第35-1号墓 墓庭掘り方埋土	1					1				2
第35-1·36·37-1·41号墓 排水施設北側落ち込み	1									1
第36号墓 墓庭掘り方埋土									1	1
第41号墓 墓庭掘り方埋土								1		1

				金属製品			i	中縄産陶器	n i	本土産磁器		
	出土地		銅製品		アル	ミ製品 しゅうしゅう	施釉	陶器	無釉陶器	瑠璃釉	合	計
		雁首	吸口	延ベキセル	雁首	吸口	雁首	吸口	雁首	雁首		
第47号墓	墓庭埋土			1							1	3
第47号墓	掘り込み埋土	1	1								2	3
第48号墓	墓庭掘り方						1				1	
第48号墓	墓庭掘り方No.2		1								1	4
第48号墓	墓庭掘り方No.	1									1	4
第48号墓	掘り方No.6							1			1	
第51号墓	埋土中	1										1
第55号墓	埋土					1					1	2
第55号墓	墓室埋土				1						1	4
第62号墓	墓室No.11付近		1								1	
第62号墓	墓室掘り方埋土No.8	1									1	5
第62号墓	墓室掘り方埋土No.9	1									1	5
第62号墓	墓室蔵骨器No.13		2								2	
第70号墓	埋土(人骨より下層)		1									1
第72号墓	埋土	1										1
第76号墓	墓室埋土			1								1
第77号墓	墓前		1									1
第77・78号	墓 墓前	1										1
一括			1									1
合計		19	18	3	1	2	3	3	1	1		51

第27表 煙管計測一覧

挿図番号	出土地	材質	部位			法量(em·g)			遺物	備考
図版番号	出工地	材質	部址.	長さ(残り)	火皿径	首部立上り	ラウ接合部径	吸口径	重量	番号) 佣考
第53図 9 図版85の9	第1・2号墓 墓庭黒色土	銅	吸口	2.70	J	J	1.10	0.77	5.0	55	2009.08.28
第53図 10 図版85の10	第1・2号墓 墓庭黒色土	銅	吸口	6.40	_	_	1.03	0.68	7.2	55	2009.08.28
第53図 2 図版85の2	第1・2号墓 残土	沖縄産 施釉	雁首	2.90	1.50	2.10	1.52	ĵ	6.0		2009.09.10
	第4号墓 墓庭黒色土	銅	雁首	7.00	1.50	1.93	0.88	ĵ	5.9	50	2009.08.27
	第6号墓 墓室埋土	銅	雁首	3.30	1.10	1.60	1.10	ĺ	6.6	20	2009.08.14
	第7号墓 墓庭掘り方②	銅	雁首	4.70	0.90	1.50	1.06	ĺ	5.7	118	2009.10.09
	第7号墓 墓庭掘り方②	銅	吸口	6.90	Į	<u> </u>	1.00	0.72	15.0	116	2009.10.07
	第7号墓 墓庭掘り方②	銅	吸口	6.30	Į	J	0.95	0.69	6.3	118	2009.10.09
	第8号墓 墓庭埋土	銅	吸口	8.60	ı	_	1.08	0.58	8.9	19	2009.08.13
	第8号墓 墓庭掘り方埋土	沖縄産 施釉	吸口	2.50	ı.	_	1.49	0.60	3.7	112	2009.10.06
第53図 4 図版85の4	第8-1号墓 墓前埋土	銅	雁首	5.30	1.41	1.70	1.07	1	9.6	117	2009.10.08
第53図 3 図版85の3	第9号墓 墓庭埋土	銅	雁首	3.30	1.20	1.70	1.16	ı	5.1	144	2009.11.02
	第13号墓 墓庭外側	銅	雁首	4.50	1.40	1.30	J	ĵ	J	11	2009.09.30
	第13号墓 墓庭外側埋土	銅	雁首	3.80	1.10	1.80	1.04	ĵ	7.1		2009.10.01
	第 13 号墓 墓庭外側埋土	銅	吸口	4.80	L	_	1.03	0.73	7.1		2009.10.01
第53図 7 図版85の7	第 13 号墓 墓庭外側	銅	吸口	4.60	_	_	1.13	0.72	7.0		2009.09.30

挿図番号	出土地	材質	部位			法量(1			遺物	備考
図版番号	 第16号墓 墓庭掘り方埋土一括	銅銅	雁首	長さ(残り) 4.10	火皿径	首部立上り 1.70	ラウ接合部径 1.13	吸口径	重量 12.0	番号 8	
		銅	吸口	12.60	1.50	1.70		0.74	28.8		
第53図 11	第16号墓 掘り方埋土一括		延べ		0.05	150	1.13			8	2010.08.17
図版85の11	第26号墓 墓庭掘り方埋土	銅	キセル	19.90	0.85	1.50		0.65	27.2	192	2009.11.30
第53図 5	第28・29号墓 墓庭掘り方埋土	銅	雁首	4.30	1.10	1.50	0.99	J	5.8	217	2010.01.07
図版85の5	第28・29号墓 墓庭掘り方埋土	銅	雁首	3.20	1.09	1.70	1.05	J	6.9	217	2010.01.07
	第28·29号墓 墓庭掘り方埋土 	銅	吸口	4.20	_		1.09	0.66	7.3	217	2010.01.07
	第33号墓 付近 	アルミ	吸口	6.90	_	_	0.83	0.54	6.7	205	2009.12.15
	第34·35号墓 斜面埋土	銅	吸口	3.80	_	_	0.97	欠	3.3	210	2010.01.05
	第35-1号墓 墓庭掘り方埋土	銅	雁首	4.40	1.10	1.60	1.07	J	7.6	254	2010.10.14
	第35-1号墓 墓庭掘り方埋土	沖縄産 施釉	雁首	2.60	1.20	1.60	1.31	ı	5.2	254	2010.10.14
	第35 - 1 · 41号墓 墓庭掘り方埋土№ 6	沖縄産 施釉	吸口	2.80	_	Ų.	1.41	0.72	3.8	345	2010.11.04
	第35-1·36·37-1·41号墓 排水施設北側落ち込み埋土	銅	雁首	4.90	欠	欠	1.11	J	6.8	383	2010.11.05
第53図 1 図版85の1	第36号墓 墓庭掘り方埋土	本土産・ るり釉	雁首	2.60	1.30	2.10	1.29	ı	5.0	302	2010.01.21
	第41号墓 墓庭掘り方埋土	沖縄産 無釉	雁首	3.30	1.68	1.30	1.48	J	7.4	659	2010.11.02
	第 47 号墓 墓庭掘り込み埋土	銅	雁首	3.40	1.10	1.40	1.17	ı	5.6	239	2010.10.13
	第 47 号墓 墓庭掘り込み埋土	銅	吸口	3.00	J	J	1.08	0.73	5.8	239	2010.10.13
	第 47 号墓 墓庭埋土	銅	延べ キセル	21.00	欠	_	_	0.62	46.9	73	2010.09.03
	第 48 号墓 墓庭掘り方Na 3	銅	雁首	3.90	1.30	2.30	1.53	ĵ	13.9	262	つぶれている。 2010.10.15
	第 48 号墓 墓庭掘り方Na 2	銅	吸口	5.60	Į	J	1.20	0.47	13.1	261	接合部つぶれ。 2010.10.15
	第 48 号墓 墓庭掘り方	沖縄産 施釉	雁首	3.20	1.70	1.80	1.49	I	10.4	277	2010.10.18
	第 48 号墓 墓庭掘り方Na 9	沖縄産 施釉	吸口	3.45	J	J	1.50	0.53	6.2	268	2010.10.15
	第 51 号墓 埋土	銅	雁首	4.80	1.00	1.90	0.98	J	12.7	394	2010.11.06
	第 55 号墓 墓室埋土	アルミ	雁首	4.50	1.10	1.80	1.00	J	9.8	396	2010.11.06
	第 55 号墓 埋土	アルミ	吸口	4.80	_	_	1.00	0.78	9.8	396	2010.11.06
	第62号墓 墓室掘り方埋土 No.8	銅	雁首	5.80	1.54	2.20	0.90	ĺ	6.3	533	2010.11.06
	第 62 号墓 墓室掘り方埋土 No 9	銅	雁首	5.70	1.50	1.97	0.78	ſ	8.6	534	2010.11.19
	第 62 号墓 墓室No. 11 付近	銅	吸口	5.37	L L	_	0.82	0.34	2.9	508	2010.10.16
	第 62 号墓 墓室藏骨器No 13	銅	吸口	6.70	Ţ	ı	0.80	0.40	5.9	500	2010.11.16
	第 62 号墓 墓室蔵骨器No 13	銅	吸口	6.20	_	_	1.04	0.39	5.3	500	2010.11.16
	第70号墓 墓室埋土 人骨より下層	銅	吸口	8.70	Ţ	ı	0.82	0.52	11.3	651	2010.11.27
	第72号墓 埋土	銅	雁首	4.70	1.00	1.80	0.99	ı	7.4	247	2010.10.13
	第 76 号墓 墓室埋土	銅	延べ キセル	19.10	0.87	1.30	_	0.62	32.5	_	吸い口が曲がる。 2010.01.06
第53図 8 図版85の8	第77号墓 墓前	銅	吸口	3.60	_	_	1.14	0.42	3.8	1	2008.11.14
第53図 6 図版85の 6	第 77·78 号墓 墓前	銅	雁首	3.30	欠	欠	1.18	ı	6.0	_	2008.12.01
	一括	銅	吸口	4.20	_	_	0.86	0.55	3.9	128	2009.09.29



第53図(図版85) 煙管

第13節 ガラス製品

ガラス製品は、1点を図示する(第54図1 図版86の1)。

第70号墓室から得られたもので、胴部には「クレオソート丸 関東陸軍倉庫」の文字が読み取れる。 これらのことから、先の大戦時の薬瓶と考えられる。

なお、個々の資料の特徴は、第28表に譲る。

第14節 プラスチック製品

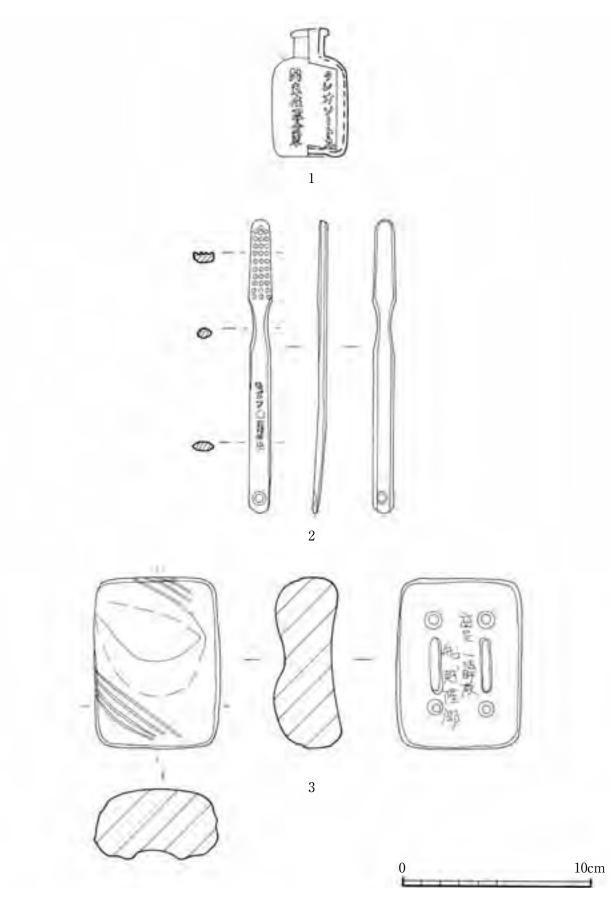
プラスチック製品は、2点を図示する(第54図2・3 図版86の2・3)

いずれの資料も第71号墓室より得られたものである。第54図2は歯ブラシ。同図3は、石鹸箱とみられる。身の裏には「六四〇三 一法師隊 船越隆郷」の文字が確認できる。これらのことから先の大戦時の資料と考えられる。

なお、個々の資料の特徴は、第28表に譲る。

第28表 ガラス製品・プラスチック製品観察一覧

挿図番号 図版番号	種類	器種	法量単位	対∶cm	文様・特徴など	出土地点
第54図 1 図版86の1	ガラス製品	瓶	口径 器高 幅	1.9 6.7 4.0	茶色の胴部楕円形の小瓶。 側面に型の接合痕あり、底面には無い。胴部に 「クレオソート丸 関東陸軍倉庫」と読み取れ る文字が凸状に見られる。	第70号墓 墓室Na 6
第54図 2 図版86の2	プラスチック製品	歯ブラシ	長さ 最小幅 最大幅 厚さ	15.4 0.7 1.1 0.5	淡褐色のプラスチック製歯プラシ。 ブラシ部分の植毛穴31ュ柄端部に6mmの穴。 「モダン②一五號品214工」の銘あり(たて書)。	第71号墓 墓室掘り込み No.2
第54図 3 図版86の3	プラスチック製品	箱	長さ幅	9.0 6.6	せっけん箱と思われる。蓋と身共に完形。 蓋には4本のラインが角とその対角に残る。色 は、身蓋とも飴色、ラインは黄色?退色している。 身の裏に「六四〇三 一法師隊 船越隆郷」 の文字が確認できる。	第71号墓 墓室埋土No.10



第54図 (図版86) ガラス製品·プラスチック製品

第15節 銭貨

本古墓群の銭貨は、第29表に示した通り総数75点である。その内、47点を第55図(図版87)~第57図(図版89)に示した。出土地点は、34遺構より出土しており、種類は9種認められる。その内訳は、寛永通寶(第55・56図 図版87・88)、無文銭(第57図31・32 図版89 31・32)の近世銭(2種類)、十銭(第57図33~38 図版89 33~38)、五銭(第57図39・40 図版89 39・40)、一銭(第57図41~43 図版89 41~43)、半銭(第57図44・45 図版89 44・45)の近代銭(4種類)、満州(第57図46 図版89 46)、フィリピンor米国(第57図47 図版89 47)、米国の外国産銭貨(3種類)も得られた。出土数の最も多い銭種は、寛永通寶で40点が得られている。その中で第55図の5の1点が鉄銭で、第56図の5及び第72号墓の2点は若干の磁気反応を示した。近世銭の有文銭は寛永通寶のみで、その他の銭貨は含まれていない。近代銭は、十銭が15点、五銭・一銭・外国産は4点で、半銭は2点である。

出土数の多い遺構は、第 25 号墓の 6 点(寛永通寶)、第 56 号墓の 5 点(寛永通寶)、第 70 号墓では近代銭 22 点(不明を含む)が一括で得られている。第 70 号墓出土の 15 点の十銭で判読できる 12 点は昭和 19 年であった。同墓からは、戦争遺物が出土しており、その関連も考えられる。寛永通寶と近代銭の両方が出土した遺構は、第 24 号墓、第 47 号墓、第 48 号墓、第 55 号墓の 4 か所である。それらの墓は、長期間にわたって使用されたものと推測される。満州銭は、第 71 号墓から出土している。同墓も戦争遺物が出土しており、その関連も想起される。

なお、個々の資料の特徴は第30~32表を参照。

第29表 銭貨出土一覧

	9衣 裁貝田工一貝		寛永通寶		無	小	+	銭		五銭			一銭		半銭	1	外国産		小	合
Nα	出土地	古寛永		不明	無文銭	計	昭和	不明	大正	昭和	不明	大正	昭和	不明	明治	満州	フィリピン or 米国	米国	計	計
1	第7号墓 墓庭	口見水	初见水	71,191	裁	вт 2	마다지니	71,631	XII.	비디게니	4199	XII.	идин	7(19)	97.60	(14)711	or 米国	不固	Τñ	Ti o
2	第8号墓 墓庭		1			1								-			-			1
3	第13号墓		1	1		1											-			1
4	第13号墓 墓庭			-	1	1						<u> </u>	<u> </u>			1	 			1
5	第17-1 号墓 墓口		1		-	1											 			1
6	第17-1 号墓 墓室		1			1														1
7	第24号墓 墓庭·墓室		1			1				i	<u> </u>			 	1	i	i –		1	2
8	第25号墓 墓室		5	1		6										İ	i —			6
9	第28~32号墓上部		2			2											1			2
10	第28·29号墓 墓庭	1	1			2				İ							1			2
11	第35-1 墓 墓庭		1			1				İ				i			i			1
12	第35-1・36・37-1・41排水			1		1														1
13	第36号墓 埋土					0					İ			İ			1		1	1
14	第42号墓 暗渠		1			1					İ	İ	i	İ		İ	İ			1
15	第47号墓 墓庭		1		1	2							1				1		1	3
16	第48号墓 墓室					0			1								1		1	1
17	第48号墓 埋土		1			1														1
18	第48号墓 墓庭		1			1														1
19	第51号墓 埋土		1			1														1
20	第52号墓 埋土	1	1	1		3														3
21	第54号墓 埋土·墓室		1			1														1
22	第55号墓 墓室	1	1			2									1				1	3
23	第56号墓 墓室	1	1			2														2
24	第56号墓 埋土		3			3														3
25	第61号墓 墓室				2	2														2
26	第65号墓 墓室					0												2	2	2
27	第66号墓 埋土·墓室		1			1														1
28	第68号墓 埋土			1		1														1
29	第70号墓 墓室					0	15	2		1	2		1	1			ļ		22	22
30	第71号墓 墓室					0										1			1	1
31	第72号墓 埋土			1		1														1
32	第73号墓 埋土		1			1														1
33	第76号墓 墓口		1			1										<u> </u>				1
34	A·B地区残土中					0						1							1	1
	小計	4	30	6	4	44	15	2	1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	31	75
	銭貨別の合計		40		, T	11	1	7		4			4				4		31	

第30表 銭貨計測一覧①

挿図番号	th Lbl. Fe	遺物取り	AD 415 64	£45 (11)	-L-NE			mm·g)		.15 주에스 하나 스테스
図版番号	出土地点	上げNo	銭貨名	種別	背文	外径	孔径	厚さ	重量	状態·特徴
第55図の1 図版87の1	第7号墓 墓庭掘り方②埋土中	No120	寛永通寶	新寛永	なし	22.9	6.4	1.1	2.4	
第55図の2 図版87の2	第7号墓 墓庭掘り方埋土①左半裁	No70	寛永通寶	新寛永	なし	23.3	6.5	1.1	2.9	
第55図の3 図版87の3	第8号墓墓庭掘り方	No113	寛永通寶	新寛永	なし	22.2	7.1	0.7	1.8	
	第13号墓 付近確認調査	No9	○○通○	不明	なし	23.0	6.3	0.9	2.8	
第57図の31 図版89の31	第13号墓 墓庭掘り方	No121	無文銭	_	_	19.7	5.4	0.4	1.4	
第55図の13 図版87の13	第17-1号墓 墓口羨道埋土		寛永通寶	新寛永	なし	22.1	6.4	1.1	2.7	
	第17-1号墓 墓室埋土②		寛永通寶	不明	なし	22.1	3.0	1.3	2.5	
第55図の4 図版87の4	第24号墓 墓庭埋土	No147	寛永通寶	新寛永	なし	23.4	5.4	0.9	2.2	
第55図の5 図版87の5	第25号墓 墓室藏骨器前	No137	寛永通寶	新寛永	元	22.7	5.0	1.2	2.0	鋳造地大阪高津新地? 鉄銭
	第25号墓 墓室①蔵骨器前より	No123	寛永通寶	新寛永	なし	24.5	5.6	1.0	2.6	
第55図の6 図版87の6	第25号墓 墓室③蔵骨器前より	No123	寛永通寶	新寛永	なし	23.0	5.8	1.1	3.4	
第55図の7 図版87の7	第25号墓(ボージャー蓋の中の土より)	No137	寛永通寶	新寛永	なし	22.2	6.4	1.0	2.9	
第55図の8 図版87の8	第25号墓 墓室②蔵骨器前より	No123	寛永通寶	新寛永	文	24.5	6.0	1.1	3.1	鋳造地江戸亀戸?
	第25号墓 墓室蔵骨器前	No137	寛永通寶	不明	なし	24.8	6.0	0.9	1.9	
第55図の10 図版87の10	第28・29号墓墓庭掘り方埋土	No211	寛永通寶	新寛永	なし	25.1	5.9	1.2	3.6	
第55図の11 図版87の11	第28~32号墓上部斜面表土 195-1 A ~E上部		寛永通寶	新寛永	文	25.2	5.7	1.1	3.2	鋳造地江戸亀戸?
第55図の9 図版87の9	第28・29号墓 墓庭掘り方埋土	No217	寛永通寶	古寛永	なし	25.2	5.9	1.4	3.8	
	第28~32号墓上部斜面表土 195-2 A~ E上部		寛永通寶	新寛永	なし	22.3	6.3	1.2	2.3	
第55図の12 図版87の12	第35-1 墓庭掘り方暗渠	No298	寛永通寶	新寛永	文	25.0	6.1	1.5	3.3	鋳造地江戸亀戸?
	第35-1·36·37-1·41排水施設北側落ち込み 埋土		寛永通〇	新寛永	なし	21.9	6.9	1.0	1.6	寶の部分がほぼ欠
第55図の14 図版87の14	第42号墓 暗渠		寛永通寶	新寛永	なし	25.1	6.0	1.2	2.3	
第55図の15 図版87の15	第47号墓 墓庭埋土		寛永通寶	新寛永	文	25.1	5.6	1.1	3.2	鋳造地江戸亀戸?
	第47号墓 墓庭埋土		無文銭	_	_	20.0	7.4	0.8	0.5	1/2以上残存

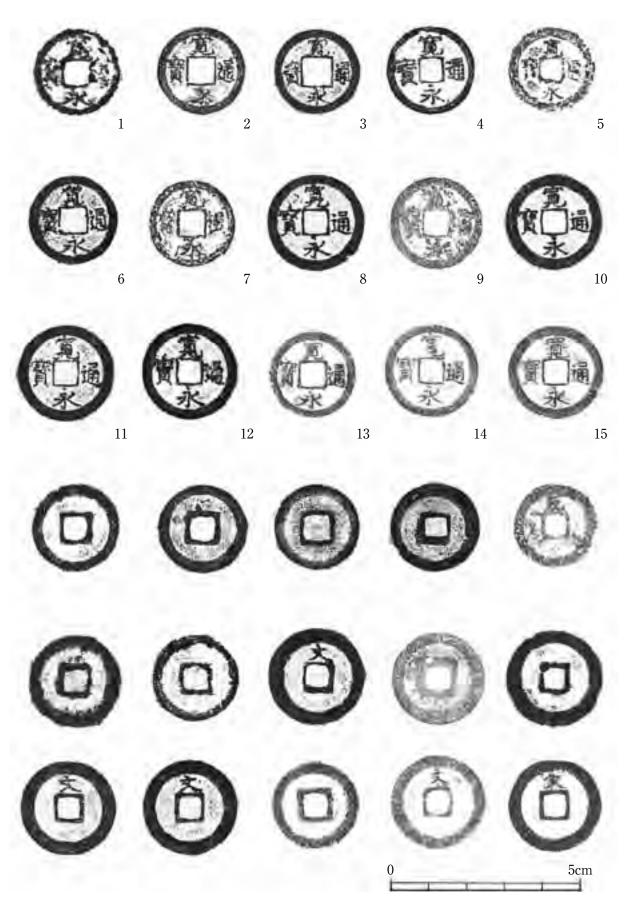
第31表 銭貨計測一覧②

挿図番号	出土地点	遺物取り	銭貨名	種別	背文		法量(mm·g)		状態·特徴
図版番号	山上地思	上げNo		1里力]	月又	外径	孔径	厚さ	重量	小思·村田
第56図の16 図版88の16	第48号墓 西側埋土		寛永通寶	新寛永	なし	22.6	6.6	1.2	2.6	
第56図の17 図版88の17	第48号墓 墓庭掘り方No12	No12	寛永通寶	新寛永	なし	24.1	5.9	1.0	2.1	
第56図の18 図版88の18	第51号墓 埋土中		寛永通寶	新寛永	なし	23.4	6.8	1.2	3.0	
第56図の19 図版88の19	第52号墓 墓埋土		寛永通寶	古寛永	なし	24.4	6.6	1.1	2.3	
第56図の20 図版88の20	第52号墓 墓庭掘り方埋土		寛永通寶	新寛永	なし	24.3	6.2	1.1	3.0	磁器反応·少量
	第52号墓 埋土		寛永通〇	不明	なし	25.0	6.3	1.4	4.2	
第56図の21 図版88の21	第54号墓 墓室埋土中		寛永通寶	新寛永	なし	24.6	6.0	1.2	3.1	
第56図の22 図版88の22	第55号墓 墓室埋土		寛永通寶	古寛永	なし	22.1	5.9	1.3	3.7	
第56図の23 図版88の23	第55号墓 墓室埋土		寛永通寶	新寛永	なし	23.7	6.5	1.0	2.2	
第56図の24 図版88の24	第56号墓 北側埋土		寛永通寳	新寛永	なし	24.5	6.4	1.0	2.7	
第56図の25 図版88の25	第56号墓 北側埋土		寛永通寳	新寛永	なし	23.0	6.0	1.0	2.6	
第56図の26 図版88の26	第56号墓 北側埋土		寛永通寳	新寛永	なし	24.3	6.1	1.0	2.8	
第56図の27 図版88の27	第56号墓 墓室埋土		寛永通寳	新寛永	なし	23.6	5.6	1.2	3.6	
第56図の28 図版88の28	第56号墓 墓室埋土		寛永通寳	古寛永	なし	25.6	6.0	1.2	3.5	寶が半分欠
第57図の32 図版89の32	第61号墓 墓室埋土		無文銭	-	-	19.8	8.0	1.1	1.3	
	第61号墓 墓室埋土		無文銭	-	-	_	ı	0.7	0.5	1/2以上残存
第56図の29 図版88の29	第66号墓 墓室埋土		寛永通寳	新寛永	なし	23.1	6.1	1.1	3.0	
	第68号墓北側埋土		寛永通寳	不明	なし	21.1	6.8	1.1	2.1	
	第72号墓埋土		寛〇〇寳	不明	なし	22.4	6.3	1.3	2.5	磁器反応·少量
	第73号墓 埋土		寛永通寶	新寛永	なし	23.5	6.8	1.1	2.2	
第56図の30 図版88の30	第76号墓 墓口		寛永通寶	新寛永	なし	22.7	6.1	1.0	2.3	

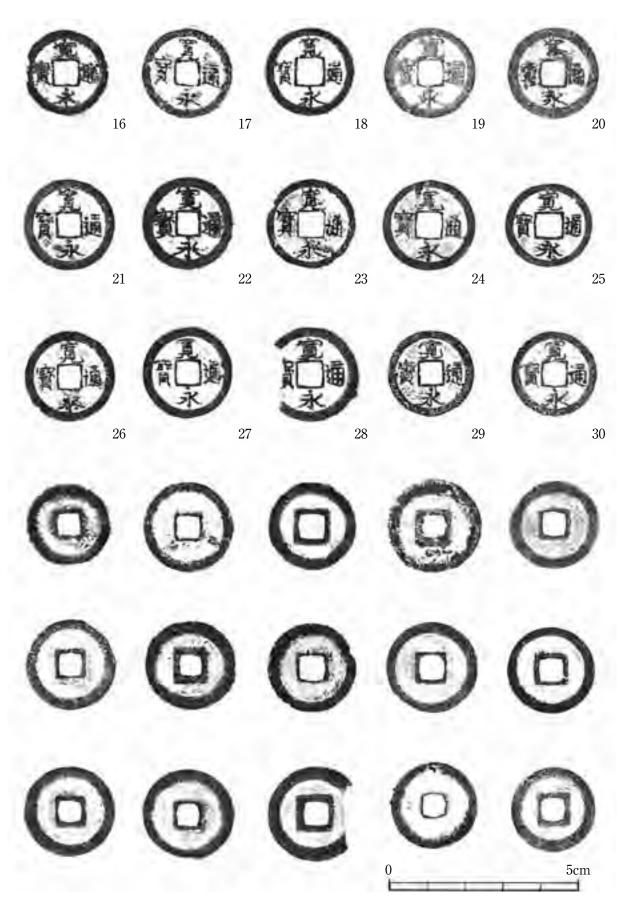
第32表 銭貨計測・観察一覧

挿図番号	出土地	遺物取り	銭貨名			mm·g)	,	周囲		C様
図版番号	MT./6	上げNo	双尺石	外径	孔径	厚さ	重量	ギザ	表	裏
第57図の44 図版89の44	第24号墓 墓室埋土	No146	半銭	21.7	無	1.1	3.2	無	中央に点の圏線で囲われた 龍?文。大日本・○○十八年・ 1/2SENを配す。輪郭内 側に歯車状の圏線。	中央に半銭。外輪菊花文、右 に二百枚、左に○○。輪郭内 側に歯車状の圏線。
第57図の47 図版89の47	第36号墓上部斜面崩落埋土		フィリピン or米国	24.8	無	1.5	5.0	無	羽を広げた鷲を配している。 外輪はUNITED STATES OF AMERICA 1944の文 字。	火山を背景にハンマーを 持ち腰掛ける男性。上に ONE CENTAVO、下に FILIPINAS。
第57図の43 図版89の43	第47号墓 墓庭埋土		一銭	16.2	無	1.5	0.7	無	中央に大きく一文字。上に大 日本・昭和十六年を配す。輪 郭内側に点の圏線。斜めに破 損があり歪んだ製品である。	中央に雲の上の富士山。上 に菊花文下に銭の文字を配 する。輪郭内側に点の圏線。
第57図の39 図版89の39	第48号墓 墓室埋土		五銭	19.0	3.9	1.4	2.6	無	中央に円孔を8枚の花弁文が囲む。外輪は波状を充填し、大日本・大正十二年を配す。輪郭内側に点の圏線。	上に菊花文、右に五、左に銭 下に桐葉文を廻らす。輪郭 内側は点の圏線。
第57図の45 図版89の45	第55号墓 墓室埋土		半銭	22.1	無	1.1	3.2	無	中央に点の圏線で囲われた 龍文。大日本・明治十七年・ 1/2SENを配す。輪郭内側 に歯車状の圏線。	中央に半銭。外輪菊花文、右 に二百枚、左に換一圓。輪郭 内側に歯車状の圏線。
	第65号墓 墓室埋土		1セント	18.9	-	1.5	3.2	無	IN GOD WE TRUST LIBERTY 1970	ONE CENT UNITED STATES OF AMERICA PLURIBUS UNUM
	第65号墓 墓室埋土		1セント	18.9	-	1.5	3.2	無	IN GOD WE TRUST LIBERTY 1965	ONE CENT UNITED STATES OF AMERICA PLURIBUS UNUM
	第70号墓 墓室埋土		十銭	22.0	無	1.3	1.4	有	中央に二重の桜花文、外輪 に大日本・昭和十八年、周囲 には点の圏線を配する。	腐食により不明。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	21.8	無	1.2	0.7	有	中央に二重の桜花文、外輪に大日〇・昭和〇〇〇、周囲には点の圏線を配する。	中央に菊花文、右に十、左に 銭が読み取れる。半分は腐 食により欠失している。
	第70号墓 墓室埋土		十銭?	22.1	無	1.6	1.1	有	腐食により不明。	腐食により不明。周縁にギザ が確認できることや大きさか ら、十銭の可能性がある。
	第70号墓 墓室埋土		十銭?	22.4	無	1.6	1.0	有	輪郭内側に点の圏線だけは 確認できる。。腐食により不 明。	腐食により不明。輪郭内側に 点の圏線。周縁にギザが確 認できることや大きさから、十 銭の可能性がある。
第57図の33 図版89の33	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.1	4.3	1.8	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の34 図版89の34	第70号墓 墓室埋土		十銭	14.4	4.8	1.8	2.3	無	中央に孔、その外輪に大日本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の35 図版89の35	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.2	4.9	1.6	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の36 図版89の36	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.3	5.0	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の37 図版89の37	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.2	4.3	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の38 図版89の38	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.5	4.5	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭〇十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。腐 食により全体的に膨らんでい る。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.1	4.6	1.7	2.5	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.1	5.0	1.7	2.3	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。

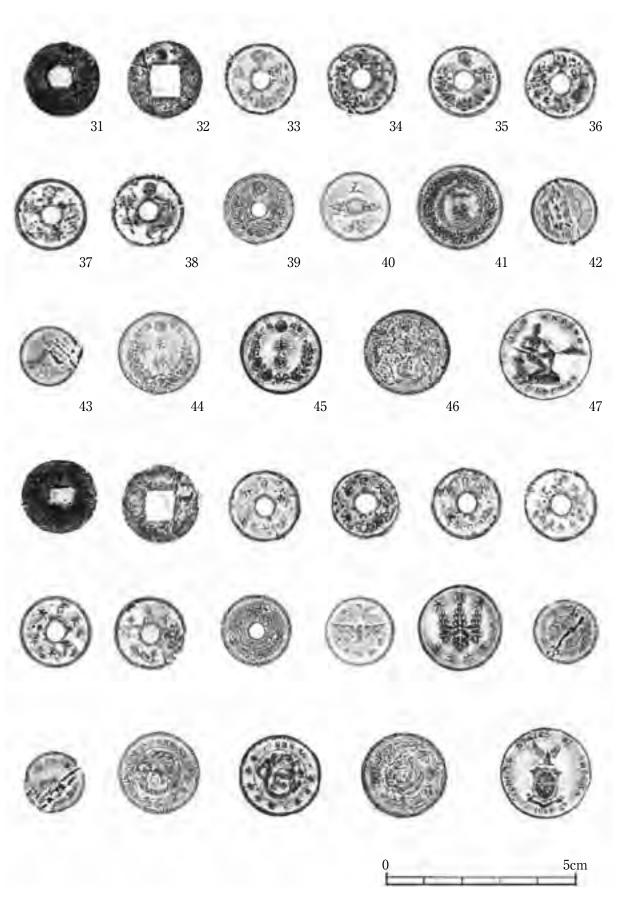
挿図番号	11. 1. 16.	遺物取り	AD 415. 64		法量(1	nm·g)		周囲	文	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
図版番号	出土地	上げNo	銭貨名	外径	孔径	厚さ	重量	ギザ	表	裏
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.2	5.1	1.8	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十○年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。腐 食により全体的に膨らんでい る。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.1	4.5	1.7	2.5	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.8	5.0	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.5	4.7	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。腐 食により全体的に膨らんでい る。
	第70号墓 墓室埋土		十銭	19.0	4.9	1.7	2.4	無	中央に孔、その外輪に大日 本・昭和十九年を配する。	上に菊花文、右に十、左に 銭、下に桐葉文を配する。
第57図の40 図版89の40	第70号墓 墓室埋土		五銭	17.9	無	1.6	1.0	有	中央に羽を広げた鳩。外輪に 大日本・昭和十七年を配す。 輪郭内側に点の圏線。	中央に雲を背景に菊花文、上には五、下には銭の文字。輪 郭内側に点の圏線。
	第70号墓 墓室埋土		五銭	19.0	無	1.6	1.1	有	腐食により判読不明。	中央に雲を背景に菊花文、上には五、下には銭の文字。輪 郭内側に点の圏線。
	第70号墓 墓室埋土		五銭?	15.4	無	2.2	1.3	不明	腐食が激しく判読不明。	腐食が激しく判読不明。中央 に菊花文と思われる模様が みられるので、昭和の五銭か と思われるが法量があわな い。
第57図の42 図版89の42	第70号墓 墓室埋土		一銭	17.4	無	1.7	1.0	無	中央に鳥。大日本・昭和十⑤ 年。輪郭内側に点の圏線。	中央が腐食している。上に菊 花文、周りは波浪。輪郭内側 は点の圏線。
	第70号墓 墓室埋土		一銭	16.2	無	1.2	0.6	無	両面共、腐食が激しい。輪郭 内側に点の圏線。	上に菊花文が見える。輪郭 内側は点の圏線。
第57図の46 図版89の46	第71号墓 墓室掘り込	み No1	満州	23.2	無	1.7	4.8	無	輪郭に大満州國 大同二年 中央の模様は判然としない。	中央に壹角、その上に火炎、 左右には龍?を配している。
第57図の41 図版89の41	A·B地区 残土中		一銭	23.1	無	1.2	3.7	無	中央に桐。大日本·大正六年。 輪郭内側に点の圏線。	上下に菊花文、周りは唐草 文。輪郭内側に点の圏線。



第55図 (図版87) 銭貨①



第56図 (図版88) 銭貨②



第57図 (図版89) 銭貨③

第16節 貝類遺殼

本古墓群出土の貝類を第33・34表(図版90)にまとめた。種類としては、巻貝4科4種と二枚貝7科10種である。出土総数は巻貝18点、二枚貝30点と少量である。

ほとんどの遺構において $1\sim 2$ 点と断片的な出土状況である。また、その出土位置は、墓庭などから得られたものが主体で遺構との関連性は判然としなかった。

その中で、第25号墓では、墓室から二枚貝のヌノメガイやリュウキュウサルボウガイ、カブラツキガイなどの完形品が7点得られている。これらの様相は、他の遺構ではみられない出土傾向であった。なお、本墓では、貝類の他に人形2点も伴っている(第50図・図版82の3・4)。

第33表 貝類出土一覧(巻貝)

出土地	種類	チョウセンサザエ	チョウセンサザエのフタ	ナガミノムシガイ	マガキガイ	ホシダカラガイ	不明1	不明 2	合計
第7・8号墓(墓庭掘り方残土)	完形		1						1
第25号墓(墓室蔵骨器前)	完形			1					1
第28・29号墓(墓庭掘り方埋土)	完形	1							1
第 32 号墓(墓庭掘り方溝:灰色土)	完形							7	7
第 35-1 号墓(墓庭)	破片	1							1
第 47 号墓(墓庭埋土)	完形		1						1
第 47 号墓(墓庭埋土 No.3)	完形	1							1
第 48 号墓(墓庭掘り方)	完形		1						1
第78号墓(掘り込み内 褐色土層)	殼頂				1				1
第78号墓(掘り込み内)	完形					1			1
一括	破片				1		1		2
	完形	2	3	1		1		7	14
合 計	殻頂				1				1
	破片	1			1		1		3

第34表 貝類出土一覧(二枚貝)

		種類	ヌノ	ウミギ	ベ」	リュウキュ	カブョ	ウラエ	カロ	ヒメ	ヒレ	イタ		合
			ヌノメガイ	ウミギクガイ科	、ニエガイ	ウサルボウ	カブラツキガイ	ウラキツキガイ	ワラガイ	メジャコ	ジャコ	イタボガキ科	不明	計
出土地						ガイ								
第25号墓	完形	左 右	1	2	1	1	1							2
墓室蔵骨器前	破片	左 右											1	1
第28·29号墓 墓庭掘り方埋土	破片	左 右										1		1
第36号墓 墓庭	完形	左 右							1					1
第46号墓 墓庭掘り方②	完形	左 右			1			1						2
第47号墓 墓庭埋土	完形	<u>左</u> 右						2						2 1
第48号墓 閉塞石の下	完形	左 右						1						1
第48号墓 墓庭掘り方埋土	完形	<u>左</u> 右						3						3
第48号墓 墓庭掘り方	完形	<u>左</u> 右						1						1
第48号墓 墓庭埋土	完形	<u>左</u> 右						1						1
第51号墓 墓庭掘り方埋土	完形	<u>左</u> 右						1						1
第51・52号墓 墓庭掘り方埋土No.3	破片	<u>左</u> 右						1						1 1
第51・52号墓 墓庭掘り方埋土Na 5	完形	<u>左</u> 右	1											1
第52号墓 墓庭掘り方埋土	完形	左 右						2						2
第75号墓 墓室埋土	完形	左 右						1						1
第78号墓 褐色土層	完形	左 右								1				1
第78号墓	破片	左 右									1			1
A =1.	完形	左 右	1	2	1 1	1	1	9	1	1				14 11
合 計	破片	左 右						1			1	1	1	$\frac{2}{2}$

第17節 脊椎動物遺体

本古墓群出土の獣骨は魚類(第 35 表)、哺乳類(第 36 ~ 39 表・図版 90)の総数 13 点のみである。その中で遺構との関連性が考えられるのは、第 78 号墓蔵骨器No.2 の周辺から得られたウシ(脛骨?)と第 63 号墓庭から得られたブタ(下顎骨の臼歯列が強く湾曲していることからブタと判断した)が挙げられる。第 63 号墓での出土状況は、墓庭の地山に円形に掘り込んだ土坑から頭蓋骨、上顎・下顎の歯、その他破片などが得られたことから人為的なことが考えられた。その出土状況から、一括資料と考えられるが、上・下顎骨に対して頭蓋骨が小さいことから、別個体の可能性も示唆される。

なお、今回図版に掲載できなかった資料の中には、第22号墓(墓室埋土)のブタ(下顎骨と歯1本) や第45号墓(墓庭埋土)のイヌ(小型の下顎骨)なども得られている。

註 樋泉岳二 「今帰仁城跡周辺遺跡出土の脊椎動物遺体群」『今帰仁城跡周辺遺跡Ⅲ』 今帰仁村教育委員会 2007 年

第35表 サカナ出土一覧

	出土地	部位	個数
第7号墓	墓庭掘り方②埋土	背鰭棘	1
	丘陵西側ソデ部分遺物集中部	椎骨	1

第36表 イヌ出土一覧

	出土地	右/左		部位	備考
第45号墓	墓庭埋土	右	下顎歯	(P ₁ ₂ ₃ ₄ M ₁)	遺物番号101
第40万基	基	左	广頻图	(P 2 3 M ₁)	週初街与101

第37表 ブタ出土一覧

	出土地	右/左		部位	備考	
第22号墓		歯		(ブタ?)	□ □ 遺物番号176	
第44·7 签	<u>秦至</u> 佳工	左		下顎骨	1 週初留5170	
		右	- 上顎歯	(P 2 3 4 M 1 2)		
		左	上.好图	(P 3 4 M 1 2)	()は骨と連結	
		右	- 下顎歯	I 2 & C (M 1 2)] ()は月〜選和	
第63号墓		左	1 頻風	♂ C (M 1 2)		
分03万基	奉展掘り万畑り込み	右	後頭顆			
		左	1女與积			
		右·左	頭蓋骨	頭頂骨 1		
		右	岩骨	1		

第38表 ウシ出土一覧

	出土地	部位	個数
第30:31号墓	墓間、墓庭掘り方埋土	上顎歯 M ²	左 1

第39表 ウシorウマ出土一覧

	出土地	部位	個数
第78号墓	蔵骨器No.2の周辺	脛骨?	1

第11章 総括

前章までに発掘調査の成果について述べた。ここでは、今一度整理してまとめとしたい。本遺跡の発掘調査は、浦添市が計画する「那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際センター線」の建設工事に伴うものである。現地での調査は、平成20~22年度にわたって那覇市教育員会が実施した。なお、今回の調査地区の周辺は、現在でも墓域となっており、今後の諸開発の動向には、注意が必要である。

遺跡の立地について

第Ⅱ章で述べたとおり本遺跡が所在する首里大名地区は、那覇市の北東部、浦添市字経塚と隣接している。その一帯は、浦添南第一土地区画整理事業が進められており、同事業に伴う発掘調査において1,000基を超える古墓の発見、調査がなされている。本遺跡は、その墓群の南端に位置する。

また本遺跡周辺は、先の大戦時、首里防衛のための重要地点として、日米の激しい戦闘が繰り広げられたことも知られている。

遺構について

遺構は、標高約100mを頂点とする丘陵斜面に構築されている。基盤は細粒砂岩(方言でニービ)と第三期泥岩の互層をなす。今回の調査は合計84基の古墓であった。

本遺跡で最も特徴的な古墓は、第46・47・62・63号墓である。

第46・47号墓は、墓室の「タナ」が比較的高い位置に設けられるもので、他の遺構とはその造りの 様相は明らかに異なる。

第62・63 号墓は、古手とされる専用蔵骨器が多数確認された遺構で、墓室の造りは簡素であった。 第62 号墓は、「タナ」がなく、第63 号墓は、奥と右側に「タナ」が認められるが、段は低い。

上記4基の古墓については、出土資料も17世紀後半でまとまりがおさえられそうであり、本墓群の初期の遺構と推察される。

このような特徴的な遺構の検出は、今回の調査における最も貴重な成果と言える。

遺物について

本遺跡における出土遺物として主体となす蔵骨器は、少なくとも739セット、転用蔵骨器は、少なくとも58セットが存在していたと考えられる。これらの蔵骨器は、文字資料から「大中村」など首里の居住者、「儀間・比嘉・照屋・濱里」などの名字、「筑登之・筑登之親雲上・里之子親雲上・親雲上」などの位階などが確認されている。士族層に属する人々も墓所として利用していたことがうかがえる。また、康熙25(1686)年の文字資料が確認できることから、17世紀後半には、本墓群が形成され始めた可能性が示唆される。

なお、古手の蔵骨器とされる陶製無頸甕形(II A)は、口径 $20\sim30$ cm、器高 $45\sim55$ cmの間に属する(第 58 図)。

その他の遺物では、瓶、小杯、鏡、煙管、簪、指輪など葬送儀礼に関する多種多様な資料が得られた。

簪は、その長さと頭部の幅の関係を検討したところ(第59図)、花形としたタイプは、長くなっても 頭部の花部分は2cmで一定の幅を呈しているが、匙形としたタイプは、長くなれば匙部分も大きくな る傾向を示している。耳かき形としたタイプは、長くなっても耳部分の幅が大きくなることは認めら れない。

なお、先の大戦に関連する遺物も多数得られている。共伴する人骨とともに関係機関と調整・報告 を行っていきたい。

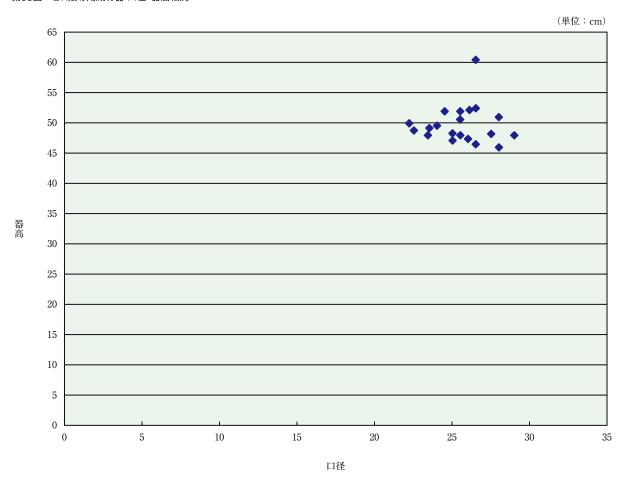
今後の課題

本遺跡の調査を契機に以下のような課題が挙げられる。

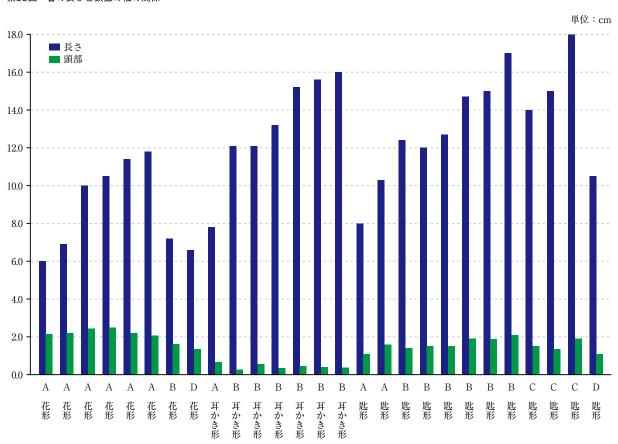
- ①近世琉球における墓群の立地の比較・検討
- ②遺構の造りと出土遺物の関係による年代の推定
- ③被葬者の検討
- ④戦争遺跡の痕跡と古墓との関連性

最後に、学際的な視点を網羅し、詳細な検討が必要になることは言うまでもないが、古墓群の発掘 調査は、近世琉球における死生観を明らかにすることにつながる。

今回の報告は、多種多様な遺物が大量に得られたため多くの資料を割愛し限られた資料の提示にと どまった。今後、機会を改めて再整理を行い、詳細な検討を加えたい。



第59図 簪の長さと頭部の幅の関係



附篇1 前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土の人骨

附篇1 目次

前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土の人骨

第1表 前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨一覧 第2表 前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨構成

第1図 前田·経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨構成

前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土の人骨

本墓群から得られた人骨 349 体 (第1表) の分析について、株式会社 文化財サービスに委託した。 分析の結果、人骨の構成としては、成人 258 体 (男性 109 体: 31%、女性 77 体: 22%、性別不明 72 体: 21%)、 未成人 91 体 (若年 7 体: 2%、小児 5 体: 1%、幼児 53 体: 15%、乳児 26 体: 8%) である (第2表 第1 図)。 以下に分析結果を示す。

第1表 前田·経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨一覧

墓番号 2 -	人骨番号 蔵骨器番号 墓室埋土	男性	女性											
2	草宏押 十		久正	性別不明	成人計	若年	小児	幼児	乳児	未成人計	総計	遺物番号	コンテナ No	備考
	签主生工.			1	1]	. 33	133	
	計			1	1									
	1	1			1						1	58	133	
L	2							1		1		59	133	
L	3		1		1							60	133	
	4	1	1		2						2	61	133	
Ĺ	·	1										61	134	
L	5		1		1						1		134	
3	6		1		1						1	63	135	
	7	1			1]	64	135	
L	,	-			-							64	136	
												31	133	
	墓室	1	1		2						2	65	136	
L												65	137	
Į.	墓室床面一括	1			1						1	+	137	
\longrightarrow	計	5	5		10			1		1	11			
4	墓室埋土	1			1]		133	膝蓋骨、骨片
	計	1			1						1	+		
L	2			1	1						1		133	
L	3			1	1						1	+	133	
6	墓室埋土		1	1	2						2	20	133	
L												32	133	
	計		1	3	4						4	+		
	墓庭掘り方			1	1]	74	137	
7												116		
	墓庭一括			1	1]		133	成人骨1?骨片少量、詳細不明
	計			2	2						2	+		t and the an
 -	墓室			1	1]	+		中手骨1
7-1	埋土			1	1						1	115	138	骨片1
-	⇒l.			0	0						,	131	138	歯1本のみ、詳細不明
-+	計 墓庭埋土			2	2	1			1	2	2	_	133	
8						1			1	2			133	
-+	計					1			1	2	4	153	138	
	1	1			1						1	153	139	
-	2	1			1]	+	139	
-	3	1			1			1		1		155	139	
9	3							1		1	· ·	142	138	
	墓庭埋土			1	1						j		138	
	基度生工.			1	1							149		
	計	2		1	3			1		1	4		100	
\dashv	墓室埋土			1	1			1		1			137	火葬骨
12	計			1	1						1		107	7 *21 N
-+	墓庭掘り方			1	1								142	骨小片、詳細不明
13	計			1	1							+	112	12 4 7 1 4 H1/09 1 24
-+	1	1	1	1	2							90	137	
 	2	-	1					1		1			137	
13-1	3			1	1								137	
- T	埋土			1	1]	+	137	骨片少量、詳細不明
	計	1	1	2	4			1		1				

			rPr					+++				1		<u> </u>
墓番号	人骨番号 蔵骨器番号	男性	成 女性	人 性別不明	成人計	若年	小児	未成人 幼児	乳児	未成人計	総 計	遺物番号	コンテナ No	備考
			女性	注列小明	及八百	石平	小光	20176	7L/C	木成八百	1	93	137	
1,4	1	1									1			N 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
14	墓室埋土	1			1						1	85	137	No.1 と同一個体?
	計	2		,	2						2		105	
	1			1	1						1	59	127	
												49	126	
	2		1		1			1		1	2	54	126	
												90	127	
	3			1	1			1		1	2	50	126	
												55	126	
17	4	1	1		2						2	51	126	
	•		-									56	126	
	6		1		1						1	52	126	
	8			1	1						1	53	126	
	12								1	1	1	58	126	
	墓室埋土							1		1	1	46	126	
	墓室							1	1	2	2	60	127	
	計	1	3	3	7			4	2	6	13			
17.	掘方埋土								1	1	1	100	127	
17-1	計								1	1	1			
	1					1				1	1	96	138	
20	墓室埋土	1	1		2						2	97	138	
	計	1	1		2	1				1	3			
	1			1	1			1		1	2	179	141	
												170-1	141	
	遺物集中部1	1	1		2						2	170-3	141	
	遺物集中部2			1	1						1	171-1	141	骨片少量
	遺物集中部3			1	1						1	172	141	N/12 E
21	退彻米干部3			1	1						1	174-1	141	骨片少量
21	遺物集中部			1	1						1	180-1	141	ガカタ里
	埋土	1	1		2						2	158	139	ter 11.
												173	141	骨片
	工事作業中			1	1						1	196	143	
	計	2	2	5	9			1		1	10			
	1		1		1						1	183	142	
	遺物集中部		1		1			1		1	2		142	幼児は集中部1と同一個体?
	遺物集中部1							1		1	1	185-1	142	
23	遺物集中部2						1			1	1	185-2	142	
	遺物集中部3											185-3	142	骨片少量、未成人骨?
	遺物集中部4			1	1						1	185-4	142	
	遺物集中部6	1			1						1	185-6	142	
	計	1	2	1	4		1	2		3	7			
25	蔵骨器前			1	1			1		1	2	137	138	
	計			1	1			1		1	2			
	1		1		1						1	159-1	140	
												160-1	140	
	2	1	1		2			1		1	3	169-1	140	
	-	1	1					1		1	3	169-2	140	
												169-2	141	
26	3	1	1		2						2	161-1	140	
	4	1	1		2						2	162-1	140	
	5			1	1						1	163-1	140	
	サンミデー										_	166	140	
	付近	1			1			1		1	2	177	141	幼児焼骨1体分
	計	4	4	1	9			2		2	11			
П												193-2	142	
27	1	1		1	2						2	193-2	143	性別不明は火葬骨
	計	1		1	2						2			
\vdash				1								229	144	
	シルハラシ ドゥクマ	1			1						1	229	164	
			1		1			1		1	2	230		
	1		1		1							_	144	
90	2							1		1	1		145	
28	3							2		2	2	232	145	
	4	1	1		2						2	233	145	
ı l				ļ								233	164	
	5 6	2	1		3 2						3	234 235	146 146	

	1 10 75 13		成	人				未成人				1		
墓番号	人骨番号 蔵骨器番号	男性	女性	性別不明	成人計	若年	小児	幼児	乳児	未成人計	総計	遺物番号	コンテナ No	備考
		77 LL	ΛH.	EE.00-1-93	жусы	411	1756	290712	40/0	лодоси		236	147	
	7	1			1						1	236	164	
	8	1			1						1	237	147	
	9							1		1	1	238	147	
												239	147	
	10	1			1						1	239	148	
	11	1			1						1	240	148	
28	12	1	1		2						2	241	148	
	13	1			1						1	242	149	
	墓庭右側人骨周辺			1	1						1	198	143	歯1本のみ、詳細不明
	樹木伐採時	1			1						1	202	143	男性尺骨 1 本のみ、詳細不明
	右カキ安置蔵骨器							1		1	1	206	143	
	墓室埋土	1		1	2						2	207	143	
	委王在工	1		1								226	143	骨片少量 (成人骨1?)
	計	13	5	2	20			6		6	26			
	1		1		1						1	245	149	
	2	1			1						1	246	149	
		1			1							246	150	
	3	1			1				1	1	2	247	150	
	4	2			2						2	248	150	
												249	150	
	5	1	1		2						2	249	151	
				<u> </u>								249	164	
	6		1		1				1	1	2	250	151	
	7	1			1						1	251	152	
												251	164	
29	8		1		1			1	1	2	3	252	145	
	9	1			1	_					1	253	145	
	10					1				1	1	254	145	
	11	1							1	1	1	255	145	
	12	2	1		2		1				3	256	145	
	13	2			2		1			1	3	257	154	
	14	1			1						1	258 258	154 155	
	15	1			1						1	259	155	
	10	1			1						1	260	155	
	16		1		1						1	260	165	
	計	12	6		18	1	1	1	4	7	25	200	100	
	墓室埋土			1	1				1	1	2	222	143	
31	墓庭掘方埋土			1	1						1	_	143	
	計			2	2				1	1	3			
	シルハラシ	_			_							312	162	
	ドゥクマ	1			1						1	312	163	
	1					1				1	1	262	156	
	2		1		1				1	1	2	263	156	
												264	156	
	3	1			1						1	264	157	
												264	165	
	4		1		1			1		1	2	265	157	
	4		1		1			1		1		265	165	
32	5	1	1		2						2	266	158	
32		1	1									266	165	
												267	158	
	6	1	1		2						2	267	159	
												267	166	
	7	1			1						1	268	159	
	8	1			1						1	269	160	
												269	161	
	9								1	1	1	270	161	
	墓室埋土			1	1						1	214	143	成人(中手骨)1のみ、詳細不明
$\vdash\vdash\vdash$	計	6	4	1	11	1		1	2	4	15	070	141	
	1		1		1			1		1	2	272	161	
24	2	1		1	1						1	273	161	
34	3			1	1				1	1	1	274 275	161	
	4 計	1	1	1	0			1	1	1 2		2/5	161	
	βİ	1	1	1	3			1	1	Z	5			

			p-D-											Τ
墓番号	人骨番号 蔵骨器番号	男性	成 女性	人 性別不明	成人計	若年	小児	未成人 幼児	乳児	未成人計	総計	遺物番号	コンテナ No	備考
	墓室タナ1	<i>7</i> 1 E	久正	正加小叻	从八田	石中	71.75	2076	1	1	1	279	161	
	墓室タナ2	1			1					-	1	280	161	
	墓室タナ3	1	1		1				1	1	2	281	162	
	北側埋土		1	1	1					-	1	288	162	
35	10141-11			1							-	286	162	
00	墓口埋土	2			2						2	286	166	
		_			_		l				_	311	162	
	墓庭掘り方埋土			1	1						1	372	136	成人歯1本
	計	3	1	2	6				2	2	8			7,77
	1		1		1						1	281	132	
	2	1	1		2						2	283	134	
39	3								4	4	4	285	132	
	計	1	2		3				4	4	7			
	1	1	1		2						2	287	133	
41	計	1	1		2						2			
	墓室棺箱直上			1	1						1	369	136	指骨1のみ、詳細不明
44	計			1	1						1			
	1	1			1						1	162	127	
	2	1			1						1	164	127	
	3			1	1			1		1	2	166	127	
	5	1			1						1	169	127	
												147	127	
												148	127	
46	人骨 1-5	1			1			1		1	2	149	127	
												151	127	
												152	127	
	墓室埋土			1	1						1	108	127	頭骨片、詳細不明
	墓庭埋土			1	1						1	118	127	骨片、詳細不明
	本だ生工			,	1							176	128	
	計	4		3	7			2		2	9			
												85	127	
	墓室埋土	2			2						2	310	133	
												311	133	
47	墓室右棚											109	127	下顎大臼歯1のみ
	墓庭埋土			1	1						1	71	127	骨片
	-1											171	127	
	計	2		1	3					-	3	104	105	
	2	1		,	1			1		1	2	134	127	
	3		1	1	1			1		1	1	136	127	
	4	1	1		1						1		127·128 128	
	5	1	1		2						2	181	130	
	6	1	1		1						1		129	
48	7	1	1		2						2	185	131	
10	8	1	1		1						1		132	
	9	1			1						1	189	130	
	10		1		1						1	173	129	
	閉塞石下面										-	125	127	下顎側切歯1
	墓庭掘方埋土			1	1						1	278		歯片2
	計	7	4	2	13			2		2	15			
	墓庭埋土	3	1		4						4	47	126	
49	計	3	1		4						4			
	1						1	1		2	2	433	136	
	1						1	1		۷		461	139	
	2	1			1						1	463	140	
	3							2	1	3	3	465	139	
	4								1	1	1	437	136	
51	5			1	1			1		1	2		136	
	7	1			1						1	442	136	
	8			1	1						1	406	136	
	墓室一次葬人骨		1		1						1	446	139	In the system or our
	墓庭埋土			1	1 c		,				1	520	142-2	骨片、詳細不明
\vdash	計 1	2	1	3	6		1	4	2	7	13	428	138	
55	2	1	1		Z			1		1	1	428	138	
33	計	1	1		2			1		1	3		100	
	н	1	1		۷			1		1	3			

			-4-								1			
墓番号	人骨番号 蔵骨器番号	男性	成 女性	人 性別不明	成人計	若年	小児	未成人 幼児	乳児	未成人計	総計	遺物番号	コンテナ No	備考
	1	1	, ALL	11.001 70	1	70.1	1,75	-5076	10/0	714947 (111	1	423	137	
56	2							1		1	1	425	136	
	計	1			1			1		1	2			
	埋土	5	1		6			1		1	7	193	133	
58	在工	3	1		0			1		1	<u> </u>	430	136	
	墓室埋土	1	1		2			1		1	3	470	141	
	計	6	2		8			2		2	10			
	1								1	1	1	455	136	
	3	1			1			1	1	2	3	459	136	
59	墓室埋土			,				1		1	1	453	136	
	トレンチ埋土	1		1	1 2			2	2	4	6	48	126	
	ΒI	1		1	2			2		4	0	472	141	
	埋土	3	4		7			1		1	8	191	132	
60					·							204	132	
	北側墓庭埋土		1		1						1	198	132	
i i	計	3	5		8			1		1	9			
C1	埋土	1	1		2						2	445	136	
61	計	1	1		2						2			
	1			1	1						1	478	141	
[2			1	1						1	480	141	
	3			1	1						1	482	141	
	4		1		1						1	484	141	
	5			1	1						1	486	141	
	6		1		1						1	488	141	
	7	1			1						1	490	141	
	8	1		1	1						1	492	141	
	9	1		1	1					1	1	494 662	141 143	
	12		1	1	1						1	498	143	
62	13		1	1	1						1	501	141	
	14			1	1						1	503	141	
	15	1			1						1	505	141	
	16			1	1						1	515	142	
	15 周辺		1		1						1	510	142-2	
	墓庭掘方埋土											653	143	骨片、詳細不明
	掘方埋土 13			1	1						1	538	142-2	
	掘方埋土14			1	1	1				1	2	539	142-2	骨片少量
												557	142-2	骨片少量
	東側埋土			1	1						1	512	142	骨片、詳細不明
	計	3	4	12	19	1				1	20	- 10	140.0	
	2	1			1						1	543 545	142-2 142-2	
63	3	1			1						1	548	142-2	
03	4	1		1	1						1	550	142-2	
	計	3		1	4						4	000	1100	
	5	1		-	1						1	648	143	
64	計	1			1						1			
cc	シルハラシドゥクマ		1		1						1	598	142-2	
66	計		1		1						1			
	1			1	1						1	620	142-1	
[2		1		1						1	622	143	
	3	1			1						1	624	142-1	
	4			1	1						1	626	142-1	
	5			1	1						1	628	142-1	
	7	,		1	1		1			1	2	631	142-1	
69	8	1	1		2	,			,		3	634	144	
	9	1			1	1		1	1	3	3	636 638	143 143	
	12	1	1		2					<u> </u>	2	641	143	
		1	1									388	136	
	墓庭埋土			1	1			1		1	2	605	142-1	
	計	4	3	5	12	1	1	2	1	5	17			
												590	142-4	
70	墓室埋土	1	1		2						2	615	142-4	
70	墓庭埋土		1		1						1	565	142-4	
	計	1	2		3						3			

	人骨番号		成	人				未成人					コンテナ	
墓番号	蔵骨器番号	男性	女性	性別不明	成人計	若年	小児	幼児	乳児	未成人計	総計	遺物番号	No	備考
	墓庭埋土			1	1						1	555	142-3	骨片、詳細不明
71	鉴 ළ 生 上			1	1						1	656	143	
	計			1	1						1			
	1		1		1						1	314	134	
	2		1		1						1	317	134	
	3							1		1	1	315	134	
	4	1	1		2						2	318	135	
	5			1	1						1	319	135	
	6	1			1						1	320	135	
	7			1	1						1	316	134	
72	8				_	1				1	1	321	135	
	9			1	1						1	322	136	
	10		1		1						1	323	136	
	11							1		1	1	324	136	
	12							1		1		325	136	
	13 墓庭埋土			1	1			1		1	1	326 291	136 133	骨片、詳細不明
		2	4	4		1		4		5	15	291	133	77万、
	計 1	1	1	4	10	1		1		1	3	-	人骨 1.2	
	2	1	1		1			1		1	2	-	人骨 3.4	
	3		1		1			1	1	1	2	_	人骨 5.6	
	4	1	1		1			1	-	1	2	_	人骨 7.8	
76	5	_						1		1	1	_	人骨 9	
	6							-	1	1	1	_	人骨 10	
	7							2	1	3	3	_	人骨 11	
	8							2		2	2	-	人骨 12	
	計	2	3		5			8	3	11	16			
	墓室人骨 1		1		1						1	_	1.2.3	
	墓室人骨 2			1	1						1	-	4	
	墓室人骨3		1		1						1	-	4	
	墓室人骨集中部			1	1						1	-	5	
	人骨集中部撹乱一括											-	5	骨片 2 片のみ、詳細不明
77	2											-	6	骨片 2 片のみ、詳細不明
77	4			1	1			1		1	2	-	6	
	5			1	1						1	-	6	骨片
	蔵骨器											-	7	骨片少量、詳細不明
	墓庭一括											-	7	骨小片少量、詳細不明
	墓庭前人骨一括	1	1		2		1			1	3	-	7	
$oxed{oxed}$	計	1	3	4	8		1	1		2	10			
	1	1			1			1		1	2		8	
78	2	1			1						1	-	9	
	3			1	1						1	-	9	火葬骨、詳細不明
	計	2		1	3			1		1	4			
国際セン ター線南	トレンチ1・2間 人骨1		1		1						1	-	10	
側確認トレンチ(平	トレンチ1・2間 人骨2		1		1						1	-	10	
成20年度 調査)	トレンチ 2		1		1						1	-	10	
	計 No 8	1	3		3						3	露到潮木 VI. o	169	頭骨片
確認調査 補償№48	No. 8	1			1						1	-	163	関常斤 歯片のみ、詳細不明
(平成21年 度調査)	墓下計	1			1						1	215-2	143	四川ツグ、計画小男
C地区	北側斜面	1			1						1	234	132	骨片 1、詳細不明
(平成22年 度調査)	計											204	132	19 / 1 - 1
	合計	109	77	72	258	7	5	53	26	91	349			
	CI PI	109	11	12	208	- /	0	55		91	349	I		<u>[</u>

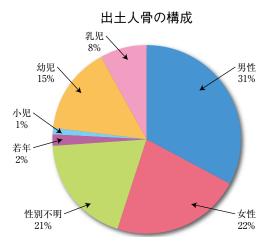
第2表 前田·経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨構成

墓番号	HI ML	成	人	JE 1 45	₩ <i>₩</i>	.1 10	未成人	20 ID	++1=1	総計
	男性	女性	性別不明	成人計	若年	小児	幼児	乳児	未成人計	
2			1	1					0	
3	5	5		10			1		1	1
4	1			1					0	
6		1	3	4					0	
7			2	2					0	
7-1			2	2					0	
8				0	1			1	2	
9	2		1	3			1		1	
12			1	1					0	
13			1	1					0	
13-1	1	1	2	4			1		1	
14	2			2					0	:
17	1	3	3	7			4	2	6	1
17-1				0				1	1	
20	1	1		2	1				1	
21	2	2	5	9			1		1	1
23	1	2	1	4		1	2		3	
25			1	1			1		1	
26	4	4	1	9			2		2	1
27	1		1	2					0	
28	13	5	2	20			6		6	
29	12	6	_	18	1	1	1	4	7	2
31			2	2				1	1	_
32	6	4	1	11	1		1	2	4	1
34	1	1	1	3	1		1	1	2	1
35	3	1	2	6			1	2	2	
39	1	2		3				4	4	
41	1	1		2					0	
44			1	1					0	
46	4		3	7			2		2	
47	2		1	3					0	
48	7	4	2	13			2		2	1
49	3	1		4					0	
51	2	1	3	6		1	4	2	7	1

55	1	1		2			1		1	3
56	1			1			1		1	2
58	6	2		8			2		2	10
59	1		1	2			2	2	4	6
60	3	5		8			1		1	9
61	1	1		2					0	2
62	3	4	12	19	1				1	20
63	3		1	4					0	4
64	1			1					0	1
66		1		1					0	1
69	4	3	5	12	1	1	2	1	5	17
70	1	2		3					0	3
71			1	1					0	1
72	2	4	4	10	1		4		5	15
76	2	3		5			8	3	11	16
77	1	3	4	8		1	1		2	10
78	2		1	3			1		1	4
国際センター線 南側確認トレンチ		3		3					0	3
確認調査 No.8	1			1					0	1
補償No.48 墓下				0					0	0
C地区丘陵 北側斜面				0					0	0
合計	109	77	72	258	7	5	53	26	91	349

男性	女性	性別不明	若年	小児	幼児	乳児	計
109	77	72	7	5	53	26	349

第1図 前田·経塚近世墓群(首里大名地区)出土人骨構成



附篇 2 前田・経塚近世墓群(首里大名地区)出土の遺物保存処理

附篇2 目次

保存処理工程

- 1. はじめに
- 2. 保存処理工程
 - ①処理前撮影·X線透過撮影·観察表作成
 - ②洗浄・錆取り (脱水)
 - ③自然乾燥~樹脂塗布

図版 遺物観察表

図版 処理後写真

図版 作業写真

図版 X線透過写真

保存処理工程

1. はじめに

保存処理の対象となったのは銅鏡1点、毛髪2点、髪に伴う簪2点である。

銅鏡はほぼ全面に緑錆が見られるが、文様等の特徴は明瞭で保存状態は良好である。結髪は2点とも形状を維持しており、1点は簪が附属したままとなっている。簪は一見すると良好な状態であるが、毛髪に付着していたこともあって今後の劣化が想定される。

今後の劣化要因を取り除き、良好な状態を保たせるため保存処理を実施した。

2. 保存処理工程

金属製品の保存処理は以下の工程で行った。

- ①処理前撮影・X線撮影・観察表作成 → ②洗浄・錆取り → ③脱塩処理 →
- ④自然乾燥 → ⑤樹脂含浸(3回) → ⑥樹脂塗布 → ⑦処理後撮影

毛髪の保存処理は以下の工程で行った。

①処理前撮影·X線撮影·観察表作成 → ②洗浄 → ③脱水 → ④自然乾燥

①処理前撮影·X線透過撮影・観察表作成

X線撮影の結果、遺物は錆で覆われているものの、原型は損なわずに良好な状態で残存していることが確認できた。№6の響は錆が進行して内部まで孔食が進んでいることがわかった。№7の毛髪は簪の錆の影響か、内部で劣化が進行していた。

処理前の状態は観察のうえ台帳に記録し、写真撮影を行った。

②洗浄・錆取り(脱水)

金属製品は有機溶剤(エタノール 40%・キシレン 40%・酢酸エチル 20%の混合液)でクリーニングを行い、余分な土砂や油脂分を除去した。グラインダーやメス・ニッパ等で錆や固い土砂を落とした。 結髪はエタノールでのみ洗浄を行った。柔らかめの筆で表面を洗浄するのみにとどめ、崩壊の可能性があったため土砂をすべて取り除くことは避けた。

BTA1%エタノール溶液に約3日間浸漬して錆の安定化処理を行い、エタノールに1日間浸漬して脱水作業を完了した。No.8の簪は結髪に装着された状態のまま、BTA1%エタノール溶液を塗布した。

③自然乾燥~樹脂塗布

No.5・6の金属製品は強化・防錆処理のためにアクリル系樹脂(パラロイドNAD-10)40%ナフサ溶液に遺物を浸漬し、真空デシケータ内に設置して減圧含浸を行った。効果を万全にするために樹脂含浸作業は3度繰り返し行った。No.8は含浸せずに、アクリル系樹脂を筆で塗布した。最終的につや消し剤(無水ケイ酸)を添加したアクリル系樹脂をナフサでさらに50%に薄め、遺物表面に塗布して防錆効果の強化と樹脂光沢の抑制を行い、作業を終了した。

結髪はアクリル系樹脂による塗布・含浸は行っていない。

今後の保管については、急激な温湿度の変化を避けるために容器内に密閉保存することが望ましい。 長期的に劣化を抑えるためにはシリカゲルの同梱は避け、外気との接触を避けることに留意すべきである。

図版 遺物観察表

平成 23 年度 保存処理遺物観察表

処理No.	N5	遺物No.		遺物名	鏡			
法量:長さ	13.6	cm 幅	10.1	cm	重量 7	2.9	g	
		cm		cm			g	
処理前写真								
	表							
観察事項	□赤錆が見□亀裂があ□層状に剥図錆ぶくれ□錆汁が出	る 離している ₋ がある	□ 孔食な図 形状を	の付着があ	ら こいる	□ ブロンズ: 図 緑錆が見 □ 触れるだ 図 完形品 □ 有機質の	られる けで崩壊する	る
備考								

処理No.	N6 遺物No.	遺物名 簪	
法量:長さ	8.8 cm 幅	0.7 cm 重量	3.0 g
	cm	cm	g
処理前写真			
7 ₽ 	表	裏	
観察事項	□赤錆が見られる	図歪みがある	□ブロンズ病
	□ 亀裂がある□ 層状に剥離している	図泥土の付着がある 図孔食が見られる	□ 緑錆が見られる □ 触れるだけで崩壊する
	□ 質がに剥削している	図形状を維持している	
	□錆汁が出ている	□別個体の付着がある	
ш.,			
備考			

処理No.	N7	遺物No.		遺物名	髪]
法量:長さ	7.6	cm 幅	6.4	cm	重量	42.0	g	
		cm		cm			g	
処理前写真								
				1				
60 de	表							
観察事項	□赤錆が見□亀裂があ□層状に剥□錆ぶくれ□錆汁が出	る 離している がある	□ 孔食; □ 形状;	の付着がる が見られる	る ている	□ ブロン □ 緑錆が! 図 触れる7 □ 完形品 □ 有機質(見られる だけで崩壊す	-る
備考	ジーファーな		0					

処理No.	N8 遺物No.	遺物名 髪・簪	Â
法量:長さ	9.2 cm 幅 4.	.4 cm 重量 [2	28.3 g
	cm	cm	g
処理前写真			
知应击石	表	裏	
観察事項	□赤錆が見られる□亀裂がある□層状に剥離している□錆ぶくれがある□錆汁が出ている	□ 歪みがある図 泥土の付着がある□ 孔食が見られる図 形状を維持している□ 別個体の付着がある	図触れるだけで崩壊する 図完形品
備考	骨の上に髪の毛が付着して	おり ジーファーが伴って	712.7
VIRTS	デーファー…毛髪に装着さ 毛髪 … 洗浄・脱水 人骨 … 洗浄のみ	れた状態で洗浄・BTA塗	

図版 処理後写真





N5 鏡 表 N5 鏡 表2





N5 鏡 裏 N5 鏡 裏2



N7 髪 上面切り取り



N7 髮 側面 1



N7 髪 側面2



N7 髪









N6 簪 裏 N6 簪 裏2





N8 髪、簪 1

N8 髪、簪 2





N8 髮、簪 上面 1

N8 髮、簪 上面 2





N8 髪、簪 上面 3

N8 髪、簪 側面 1 - 1



N8 髪、簪 側面 1

図版 作業写真



X線作業写真 ジーファー・髪



X線作業写真 ジーファー・髪



X線作業写真 鏡(1)



X線作業写真 鏡(2)



洗浄作業(1)



洗浄作業(2)



髪 洗浄作業(1)



髪 洗浄作業(2)



含浸拭きとり作業



骨より取り外し後(1)



骨より取り外し後(2)



骨より取り外し後(3)



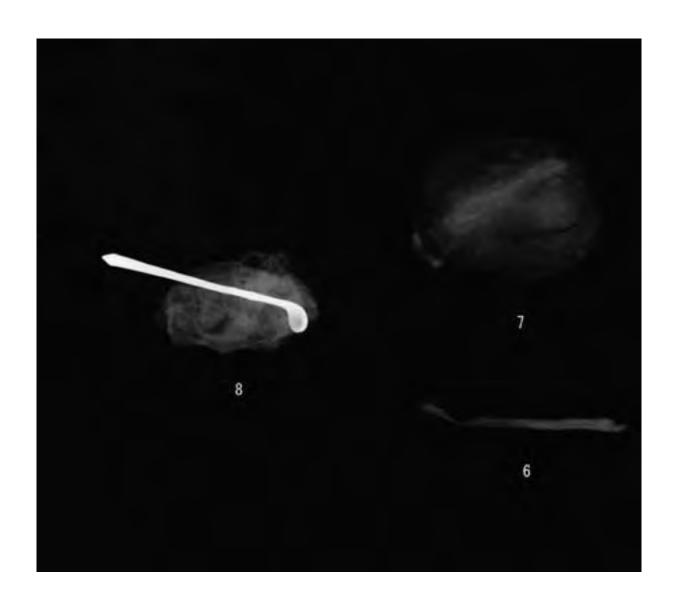
骨より取り外し後(4)



骨より取り外し後(5)

図版 X線透過写真





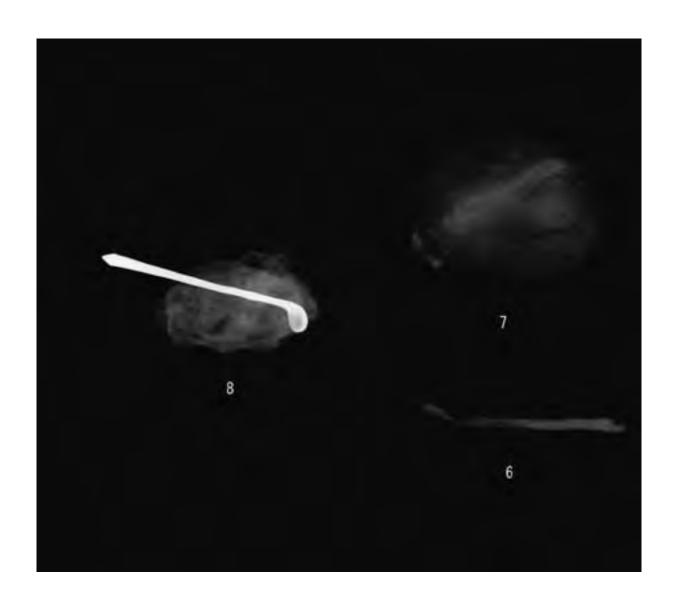


図 版



図版 1 遺跡一帯の空中写真(2009年撮影)



図版2 遺跡一帯の空中写真(平成19年撮影)

(S=1:2500)

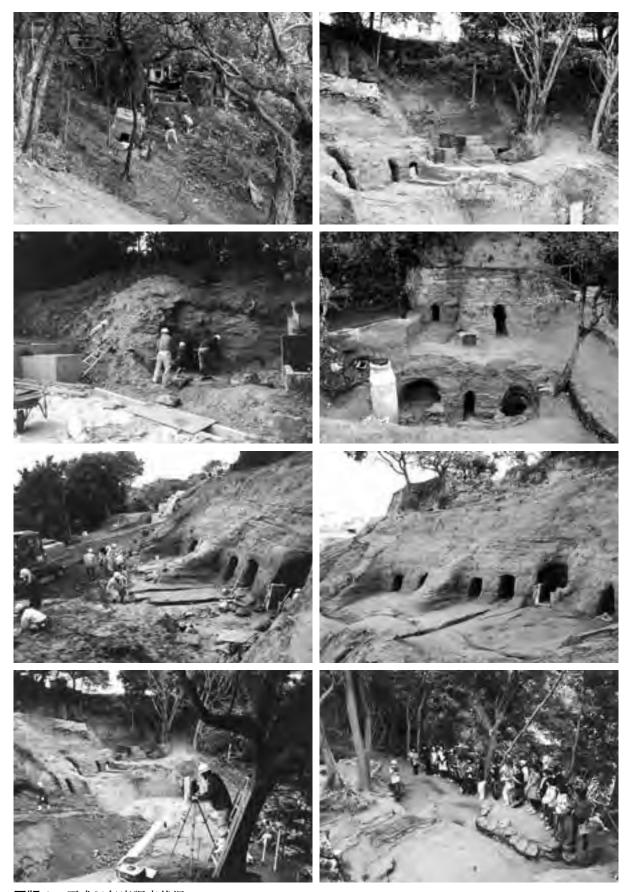


図版3 遺跡の遠景と近景

1段目左:遺跡遠景(北から)

2段目左:遺跡近景(平成21年度調査) 3段目左:遺跡近景(平成21年度調査) 4段目左:遺跡近景(平成22年度調査) 1段目右:遺跡遠景(南東から)

2段目右:遺跡近景(平成21年度調査) 3段目右:遺跡近景(平成22年度調査) 4段目右:遺跡近景(平成22年度調査)



図版4 平成21年度調査状況

1段目左:作業開始直後の状況

2段目左:第1・2号墓付近の作業状況

3段目左:第28~34号墓付近の作業状況

4段目左:測量作業状況

1段目右:第35~37号墓付近の近景 2段目右:第3~8号墓付近の近景

3段目右:第28~34号墓付近の近景

4段目右:遺跡の見学状況



図版5 第1号墓·第1-1号墓·第2号墓

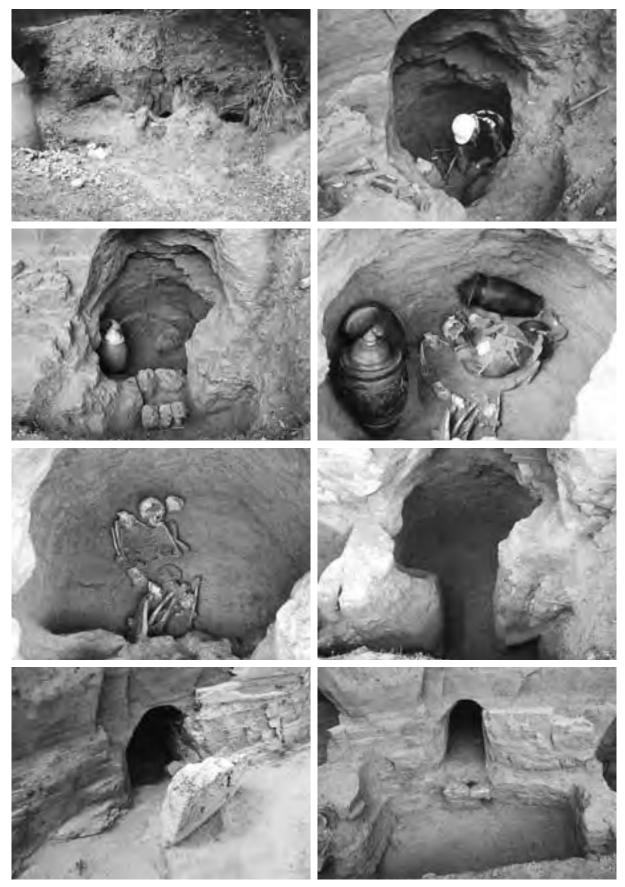
1 段目左:伐採完了状況 2 段目左:第2号墓室の状況 3 段目左:墓庭の遺物検出状況

4段目左;第1-1号墓の遺物出土状況

1段目右:遺構の外観

2段目右:第1号墓室の状況 3段目右:墓庭の遺物検出状況

4段目右:測量作業状況



図版6 第3号墓·第4号墓 1段目左:伐採完了状況

2段目左:第3号墓室蔵骨器検出状况 3段目左:第3号墓室人骨検出状况

4段目左:第4号墓の状況

1段目右:第3号墓の掘り下げ作業状況

2段目右:第3号墓室の状況 3段目右:第3号墓完掘状況 4段目右:第4号墓の外観



図版7 第6号墓

1段目左:墓室の半裁状況 2段目左:墓室の完掘状況 3段目左:暗渠の状況

4段目左:遺物出土状況(第5号墓)

1段目右:完掘状況 2段目右:暗渠の状況 3段目右:暗渠の状況

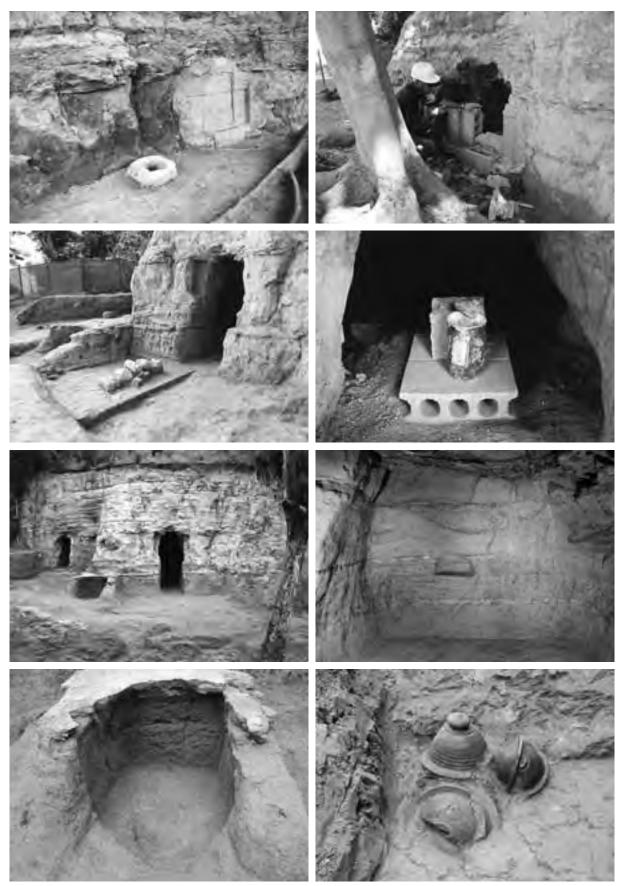
4段目右:遺物検出状況(第5号墓)



図版8 第7号墓·第7-1号墓 1段目左:伐採完了状況 2段目左:遺構の外観 3段目左:墓室の完了状況 4段目左:墓庭の遺物出土状況

1段目右:遺構の外観 2段目右:墓口の状況

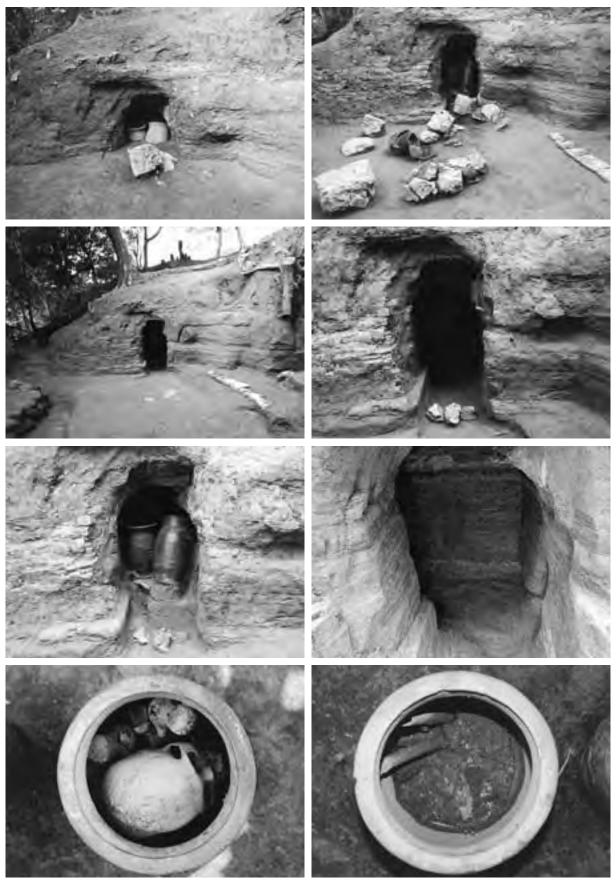
3段目右:第7-1号墓の完掘状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



図版9 第8号墓·第8-1号墓 1段目左:遺構の検出状況 2段目左:遺構の外観 3段目左:遺構の外観

4段目左:第8-1号墓の完掘状況

1段目右:調査状況 2段目右:墓室の状況 3段目右:墓室の完掘状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



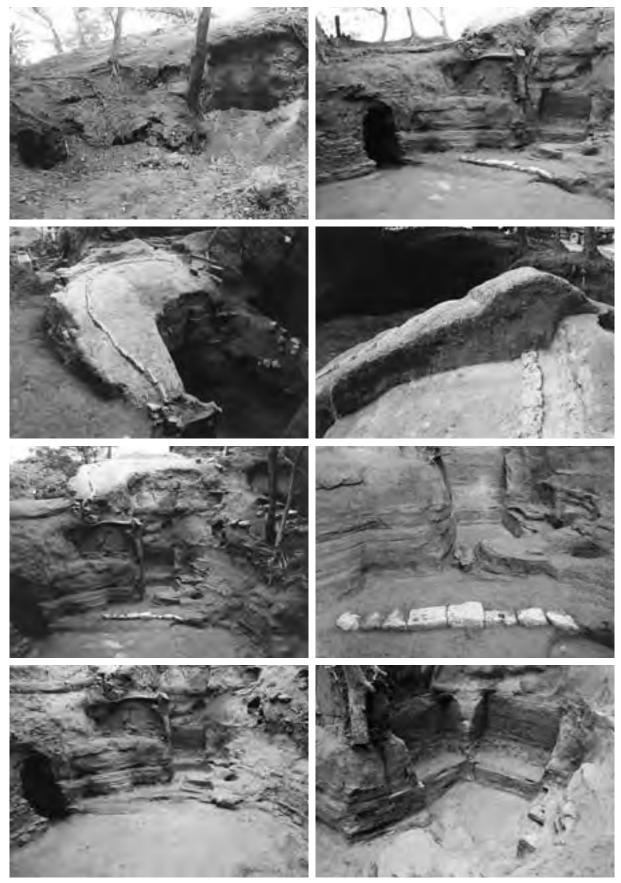
図版10 第9号墓

1段目左:遺構の検出状況 2段目左:遺構の外観

3段目左:墓室の遺物出土状況 4段目左:蔵骨器No.1の内部状況 1段目右:墓庭の遺物出土状況

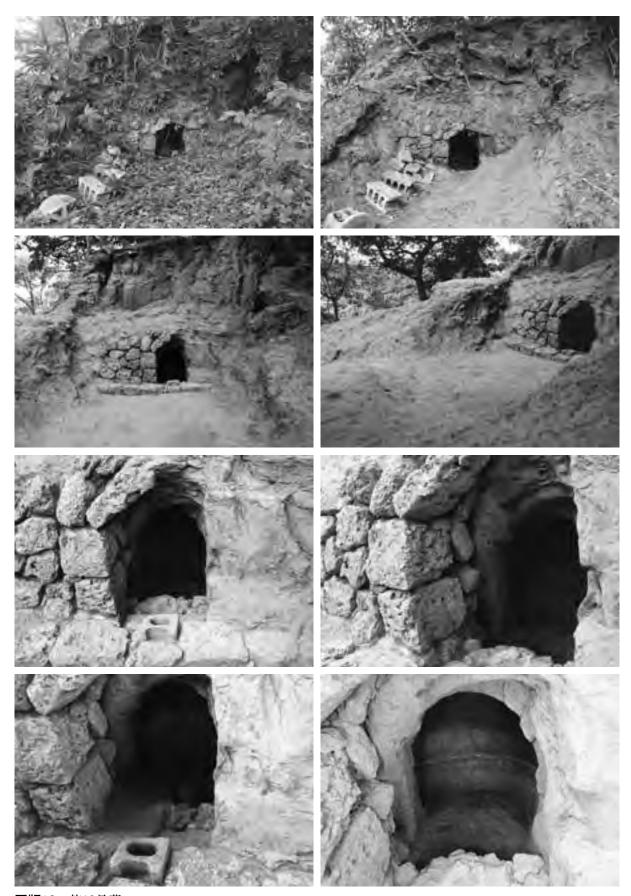
2段目右:墓口の状況 3段目右:墓室の完掘状況

4段目右:蔵骨器No.2の内部状況



図版11 第11号墓

1段目左:伐採完了の状況 2段目左:屋根の石列(全景) 3段目左:遺構の外観 4段目左:完掘状況 1段目右:遺構の外観 2段目右:屋根の石列(近景) 3段目右:墓口の状況 4段目右:墓室の完掘状況



図版12 第12号墓

1段目左:調査前の状況 2段目左:遺構の外観 3段目左:墓口の状況 4段目左:墓室の半裁状況 1段目右:伐採完了の状況 2段目右:遺構の外観 3段目右:墓口の状況 4段目右:墓室の完掘状況



図版13 第12-1号墓

1段目左:第12号墓下部での検出状況

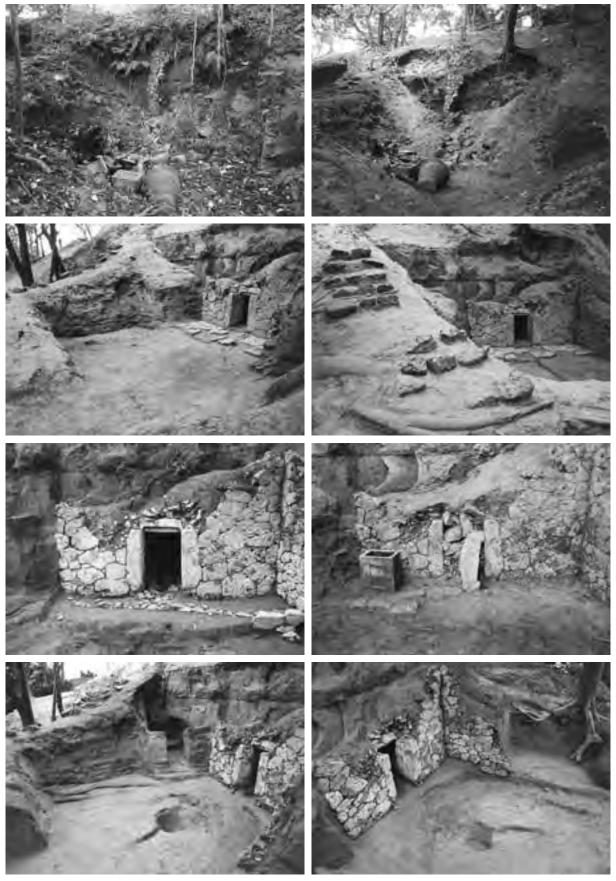
2段目左:遺構の外観(南西から) 3段目左:作業状況

4段目左:完掘状况

1段目右:墓口の状況 2段目右:墓口の状況

3段目右:遺構の外観(北西から)

4段目右:完掘状況



図版14 第13号墓・第13-1号墓 1段目左:調査前の状況

2段目左:遺構の検出状況(南から)

3段目左:墓正面の状況

4段目左:墓庭の完掘状況(全景)

1段目右:伐採完了状況

2段目右:遺構の検出状況(西から)

3段目右:墓正面の状況

4段目右:墓庭の完掘状況(近景)



図版15 第13号墓·第13-1号墓

1段目左:墓室の状況(調査前) 2段目左:墓口の石敷き

3段目左:墓室の状況(左のタナ)

4段目左:墓室の状況(シルハラシドゥクマ) 4段目右:墓室の状況(シルハラシドゥクマ)

1段目右:墓室の状況(正面のタナ) 2段目右:墓口の石敷き(墓室から) 3段目右:墓室の状況(右のタナ)



図版16 第13号墓・第13-1号墓 1段目左:サンミデーの石敷き 2段目左:サンミデーの暗渠(全景)

3段目左:作業状況

4段目左:墓庭の遺物出土状況

1段目右:サンミデーの暗渠(近景) 2段目右:サンミデーの暗渠(完掘)

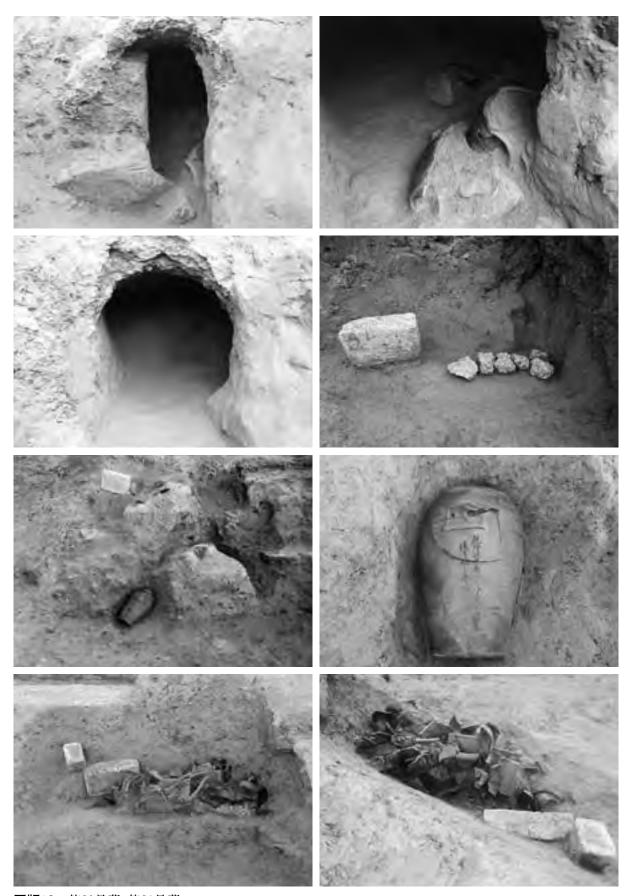
3段目右:撮影作業状況

4段目右:墓庭の遺物出土状況



図版17 第14号墓

1段目左: 伐採完了の状況 2段目左: 墓室の遺物検出状況 3段目左: 墓室の遺物出土状況 4段目左: 墓室の完掘状況 1段目右:墓室の半裁状況 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓室の遺物出土状況 4段目右:墓室の完掘状況



図版18 第20号墓·第21号墓

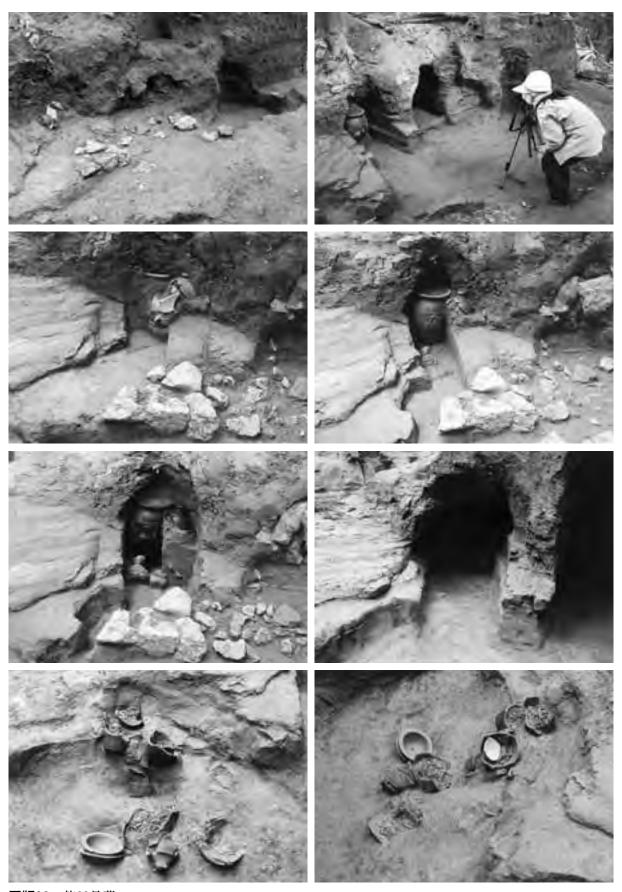
1段目左: 墓室の半裁状況(第20号墓) 2段目左: 墓室の完掘状況(第20号墓) 3段目左: 遺物出土状況(第21号墓) 4段目左: 遺物出土状況(第21号墓) 1段目右:墓室の遺物出土状況(第20号墓) 2段目右:遺物取上げ後の状況(第21号墓) 3段目右:遺物出土状況(第21号墓)

4段目右:遺物出土状況(第21号墓)



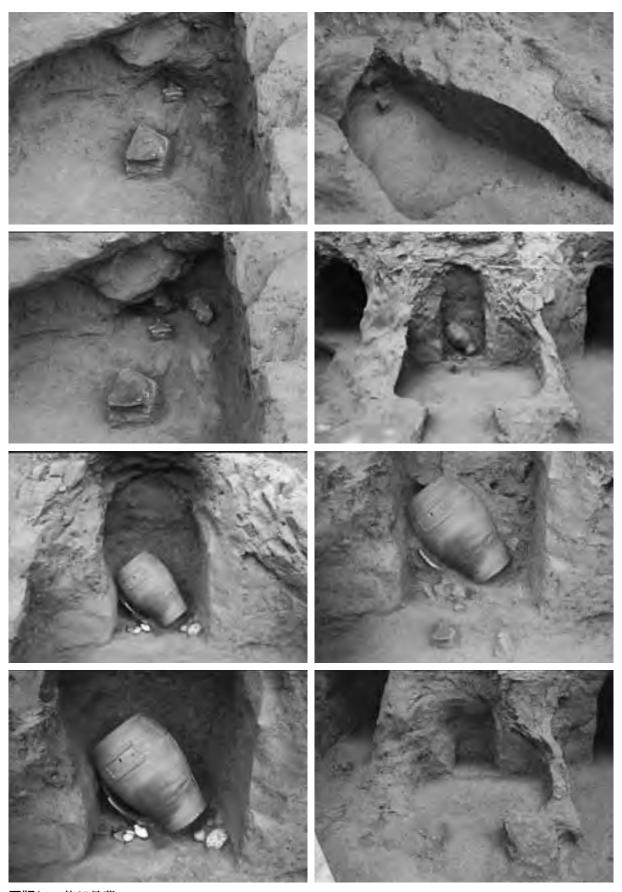
図版19 第22号墓及び近接する踏査時の古墓

1 段目左:調査前の状況 2 段目左:墓室の完掘状況 3 段目左:踏査時の古墓(No.11) 4 段目左:踏査時の古墓(No.15) 1段目右:伐採完了の状況 2段目右:墓室の完掘状況(近景) 3段目右:踏査時の古墓(No.14) 4段目右:踏査時の古墓(No.17)



図版20 第23号墓

1段目左:遺構検出時の状況 2段目左:墓室の検出状況 3段目左:墓室の遺物出土状況 4段目左:墓庭の遺物出土状況 1段目右:写真撮影作業状況 2段目右:墓室の半裁状況 3段目右:墓室の完掘状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



図版21 第25号墓

1段目左:墓室の半裁状況 2段目左:墓室の遺物出土状況 3段目左:墓室の遺物出土状況 4段目左:墓室の遺物出土状況 1段目右:墓室の半裁状況 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓室の遺物出土状況 4段目右:完掘状況



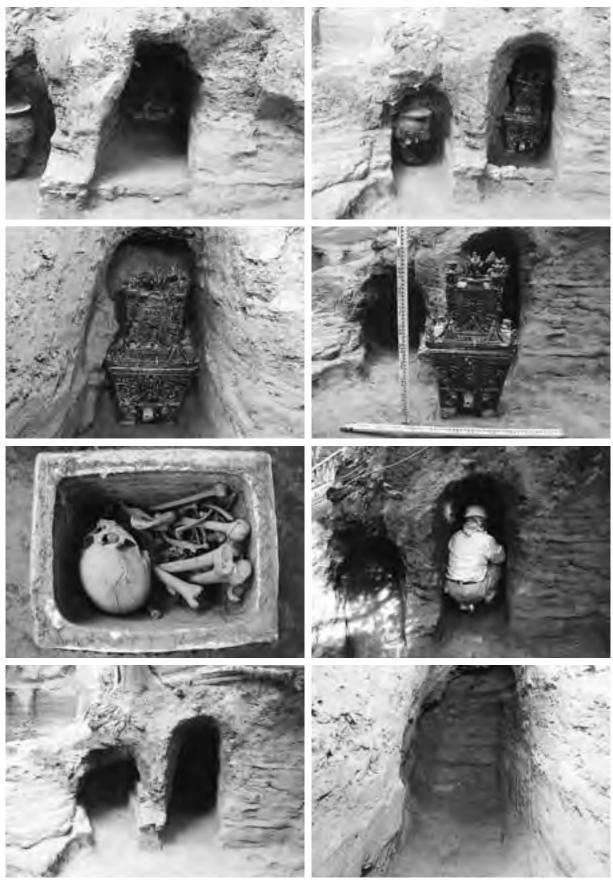
図版22 第26号墓

1段目左:遺構検出時の状況

2段目左:完掘状況

3段目左:墓室の遺物出土状況 4段目左:墓庭の遺物出土状況 1段目右:完掘状況

2段目右:墓庭周辺の状況 3段目右:墓庭の遺物出土状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



図版23 第27号墓

1段目左: 墓室の遺物出土状況 2段目左: 墓室の遺物出土状況(近景) 3段目左: 蔵骨器No.1の内部の状況

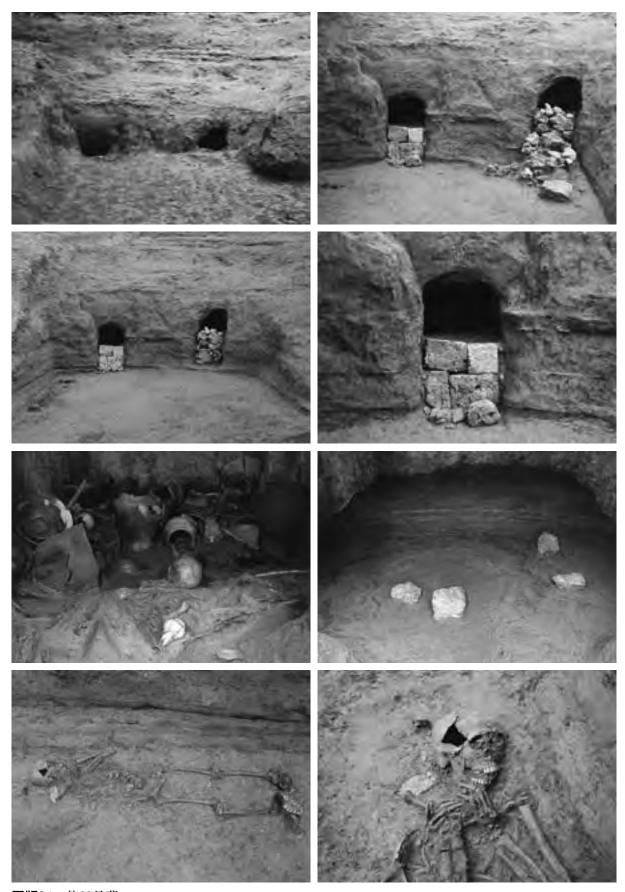
4段目左:完掘状況

1段目右:墓室の遺物出土状況(左は第23号墓)

2段目右:取り出した遺物の状況

3段目右:作業状況

4段目右:完掘状況(近景)



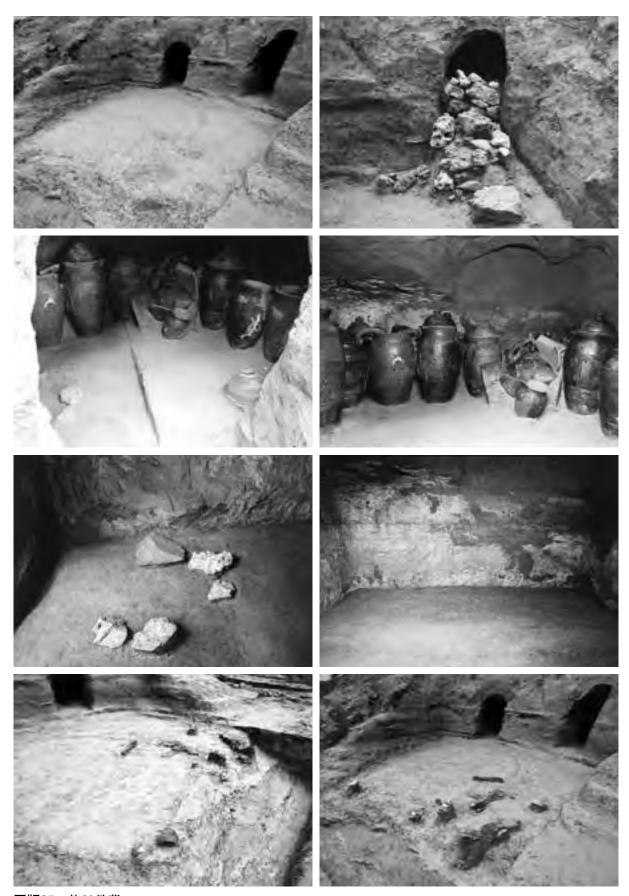
図版24 第28号墓

1段目左:調査前の状況(右は第29号墓)

2段目左:遺構の外観

3段目左:墓室の遺物出土状況 4段目左:墓庭の人骨出土状況 1段目右:墓口の検出状況 2段目右:墓口の検出状況(近景) 3段目右:墓室の完掘状況

4段目右:墓庭の人骨出土状況(近景)



図版25 第29号墓

1段目左:遺構の外観(左は第28号墓)

2段目左:墓室の半裁状況 3段目左:墓室の完掘状況 4段目左:墓庭の遺物出土状況 1段目右:墓口の検出状況 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓室の完掘状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



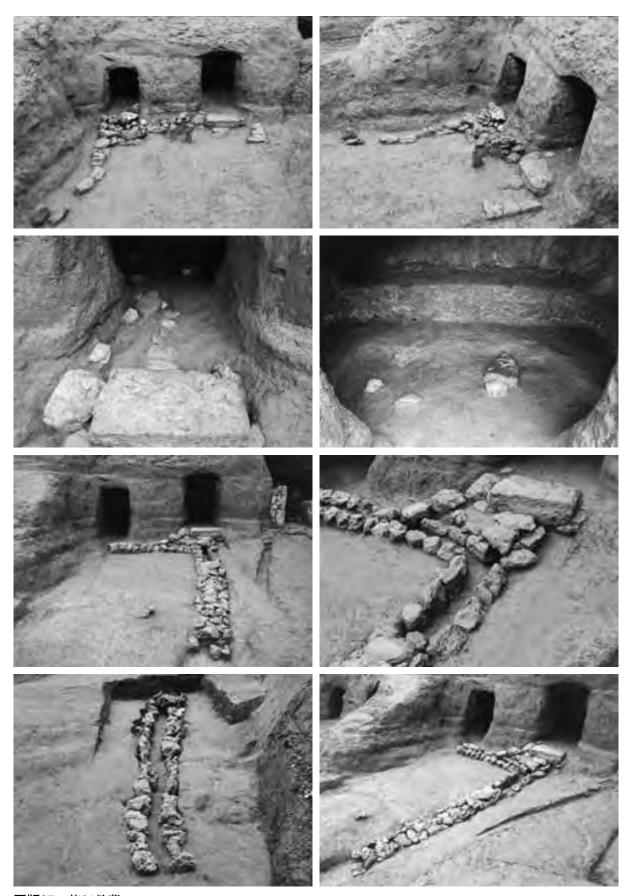
図版26 第30号墓

1段目左:調査前の状況(左側)

2段目左:遺構の外観(右は第31号墓)

3段目左:墓口の半裁状況 4段目左:墓室の完掘状況 1段目右:遺構の外観(右は第31号墓)

2段目右:墓庭の半裁状況 3段目右:墓室の状況(調査前) 4段目右:墓室壁面の近景

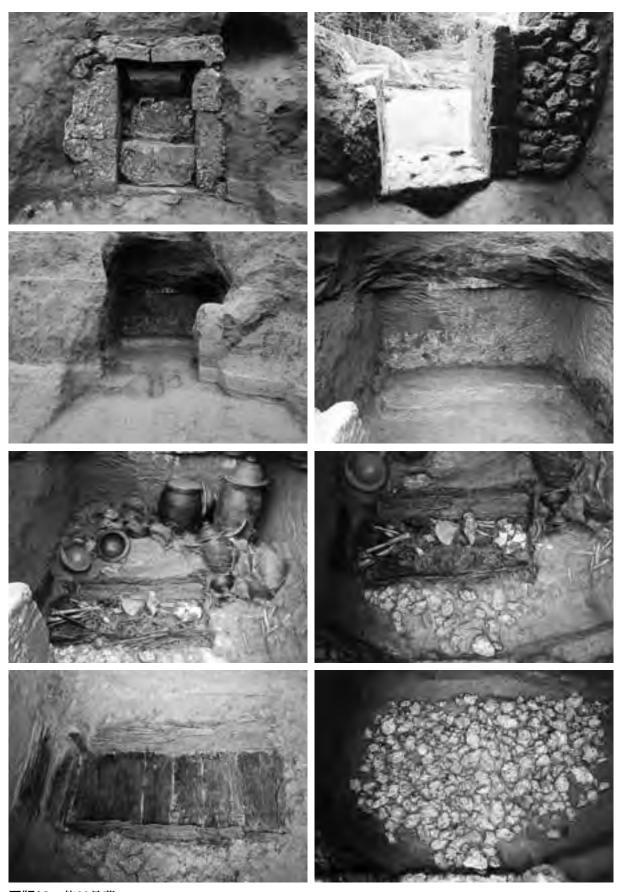


図版27 第31号墓

1段目左:遺構の外観(左は第30号墓)

2段目左:墓口の状況 3段目左:暗渠の検出状況 4段目左:暗渠の検出状況 1段目右:遺構の外観(左は第30号墓) 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:暗渠の検出状況

4段目右:暗渠の検出状況



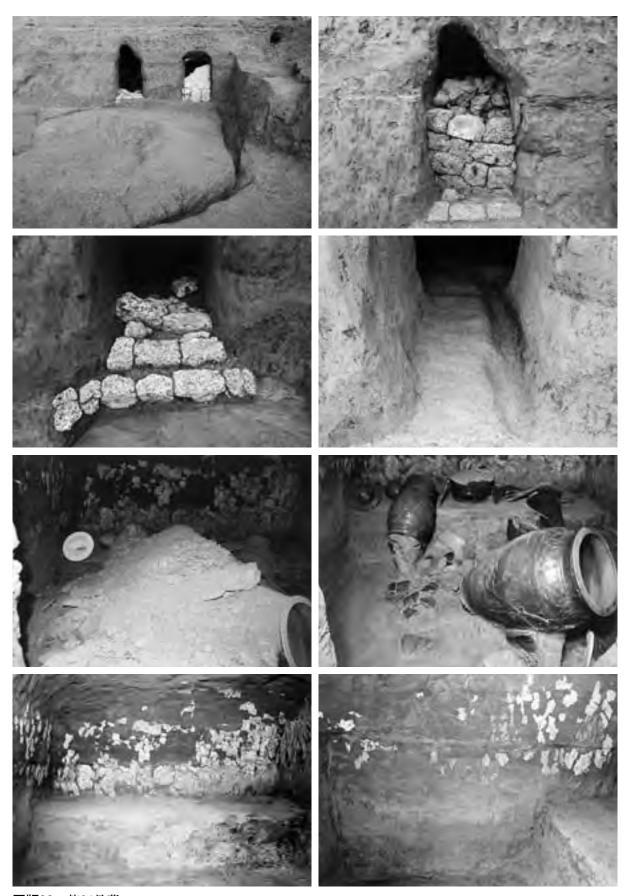
図版28 第32号墓

1段目左:墓口の検出状況

2段目左:完掘状況

3段目左:墓室の遺物検出状況 4段目左:墓室の遺物検出状況 1段目右:墓口の状況(墓室より) 2段目右:墓室の完掘状況 3段目右:墓室の遺物出土状況

4段目右:墓室の状況

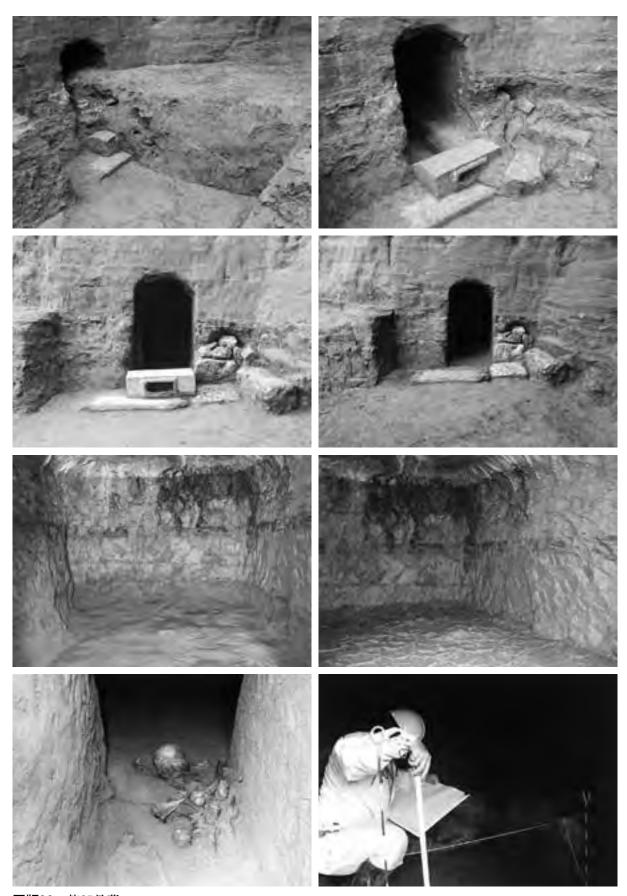


図版29 第34号墓

1段目左:遺構の外観(右は第39号墓)

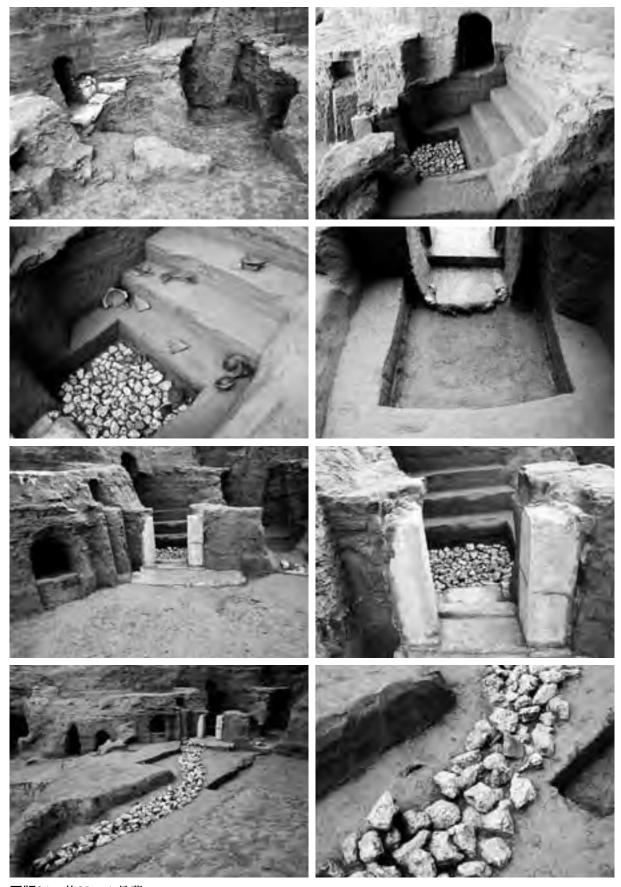
2段目左:墓口の状況 3段目左:墓室の状況 4段目左:墓室の完掘状況 1段目右:墓口の検出状況

2段目右:墓口の状況(暗渠を完掘) 3段目右:墓室の遺物出土状況 4段目右:墓室の完掘状況



図版30 第35号墓

1段目左:墓庭の半裁状況 2段目左:墓口の状況 3段目左:墓室の完掘状況 4段目左:墓口の人骨出土状況 1段目右:墓口の状況 2段目右:遺構の外観 3段目右:墓室の完掘状況 4段目右:実測作業状況



図版31 第35-1号墓

1段目左:調査前の状況

2段目左:墓室の遺物出土状況

3段目左:墓口の状況

4段目左:墓庭の暗渠検出状況

1段目右:遺構の外観(上は第35号墓)

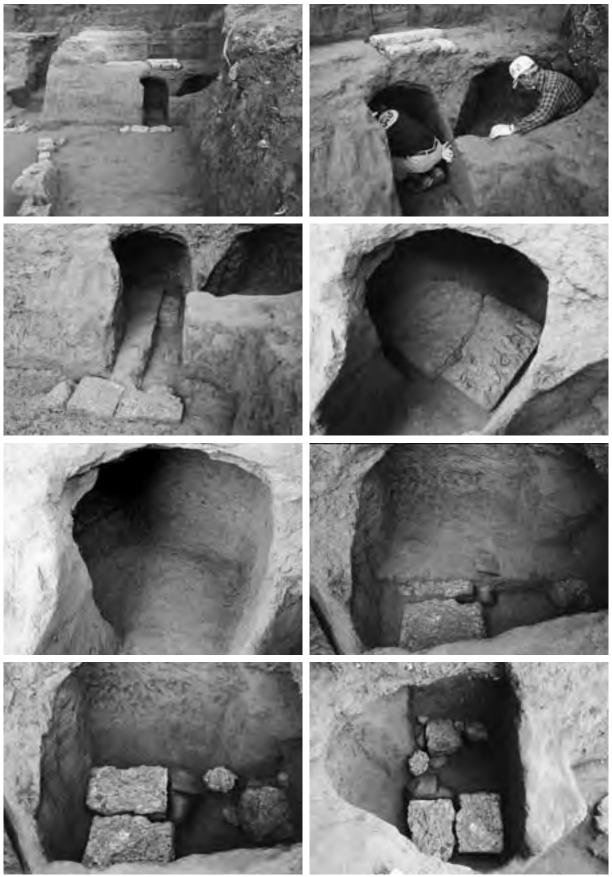
2段目右:墓室の完掘状況 3段目右:墓口の状況

4段目右:暗渠の近景



図版32 第36号墓·第37号墓

1段目左:遺構の外観(第36号墓) 2段目左:墓口の状況(第36号墓) 3段目左:遺構の外観(第37号墓) 4段目左:墓室の完掘状況(第37号墓) 1段目右:墓室の半裁状況(第36号墓) 2段目右:墓室の状況(第36号墓) 3段目右:遺構の外観(第37号墓) 4段目右:墓室の完掘状況(第37号墓)

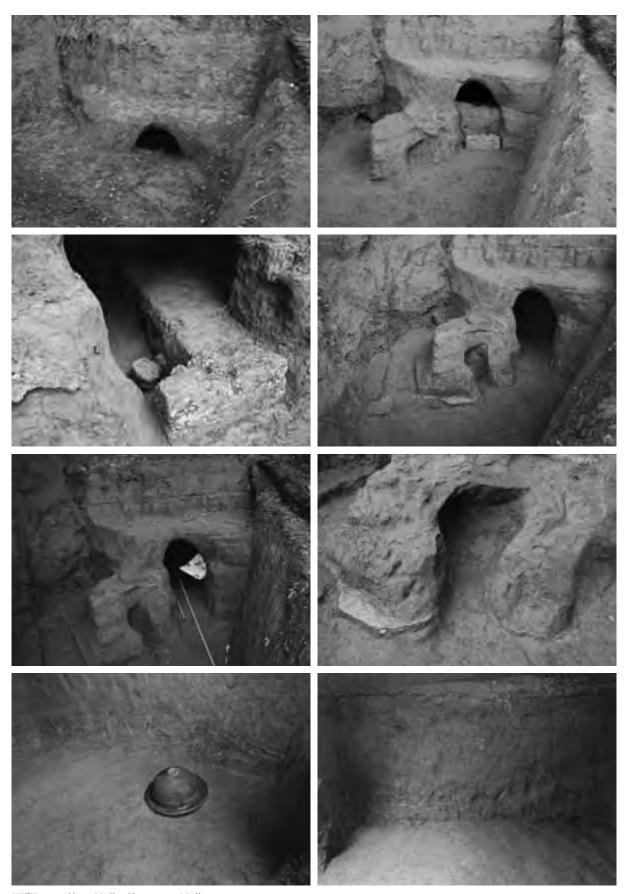


図版33 第37-1号墓(及び第42号墓室の確認状況) 1段目左: 遺構の外観(第37-1号墓)

2段目左:墓室の半裁状況(第37-1号墓) 3段目左:墓室の完掘状況(第37-1号墓)

4段目左:第42号墓室の確認状況

1段目右:作業状況(右は第42号墓) 2段目右:墓室の状況(第37-1号墓) 3段目右:第42号墓室の確認状況 4段目右:第42号墓室の確認状況



図版34 第38号墓·第38-1号墓 1段目左:調査前の状況 2段目左:墓室の半裁状況

3段目左:実測作業状況(左は第40号墓)

4段目左:墓室の遺物出土状況

1段目右:遺構の外観

2段目右:遺構の外観(右が第38号墓) 3段目右:第38-1号墓の完掘状況

4段目右:墓室の完掘状況



図版35 平成22年度の調査状況

1段目左:第17号墓周辺の作業状況 2段目左:第71号墓周辺の作業状況 3段目左:作業状況(第51号墓)

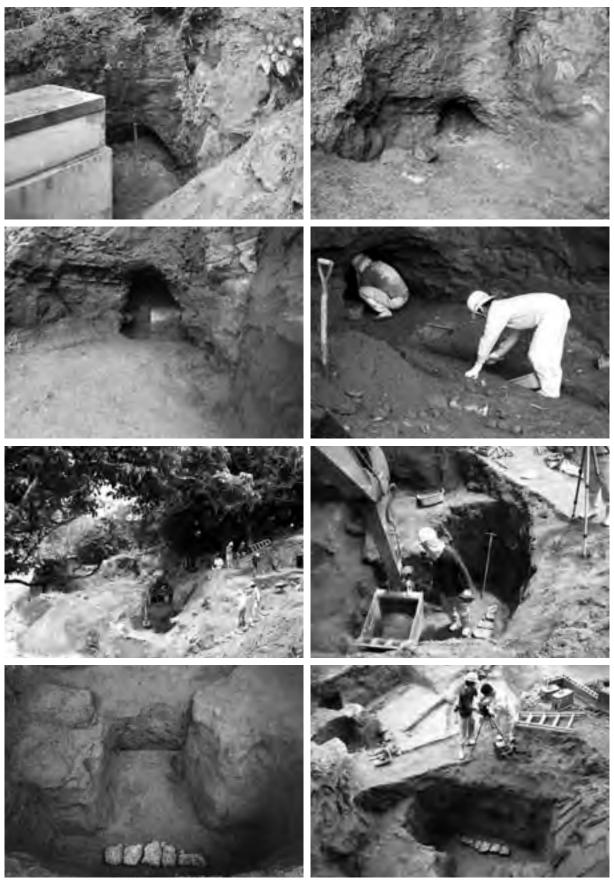
4段目左:写真撮影作業状況(第49号墓)

1段目右:残土搬出状況 2段目右:作業状況(第48号墓) 3段目右:作業状況(第41号墓) 4段目右:測量作業状況(第46号墓)



図版36 平成22年度の調査状況

1段目左:遺物整理作業状況 2段目左:写真解析作業状況 3段目左:遺物洗浄作業状況 4段目左:遺跡見学状況 1段目右:写真整理作業状況 2段目右:図化作業状況 3段目右:遺物洗浄作業状況 4段目右:遺跡見学状況



図版37 第15号墓

1 段目左: 伐採完了の状況 2 段目左: 遺構の半裁状況

3段目左:バックホーによる作業状況

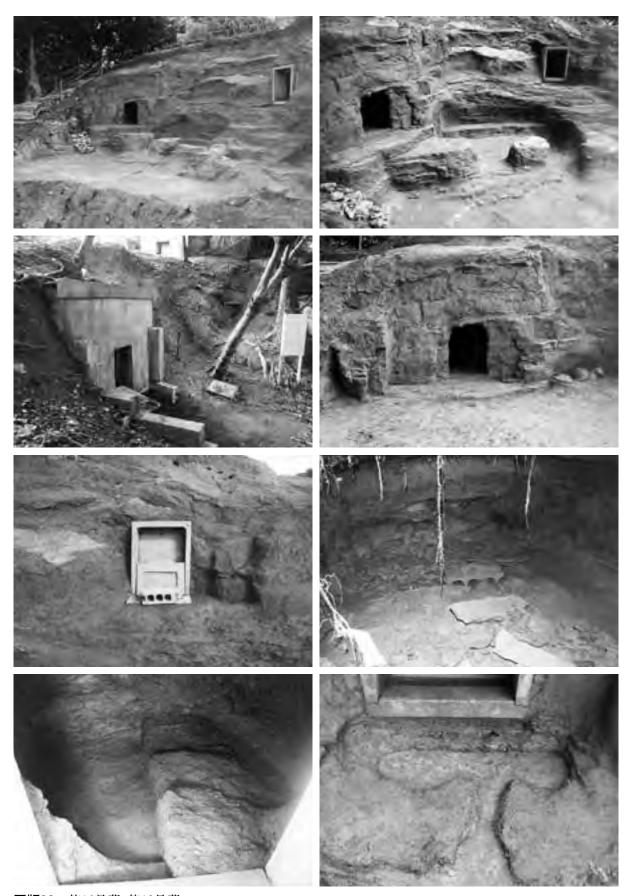
4段目左:完掘状況

1段目右:伐採完了の状況

2段目右:作業状況

3段目右:バックホーによる作業状況

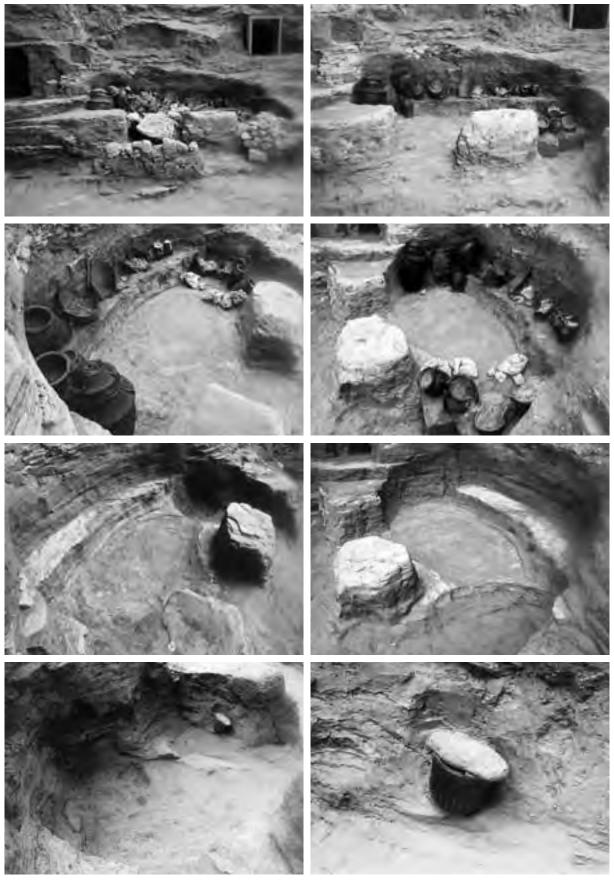
4段目右:写真撮影作業状況



図版38 第16号墓·第18号墓

1段目左:第16号墓(左)と第18号墓(右)の外観 2段目左:伐採完了後の状況(第16号墓)

3段目左:遺構の外観(第18号墓) 4段目左:墓室の半裁状況(第18号墓) 1 段目右:第16号墓の外観(左) 2 段目右:遺構の外観(第16号墓) 3 段目右:墓室の状況(第18号墓) 4 段目右:暗渠の近景(第18号墓)



図版39 第17号墓·第17-1号墓 1段目左:遺構の外観

2段目左:墓室の遺物出土状況

3段目左:完掘状況(上が第17-1号墓)

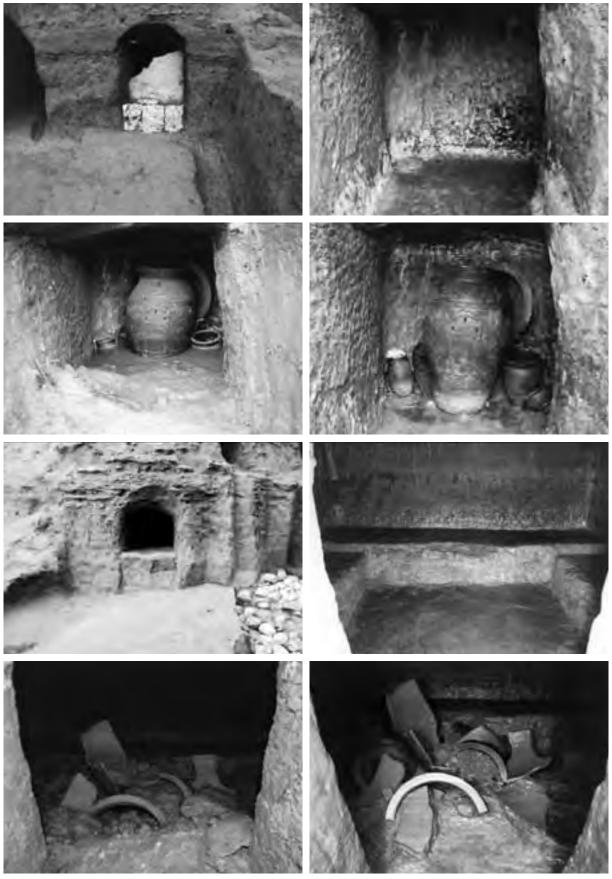
4段目左:完掘状況(上が第17-1号墓)

1段目右:遺構の外観(右下が第17-1号墓)

2段目右:墓室の遺物出土状況

3段目右:完掘状況(下が第17-1号墓)

4段目右:墓室の遺物出土状況(第17-1号墓)



図版40 第39号墓·第41号墓

1段目左:遺構の外観(第39号墓)

2段目左:墓室の遺物出土状況(第39号墓)

3段目左:遺構の外観(第41号墓)

4段目左:墓室の遺物出土状況(第41号墓)

1段目右:墓室の完掘状況(第39号墓) 2段目右:墓室の遺物出土状況(第39号墓) 3段目右:墓室の完掘状況(第41号墓) 4段目右:墓室の遺物出土状況(第41号墓)



図版41 第42号墓

1段目左:遺構の外観

2段目左:墓室の遺物出土状況

3段目左:完掘状況

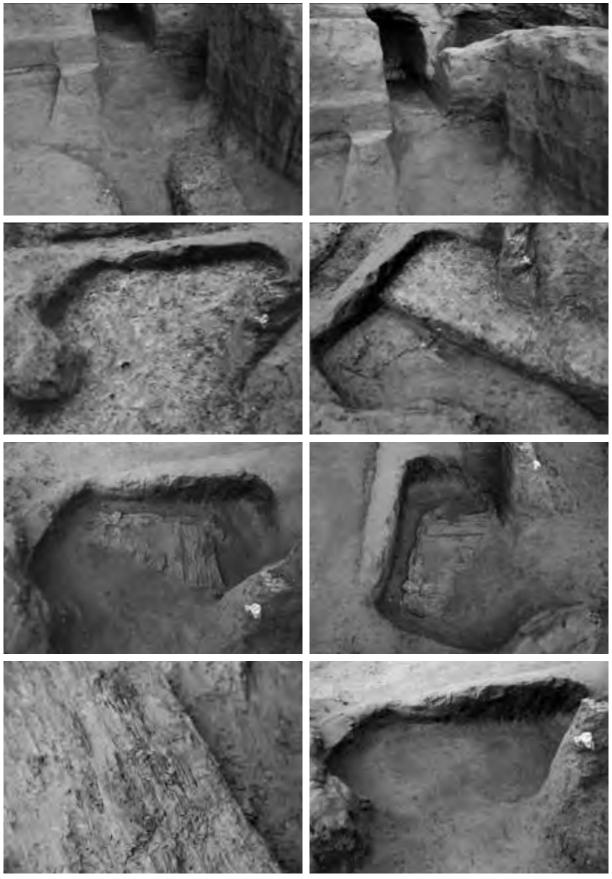
4段目左:暗渠の検出状況

1段目右:墓室の状況

2段目右:墓室の遺物出土状況

3段目右:完掘状況

4段目右:暗渠の検出状況



図版42 第43号墓·第44号墓

1段目左:遺構の外観(第43号墓)

2段目左:墓室の検出状況(第44号墓)

3段目左:墓室の遺物出土状況(第44号墓)

4段目左:墓室の遺物出土状況(第44号墓)

1段目右:遺構の外観(第43号墓) 2段目右:墓室の半裁状況(第44号墓) 3段目右:墓室の遺物出土状況(第44号墓)

4段目右:完掘状況(第44号墓)



図版43 第45号墓·第46号墓

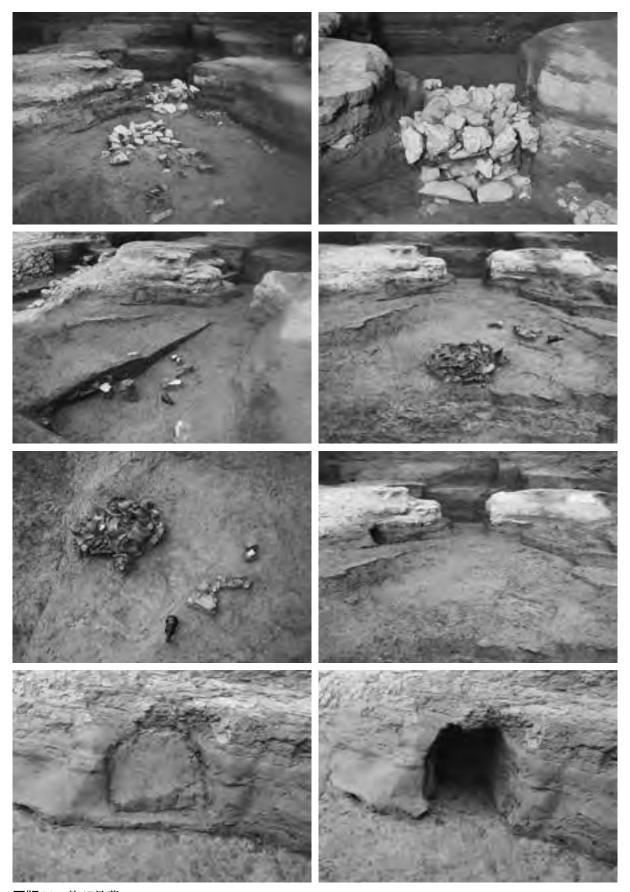
1 段目左: 遺構の外観(第45号墓) 2 段目左: 遺構の外観(第46号墓) 3 段目左: 完掘状況(第46号墓)

4段目左:墓庭の遺物出土状況(第46号墓)

1段目右:墓口の遺物出土状況(第45号墓)

2段目右:遺構の外観(第46号墓) 3段目右:完掘状況(第46号墓)

4段目右:墓庭の遺物出土状況(第46号墓)



図版44 第47号墓

1段目左:遺構の外観と墓庭の遺物出土状況 1段目右:墓口の状況

2段目左:墓庭の半裁状況と遺物出土状況

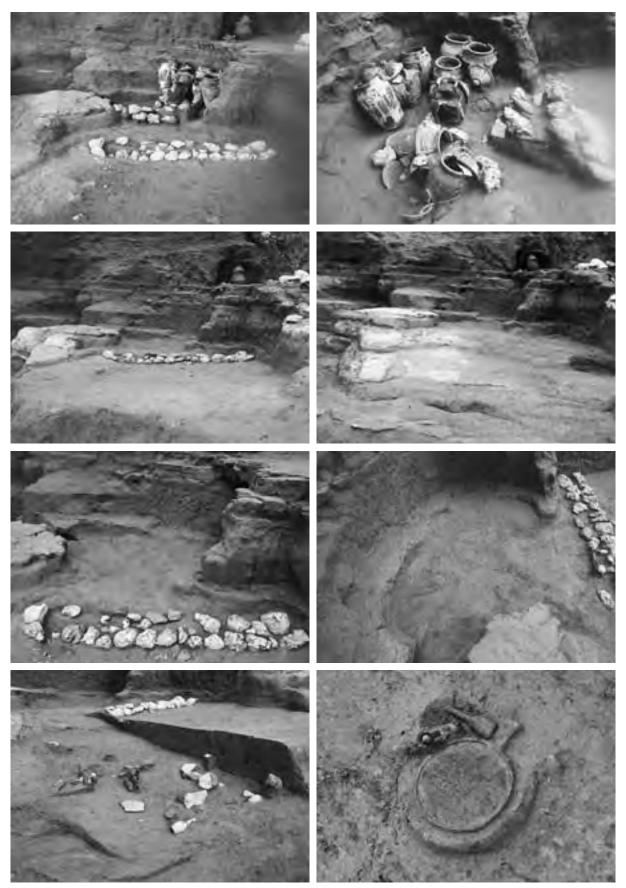
3段目左:墓庭の遺物出土状況

4段目左:右ソデ掘込遺構の検出状況

2段目右:墓庭の遺物検出状況

3段目右:完掘状況

4段目右:右ソデ掘込遺構の完掘状況

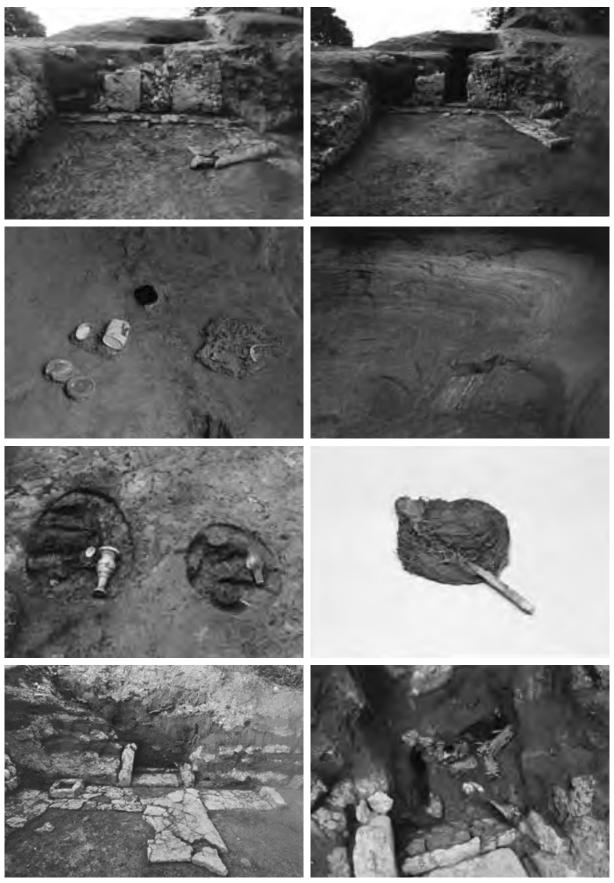


図版45 第48号墓

1段目左:遺構の外観 2段目左:遺構の外観 3段目左:墓室の完掘状況 4段目左:墓庭の遺物出土状況 1段目右:墓室の遺物出土状況

2段目右:完掘状況

3段目右:墓室の完掘状況 4段目右:墓庭の遺物出土状況



図版46 第49号墓·第64号墓

1段目左:遺構の外観(第49号墓)

2段目左:墓室の遺物出土状況(第49号墓)

3段目左:土坑No.1・2の状況(第49号墓)

4段目左:遺構の外観(第64号墓)

1段目右:遺構の外観(第49号墓)

2段目右:墓室の完掘状況(第49号墓)

3段目右:土坑No.2の遺物出土状況(第49号墓)

4段目右:墓室の遺物出土状況(第64号墓)



図版47 第51号墓

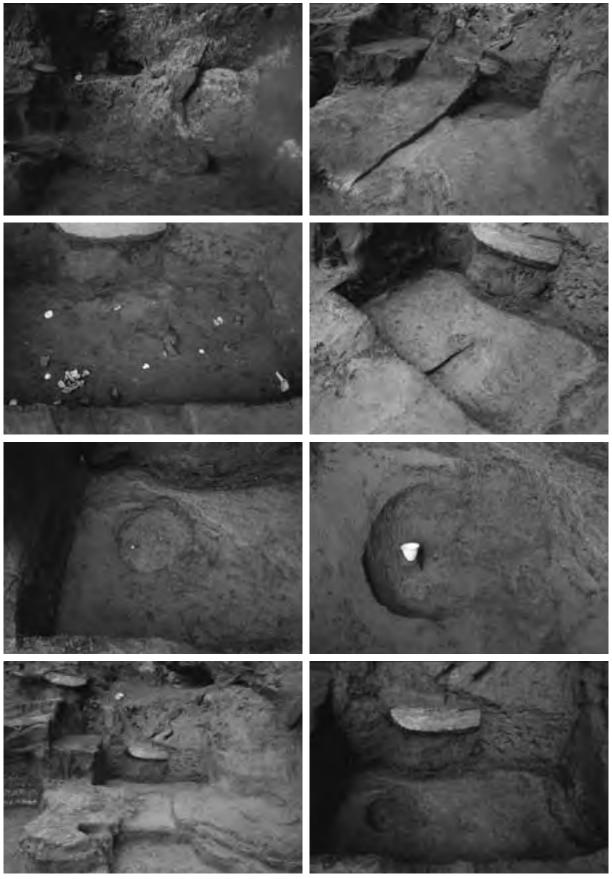
1段目左:遺構の外観 2段目左:遺物の出土状況 3段目左:墓室の完掘状況

4段目左:墓室の人骨及び遺物出土状況

1段目右:墓室の半裁状況 2段目右:遺物の出土状況

3段目右:墓室の人骨及び遺物出土状況

4段目右:完掘状況



図版48 第52号墓

1段目左:遺構の外観

2段目左:墓室の遺物出土状況

3段目左:墓室の掘込土坑

4段目左:完掘状況

1段目右:墓室の半裁状況

2段目右:墓室の完掘状況

3段目右:墓室の掘込土坑(遺物出土状況)

4段目右:墓室の完掘状況



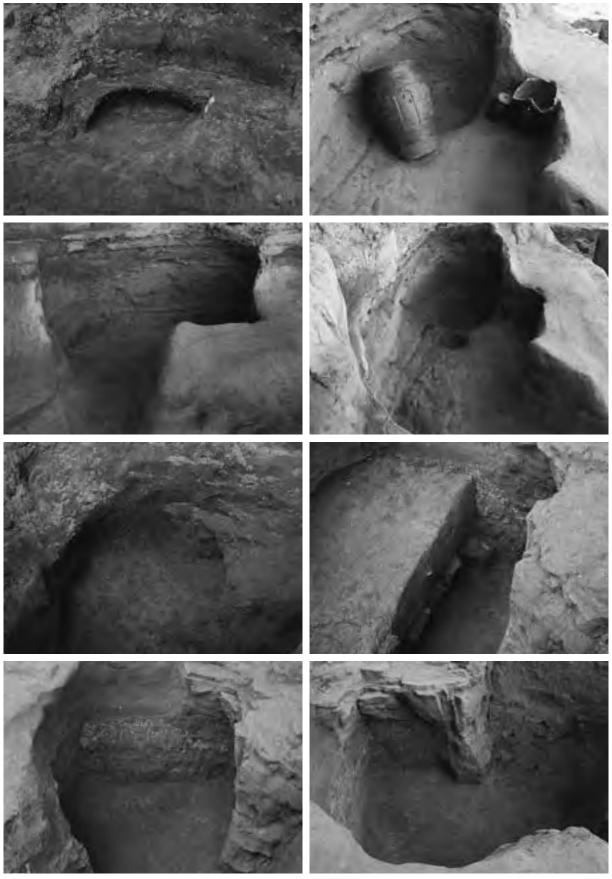
図版49 第53号墓·第54号墓·第55号墓

1段目左:遺構の外観 1段目右:遺構の完掘状況(左が第53号墓、右が第54号墓)

2段目左: 墓室の完掘状況(第53号墓) 2段目右: 墓室の状況(第54号墓)

3段目左:墓室の半裁状況(第55号墓) 3段目右:墓室の遺物出土状況(第55号墓)

4段目左:完掘状況(第55号墓) 4段目右:完掘状況(第55号墓)



図版50 第56号墓·第57号墓

1段目左:遺構の検出状況(第56号墓)

2段目左:完掘状況(第56号墓)

3段目左:遺構の検出状況(第57号墓)

4段目左:完掘状況(第57号墓)

1段目右:墓室の遺物出土状況(第56号墓)

2段目右:完掘状況(第56号墓)

3段目右:墓室の半裁状況(第57号墓)

4段目右:完掘状況(第57号墓)



図版51 第58号墓·第59号墓·第60号墓·第61号墓 1段目左:遺構の外観(第58号墓)

2段目左: 墓室の遺物出土状況(第59号墓) 3段目左: 遺構の検出状況(第60号墓) 4段目左: 墓室の検出状況(第61号墓)

1段目右: 人骨の出土状況(第58号墓) 2段目右: 墓室の遺物出土状況(第59号墓) 3段目右: トレンチの状況(第60号墓) 4段目右: 完掘状況(第61号墓)



図版52 第62号墓

1段目左:遺構の検出状況 2段目左:墓室の遺物出土状況

3段目左:作業状況

4段目左:墓室の遺物出土状況

1段目右:墓室の遺物検出状況 2段目右:墓室の遺物出土状況

3段目右:作業状況

4段目右:墓室の遺物出土状況



図版53 第62号墓

1段目左: 墓室の遺物出土状況 2段目左: 墓室の遺物出土状況 3段目左: 墓室の遺物出土状況

4段目左:墓口の状況

1段目右:墓室の遺物出土状況 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓庭の遺物出土状況 4段目右:墓口の完掘状況

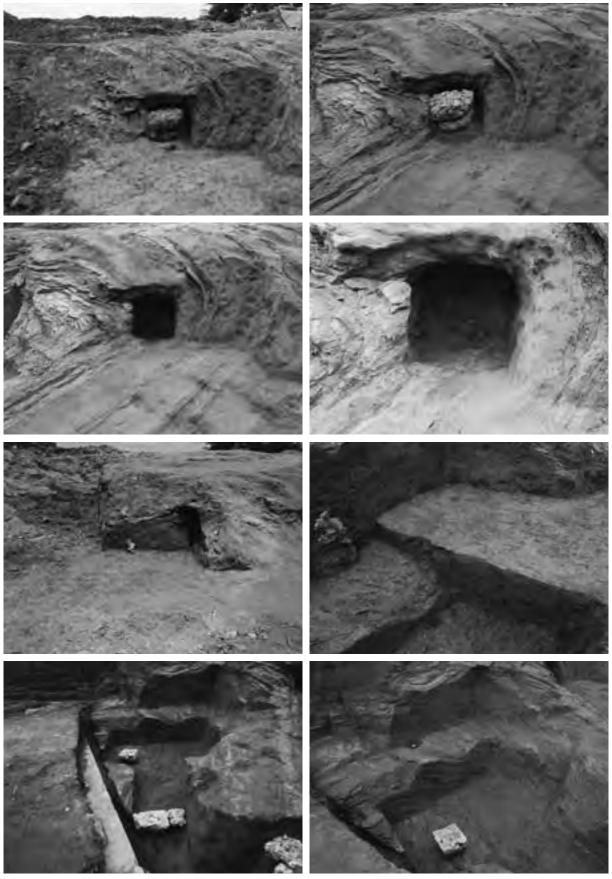


図版54 第63号墓

1 段目左: 遺構の検出状況 2 段目左: 墓室の遺物出土状況

3段目左:墓室の状況 4段目左:墓庭の土坑 1段目右:墓口の検出状況 2段目右:墓室の遺物検出状況

3段目右:作業状況 4段目右:墓庭の土坑



図版55 第65号墓・第66号墓

1段目左:遺構の検出状況(第65号墓)

2段目左:完掘状況(第65号墓)

3段目左:遺構の検出状況(第66号墓)

4段目左:完掘状況(第66号墓)

1段目右:遺構の外観(第65号墓) 2段目右:完掘状況(第65号墓)

3段目右:墓室の半裁状況(第66号墓)

4段目右:完掘状況(第66号墓)



図版56 第69号墓

1段目左:遺構の検出状況 2段目左:墓室の遺物出土状況 3段目左:墓室の遺物出土状況

4段目左:完掘状況

1段目右:遺構の半裁状況 2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓室の完掘状況

4段目右:墓室右壁の掘り込み状況



図版57 第70号墓

1段目左:遺構の検出状況 2段目左:墓口の検出状況

3段目左:墓室の人骨及び遺物出土状況

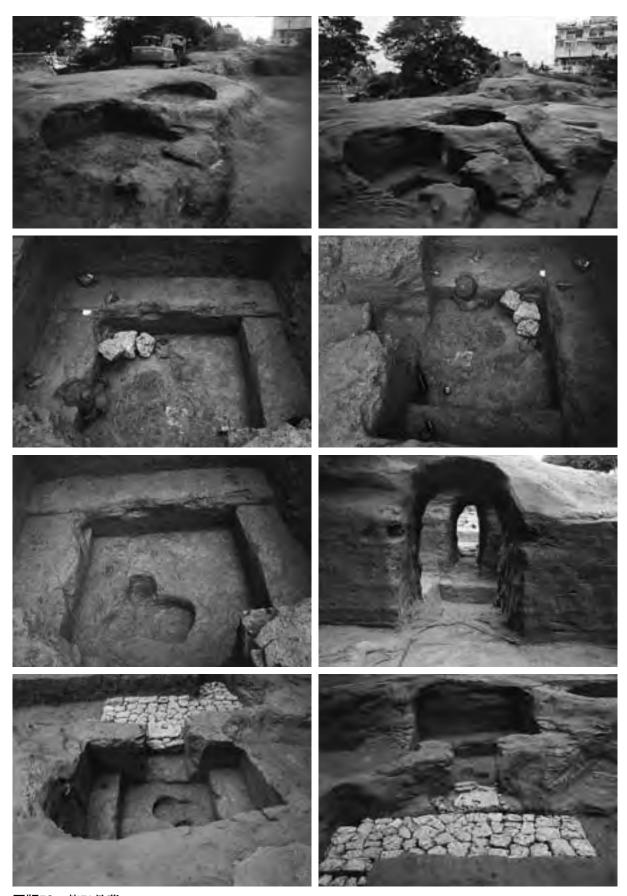
4段目左:墓口周辺の状況

1段目右:墓室の半裁状況

2段目右:墓室右壁の掘り込み状況

3段目右:墓室の人骨出土状況

4段目右:墓口の状況



図版58 第71号墓

1段目左:遺構の検出状況 2段目左:墓室の遺物出土状況 3段目左:墓室の完掘状況

4段目左:完掘状況

1段目右:完掘状況

2段目右:墓室の遺物出土状況 3段目右:墓室左壁の掘り込み状況

4段目右:完掘状況

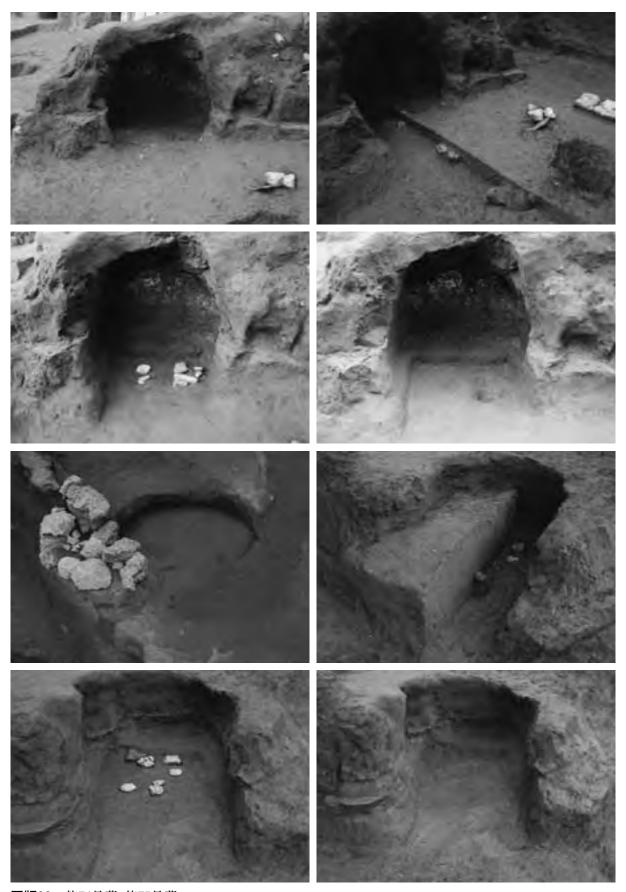


図版59 第72号墓·第73号墓

1段目左:遺構の検出状況(第72号墓) 2段目左:遺物の出土状況(第72号墓) 3段目左:遺構の検出状況(第73号墓)

4段目左:完掘状況(第73号墓)

1段目右:遺物の出土状況(第72号墓) 2段目右:遺物の出土状況(第72号墓) 3段目右:墓室の半裁状況(第73号墓) 4段目右:第73号墓周辺の作業状況



図版60 第74号墓·第75号墓

1段目左:遺構の検出状況(第74号墓) 2段目左:墓室の完掘状況(第74号墓) 3段目左:遺構の検出状況(第75号墓) 4段目左:墓室の完掘状況(第75号墓) 1段目右:遺構の半裁状況(第74号墓) 2段目右:墓室の完掘状況(第74号墓) 3段目右:墓室の半裁状況(第75号墓) 4段目右:墓室の完掘状況(第75号墓)



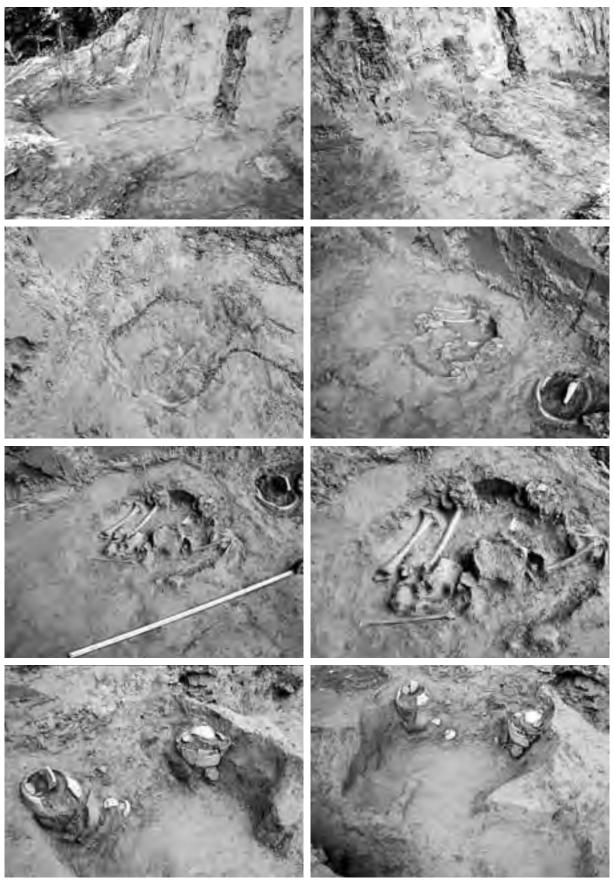
図版61 第76号墓

1段目左:第76号墓近景 2段目左:作業状況

3段目左:図面作成作業状況

4段目左:蔵骨器の取り出し作業状況

1段目右:蔵骨器の安置状況 2段目右:墓室の完掘状況 3段目右:平板実測作業状況 4段目右:出土した蔵骨器



図版62 第77号墓·第78号墓

1段目左:第77号墓検出状况 2段目左:第77号墓検出状况 3段目左:第77号墓人骨検出状况 4段目左:第78号墓蔵骨器検出状況 1段目右:第77号墓検出状况 2段目右:第77号墓人骨検出状况 3段目右:第77号墓人骨検出状况 4段目右:第78号墓蔵骨器検出状況



図版63 第78号墓·第79号墓

1段目左:第78号墓蔵骨器検出状況

2段目左:第78号墓完掘状况 3段目左:第79号墓掘削状况

4段目左:作業状況

1段目右:第78号墓蔵骨器内の状況

2段目右:第79号墓検出状況

3段目右:作業状況 4段目右:作業状況







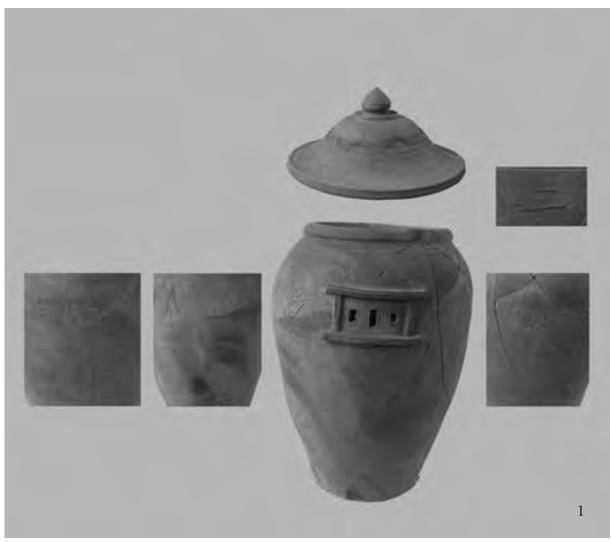
図版64 (第38図) 第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)



図版65 (第39図) 第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)



図版66 (第40図) 第62号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類 8~10)·(Ⅲ類 11)





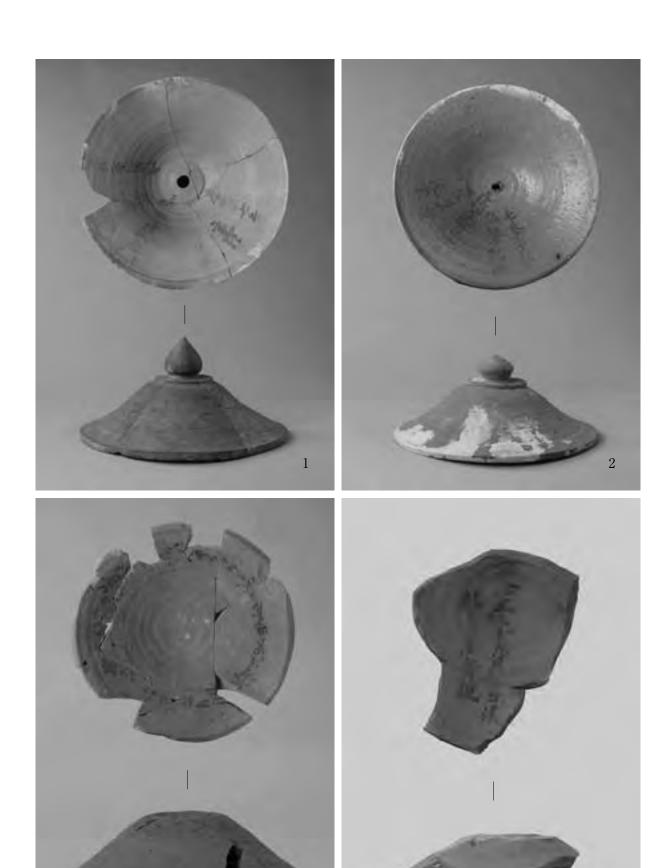
図版67 第63号墓出土専用蔵骨器(ⅡA類)



図版68 第62号墓出土転用蔵骨器(2·4·5) 第63号墓出土転用蔵骨器(1·3·6)



図版69 第21号墓出土専用蔵骨器(I Ba ②類 銘書1722·1736·1751·1764 年)



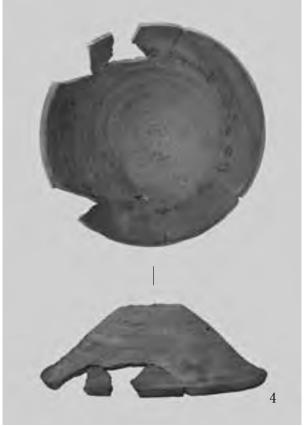
4

図版70 1:第46号墓出土専用蔵骨器(ⅡA①類 銘書1686·1688 年) 2:第48号墓出土専用蔵骨器(ⅡA①類 銘書1714 年) 3:第17号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1746 年) 4:第46号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1775 年)









図版71 1:第21号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1775年) 2:第17号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1778年) 3:第46号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1779年) 4:第69号墓出土専用蔵骨器(ⅡA③類 銘書1736·1796年)









図版72 1:第77号墓出土専用蔵骨器(Ⅱ Ba ①類

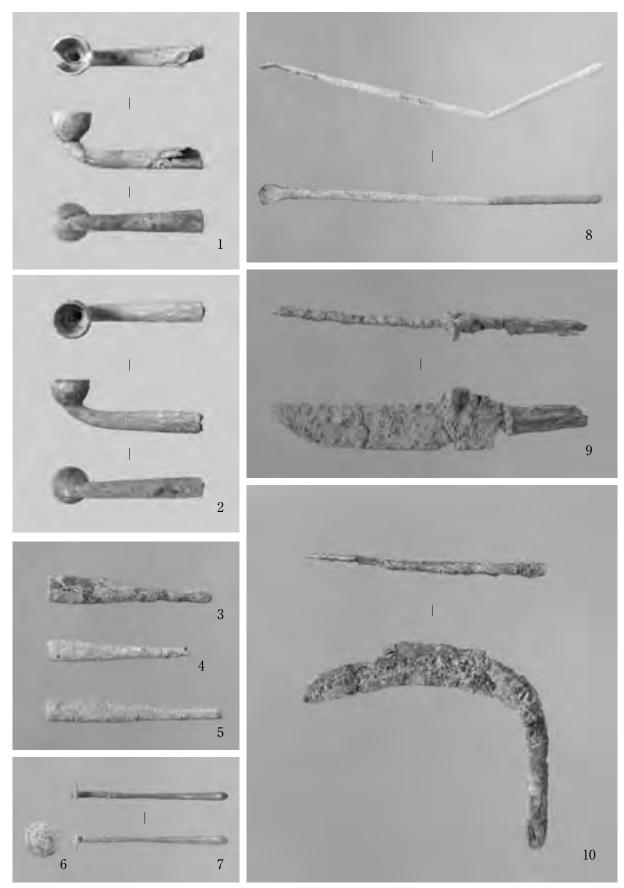
2:第78号墓出土専用蔵骨器(Ⅱ A類3:第29号墓出土専用蔵骨器(Ⅱ A類

4:第21号墓出土専用蔵骨器(Ⅱ A類

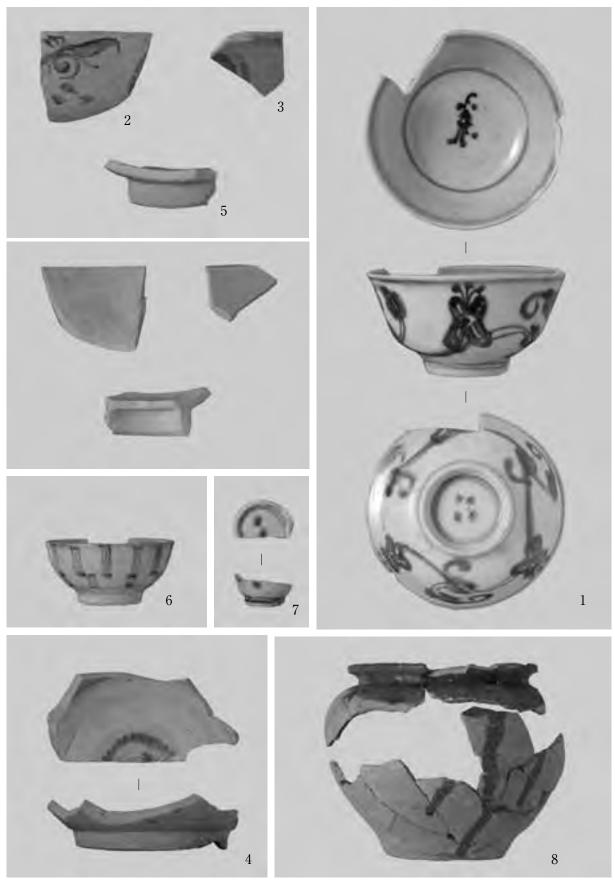
銘書1795 年) 銘書1754 年) 銘書1757 年) 銘書1775 年)



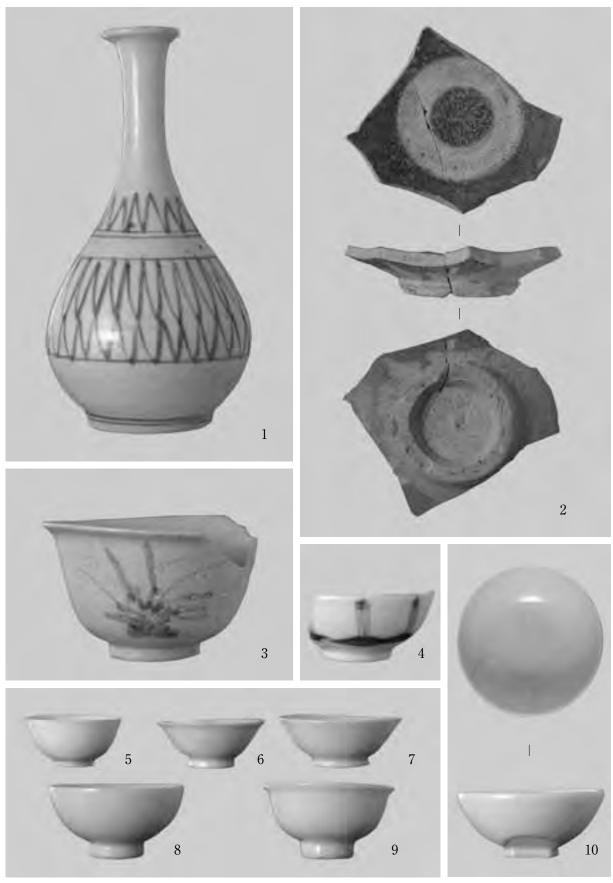
図版73 (第41図) 第62号墓出土遺物①



図版74 (第42図) 第62号墓出土遺物②



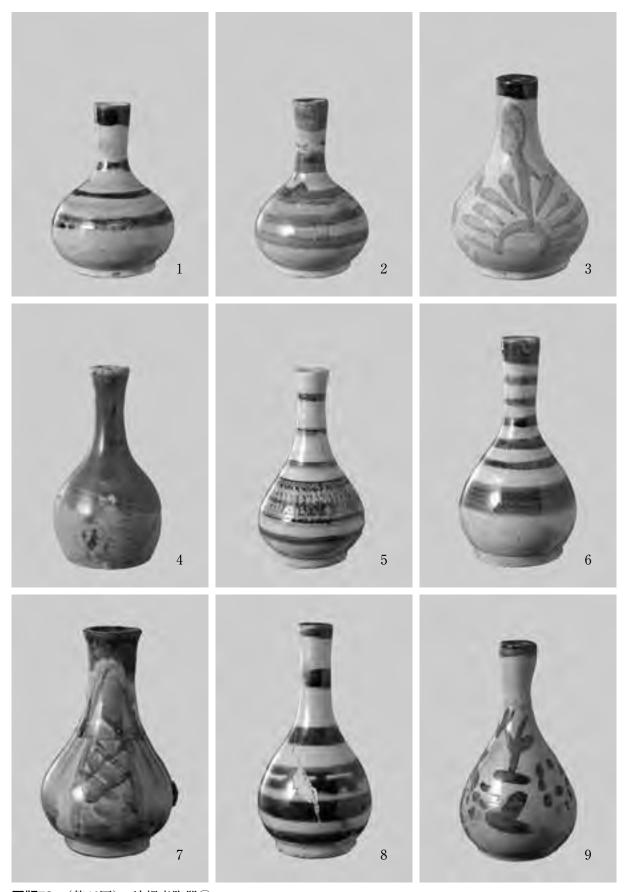
図版75 (第43図) 中国産陶磁器



図版76 (第44図) 本土産陶磁器



図版77 (第45図) 沖縄産陶器①



図版78 (第46図) 沖縄産陶器②



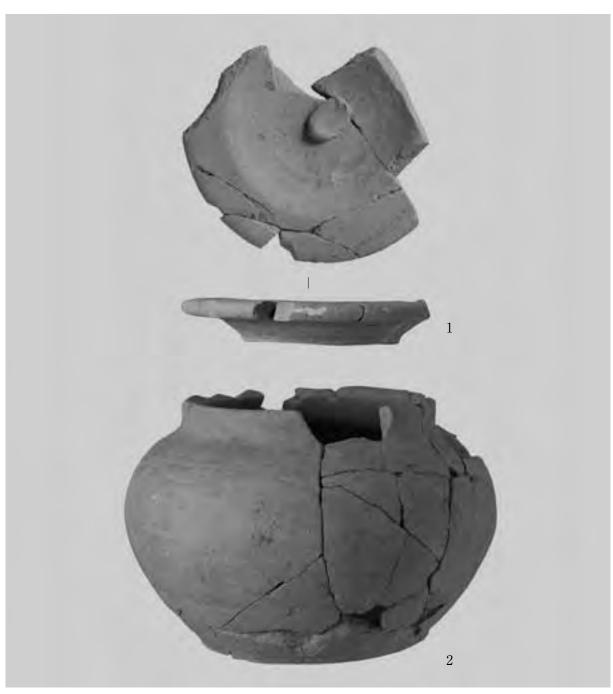
図版79 (第47図) 沖縄産陶器③

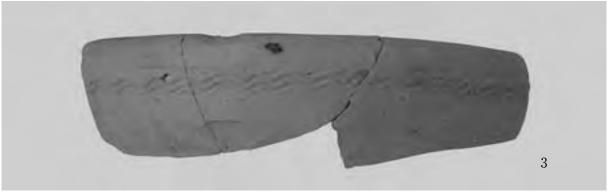




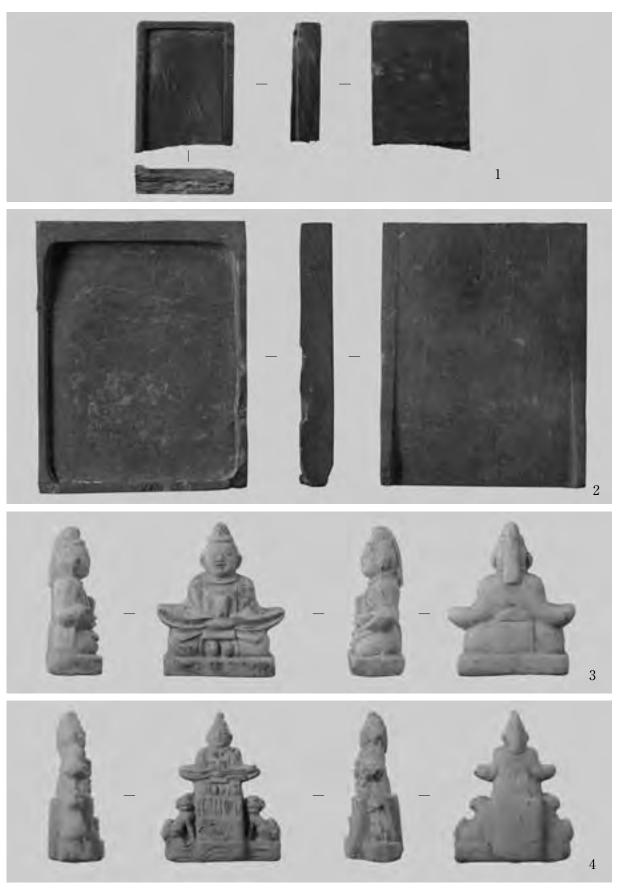


図版80 (第48図) 沖縄産陶器④

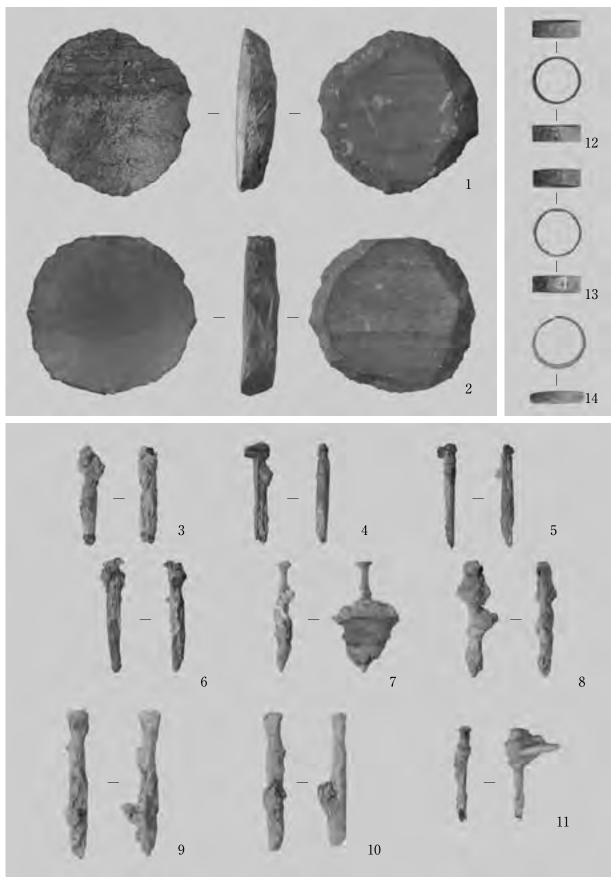




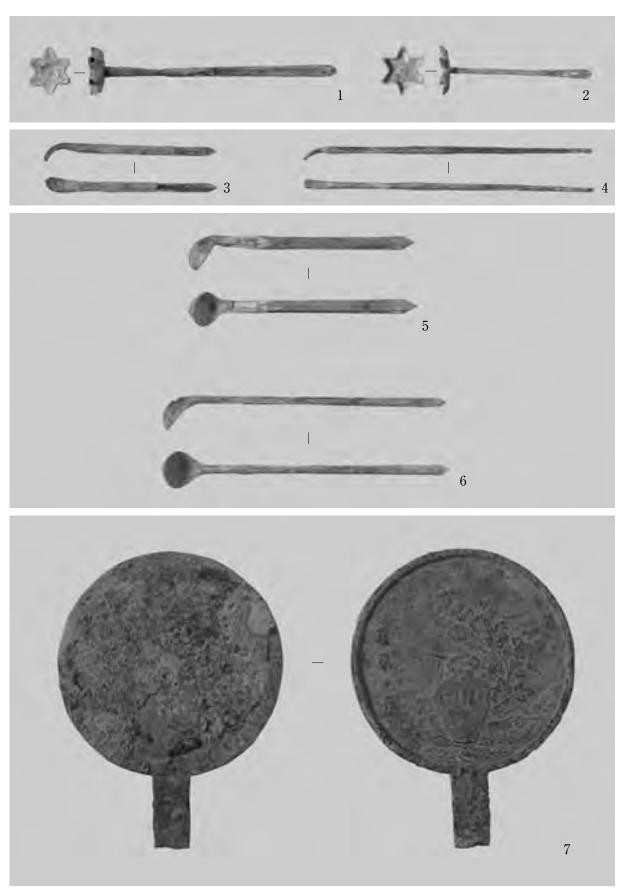
図版81 (第49図) 沖縄産陶器⑤



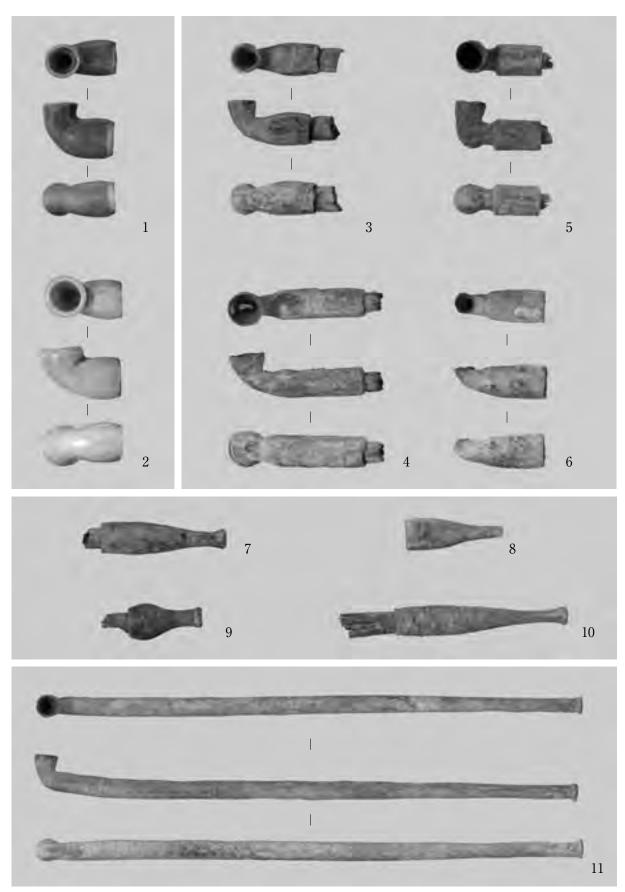
図版82 (第50図) 硯·人形



図版83 (第51図) 円盤状製品·釘·指輪



図版84 (第52図) 簪·鏡

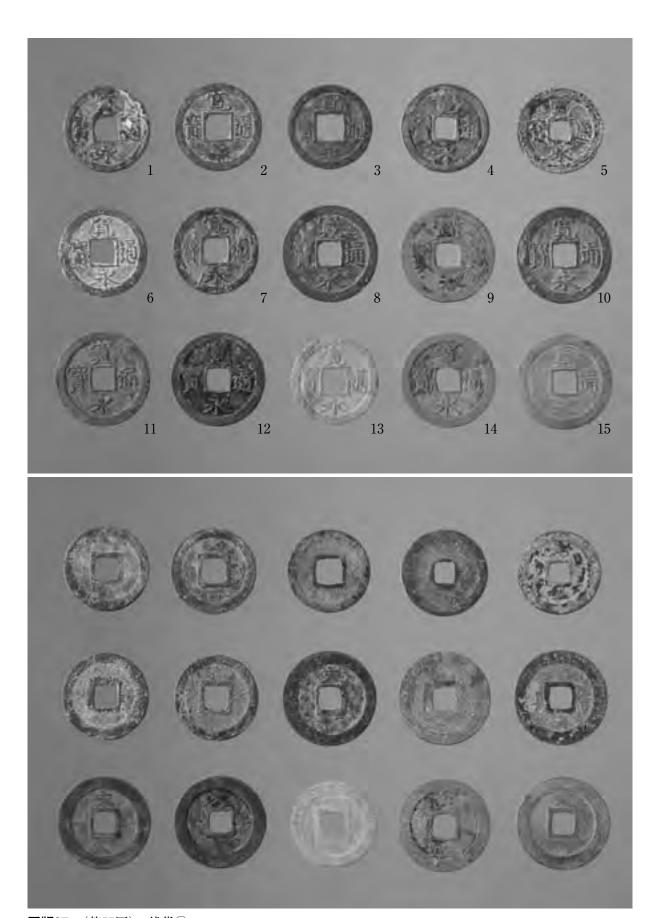


図版85 (第53図) 煙管

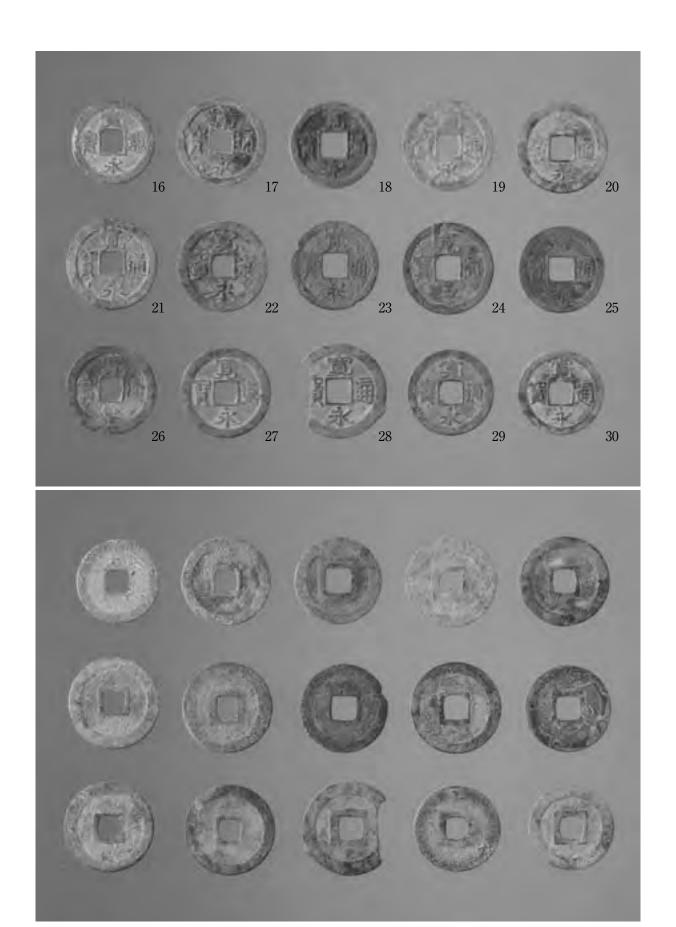




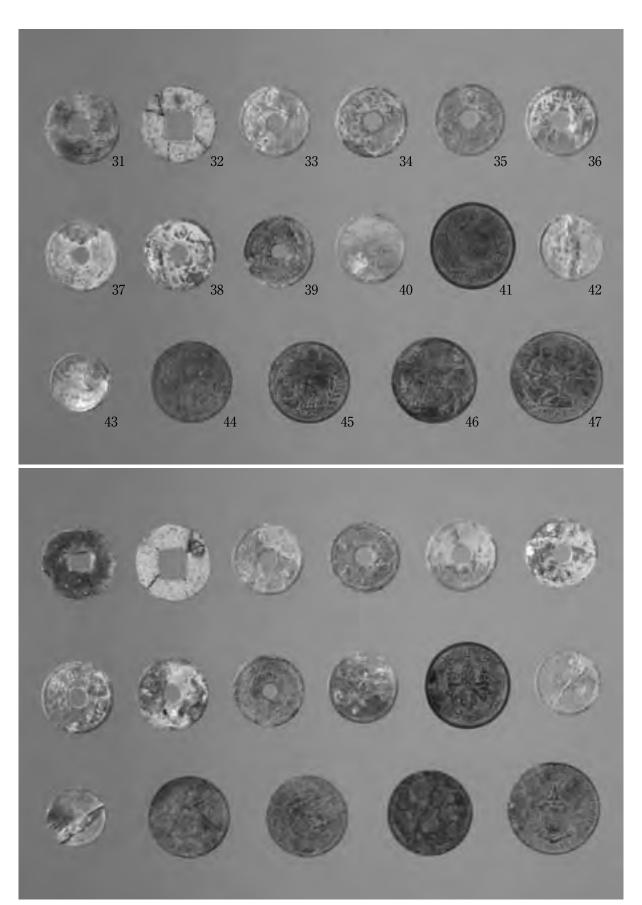
図版86 (第54図) ガラス製品·プラスチック製品



図版87 (第55図) 銭貨①

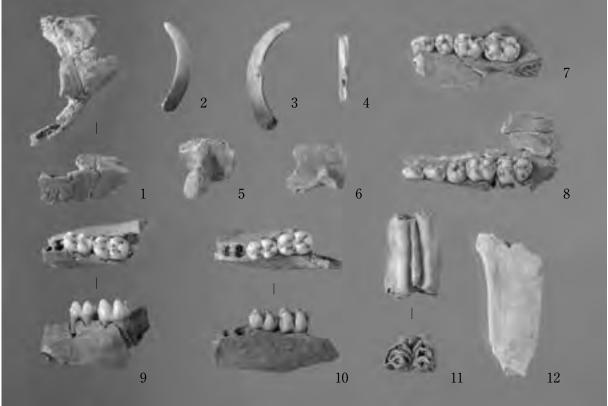


図版88 (第56図) 銭貨②



図版89 (第57図) 銭貨③





図版90 上:貝類遺殻 下:脊椎動物遺体

上 (二枚貝)

- 1 ヌノメガイ
- 2 ウミギクガイ科
- 3 ベニエガイ
- 4 リュウキュウサルボウガイ
- 5 カブラツキガイ
- 6 ウラキツキガイ
- 7 カワラガイ
- 8 ヒメジャコ
- 9 ヒレジャコ
- 10 イタボガキ科

上 (巻貝)

- 1 チョウセンサザエ
- 2 チョウセンサザエのフタ
- 3 ナガミノムシガイ
- 4 マガキガイ
- 5 ホシダカラガイ

下

- 1 ブタ 頭頂骨
- 2 ブタ 犬歯 左
- 3 ブタ 犬歯 右
- 4 ブタ 切歯
- 5 ブタ 後頭顆 左
- 6 ブタ 後頭顆 右
- 7 ブタ 上顎骨 左
- 8 ブタ 上顎骨 右
- 9 ブタ 下顎骨 右
- 10 ブタ 下顎骨 左
- 11 ウシ 上顎歯
- 12 ウシ or ウマ 不明

報告 書抄録

まりがな	まえだ きょうづかきんせいぼぐん しゅりおおなちく 前田・経塚近世墓群(首里大名地区)							
副書名	那覇広域都市計画道路事業 3・3・16号国際センター線に伴う緊急発掘調査報告							
卷次	前田·経塚近世墓群							
シリーズ名	那覇市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第90集							
編著者名	樋口麻子・仲宗根啓・城間千栄子・(有)ティガネー・(株)文化財サービス							
編集機関	那覇市教育委員会文化財課							
所 在 地	〒900-8553 沖縄県那覇市前島3-25-1 TEL 098 - 891 - 3501							
発行年月日	西曆2012年2月10日							
* り * な 所 収 遺 跡 名	^{ふりがな} 所 在 地	コー市 町 村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
ままだ。きょうづかきんせいぼぐん 前田・経塚近世墓群 しゅりおおなちく (首里大名地区)	#####################################	47201		26度 13分 58秒 (世界測地系)	127度 43分 28秒 (世界測地系)	平成20年度調查2008.09.24~2008.11.19 平成21年度調查2009.08.03~2010.01.29 平成22年度調查2010.07.20~2011.01.11	約2,000㎡	那覇広域都市計 画道路事業3·3· 16号国際セン ター線の建設工 事
所収遺跡名	種	別 主な時代		時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
前田·経塚近世墓群 (首里大名地区)	古墓群		近世		古墓		蔵骨器・中国産 陶磁器・本土縄産 陶器・・本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	今回の事業に伴ったもの問題を持ってある。事業に伴ったものである。事業において、84基のおきが、その問題は、墓が、その問題は、墓が、現存する。開発が、現存が、現存が、場所が、場所が、場所が、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まずが、まず
要約	本遺跡では、平成20年度から平成22年度にかけて近世における古墓84基を調査した。調査当初は、18基を予定していたものの、埋没した古墓が多数確認されることとなった。これは、基盤の細粒砂岩(ニービ)が脆いためにおこった事象と理解される。遺構の多くは小振りで簡素なものであった。そのなかで、第11号墓は亀甲墓の外観をうかがわせるもので、第13号墓と合わせて比較的複雑な構築方法を用いていた。第62・63号墓からは、主に古いタイプの蔵骨器が多数得られている。墓の構造と構築年代を検討するうえで、貴重な成果である。一方、出土遺物としては、第25号墓から出土した2点の人形は注意される。数個の貝類とともに共伴して出土しており、葬送儀礼に際しての意義に注意される。また、一次葬や蔵骨器に納められた人骨、先の大戦時の人骨と考えられる資料については、関係機関との調整を行う。							

那覇市文化財調査報告書第90集

前田·経塚近世墓群(首里大名地区)

那覇広域都市計画道路事業3・3・16号国際センター線に伴う緊急発掘調査報告

発行 2012年2月10日

那覇市教育委員会

〒900-8553 沖縄県那覇市前島3-25-1

編集 那覇市教育委員会文化財課

TEL 098-891-3501

FAX 098 - 891 - 3523

印刷 株式会社 国際印刷

〒901-0147 沖縄県那覇市宮城1丁目13番9号

TEL 098-857-3385